

## □平成 19 年度 研究活動報告□

大谷藤郎総長

### 総説

- ・特集 憲法と公衆衛生 ハンセン病患者と人権—その歴史からの教訓, 公衆衛生, 72(1), 28-32, 2008.1

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

重症心身障害者学会（名誉会長），日本公衆衛生学会（名誉会員），日本栄養改善学会（名誉会員），日本ハンセン病学会

## 保健医療学部（看護学科）

### 著書

- ・中西睦子（編集），藤本幸三（分担執筆）：看護サービス管理第3版，看護サービス管理の基礎教育，263-268，医学書院，2007
- ・川野雅資（編集），藤本幸三（分担執筆）：精神科看護管理の実際，精神科看護管理の目的と対象，プロセスと手法，1-9，88-91，医学書院，2007
- ・松澤和正（単著）：臨床で書く 精神科看護のエスノグラフィ，全360頁，医学書院，2008.3
- ・郷間悦子（分担執筆）：在宅ケア事典，介護保険指定事業者ほか，176-177，510-511，中央法規出版，2007
- ・糸井裕子（分担執筆），須佐公子，豊嶋美枝子，村松由紀：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅰ，第Ⅲ部第1章創傷管理技術 第2章救急救命技術，杏林図書，2008
- ・長田 泉（分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅱ，子どもと家族に必要な基本的援助技術，杏林図書，2008
- ・長田 泉（分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅱ，子どもによくみる症状と援助，杏林図書，2008
- ・村松由紀（編集）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅰ，杏林図書，2008
- ・村松由紀（分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅰ，第Ⅰ部日常生活援助技術 第1章環境調整技術 第2章休息援助技術 第5章排泄援助技術，第Ⅲ部治療に伴う援助技術 第3章与薬の技術，杏林図書，2008
- ・村松由紀（監修）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅱ，杏林図書，2008
- ・村松由紀（分担執筆）：手順・留意点・根拠で学ぶ実践看護技術Ⅱ，第Ⅰ部成人看護技術 第3章慢性期の看護技術，杏林図書，2008

### 原著論文

- ・糸井裕子：在日カンボディア人の伝統的な健康実践と援助関係へのニーズ，日本看護医療学会雑誌，9(1)，8-17，2007
- ・重久加代子 他：がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動を測定する質問紙の開発，がん看護，12(6)，648-655，2007
- ・重久加代子 他：看護師のストレスと業務の専門性との関連，看護管理，17(10)，871-876，2007
- ・村松由紀：看護学臨地実習におけるストレス評価—実習施設への通学時間と対処能力の比較—，第38回日本看護学会

論文集－看護教育－，204-206，2007

- ・ 村松由紀：男子看護学生の生きがい観－PIL-Aによる分析－，第38回日本看護学会論文集－看護教育－，207-209，2007

## 総説

- ・ 中西睦子：看護管理者のマネジメント力，看護展望，33(1)，42-49，2008.1
- ・ 中西睦子：高度な看護実践の可視化と質保証，看護展望，33(3)，40-49，2008.2
- ・ 藤本幸三：医療・看護情報の読み方講座（経営に参画する），主任&中堅，16(5)，70-73，2007.5
- ・ 藤本幸三：医療・看護情報の読み方講座（平均在院日数短縮化と看護資源の必要性），主任&中堅，16(6)，70-71，2007.7

## 研究報告

- ・ 糸井裕子：在日カンボディア人の文化変容にともなうストレス，日本保健福祉学会誌，14(1)，51-58，2007
- ・ 長田 泉：障害児の在宅ケア向上のための家族ケアプログラムの開発－施設・地域連携型継続ケアシステムと家族中心ケアの統合的アプローチ－，国際医療福祉大学在宅ケア研究センター報告書，平成18年度版，94-102，2008
- ・ 川野英子，平野美穂，鳥居央子，菱山祐子：男性が主介護者である家族の生活力量向上を目指した支援，家族看護学研究，13(3)，150-157，2008

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 中西睦子：看護実践の中の知，第27回医療情報学連合大会，神戸，2007.11.24
- ・ 中西睦子：看護実践から知識を生み出す，平成19年度文部科学省科学研究費助成研究発表会，東京大学，東京，2008.2.16
- ・ 藤本幸三：看護管理概説，鳥取県看護協会，看護研修センター，鳥取市，2007.5.5-6
- ・ 藤本幸三：看護管理概説，千葉県看護協会，千葉県看護会館，千葉市，2007.6.21-22
- ・ 藤本幸三：人的資源活用論，長崎県看護協会，長崎看護センター，諫早市，2007.8.19
- ・ 藤本幸三：キャリア開発論，宮崎県看護協会，看護研修センター，宮崎市，2007.10.29-30
- ・ 藤本幸三：看護マネジメント，筑波メディカルセンター病院，筑波市，2007.12.6
- ・ 藤本幸三：看護管理研究の活用，栃木県看護協会，看護研修センター，宇都宮市，2007.11.24
- ・ 藤本幸三：看護管理研究の活用，神奈川県立保健福祉大学，実践教育センター，横浜市，2007.12.20
- ・ 藤本幸三：クリニカルラダーについて，山形県立中央病院，山形市，2008.1.26
- ・ 藤本幸三：クリニカルラダー作成と運用，日総研出版，ハーモニーホール，東京都千代田区，2008.2.16-17
- ・ 金 升子：看護組織論 質の評価，栃木県看護協会 セカンドレベル教育，栃木県看護協会研修センター，宇都宮市，2007.9.15
- ・ 金 升子：看護研究を進め方・講評，国際医療福祉大学病院 看護部看護研修会，国際医療福祉大学病院研修会場，那須塩原市，2008.1.31
- ・ 金 升子：看護研究の講評，自治医科大学附属病院看護部 看護研究発表会，自治医科大学地域研修センター大講堂，下野市，2008.2.2
- ・ 村松由紀：看護学臨地実習におけるストレス評価－実習施設間の対処能力の比較－，第38回日本看護学会－看護教育－，幕張メッセ国際会議場，千葉県，2007.8.10
- ・ 村松由紀：看護学生の生きがい観－PIL-Aによる分析－，第38回日本看護学会－看護教育－，幕張メッセ国際会議場，

千葉県, 2007.8.10

- ・ 村松由紀: 小児看護学臨地実習における学習内容の分析, 第38回日本看護学会－看護教育－, 幕張メッセ国際会議場, 千葉県, 2007.8.10
- ・ 村松由紀, 須佐公子: 介護支援専門員からみた在宅ターミナルの現状, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.12.8

## 学会発表

- ・ 藤本幸三: 看護師の職業的アイデンティティ形成過程の縦断的研究, 第11回日本看護管理学会, 高知市文化プラザ, 高知市, 2007.8.24
- ・ 松澤和正, 中西睦子, 寺内幸恵, 金 升子, 須田利佳子, 大塚きく子, 新野峰子, 糸井裕子, 長田 泉, 村松由紀, 上原和代, 小野崎美幸: 学部課程看護学教育における基礎的対人関係スキル育成に関する研究(第2報)－トレーニングの実践と検討－, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.12.7
- ・ 田尻后子, 曾我部美恵子, 田村一代: 妊産婦における尿失禁の実態および関連する要因, 第48回日本母性衛学会学術集会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2007.10.11
- ・ 糸井裕子, 大木恵美子: 成人看護学慢性期実習における透析室見学の学習効果, 日本看護学教育学会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2007.8.11
- ・ 糸井裕子, 小野崎美幸, 小川悦代: 絆創膏粘着除去剤の皮膚への影響の検証－ベンジンと他の絆創膏除去剤の比較－, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.12.8
- ・ 糸井裕子, 小野崎美幸, 小川悦代: 絆創膏粘着除去剤から受ける主観的感覚－臭気・除去感・皮膚刺激感－, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.12.8
- ・ 米山雅子, 長田 泉, 高橋 泉, 野中淳子: A県内における小児病棟管理者からみた子どもの入院環境に関する実態調査, 日本小児看護学会第17回学術集会, 長野県松本文化会館・松本市総合体育館, 長野県松本市, 2007.7.20
- ・ 村田恵子, 長田 泉, 世良喜子, 石川福江, 青木雅子, 内 正子, 岩崎孝子: 重度身体障害児の在宅ケアにおける家族機能と影響要因, 日本家族看護学会第14回学術集会, 青森県立保健大学, 青森県, 2007.9.1
- ・ 石川福江, 村田恵子, 長田 泉, 世良喜子, 岩崎孝子, 内 正子: 在宅重度身体障害児を養育する家族員の燃えつきへの影響要因, 日本家族看護学会第14回学術集会, 青森県立保健大学, 青森県, 2007.9.1
- ・ 長田 泉, 村田恵子, 青木雅子, 石川福江, 世良喜子, 岩崎孝子: 重度身体障害児の在宅ケアにおける家族ストレス・対処と援助期待, 日本看護科学学会第27回学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.12.8
- ・ 川野英子, 平野美穂, 渡辺 恵, 鳥居央子: ソーシャルサポートを活かした単独世帯高齢者に対する地域包括支援センターの役割, 日本公衆衛生学会, 愛媛県県民文化会館別館, 愛媛県松山市, 2007.10.25
- ・ 重久加代子 他: がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動に影響を及ぼすストレス要因, 第23回日本ストレス学会学術集会, 東京医科大学病院臨床講堂, 東京都, 2007.11.9
- ・ 重久加代子 他: がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動と職務満足度との関連, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.12.8
- ・ 重久加代子 他: がん患者のケアを担う看護師の心身のストレス及び他者からのサポートがケアリング行動に及ぼす影響, 第22回日本がん看護学会学術集会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2008.2.9
- ・ 田中京子: ‘昔の看護’を象徴する精神科看護師のスタッフ・コード, 日本ヒューマンケア学会発表, 名古屋市立大学, 名古屋, 2007.9.9
- ・ 小平京子, 新野峰子 他: 精神看護実習における暴力, 栃木看護教員協議会, コンセーレ, 栃木県宇都宮市, 2007.4.25

- ・ 新野峰子：使用後紙オムツの臭気に関するEMの消臭効果の検討，日本看護研究学会，盛岡市民文化ホール，岩手県盛岡市，2007.7.30
- ・ 新野峰子：関連職種連携実習における看護学生の学び，日本看護学教育学会，福岡国際会議場，福岡県福岡市，2007.8.10
- ・ 齊藤由佳，新野峰子：レモン果汁の消臭効果，栃木看護学会，栃木教育会館，栃木県宇都宮市，2007.11.21

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 川野英子，平野美穂，渡辺 恵，鳥居央子：ソーシャルサポートの観点から見た一人暮らし高齢者への支援，（財）在宅医療助成勇美記念財団 平成18年度在宅医療助成（後期），継続
- ・ 新野峰子：職場適応に向けての看護卒業前プログラムの作成・実施・評価，私学事業団，経常費補助金特別補助，教育・学習方法などの改善支援，2，未定

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 田中京子：保健医療学博士，‘昔の看護’を象徴する精神科看護者のスタッフ・コードー民間精神科病院を支配していた規範に焦点をあててー，2008.3.7

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 中西睦子：日本看護科学学会（理事），日本保健医療行動科学会（評議員），日本健康科学学会（評議員），日本生命倫理学会（評議員），日本看護管理学会（理事）
- ・ 坂主リツ：日本看護管理学会，栃木県看護学術集会学会
- ・ 松澤和正：日本精神保健福祉政策学会（常任理事），多文化間精神医学会，日本生命倫理学会，日本看護管理学会，日本看護科学学会
- ・ 金 升子：日本集中治療医学会（准会員），日本集中治療医学会関東甲信越地方会（看護部門会員），看護管理学会，看護科学学会
- ・ 郷間悦子：日本看護学会（地域看護）（論文集選考委員），日本在宅ケア学会（学会誌査読委員），日本健康教育学会（実践健康教育士），日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本地域看護学会，日本公衆衛生学会，日本看護管理学会
- ・ 曾我部美恵子：日本看護科学学会，日本生命倫理学会，日本女性心身医学学会，日本母性看護学会，日本母乳保育学会，日本母性衛生学会
- ・ 糸井裕子：日本看護学教育学会，日本看護科学学会，日本保健福祉学会，日本看護医療学会，日本生理人類学会，日本臨床生理学会
- ・ 長田 泉：日本小児看護学学会，日本家族看護学会，日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本整形外科看護研究会，日本環境感染学会，日本教師学学会
- ・ 川野英子：日本家族看護学会，日本保健医療社会学会，日本看護管理学会，日本公衆衛生学会，日本在宅ケア学会，日本地域看護学会
- ・ 重久加代子：日本サイコオンコロジー学会，日本緩和医療学会，日本看護科学学会，日本がん看護学会，日本ストレス学会
- ・ 田中京子：日本看護科学学会，日本ヒューマンケア学会，日本看護教育学会，日本精神保健看護学会，日本保健医療行動科学会
- ・ 新野峰子：日本看護管理学会，日本看護学教育学会，日本精神保健看護学会，日本デイケア学会，日本看護研究学会，

日本看護科学学会

- ・ 村松由紀：日本がん看護学会，日本看護管理学会，日本看護科学学会，日本死の臨床研究会，日本看護学教育学会，日本小児科学学会
- ・ 臼井淳美：日本母性衛生学会，日本助産学会
- ・ 江口裕美子：日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本手術看護学会
- ・ 遠藤順子：日本教育心理学会（学校心理士），日本教育カウンセラー学会（初級学校カウンセラー），日本看護学教育学会，
- ・ 原田留美：日本思春期学会
- ・ 藤原いづみ：日本集中治療医学会，日本クリティカルケア看護学会

## 保健医療学部（理学療法学科）

### 著書

- ・ 丸山仁司（編集）：症例報告の書き方，理学療法士の組織と協会活動，295-306，医歯薬出版，2007.4.10
- ・ 丸山仁司（編集）：ザ・ROM，アイベック，2007.9.30
- ・ 秋山純和（執筆）：内部障害理学療法概論ノート，アイベック，2007.4
- ・ 秋山純和（分担執筆）：理学療法リスク管理・ビューポイント，臨床検査値とリスク，40-42，文光堂，2007.12
- ・ 藤沢しげ子（分担執筆）：理学療法技術ガイド，橈骨神経麻痺，1029-1036，文光堂，2007
- ・ 金子純一郎：ザ・ROM 理学療法科学学会監修，起居動作獲得とROM，207-218，アイベック，2007.9.30
- ・ 金子純一郎，丸山仁司（編集）：理学療法リスク管理・ビューポイント，病院PT室でのリスク，66-67，文光堂，2007.12.22
- ・ 金子純一郎，丸山仁司（編集）：理学療法リスク管理・ビューポイント，ベッドサイドでのリスク，68-69，文光堂，2007.12.22
- ・ 下井俊典（分担執筆），丸山仁司（編集）：理学療法科学シリーズ応用編 ザ・ROM，寒冷療法とROM，139-146，アイベック，2007.9
- ・ 市川 洵（監修），勝平純司（分担執筆）：高齢者・障害者をささえる福祉機器Ⅰ，立位による移乗 立ち上がるということ，63-66，財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団，2007
- ・ 丸山仁司（編集），勝平純司（分担執筆）：ザ・ROM，バイオメカニクスからみたROM，階段とROM，13-19，174-175，IPEC，2007
- ・ 丸山仁司（編集），岸田あゆみ（分担執筆）：ザ・ROM，関節リウマチとROM，237-247，アイベック，2007
- ・ 倉本アブジャ亜美（分担執筆）：理学療法リスク管理・ビューポイント，重症心身障害児施設でのリスク，76-77，文光堂，2007
- ・ 齋藤里果（分担執筆）：理学療法リスク管理・ビューポイント，事故報告書の書き方，事故の対策，関節可動域運動ストレッチ，水治療法，10-17，82-85，112-113，文光堂，2007
- ・ 齋藤里果（分担執筆）：ザ・ROM 理学療法科学学会監修，ROMの評価と注意点，85-96，アイベック，2007
- ・ 指方 梢（分担執筆）：， ザ・ROM 第1版 理学療法科学学会監修，第3節3章伸張運動とROM，127-132，アイベック，2007.9
- ・ 指方 梢，丸山仁司（編集）：理学療法リスク管理・ビューポイント，Ⅰ総論12. ベッドサイド装置のリスク，Ⅲ-

A-6. 協調性, III-A-7. バランス, 59-63, 92-93, 94-95, 文光堂, 2007.12

- ・ 霍 明, 丸山仁司 (編集), 西田裕介 (編集) : ザ・ROM, 温熱療法とROM, 133-137, アイペック, 2007.9.30
- ・ 霍 明, 丸山仁司 (編集) : 理学療法リスク管理・ビューポイント, 温熱療法 牽引療法, 114-115, 120-121, 文光堂, 2007.12.22

## 原著論文

- ・ 常 冬梅, 霍 明, 丸山仁司 : 物体の高さ及び運動時間に関する高齢者の認識能力について—若年者との比較, 理学療法科学, 22(2), 287-292, 2007
- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司 : 一側上肢PNFパターンへの等尺性抵抗運動域の違いが両下肢伸展筋力に及ぼす影響, 理学療法科学, 22(2), 249-253, 2007
- ・ Junji KATSUHIRA, Sumiko YAMAMOTO, Sanae ASAHARA, Hitoshi MARUYAMA : Comparison of the accuracy of measurement of floor reaction force and lower extremity joint movements calculated using different force plate measurement methods, J. Phys. Ther. Sci., 19, 171-175, 2007
- ・ 霍 明, 常 冬梅, 丸山仁司 : 高齢者における転倒予測に関する研究—足踏み時プローブ反応時間を中心として, 理学療法科学, 22(3), 359-364, 2007
- ・ 齋藤里果, 倉本アフジャ亜美, 丸山仁司 : 授業における学生自己評価シートの導入, 理学療法科学, 22(3), 379-383, 2007
- ・ Ming Huo, Hitoshi MARUYAMA, Hui LIN LIU : Relationship between probe reaction time of physical therapists and their patient's accident, J. Phys. Ther. Sci., 19(4), 257-260, 2007
- ・ 石坂正大, 大好崇史, 秋山純和 : 足趾圧迫練習が内側縦アーチに及ぼす影響, 理学療法科学, 22(1), 139-143, (2007.2)
- ・ 西田裕介, 秋山純和 : 歩行時の呼吸補助筋の活動とその評価の応用性について, リハビリテーション科学ジャーナル, 1, 67-73, (2007.3)
- ・ 山野 薫, 薬師寺里江, 大平高正, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和 : 理学療法施行患者の状態変化カードの試作と運用, 理学療法科学, 22(2), 261-266, 2007.5
- ・ 山野 薫, 大平高正, 薬師寺里江, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和 : 急性期病院における理学療法対象者の血圧脈波検査装置を用いた動脈硬化の調査とその活用, 理学療法科学, 22(4), 433-437, 2007.11
- ・ 山野 薫, 秋山純和 : 急性期病院理学療法部門におけるリスクマネジメントの現状, 理学療法科学, 23(1), 39-45, 2008.1
- ・ 上村さと美, 秋山純和 : 介護老人保健施設における起立運動負荷を用いた心肺機能評価—集団運動提供時の心肺機能に関するリスク管理の検討—, 理学療法科学, 23(1), 1-6, 2008.1
- ・ 鈴木義之, 一之宮聡史, 黒澤美枝子, 大久保真人 他14名 : Chemical Chaperone Therapy: Chemical Effect in Murine GM1-gangliosidosis, Annals of Neurology, 62(6), 671-675, 2007
- ・ 大久保真人 : 成人の卵円孔弁 (中隔鎌) の形態について, 国際医療福祉大学紀要, 12(2), 27-34, 2008
- ・ 武田 要, 勝平純司, 藤沢しげ子 : 妊婦の経時的姿勢運動変化が腰部に与える影響, 理学療法科学, 22(2), 281-285, 2007
- ・ 勝平純司, 成 命奇, 武田 要, 藤沢しげ子 : 立ち上がり動作における上肢, 下肢, 腰部関節モーメント計測手法の開発, 理学療法科学, 1(22), 11-12, 2007
- ・ 朝原早苗 : 手動車いす駆動動作分析, 博士論文, 2008.3
- ・ 佐々木秀明, 勝平純司 他 : 移乗補助器具を用いた移乗介助動作における介助者の腰部負担について, 理学療法科学,

34(7), 294-301, 2007

- ・ 武田 要, 勝平純司 他：妊婦の経時的姿勢，運動変化が腰部に与える影響，理学療法科学，22(2)，281-285，2007
- ・ 朝原早苗, 勝平純司 他：手動車いす駆動時の上肢関節運動と重心位置変化，義肢装具学会誌，23(3)，220-228，2007

#### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 丸山仁司：e-learningの導入，第2回教育FD研究会，国際医療福祉大学大学院，東京，2007.7.1
- ・ 丸山仁司：The trend of physical therapy, The 2<sup>nd</sup> Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京，2007.10.18
- ・ 丸山仁司：論文の書き方，第2回リサーチ研究会，国際医療福祉大学大学院，東京，2007.10.20
- ・ 丸山仁司：臨床実習指導者に関する資格，第3回教育FD研究会，国際医療福祉大学大学院，東京，2007.10.21
- ・ 秋山純和：研究法，栃木県理学療法士会，鹿沼市民センター，鹿沼市，（2006.10.22）
- ・ 秋山純和, 中山彰博, 上村さと美：心電図講習会，日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，小田原，2007.10.28
- ・ 秋山純和, 霍 明：第2回国際交流（神経筋促通治療法），理学療法科学学会，中国リハビリ研究センター，北京，2007.11.2
- ・ 秋山純和：PNF講習会，栃木県理学療法士会，自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター，栃木県，2008.1.20
- ・ 若江幸三良：骨粗鬆の実際，中外製薬MR研究会，千葉県柏市，2007.12
- ・ 石井博之：脳性麻痺児の運動療法，ヨルダン理学療法士協会 現職者講習会，ジェラシュ・リハビリテーションセンター，ヨルダン ジェラシュ，2007.10.14-15
- ・ 石井博之：水中運動療法，ヨルダン理学療法士協会 現職者講習会，カラク・リハビリテーションセンター，ヨルダン カラク，2007.11.18
- ・ 石井博之：脳性麻痺児の理学療法，マアン南部リハビリテーションセンター 現職者講習会，マアン南部リハビリテーションセンター，ヨルダン マアン，2008.2.25-26
- ・ 金子純一郎：リハビリの最新（リハビリテーションup-to-date），看護キャリア再開発研修会，南青山キャンパス，東京，2008.2.29
- ・ 下井俊典：学会発表の仕方スライド作成時の注意と原則－，第2回リサーチ研究会（理学療法科学学会主催），国際医療福祉大学大学院東京キャンパス，東京，2007.10.20
- ・ 下井俊典：個別機能訓練，那須塩原市小規模通所介護事業所勉強会，ケアプラザはつはる，厚崎公民館，那須塩原市，2008.1.25，2008.2.22
- ・ 下井俊典：リハビリテーション－今後の動向－，那須塩原市ケアマネージャー連絡協議会，厚崎公民館，那須塩原市，2008.3.19
- ・ 霍 明：重回帰とロジスティック回帰，理学療法科学学会，第一回リサーチ研究会，国際医療福祉大学乃木坂，東京，2007.6.30
- ・ 秋山純和, 霍 明：PNF基礎と脳血管障害患者への応用，理学療法科学学会，第一回全国実用PNF講習会，北京リハビリテーション研究センター，中国北京，2006.11.24-26

#### 学会発表

- ・ 終 幸伸, 丸山仁司：小型センサを用いた歩行中の肩甲骨の動きの評価，第42回日本理学療法学会大会，新潟，

2007.5.24-26

- ・ 戸田寛子, 丸山仁司, 黒澤美枝子 : ラット脊髄血流におよぼす侵害性刺激の影響, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.24-26
- ・ 斉藤琴子, 菅原憲一, 田辺茂雄, 丸山仁司, 佐藤慎一郎, 大村陽子, 田口直枝, 乙戸崇寛, 藤本鎮也 : 歩行リズム形成に関わる遊脚期および立脚期の時間的分析, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.24-26
- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司 : 一側上肢PNFパターンへの等尺性抵抗運動が反対側下肢へおよぼす遠隔的効果, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.24-26
- ・ 江口英範, 丸山仁司, 高田治実, 奥 壽郎, 石垣栄司, 坂本 雄, 榎本康子, 内田 学, 甲斐みどり, 塩田紀章, 神田太郎, 斉藤 弘 : 異なる方関節角度での片肘立ちを経由した側臥位からの起き上がり, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.24-26
- ・ 金子秀雄, 丸山仁司, 佐藤広徳, 村上武士, 今山隆士, 中原快明 : 慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸筋活動と運動耐容能の関連性, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.24-26
- ・ 新美英里, 勝平純司, 桑原正彦, 亀田平介, 丸山仁司 : 理学療法士による移乗介助動作時の身体的負担について, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.24-26
- ・ 霍 明, 丸山仁司 : 若年脳血管障害片麻痺の運動能力 認知能力と転倒発生要因に関する研究, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟, 2007.5.26
- ・ Hitoshi Sato, Hitoshi Maruyama : The Effect of the Diagonal Movement in Proprioceptive Neuromuscular Facilitation, The Fourth International Meeting of Physical Therapy Science, Vancouver, Canada, 2007.6.1-4
- ・ Yukinobu HIIRAGI, Hitoshi MARUYAMA : Evaluation of Shoulder Girdle Movement During Gait Using the Angular Velocity Sensors, The Fourth International Meeting of Physical Therapy Science, Vancouver, Canada, 2007.6.1-4
- ・ Huo Ming, Akiyama Sumikazu, Maruyama Hitoshi : Reliability of Probe Reaction Time Measurements during Walking or Marking Time in the Elderly, The Fourth International Meeting of Physical Therapy Science, Vancouver, Canada, 2007.6.1-4
- ・ Aya Mitokawa, Hitoshi Maruyama, Huo Ming : Examination of Probe Reaction Time During Exercise of the Upper Limb and Lower Limb, The Fourth International Meeting of Physical Therapy Science, Vancouver, Canada, 2007.6.1-4
- ・ DONGMEI CHANG, MING HUO, HITOSHI MARUYAMA : Effect of Abdominal and Gluteus Medius Muscle Supporter When in Standing Position and Lateral Movement, The Fourth International Meeting of Physical Therapy Science, Vancouver, Canada, 2007.6.1-4
- ・ Shiomi T., Saito A, Maruyama H., Fujita H : DOES FUNCTIONAL REACH TEST REFLECT MULTIDIRECTIONAL BALANCE CONTROL ABILITY?, 15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- ・ Kurosawa K., Ohta H, Okuyama F, Maruyama H : DOES THE DIFFERENCE IN CRUTCH LENGTH MAKE ANY EFFECTS ON ENERGY CONSUMPTION AND HANDLING DIFFICULTY?, 15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, Vancouver Canada, 2007.6.2-6
- ・ Kaneko J., Takeda K, Shiomi T., Shimoda N, Maruyama H., Kato H : MEASUREMENT OF CEREBRAL ACTIVATION DURING A WEIGHT-BEARING TASK OF A LOWER LIMB USING NEAR INFRARED SPECTROSCOPY, 15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- ・ Saito K., Sugawara K, Fukui Y, Yamamoto M, Abiko T, Fukumura K, Tomita Y, Maruyama H : THE IMMEDIATE EXERCISE EFFECT OF VOLUNTARY FACILITATION AT LOWER LIMB BY MIRROR THERAPY, 15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- ・ Fujita H., Shiomi T., Kaneko J., Maruyama H : MODIFIED TIMED UP AND GO TEST FOR JAPANESE LIFE STYLE,



- 15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- 丸山仁司, 齋藤里果: 学生の自己効力感に関する研究, 第2回教育FD研究会, 国際医療福祉大学大学院, 東京, 2007.7.1
  - Dongmei CHANG, Ming HUO, Hitoshi MARUYAMA: Relationship between elderly people's cognition of the height of objects and movement and the fall, The 2nd Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京, 2007.10.18-19
  - Dan DUO, Hitoshi MARUYAMA: Creditability and propriety of marking a simple motion-analyzer with measure technique, The 2nd Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京, 2007.10.18-19
  - Ming HUO, Chunying HU, Hitoshi MARUYAMA, Sumikazu AKIYAMA: An approach to assessment of the risk of falls by probe reaction time during walking in the elderly, The 2nd Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京, 2007.10.18-19
  - Norika SAITO, Hitoshi MARUYAMA: Classification of characteristics by the freshman-from to use the general self-efficacy scale, The 2nd Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京, 2007.10.18-19
  - Ayumi KISHIDA, Hitoshi MARUYAMA: Relationship between tapping and probe reaction time, The 2nd Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京, 2007.10.18-19
  - Jyunji KATSUHIRA, Eri NIIMI, Hidekazu SASAKI, Hitoshi MARUYAMA: The effects of techniques on the low back joint movement during a person-transferring, The 2nd Beijing International Forum on rehabilitation, Chinese Rehabilitation Research Center, 北京, 2007.10.18-19
  - 廣瀬 昇, 薄 直宏, 高橋高治, 丸山仁司: 理学療法士の臨床経験年数が臨床実習における学生評価に与える影響について, 第3回教育FD研究会, 国際医療福祉大学大学院, 東京, 2007.10.21
  - 上村さと美, 秋山純和, 杉本 諭, 瀬戸一秀: 反復起立運動実施時の%到達心拍数と心肺機能評価一介護老人保健施設における検討一, 第42回日本理学療法学会, 朱鷺メッセ, 新潟県, 2007.5.25
  - 山野 薫, 秋山純和: 急性期病院理学療法部門におけるリスクマネジメントの現状, 第42回日本理学療法学会, 朱鷺メッセ, 新潟, 2007.5.25
  - SATOMI KAMIMURA, SUMIKAZU AKIYAMA: The difference in services offered by physical and occupational therapists in visiting rehabilitation, 第2回北京国際フォーラム, 中国リハビリテーション研究センター北京, 北京, 2007.8.18-20
  - 秋山純和, 霍 明, 扈 紅: 中国物理治療師的調査, 第2回北京国際フォーラム, 中国リハビリテーション研究センター, 北京, 2007.8.18-20
  - 上村さと美, 秋山純和: 介護老人保健施設における起立運動負荷を用いた安静時から運動時の心肺機能評価の実践, 第26回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 軽井沢プリンスホテルウエスト, 軽井沢, 2007.9.1
  - 秋山純和: 日常生活動作と神経筋促通 (PNF) 法の共通運動パターンの解析一基礎的検討一, 日本PNF学会第8回学術集会, エポカルつくば, 筑波学園都市, 2007.10.7
  - 河野健一, 秋山純和: 体幹屈曲位での前腕支持姿勢が自転車エルゴメータ駆動時の呼吸様式に及ぼす影響, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, ホテルグランパシフィックメリディアン, 東京, 2007.11.15-16
  - 秋山純和: マスクを用いた肺活量測定の試み, 第18回病態生理学会, 神戸学院大学, 神戸市, 2008.1.26
  - 上村さと美, 秋山純和: 運動負荷による心音変化の検討, 第18回病態生理学会, 神戸学院大学, 神戸市, 2008.1.26
  - 秋山純和, 霍 明, 扈 紅: 中国における理療関連職種に対するアンケート調査, 第5回中国理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 北京, 2008.3.29
  - 霍 明, 丸山仁司, 秋山純和: 座位PNF時の抵抗力とプローブ反応時間との相関, 第5回中国理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 北京, 2008.3.29

- Kaname Takeda, Junji Katuhira, Shigeko Fujisawa : The effect of the change in posture and movement of low back joint during the gestation period, 4th International Meeting of Physical Therapy Science, Century Plaza Hotel, Vancouver City, 2007.6.2
- 武田 要, 勝平純司, 藤沢しげ子 : 歩行時におけるさらし装着による体幹回旋運動への影響, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- 若江幸三良 : 慢性疼痛に対するSSRIの使用経験, 日本整形外科学会, 神戸国際会議場, 兵庫県, 2007.4
- 若江幸三良 : 手術まで長期経過をみたglomus腫瘍の1例, 関東整形災害外科学会, 東京都, 2007
- 金子純一郎 : MEASUREMENT OF CEREBRAL ACTIVATION DURING DIFFERENT MOTOR TASKS OF A LOWER LIMB USING NEAR INFRARED SPECTROSCOPY, Brain'07and Brain PET'07 the 23rd International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism & Function (Brain'07) and the 8th International Conference on Quantification of Brain Function with PET (BrainPET'07), グランキューブ大阪, 大阪, 2007.5.20-24
- 金子純一郎 : MEASUREMENT OF CEREBRAL ACTIVATION DURING A WEIGHT-BEARING TASK OF A LOWER LIMB USING NEAR INFRARED SPECTROSCOPY, World Physical Therapy 2007, バンクーバー国際会議場, Vancouver, 2007.6.2-6
- 下井俊典 : 継ぎ足歩行の歩行周期の特徴ー歩行速度の異なる2種類の通常歩行との比較ー, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟, 2007.5.24-26
- Toshinori SHIMOI : Intra-rater and inter-rater reliability of two methods of tandem gait assessment in community-dwelling elderly, The 2nd Beijing International Forum on Rehabilitation, China Rehabilitation Research Center, Beijing, China, 2007.8.17-20
- 下井俊典, 鈴木理恵子, 矢野弥生, 小林ひろみ, 小林さと子 : 地域支援事業における特定高齢者の身体能力特性と介入効果, 第26回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 軽井沢プリンスホテルウエスト, 長野, 2007.9.1-2
- 下井俊典 : 地域理学療法学会講義に対する協同学習 (バズ学習) 導入の検討, 第4回理学療法教育FD研究会, 国際医療福祉大学小田原保健学部, 神奈川, 2008.1.12
- Toshinori Shimoi : A study of the reliability on Tandem Gait Test with the Bland-Altman analysis, 2008 Annual International Health and Physical Fitness Conference, Taiwan Sport University, Taiwan, 2008.3.1-2
- 朝原早苗 : 立ち上がり動作分析, 理学療法科学学会, 北京リハビリテーションセンター, 北京, 2008.3.29
- Katsuhira Junji, Eri Nimi, Hideaki Sasaki, Maruyama Hitoshi : The effects of techniques on the low back joint moment during a person-transferring, The 2<sup>nd</sup> Beijing international Forum on Rehabilitation, Beijing Rehabilitation Center, Beijing, 2007.8.17-20
- 勝平純司 (座長) : 第20回バイオメカニズムシンポジウム, かんぼの宿, 茨城県潮来市, 2007.8.6-7
- 勝平純司, 佐々木秀明, 丸山仁司 : 移乗介助動作における補助器具使用有効性の評価, 第20回バイオメカニズムシンポジウム, かんぼの宿, 茨城県潮来市, 2007.8.6-7
- 窪田 聡, 山本澄子, 勝平純司 : 介護用ベッド背上げ時の姿勢評価ー背上げに求められる条件とその応用ー, 第20回バイオメカニズムシンポジウム, かんぼの宿, 茨城県潮来市, 2007.8.6-7
- 菊池弘祐, 渡辺仁史, 勝平純司 : 持続的動作についての腰部負荷の評価手法の検討 加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究ーその6, 日本建築学会大会学術講演会, 福岡大学七隈キャンパス, 福岡県福岡市, 2007.8.29-31
- 菊池弘祐, 長澤夏子, 渡辺仁史, 勝平純司 : 腰部負荷からみた調理空間の比較 加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究ーその7, 日本建築学会大会学術講演会, 福岡大学七隈キャンパス, 福岡県福岡市, 2007.8.29-31
- 大河内重敬, 長澤夏子, 渡辺仁史, 勝平純司 : 住宅内における高齢者の動作負荷の評価に関する研究 加齢対応住宅

- における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究—その8, 日本建築学会大会学術講演会, 福岡大学七隈キャンパス, 福岡県福岡市, 2007.8.29-31
- 平山清美, 橋本美芽, 勝平純司 他: 身体負荷から見た高齢者の便座立ち座り時に使用する手すりのあり方に関する研究 (1) 膝痛のない高齢者の膝関節負荷からみた手すりのあり方について, 日本建築学会大会学術講演会, 福岡大学七隈キャンパス, 福岡県福岡市, 2007.8.29-31
  - 橋本美芽, 平山清美, 勝平純司 他: 身体負荷から見た高齢者の便座立ち座り時に使用する手すりのあり方に関する研究 (2) 膝痛のある高齢者の膝関節負荷からみた手すりのあり方について, 日本建築学会大会学術講演会, 福岡大学七隈キャンパス, 福岡県福岡市, 2007.8.29-31
  - J. Katsuhira, H. Sasaki, E. Nimi, H. Maruyama : Effects of distance between center of gravities of caregiver and patient on the low back joint moment during transferring, 16th Annual Meeting of the European Society of Movement Analysis of Adults and Children, アテネ市国際会議場, ギリシャアテネ市, 2007.9.26-29
  - T. Nomura, K. Yamaguchi, T. Suzuki, D. Hatano, T. Hanayama, J. Katsuhira, N. Fujii, H. Maruyama : Comparison between normal subjects and patients with anterior cruciate ligament reconstruction during stair descent, 16th Annual Meeting of the European Society of Movement Analysis of Adults and Children, アテネ市国際会議場, ギリシャアテネ市, 2007.9.26-29
  - 岸田あゆみ, 霍明, 胡春英, 丸山仁司: タッピングの速さとプローブ反応時間との関係, The 2nd Beijing International Forum On Rehabilitation, 中国リハビリテーションセンター, 北京, 2007.8.20
  - 倉本アブジャ亜美: Providing Social Services for Mothers of Children with Disabilities in a Semi-Urban Setting in Japan: Challenges for the Future, 15<sup>th</sup> International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, コンベンションセンター, バンクーバー市, 2007.6.6
  - 齋藤里果: Orthopedic Injuries and Treatment for Musicians, 15<sup>th</sup> International Congress of The World Confederation for Physical Therapy, コンベンションセンター, バンクーバー市, 2007.6.5
  - 齋藤里果: Classification of Characteristics by the Freshman-From to Use the General Self-Efficacy Scale-, The 2<sup>nd</sup> Beijing International Forum on Rehabilitation, 中国リハビリテーションセンター, 北京市, 2007.8.17
  - 齋藤里果 (座長): 一般演題2, 第11回栃木県理学療法士学会, とちぎ健康の森, 宇都宮市, 2008.3.9
  - Ming Huo, Dongmei Chang, Sumikazu Akiyama, Hitoshi Maruyama: THE EFFECTIVENESS OF A SIMPLE EVALUATION APPROACH TO FALLS RISK ASSESSMENT IN ELDERLY PEOPLE, 15th International WCPT., VCEC Exhibit Hall B&C, Vancouver, Canada, 2007.6.6
  - Sumikazu AKIYAMA, Ming HUO, Hong PANG: A Survey of Physiotherapists in China, 2nd Beijing International Forum on Rehabilitation, China Rehabilitation Research Center, Beijing, China, 2007.8.18
  - Lijia Chen, Ming HUO, Hitoshi MARUYAMA: Research on the Assessment of Falls in Young Patient with Stroke from Probe Reaction Time, 2nd Beijing International Forum on Rehabilitation, China Rehabilitation Research Center, Beijing, China, 2007.8.18
  - Dongmei CHANG, Ming HUO, Hitoshi MARUYAMA: Relationships between Falls and the Ability of Cognition among the Elderly., 2nd Beijing International Forum on Rehabilitation, China Rehabilitation Research Center, Beijing, China, 2007.8.18
  - Ming HUO, Chunying HU, Hitoshi MARUYAMA, Sumikazu AKIYAMA: An Approach to Assessment of the Risk of Falls by Probe Reaction Time during Walking in the Elderly, 2nd Beijing International Forum on Rehabilitation, China Rehabilitation Research Center, Beijing, China, 2007.8.18
  - Chunying HU, Ming HUO, Hitoshi MARUYAMA: Reliability of Measurement of Probe Reaction Time and Setting of Optimal Time in Repetitive Movements in Young People, 42<sup>th</sup> Meeting of Physical Therapy Science, International University of Health and Welfare, Ohtawara, Japan, 2007.11.5

## 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・金子純一郎：脳機能画像診断法による脳卒中後の運動機能回復機序に関する研究，科学研究費補助金，若手研究B，18700466，継続
- ・加藤宏之，金子純一郎 他（分担研究）：発達および障害回復期における神経回路の再編成機構，チーム型研究（CREST）科学技術振興機構，継続
- ・勝平純司：Effects of distance between center of gravities of caregiver and patient on the low back joint moment during transferring，日本科学協会海外発表促進助成，F07-217，採択

## 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・朝原早苗：保健医療学博士，手動車いすによる上り勾配走行時の駆動負担について，2008.3
- ・勝平純司：学長賞，車いす介護者の身体負担の分析，2007.10.15
- ・霍明：保健医療学博士，高齢者および片麻痺患者における転倒予測の評価に関する研究—歩行時プローブ反応時間を用いて—，2008.3.7

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・秋山純和：日本理学療法士協会（学術団体）（専門理学療法士（理学療法基系，内部障害系，神経系，骨・関節系，生活環境支援系，教育・管理系），理学療法科学学会（評議員，研究倫理委員長，理学療法科学編集），日本PNF学会（シニアインストラクター）（理事，PNFリサーチ編集），呼吸器系理学療法研究会（運営委員），日本老年医学会，日本呼吸器学会（呼吸療法認定士），日本福祉学会，日本病態生理学会（評議員），肺理学療法研究会
- ・大久保真人：日本解剖学会（評議員），日本リンパ学会（理事）
- ・藤沢しげ子：日本理学療法士協会（専門理学療法士（神経系）），理学療法科学学会（評議員）
- ・若江幸三良：日本整形外科学会（専門医，リウマチ認定医，スポーツ認定医，脊椎脊髄病認定医），日本脊椎脊髄外科学会（脊椎脊髄指導医）
- ・金子純一郎：日本理学療法士協会，日本老年医学会
- ・朝原早苗：日本リハビリテーション工学協会，日本理学療法士協会，日本義肢装具学会
- ・勝平純司：バイオメカニズム学会（学会誌編集委員），日本人間工学会，日本建築学会，日本義肢装具学会
- ・倉本アフジャ亜美：日本リハビリテーション心理研究会，日本発達障害学会
- ・齋藤里果：理学療法科学学会，日本生理人類学
- ・指方 梢：日本理学療法士協会，理学療法科学学会
- ・霍明：理学療法科学学会（国際協力部長），日本理学療法士協会，日本PNF学会，発明学会，AKA学会

## 保健医療学部（作業療法学科）

### 著書

- ・前田真治：アンフレッド 脳・神経リハビリテーション大事典 乗松尋道総監訳（翻訳Umphred DA，編Neurological Rehabilitation, for th edition），第26章 脳機能 加齢 認知症，808-836，西村書店，2007
- ・前田真治：新入浴・温泉療養マニュアル，人工入浴剤，41-47，日本温泉気候物理医学会，2007
- ・延永 正，前田真治，大塚吉則，白倉卓夫：高齢者の温泉療法，日常診療における温泉療法，255-282，ライフサイエ

ンス社, 2007

- ・ 前田真治 : 高齢者の温泉療法, 末梢循環障害, 126-134, ライフサイエンス社, 2007
- ・ 前田真治 : 高齢者の温泉療法, 温泉成分の薬理化学的効果と人工入浴剤の利用法, 220-231, ライフサイエンス社, 2007
- ・ 前田真治 (単著) : 老人のリハビリテーション第7版, 全375ページ, 医学書院, 2008
- ・ 下田信明 (共著) : ケアマネジャー試験合格対策2007, リハビリテーション, 195-206, 株式会社医療福祉総合研究所, 2007.5
- ・ 下田信明 (共著) : 介護福祉士受験講座2008テキスト, リハビリテーション論, 62-75, 株式会社医療福祉総合研究所, 2007.5
- ・ 下田信明 (共著) : 脳卒中に対する標準的理学療法介入, こうして麻痺のある手をもっと動かそう! - 上肢機能の改善, 143-153, 文光堂, 2007.5
- ・ 保崎秀夫, 上田 茂, 河野 眞, 澁井 実 他 : 精神保健医療福祉の普及啓発を組織的・戦略的に推進するためのガイドライン, 社団法人 日本精神保健福祉連盟, 2008

## 原著論文

- ・ 南雲浩隆, 前田真治, 田中勇次郎, 小林庸子 : 運動失調に対する重錘負荷・弾性緊縛帯装着の有効性の検討ー円模写軌跡分析からー, 作業療法, 26(6), 555-566, 2007
- ・ 南雲浩隆, 前田真治, 田中勇次郎, 小林庸子 : 運動失調を伴う神経変性疾患の円模写軌跡測定値分析ーSTEFとの関連性ー, OTジャーナル, 42(2), 171-177, 2008
- ・ Maeda Masaharu, Itoh Yoko, Sugawara Mitsuharu, Nagumo Hiroataka, Ichikawa Masaru, Miura Yoshiko, Hara Mariko : Changes in HSP (Heat Shock Protein) 70 due to CO<sub>2</sub> warm water bathing, 日本温泉気候物理医学会雑誌 J.J.A.Phys.M.Bath.Clim., 70, 223-226, 2007
- ・ 倉松由子, 前田真治, 潮見泰蔵 : 長期療養者の座位における垂直位の認識について, 理学療法科学, 22(4), 467-472, 2007
- ・ K. Takeda, N. Shimoda 他4名 : Shift of motor activation areas during recovery from hemiparesis after cerebral infarction: A longitudinal study with near-infrared spectroscopy, Neurosci Res, 59 (2), 136-144, 2007.6
- ・ N. Shimoda 他4名 : Cerebral laterality differences in handedness: A mental rotation study with NIRS, Neurosci Lett, 430 (1), 43-47, 2008.1

## 総説

- ・ 荻原喜茂 : 現在の精神保健福祉活動における人材供給の問題点ー作業療法士の立場からー, 心と社会, 38(3), 37-42, 2007
- ・ 前田真治 : ペナンブラとは, 理学療法ジャーナル, 41, 405, 2007
- ・ 前田真治, 里宇明元, 椿原彰夫, 高岡 徹, 永田雅章, 山口昌夫, 渡邊 修 : リハビリテーション医療におけるリスク管理, 理療, 37, 9-16, 2007
- ・ 福田倫也, 平賀よしみ, 安田菜穂, 中西浩司, 前田真治 : 脳血管障害へのリハビリテーションー現状と今後の課題ー, 老年精神医学雑誌, 18, 251-257, 2007
- ・ 南雲浩隆, 田中勇次郎, 渡辺久仁子, 前田真治 : 進行性の神経難病に対する家事の支援, 作業療法ジャーナル, 41(7), 679-689, 2007
- ・ 前田真治 : リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン, リハ医学, 44, 384-390, 2007

## 研究報告

- ・ 荻原喜茂：21世紀の精神医療における作業療法，精神科医療21世紀シンポジウム in 福島 報告書，21-30，2007.12.2
- ・ 前田真治，東 威，甘露寺泰雄，倉林 均：温泉の禁忌症 適応症および注意事項，環境省業務報告書 平成19年度温泉利用に関する掲示内容等についての医学的検討調査 2008年（研究代表者 日本温泉気候物理医学会理事長 猪熊茂子），3-140，2008
- ・ 前田真治：飲泉の実態調査について，環境省業務報告書 平成19年度温泉利用に関する掲示内容等についての医学的検討調査 2008年（研究代表者 日本温泉気候物理医学会理事長 猪熊茂子），145-152，2008
- ・ 野田文隆，河野 眞 他：多文化社会における精神保健福祉支援の方法に関する研究Ⅳ－エスニックマイノリティのメンタルヘルス上のhelp-seeking行動の研究－，平成18年度大正大学学術研究助成研究成果報告書，1-19，2007
- ・ 上田 茂，河野 眞，澁井 実 他：普及啓発の組織的・戦略的推進に関する研究，厚生労働科学研究費補助金 精神障害者の正しい理解を図る取り組みの組織的推進に関する研究 平成19年度総括・分担研究報告書，2008

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 荻原喜茂：認知症高齢者の生活の捉え方，平成19年度第2回認知症介護指導者養成研修，仙台研修センター，仙台，2007.8.30
- ・ 荻原喜茂：認知症高齢者の生活の捉え方，平成19年度第3回認知症介護指導者養成研修，仙台研修センター，仙台，2007.11.22
- ・ 荻原喜茂：認知症ケア研修会（センター方式アセスメント研修会），宮城県石巻市，宮城県石巻市保健センター，石巻，2008.3.18
- ・ 前田真治，松井利浩，杉井章二：診療報酬改定とRAのリハビリテーション，第51回日本リウマチ学会総会，横浜国際会議場，横浜，2007.4.26-29
- ・ 前田真治：ラドン泉に関する報告 環境省受託研究平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査，第72回日本温泉気候物理医学会総会，小涌園，神奈川県箱根，2007.5.18-19
- ・ 前田真治：リハビリテーション診療におけるリスクマネジメントマニュアル，第44回 日本リハビリテーション医学会 教育講演，ポートピア国際会議場，神戸，2007.6.6-8
- ・ 穴澤理絵，高橋きのみ，藤田和美，谷口敬道，前田真治：施設内RA患者の肘のムチランス様変形に対する生活障害への対応，第22回日本RAリハビリ研究会学術集会，田辺三菱製薬東京支社，東京，2007.11.10
- ・ 前田真治：半側空間無視，第31回日本高次脳機能障害学会 教育講演，和歌山市民会館，和歌山，2007.11.22-23
- ・ 下田信明：倫理綱領，栃木県作業療法士会，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.9
- ・ 下田信明：日本社会における作業療法の動向，栃木県作業療法士会，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.9
- ・ 下田信明：地域医療福祉，栃木県作業療法士会，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.11.25
- ・ 下田信明：要介護者の個別機能訓練とリハビリテーションについて，栃木県老人福祉施設協議会，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2008.3.10
- ・ 谷口敬道：「したい」を育てる，文部科学省委託事業 体力向上の基礎を培うための幼児期における実践活動の在り方に関する調査研究，ふたば幼稚園，栃木県大田原市，2008.2.9
- ・ 河野 眞：国際学会へ行こう，栃木県作業療法士会定例研修会，作新学院大学，栃木県宇都宮市，2007.7.8
- ・ 河野 眞：世界の作業療法の動向，栃木県作業療法士会新人教育プログラム，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.9
- ・ 河野 眞：アフリカの医療リハビリテーション，JICA人間開発部社会保障課題タスクフォース勉強会，JICA本部，東京都新宿区，2007.11.27

- ・河野 眞：養護教諭を対象とした特別支援教育（発達障害）の理解と対応，栃木県教育委員会上都賀教育事務所鹿沼市養護部会研修会，鹿沼市立東中学校，栃木県鹿沼市，2008.2.22
- ・澁井 実：科学，その性格と研究方法，栃木県作業療法士会新人研修会，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.11.25
- ・林由美子：ベトナムでのリハビリテーション分野の国際協力，国際医療福祉大学学園祭「国際DAY」，栃木本校・E201，栃木県大田原市，2007.10.14

## 学会発表

- ・茂木陽子，田中 繁，荻原喜茂：統合失調症者のタイミング動作の研究，第41回日本作業療法学会，鹿児島市民文化ホール，鹿児島県，2007.6.23
- ・武田湖太郎，今井 樹，前田真治，樋渡正夫，渡辺英寿，加藤宏之：広範な外傷性大脳半球損傷で失語が生じなかった右手利き者の一症例－NIRSによる言語優位半球の同定－，第12回脳機能とリハビリテーション研究会，横浜国際会議場，横浜，2007.5.11
- ・前田真治，齋藤雅人，萩原摩里，南雲浩隆，菅原光晴，市川 勝，三浦慈子：ニンジン末入浴剤の効果について，第72回日本温泉気候物理医学会学術集会，小涌園，神奈川県箱根，2007.5.18-19
- ・前田真治，南雲浩隆，菅原光晴，市川 勝，三浦慈子：塩化ナトリウム温水 炭酸水素ナトリウム温水 二酸化炭素温水の保温効果，第72回日本温泉気候物理医学会学術集会，小涌園，神奈川県箱根，2007.5.18-19
- ・塩澤信良，上岡洋晴，齋藤雅人，前田真治：足浴における温泉浴の意識が自律神経活動および自覚的感觉に与える影響，第72回日本温泉気候物理医学会学術集会，小涌園，神奈川県箱根，2007.5.18-19
- ・前田真治，上月正博，田中尚文，永田雅章，馬庭壮吉，渡部一郎：臨床心理業務担当者に関するアンケート業務を行っている施設の現状と診療報酬への要望－，第44回日本リハビリテーション医学会学術集会，ポートピア国際会議場，神戸，2007.6.6-8
- ・永田雅章，上月正博，田中尚文，前田真治，馬庭壮吉，渡部一郎：臨床心理業務担当者に関するアンケート業務を行っていない施設の現状と国家資格に対する意見－，第44回日本リハビリテーション医学会学術集会，ポートピア国際会議場，神戸，2007.6.6-8
- ・渡部一郎，上月正博，田中尚文，永田雅章，前田真治，馬庭壮吉：リハビリテーション専門医の療法士養成教育と実習生受入教育の現状と課題－リハビリテーション関連専門委員会アンケート結果から－，第44回日本リハビリテーション医学会学術集会，ポートピア国際会議場，神戸，2007.6.6-8
- ・田中尚文，上月正博，永田雅章，前田真治，馬庭壮吉，渡部一郎：リハビリテーション専門医の所属機関と療法士卒前教育の経の関与の現状－リハビリテーション関連専門委員会アンケート結果から－，第44回日本リハビリテーション医学会学術集会，ポートピア国際会議場，神戸，2007.6.6-8
- ・馬庭壮吉，上月正博，田中尚文，永田雅章，前田真治，渡部一郎：療法士卒前教育に関与するリハビリテーション専門医の専門性と教育内容，第44回日本リハビリテーション医学会学術集会，ポートピア国際会議場，神戸，2007.6.6-8
- ・Watanabe Ichiro，Maeda Masaharu，Kohzuki Masahiro，Tanaka Naofumi，Nagata Masaaki，Maniwa Sokichi：The questionnaire survey of the in therapist education，5<sup>th</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)，COEX，Seoul，Korea，2007.6.10-14
- ・Masaharu Maeda，Masahiro Kohzuki，Naofumi Tanaka，Masaaki Nagata，Sohkichi Maniwa，Ichiro Watanabe：Clinico-psychological Worker for Rehabilitation Service in Japan: A National-wide Survey，5<sup>th</sup> International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)，COEX，Seoul，Korea，2007.6.10-14
- ・Sachiko Sumida，Naoto Kamide，Noriyuki Fujihashi，Hideaki Furusawa，Michinari Fukuda，Akimasa Kobayashi，

- Masaharu Maeda : Relationship between fractures and bone mineral density, physical functions in people who have severe disability in a residential facility, 15th International Congress of The World Confederation for Physical Therapy (WCPT), Vancouver, Canada, 2007.6
- ・ 前田真治 (主催者, 大会長) : 第22回日本RAリハビリ研究会学術集会, 田辺三菱製薬東京支社, 東京, 2007.11.10
  - ・ 前田真治 (座長) : 関節リウマチの生活障害, 第22回日本RAリハビリ研究会学術集会, 田辺三菱製薬東京支社, 東京, 2007.11.10
  - ・ 岡本連三, 前田真治 (司会) : 特別講演 1.リウマチ股・膝の術前術後のリハビリテーション, 第22回日本RAリハビリ研究会学術集会, 田辺三菱製薬東京支社, 東京, 2007.11.10
  - ・ 原 和子, 前田真治 (司会) : 特別講演 2.リウマチのスプリント 作業療法における位置づけ, 第22回日本RAリハビリ研究会学術集会, 田辺三菱製薬東京支社, 東京, 2007.11.10
  - ・ 川本昌代, 前田真治 (司会) : 特別講演 3.リウマチのリハビリテーション医療者に望むこと, 第22回日本RAリハビリ研究会学術集会, 田辺三菱製薬東京支社, 東京, 2007. 11.10
  - ・ K. Takeda, I. Imai, M. Maeda, H. Kato : Primary sensorimotor activation during affected hand grasping after hemiparetic stroke: A cross-sectional NIRS study, Neuro2007, The 30th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society, Neuroscience Research, 横浜国際会議場, 横浜, 2007.9.11-12
  - ・ 菅原光晴, 前田真治, 市川 勝, 南雲浩隆, 三浦慈子, 原麻里子 : 連合型視覚失認患者への視覚的イメージを用いたアプローチ, 第31回日本高次脳機能障害学会 教育講演, 和歌山市民会館, 和歌山, 2007.11.22-23
  - ・ 市川 勝, 前田真治, 菅原光春, 南雲浩隆, 三浦慈子, 原麻里子 : 右大脳半球損傷患者における談話特徴と認知機能の関連性の検討, 第31回日本高次脳機能障害学会 教育講演, 和歌山市民会館, 和歌山, 2007.11.22-23
  - ・ 前田真治, 南雲浩隆, 菅原光晴, 市川 勝, 三浦慈子, 原麻理子, 木地本朋奈, 佐々木譲 : 高濃度人工炭酸温水入浴によるエネルギー消費－水道水温水との比較－, 第12回人工炭酸泉研究会, 三菱丸の内ビル会議室, 東京, 2007.11.30
  - ・ 前田真治 (座長) : リハビリテーション2, 第33回日本脳卒中学会学術集会, 京都国際会議場, 京都, 2008.3.20-22
  - ・ K.Takeda, N. Shimoda 他5名 : Transient hyperactivation in bilateral motor related areas during recovery from poststroke mild hemiparesis - A study with NIRS, Brain'07 and BrainPET'07, The 23rd International Symposium on Cerebral Blood Flow and Metabolism & The 8th International Conference on Quantification of Brain Function with PET, Osaka, 2007.5.20-24
  - ・ J.Kaneko, N.Shimoda 他5名 : Measurement of cerebral activation during a weight-bearing task of a lower limb using near infrared spectroscopy, World Physical Therapy 2007, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
  - ・ N. Shimoda 他4名 : Comparison of local cerebral hemodynamic response in frontal and parietal cortices during a spatial cognitive task between normal left- and right-handed subjects: A NIRS study, 4th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Hong Kong Convention and Exhibition Center, Hong Kong, China, 2007.6.23-26
  - ・ K.Takeda, N. Shimoda 他5名 : Comparative study of motor related activation areas after hemiparetic stroke between well- and poorly recovered patients using near-infrared spectroscopy, Society for Neuroscience, 2007, San Diego Convention Center, San Diego, U.S.A, 2007.11.3-7
  - ・ N. Shimoda 他5名 : Local cerebral hemodynamic response in frontal and parietal cortices during mental rotation of hand: a near-infrared spectroscopy study, Society for Neuroscience, 2007, San Diego Convention Center, San Diego, U.S.A, 2007.11.3-7
  - ・ 武田湖太郎, 下田信明 他5名 : 脳卒中片麻痺患者の麻痺手運動時における運動関連領域計測－NIRSによる横断的検討－, 脳の機能発達と学習メカニズムの解明 第5回領域内報告会, 豊中, 2008.3.5
  - ・ Daisuke Hirano, Takamichi Taniguchi, Hiroyuki Iwasaki, Hideo Shimoizumi, motoko Sugihara : The therapeutic



- intervention for persons with multiple disabilities - case study using near-infrared spectroscopy-, Brain'07 and BrainPET'07 The 23<sup>rd</sup> International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism & Function The 8<sup>th</sup> International Conference on Quantification on Brain Function with PET, Osaka International Convention Center, Osaka, Japan, 2007.5.23
- ・平野大輔, 谷口敬道, 武田湖太郎, 岩崎博之, 下泉秀夫, 杉原素子: 近赤外分光法 (NIRS) を用いた重症心身障害児・者の刺激-応答の様相の明確化, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島サンロイヤルホテル, 鹿児島県鹿児島市, 2007.6.23
  - ・平野大輔, 谷口敬道, 武田湖太郎, 岩崎博之, 滝口慎一郎, 関戸真理恵, 下泉秀夫, 杉原素子: 重症心身障害児・者への療育的介入に役立つNIRSの使用, 第7回日本光脳機能イメージング研究会, 星陵会館, 東京都千代田区, 2007.7.14
  - ・平野大輔, 谷口敬道, 武田湖太郎, 岩崎博之, 滝口慎一郎, 関戸真理恵, 下泉秀夫, 杉原素子: 重症心身障害児・者の個別の応答の明確化 近赤外分光法 (NIRS) を用いた検討, 第33回日本重症心身障害学会学術集会, 高知市文化プラザ かるぼーと, 高知県高知市, 2007.9.28
  - ・Daisuke Hirano, Takamichi Taniguchi, Hiroyuki Iwasaki, Shinichiro Takiguchi, Marie Sekido, Hideo Shimoizumi, Motoko Sugihara: The therapeutic interevntion for persons with profound multiple disabilities: An near-infrared spectroscopy study, Society for Neuroscience 2007, San Diego Convention Center San Diego, California, USA, 2007.11.4
  - ・河野 眞, 桐本 光: 栃木県の特別支援教育推進事業において専門職はどんな役割を求められているか, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島市民文化ホール 他, 鹿児島県鹿児島市, 2007.6.22
  - ・Kono M, Hasegawa Y, Yasuda A, Kirimoto H: Help-seeking behavior of psychiatric patients in Siem Reap, Cambodia, 4<sup>th</sup> Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Hong Kong Convention & Exhibition Centre, Hong Kong, 2007.6.26
  - ・上田 茂, 小林清香, 佐野雅隆, 瀬戸屋雄太郎, 立森久照, 吉田光爾, 野口博文, 澁井 実, 河野 眞: 普及啓発の組織的・戦略的推進に関する研究, 平成17~19年度厚生労働科学研究費補助金 (障害保健福祉総合研究事業) 精神障害者の正しい理解を図る取り組みの組織的推進に関する研究報告会, 東京八重洲ホール, 東京都中央区, 2008.2.5
  - ・野田文隆, 阿部 裕, 井上孝代, 河野 眞 他: 日本に暮らす外国人のHelp-seeking行動の研究 (5) -マイノリティの「うつ」に対する捉え方と対処行動, 第15回多文化間精神医学会, 武蔵野大学, 東京都西東京市, 2008.3.21
  - ・鶴川 晃, 手塚千鶴子, 倉林るみ, 河野 眞 他: 日本に暮らす外国人のHelp-seeking行動の研究 (5) -ヴェトナム人の「うつ」の概念と支援探索行動の特徴について, 第15回多文化間精神医学会, 武蔵野大学, 東京都西東京市, 2008.3.21
  - ・野内 類, 飯田敏晴, 阿部 裕, 河野 眞 他: 日本と母国に暮らすペルー人の抑うつに対するHelp-seeking行動の類似点と相違点, 第15回 多文化間精神医学会, 武蔵野大学, 東京都西東京市, 2008.3.21
  - ・高橋きのみ, 谷口敬道 他: 「軽度層高齢者のケアプラン作成のための評価試案」に基づく対象者の類別化について, 第41回日本作業療法協会, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島県, 2007.6.23
  - ・小森裕一, 金子 哲, 高橋きのみ: ソフトネックカラー着脱の工夫と関節保護でQOLの向上を図った一例, 第22回日本RAのリハビリ研究会学術集会, 田辺製薬株式会社 東京事務所, 東京都, 2007.11.10
  - ・穴澤理絵, 藤田和美 (座長), 谷口敬道, 前田真治, 高橋きのみ: 施設内RA患者の肘のムチランス様変形に対する生活障害への対応, 第22回日本RAのリハビリ研究会学術集会, 田辺製薬株式会社 東京事務所, 東京都, 2007.11.10
  - ・大塚敬義, 高橋きのみ, 外山比南子: 作業療法学科の学生を対象とした電子カルテ実習授業の評価, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際展示場, 神戸市, 2007.11.23
  - ・林由美子, Pham T.N.A., Nguyen P.T: Development of occupational therapy in Ho Chi Minh City, Vietnam, through day care and home visit for patients with stroke and head injury by Vietnamese physical therapist., The 4th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2007, Hong Kong Convention and Exhibition Centre, Hong Kong, 2007.6.26

- ・北構由佳, 小賀野操, 藤田和美, 宮崎朋美, 加藤宏之: 治したい・焦りの気持ちが社会参加に向かうまでーサルコイドーシス頸髄炎の症例を通してー, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島県鹿児島市, 2007.6.23
- ・藤田和美, 武田湖太郎, 五味幸寛, 谷口敬道: 折り紙遂行時の脳活動に関する一考察ー近赤外分光法を用いてー, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島県鹿児島市, 2007.6.24

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・前田真治: 温泉の禁忌症，適応症および注意事項，環境省業務報告書 平成19年度温泉利用に関する掲示内容等についての医学的検討調査 2008年（研究代表者 日本温泉気候物理医学会理事長 猪熊茂子）
- ・前田真治: 企業からの研究寄付金2件，①クラシエホームプロダクツ株式会社（旧カネボウビューティケア研究所），②MRCホームプロダクツ
- ・林由美子（プロジェクトマネジャー），河野 眞（国内調整員） 他：ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業，JICA草の根技術協力事業（パートナー型），継続
- ・高橋幸加: 保健医療学 博士，保健医療専門職による教員への支援体制，2007.9.26

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・荻原喜茂: 日本精神障害リハビリテーション学会
- ・前田真治: 日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション専門医，リハビリテーション指導責任者）（評議員，関連専門職委員会委員長，安全管理ガイドライン策定委員会・委員長），日本脳卒中学会（脳卒中専門医）（評議員，雑誌査読委員），日本温泉気候物理医学会（温泉療法専門医）（理事（総務，会計担当，日本医学会連絡委員，専門医認定委員会委員，内保連リハビリテーション部門委員（日本温泉気候物理医学会代表）））（評議員），日本リウマチ学会（リウマチ専門医），日本内科学会（認定内科医），日本高次脳機能障害学会（評議員），日本神経心理学学会，日本義肢装具学会，日本リウマチのリハビリテーションケア研究会，国際リハビリテーション医学会（ISPRM），国際水治療法学会（ISMH）
- ・下田信明: 日本作業行動研究会，医療マネジメント学会栃木地方会，日本リハビリテーション連携科学学会，日本ヒト脳機能マッピング学会，日本老年社会科学学会，日本神経心理学学会，日本在宅ケア学会（編集委員会委員）
- ・谷口敬道: 日本作業療法学会（認定作業療法士），栃木県作業療法士会（副会長），日本重症心身障害学会，光脳機能イメージング研究会
- ・藤田 亘: 日本作業療法士協会（認定作業療法士）（学会演題審査委員）
- ・河野 眞: 多文化間精神医学会，World Federation of Occupational Therapists
- ・澁井 実: 日本精神科リハビリテーション学会，日本保健科学学会
- ・藤田和美: 日本高次脳機能障害学会
- ・渡邊清美: 日本作業療法士協会

#### 保健医療学部（言語聴覚学科）

#### 著書

- ・城間将江, 小渕千絵, 大金さや香 他: 聴覚障害学Ⅰ・Ⅱ 演習テキスト, 監修・人工内耳, 国際医療福祉大学, 2007.4

- ・新美成二：口と歯の事典，口と言葉の関わり，66-76，朝倉書店，2007
- ・畦上恭彦（部分執筆）：特別支援教育－理解と支援のために－，言語障害，136-145，福村出版，2008
- ・柴本 勇（分担執筆）：NST－事例でわかる栄養療法の進め方－，解説集，80-244，（株）中山書店，2007
- ・柴本 勇（分担執筆）：摂食・嚥下障害を考える～口から食べる幸せづくり～，摂食・嚥下訓練と食事，37-43，（株）カザン，2007
- ・柴本 勇（分担執筆）：管理栄養士技術ガイド，摂食・嚥下障害の栄養ケア・マネジメント技術，365-374，（株）文光堂，2008
- ・田中裕美子（分担執筆）：発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論，第3章 特異的言語発達障害とその周辺，141-158，医学書院，2007.6
- ・田中裕美子（分担執筆）：言語聴覚士のための言語発達障害学，SLI－近年の研究知見のまとめ：英語圏を中心に－，202-209，医歯薬出版株式会社，2008.2
- ・田中裕美子（分担執筆）：言語聴覚士のための言語発達障害学，言語学習障害（LLD）に関連する近年のトピックス，231-237，医歯薬出版株式会社，2008.2
- ・前新直志（分担執筆），B. Guitar（著），長澤泰子（編集）：Stuttering An integrated approach－吃音の基礎と臨床－統合的アプローチ，第2章 吃音の体質的要因，29-65，学苑社，2007

## 原著論文

- ・石川信幸，藤田郁代，菅野倫子 他：失語症における言語性保続の発現機序の検討，言語聴覚研究，4(2)，111-119，2007.7
- ・菅野倫子，藤田郁代：失語症の文発話における動詞提示の効果－非流暢性失語と流暢性失語の比較，言語聴覚研究，4(3)，141-149，2007.11
- ・磯貝 豊：音声障害に対する内視鏡的アプローチ Part1.X線ストロボスコーピーによる声帯振動の解析－声帯振動の本質（traveling wave theory）－，音声言語医学，48(2)，133-138，2007
- ・磯貝 豊：音声障害に対する内視鏡的アプローチ Part2.喉頭ストロボスコーピーによる声帯振動の記録－喉頭内視鏡と喉頭ストロボスコープのマッチング－，音声言語医学，48(2)，139-152，2007
- ・Shibamoto I, Tanaka T, Fujishima I, Katagiri N, Uematsu H：Cortical activation during solid bolus swallowing, Journal of Medical and Dental Sciences, 54, 25-30, 2007
- ・浦由希子，田中裕美子：機能性構音障害と読み書き障害との関連について，国際医療福祉大学紀要，12(2)，35-41，2007
- ・森田秋子，小林修二：半側空間無視が基本ADLに与える影響，総合リハビリテーション，35，799-804，2007
- ・小淵千絵：聴覚情報処理検査（Auditory processing disorder; APD）の現状と課題，聴覚言語障害，36(1)，2007.4
- ・川崎聡大，田口智子，小淵千絵，福島邦博，長安吏江，椿坂康之：右側頭－頭頂葉に局所脳血流量の低下を示した聴覚情報処理障害小児例，言語聴覚研究，5(1)，3-9，2008.3

## 総説

- ・柴本 勇：多種ある嚥下食を適正に使用し臨機応変な対応を，ヘルスケアレストラン，2007.5，27，2007
- ・谷合信一，柴本 勇：仮性球麻痺患者の評価と訓練，Medical Rehabilitation，88，29-38，2008
- ・柴本 勇：“薬を飲む”を助けるケア，エキスパートナース，24，50-53，2008
- ・森田秋子：失語症患者に対する継続的指導と援助のあり方，MEDICALREHABILITATION「実践脳卒中リハビリテーション」，85，194-202，2007

- ・ 谷合信一, 柴本 勇: 特集 すぐに役立つ 摂食・嚥下障害治療のコツ 仮性球麻痺患者の評価と訓練, MB Med Reha, 88, 29-38, 2008

## 研究報告

- ・ 新美成二: 喫煙時の鼻咽腔動態に関する生理学的研究, 喫煙科学研究財団研究年報, 平成18年度, 307-311, 2007
- ・ 畦上恭彦: コミュニケーションとリハビリテーション-INREALからの視座一, リハビリテーション教育研究, 12, 30-36, 2007
- ・ 田中裕美子 (代表者): 学習障害児早期発見スクリーニング法開発のための縦断研究, 文部科学省基盤研究補助金実績報告書, 2007.5
- ・ 田中裕美子 (代表者): ことばの遅れか障害かを文法習得の躰きで判定する方法に関する研究, 文部科学省萌芽研究補助金実績報告書, 2007.5
- ・ 小淵千絵: 聴覚障害児の読解・鑑賞力と構文力に関する検討, 文部科学研究費補助研究(B) H19年度研究成果報告書, 2008.3

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 藤田郁代: 脳と統語障害, コミュニケーション研究会, 都立豊島病院, 東京都, 2007.12
- ・ 磯貝 豊: 下咽頭内視鏡検査のコツ, 第3回「音声・嚥下・呼吸の懇話会」日本耳鼻咽喉科学会城北ブロック耳鼻咽喉科医会, 東武ホテルレバント東京, 東京都墨田区, 2008.11.29
- ・ 城間将江: 学童期の人工内耳装用児の指導①・②, 横浜市教育委員会, 横浜市立豊学校, 横浜市, 2007.6.18, 2007.7.23
- ・ 城間将江: 人工内耳の適応と課題, 都立大塚聾学校, 都立大塚聾学校, 東京, 2007.7.24
- ・ 城間将江: 人工内耳(リ)ハビリテーションーその成果と今後の課題, 全国早期支援研究協議会, アビオ青森, 青森市, 2007.7.31
- ・ 城間将江: 人工内耳幼児の家族指導, 和歌山医科大学耳鼻科, 和歌山医科大学, 和歌山, 2007.9.30
- ・ 新美成二: 病気と調音 神様からいただいた謎, 日本音声学会, 名古屋大学, 名古屋, 2007.9.22
- ・ 新美成二: 神経筋疾患と話し言葉の障害, 口腔先天異常・言語学講座講演会, 愛知学院大学歯学部, 名古屋, 2008.2.23
- ・ 新美成二: 歌を見る 発声と声帯, 春季国際声楽アカデミー, 神戸大学発達科学部, 神戸, 2008.3.28
- ・ 畦上恭彦: 脳科学と子どもの発達ーことばの発達と保育者の関わりー, トップセミナー, 栃木県総合教育センター, 栃木県宇都宮市, 2007.11.7
- ・ 畦上恭彦: のびのび発達相談における観察ポイントおよび具体的な支援について, 南那須地区保健師業務研究会, 那珂川町小川保健管理センター, 栃木県那珂川町, 2008.1.9
- ・ 畦上恭彦: 栃木県におけるネットワーク構築の現状について, とちぎ発達障害研究会, 宇都宮市サン・アビリティーズ, 栃木県宇都宮市, 2008.1.14
- ・ 畦上恭彦: 特別支援教育の理念の実現のために, 第33回埼玉特別支援教育研究協議会, 越谷市中央市民会館, 埼玉県越谷市, 2008.1.16
- ・ 柴本 勇: 直接訓練・間接訓練の進め方～ナースができる効果的な方法～, エキスパートナースフォーラム, パシフィック横浜, 神奈川県, 2007.4.22
- ・ 柴本 勇: 直接訓練・間接訓練の進め方～ナースができる効果的な方法～, エキスパートナースフォーラム, 京都国際会議場, 京都府, 2007.4.29

- ・柴本 勇：摂食・嚥下リハビリテーションの実際とそのポイント，国際医療福祉大学言語聴覚センターミニセミナー，国際医療福祉大学，栃木県，2007.5.22
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害の臨床～おいしい食事をいつまでも～，ピクルスの会，鹿児島県，2007.6.9
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害の基礎知識，聖隷福祉事業団キャリア支援事業 専門コース，神戸市民交流センター，兵庫県，2007.6.29
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害へのアプローチ，能代山本地区 栄養勉強会，秋田県，2007.7.3
- ・柴本 勇：脳卒中急性期における摂食・嚥下リハビリテーションの現状と課題，プレタール散20% 発売記念講演会，ホテルニューオータニ，東京都，2007.7.28
- ・柴本 勇：経口摂取を目指すとは！－摂食・嚥下障害のリハビリテーションを語る，国際医療福祉大学 第9回卒後研修会，国際医療福祉大学東京キャンパス，東京都，2007.8.5
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害の臨床における食物形態レベルとその選択，タバダス主催 嚥下障害学術講演会，明治乳業本社会議室，東京都，2007.9.16
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害の基礎知識，聖隷福祉事業団キャリア支援事業 専門コース，和合せいれいの里，静岡県，2007.9.28
- ・柴本 勇：「食べるとは」摂食・嚥下障害のケア リハビリテーションと栄養，長野県栄養士会講演会，飯田市保健センター，長野県，2007.10.5
- ・柴本 勇：言語聴覚士からみた嚥下障害への対応，オレンジ臨床栄養研究会学術講演会，東京医科大学八王子医療センター，東京都，2007.10.13
- ・柴本 勇：「食べる」－摂食・嚥下障害とそのリハビリテーション，信貴山病院研修会，信貴山病院会議室，奈良県，2007.10.26
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害の基礎と実際，北九州摂食嚥下研究会，福岡県，2007.11.11
- ・柴本 勇：食べるケアとリハビリテーション，聖隷福祉事業団キャリア支援事業 専門コース，神奈川県，2007.11.13
- ・柴本 勇：摂食・嚥下リハビリテーション，北海道言語聴覚士会 研修会，札幌難病センター会議室，北海道，2007.11.24
- ・柴本 勇：研究法序論，日本言語聴覚士協会 全国研修会，慶應義塾大学医学部，東京都，2007.12.9
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害の臨床，浜松大学健康プロデュース学部講演会，浜松大学，静岡県，2007.12.11
- ・柴本 勇：食べるケアとリハビリテーション，聖隷福祉事業団キャリア支援事業 専門コース，神戸市福祉会館，兵庫県，2008.1.25
- ・柴本 勇：嚥下とコミュニケーション障害～言語療法の実際～，（財）地域社会振興協会主催リハビリテーション研修会，自治医科大学，栃木県，2008.2.3
- ・柴本 勇：摂食・嚥下リハビリテーション－臨床の実際と職種間連携，山陰言語聴覚士協会研修会，鳥取大学医学部，鳥取県，2008.2.10
- ・柴本 勇：嚥下障害の理論と実践，富山県言語聴覚士協会研修会，富山県，2008.2.24
- ・柴本 勇：摂食・嚥下訓練の手技と適応，国際医療福祉大学 臨床実習指導者会議，国際医療福祉大学，栃木県，2008.3.1
- ・柴本 勇：摂食・嚥下障害とそのリハビリテーション，栃木県透析懇談会 研修会，宇都宮東コミュニティーセンター，栃木県，2008.3.13
- ・柴本 勇：経口摂取実現に向けたアクションプラン，福岡NST懇話会，福岡県，2008.3.29
- ・田中裕美子，Jenny Roberts：話しことばと書きことばの関係 発達と障害，第2回言語発達障害研究分科会，北里大学

白金校舎, 東京, 2007.8.5

- ・ 田中裕美子 : 学習の躓きの原因を考えるーLLDの理解と支援から, 2007年度日本語教育学会秋季大会 障がいのある学習者と日本語教育, 龍谷大学深草キャンパス, 京都, 2007.10.6
- ・ 田中裕美子 : 生涯発達における文法能力ー障害から言語の本質に迫る ことばの遅れと言語発達障害の早期判別のために, 第19回日本発達心理学会言語発達分科会シンポジウム, 大阪国際会議場, 大阪, 2008.3.19
- ・ 森田秋子 : 生涯学習基礎講座 職種間連携論, 日本言語聴覚士協会, 千葉県言語聴覚士会, 千葉市民会館, 千葉県千葉市, 2007.11.25
- ・ 森田秋子 : 高次脳機能障害を持つ方々への支援, 目黒区社会福祉課, 目黒区社会福祉協議会あいアイ館, 東京都目黒区, 2007.11.26
- ・ 森田秋子 : これからのリハビリテーションを考える, 戸田中央グループ, 戸田リハビリテーション病院, 2008.3.15
- ・ 前新直志 : 吃音指導の考え方と実践, 下越地区公立学校言語難聴教育研究会, 新潟市立鏡淵小学校, 新潟市, 2007.10.17
- ・ 前新直志 : 構音障害の指導法ー歪み音の治療ー, 栃木県小学校教育研究会言語難聴班県南市部, 大平小学校, 栃木市, 2007.11.19
- ・ 前新直志 : 口蓋化構音と側音化構音の治療, 栃木県小学校教育研究会特別支援教育部会言語難聴班, 栃木県総合教育センター, 宇都宮市, 2007.12.21
- ・ 谷合信一 : 言語障害治療学, 群馬大学, 群馬県前橋市, 2007.5
- ・ 谷合信一 : 口腔ケア・聴こえについて, 大田原市介護予防リーダー養成研修, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2007.6.14, 2007.10.18

## 学会発表

- ・ 藤田郁代 (座長) : 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・ 稲森美千代, 藤田郁代 : 高齢者と若年者の語想起能力の差異に関する研究ー語の検索ストラテジーからの検討, 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・ 小森規代, 佐藤妙子, 藤田郁代 : 側頭葉後下部病変による漢字失書例の書字と健常者の書き誤りの比較, 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・ 内海景子, 藤田郁代, 山本瑞穂 : 仮名1文字は読めるが, 単語音読が困難な伝導失語例に対する仮名文字訓練の試み, 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・ 山本瑞穂, 藤田郁代, 森田秋子, 内海景子 : 重度失語症患者に対する描画訓練の検討, 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・ 森田秋子, 藤田郁代, 山本瑞穂, 谷合信一 : 本学における関連職種連携実習の報告, 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.3
- ・ 立山有希, 藤田郁代 : ワーキングメモリ容量に情報処理の複雑さが及ぼす影響, 第8回日本言語聴覚学会, アクトシティー浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.3
- ・ 菅野倫子, 藤田郁代, 石川信幸 他 : 左後大脳動脈閉塞により漢字の失書を呈した一例, 第31回日本神経心理学会, 金沢エクセルホテル東急, 石川県金沢市, 2007.9.28
- ・ 藤田郁代 (座長) : 第31回日本高次脳機能障害学会, 和歌山県民文化会館, 和歌山県和歌山市, 2007.11.22
- ・ 菅野倫子, 藤田郁代, 石川信幸 他 : 左前頭葉病変により関係節文の理解障害を呈した一例ー文構造の解析と発見的方略の関係, 第31回日本高次脳機能障害学会, 和歌山県民文化会館, 和歌山県和歌山市, 2007.11.22
- ・ 森田秋子, 小林修二, 近藤晴彦, 川島朝子, 山本瑞穂, 藤田郁代 : 回復期リハビリテーション病棟入院時と退院時に

- における基本的コミュニケーションの変化の検討, 第31回日本高次脳機能障害学会, 和歌山県民文化会館, 和歌山県和歌山市, 2007.11.23
- ・ 秦 若菜, 藤田郁代, 安田菜穂 他: 失語症患者における構文障害の特徴—自動詞と他動詞の接尾辞の処理からの検討, 第31回日本高次脳機能障害学会, 和歌山県民文化会館, 和歌山県和歌山市, 2007.11.23
  - ・ 佐藤妙子, 藤田郁代, 小森規代 他: 初期アルツハイマー型認知症患者の呼称能力に関する研究, 第31回日本高次脳機能障害学会, 和歌山県民文化会館, 和歌山県和歌山市, 2007.11.23
  - ・ 磯貝 豊: Day Surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術 (VELMS) (栃耳鼻第4報), 第93回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部学術講演会第Ⅱ群5番 2007, ニューミヤコホテル, 栃木県足利市, 2007.6.3
  - ・ 磯貝 豊: Day Surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術 (VELMS) (栃耳鼻第5報), 第94回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部学術講演会第Ⅰ群4番 2007, ニューイタヤホテル, 栃木県宇都宮市, 2007.9.8
  - ・ 磯貝 豊: ABCI法による純音聴力検査の図解マスキング法—悪聴気導聴力レベルの陰影聴取の検定法の1: マスキング無しに求めた良聴気導聴力レベルと良聴骨導聴力レベルに差が無いケース—, 第52回日本聴覚医学会聴覚検査3第39群聴覚検査3: 168番: Audiology Japan 50(5): 597-598 2007, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.10.5
  - ・ 磯貝 豊 (座長): Day Suregeryによるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術 (VELMS) の検討—手術所見と創傷治癒の関係について—, 第52回日本音声言語医学会 第1群音声外科Ⅰ: 1A-1-3 2007, 国立身体障害者リハビリテーションセンター, 埼玉県所沢市, 2007.10.26
  - ・ 磯貝 豊: 下咽頭スコープでは, なぜフード装着だけでは駄目で, 持続送気の併用が必要なのか?, 第58回日本気管食道科学会 ビデオ第4群咽喉頭3. V15 2007, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.11.2
  - ・ 磯貝 豊: 下咽頭スコープにおける持続送気法の工夫—耳鼻咽喉科診療用ユニットの通気装置の利用法—, 第58回日本気管食道科学会 ビデオ第3群咽喉頭2. V8 2007, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.11.2
  - ・ 磯貝 豊 (座長): 第59回日本気管食道科学会一般演題ポスター 音声, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.11.2
  - ・ 磯貝 豊: フードと持続送気を併用した下咽頭スコープの症例—下咽頭梨状陥凹と憩室—, 第58回日本気管食道科学会 ビデオ第3群咽喉頭2. V9 2007, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.11.2
  - ・ 磯貝 豊: 扁桃内膿瘍と扁桃周囲膿瘍におけるMRIの意義, 第95回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部学術講演会第Ⅰ群2番 2007, 自治医科大学地域医療情報研修センター1F大会議室, 栃木県下野市, 2007.12.9
  - ・ 磯貝 豊: 非定型的喉頭真菌症に対する経口抗真菌剤の使用経験, 第20回日本喉頭科学会第1群: 炎症・嚢胞6番 2008, ルネッサンスホテル創世, 佐賀県佐賀市, 2008.3.13
  - ・ 磯貝 豊: Hypopharyngoscopy by a Video-laryngo-hypopharyngoscope(EH-1530T2.Pentax Co.,Ltd.), The 15th World Congres for Bronchoesophagology (WCBE). V\_02\_01: 2008, Keio Plaza Hotel, Tokyo, Japan, 2008.3.31
  - ・ 磯貝 豊: Video-endoscopic laryngomicrosurgery (VELMS) under local anesthesia, The 15th World Congres for Bronchoesophagology (WCBE). V\_02\_02: 2008, Keio Plaza Hotel, Tokyo, Japan, 2007.3.31
  - ・ 城間将江 (座長): 日本言語聴覚士学会, アクトシティ浜松, 浜松市, 2007.6.2
  - ・ 後藤明菜, 新美成二 他: 声帯に所見の乏しい音声障害への対応, 耳鼻咽喉科リハビリテーション研究会, 日本医科大学, 東京, 2007.4.7
  - ・ 新美成二 (座長): 睡眠時無呼吸症候群と胃食道逆流症, GERD研究会, パレスホテル, 東京, 2007.6.9
  - ・ 新美成二, 後藤明菜, 田山二郎, 今川 博: 喫煙時の鼻咽腔動態に関する研究, 喫煙科学財団研究発表会, 虎ノ門パストラル, 東京, 2007.7.12
  - ・ 新美成二 (座長): Main Report: Degenerative dysarthria, 国際音声言語医学会, Technical Univ. of Denmark, Copenhagen, Denmark, 2007.8.7
  - ・ 磯貝 豊, 新美成二 他: Day surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術の検討, 日本音声言語医学会, 国立

身体障害者リハビリテーションセンター，所沢，2007.10.26

- ・ 楠山敏行，新美成二 他：声帯結節の治療方針，日本音声言語医学会，国立身体障害者リハビリテーションセンター，所沢，2007.10.26
- ・ 佐藤麻美，新美成二 他：変声障害に対する音声治療，日本音声言語医学会，国立身体障害者リハビリテーションセンター，所沢，2007.10.26
- ・ 榊原健一，新美成二 他：喉頭の絞扼メカニズムの筋電図学的考察，日本音声言語医学会，国立身体障害者リハビリテーションセンター，所沢，2007.10.26
- ・ 新美成二（座長）：ランチョンセミナー 音響分析による音声検査，日本喉頭科学会，ルネッサンスホテル創世，佐賀，2008.3.14
- ・ 磯貝 豊，新美成二 他：非定型的喉頭真菌症に対する経口真菌剤の使用経験，日本喉頭科学会，ルネッサンスホテル創世，佐賀，2008.3.14
- ・ 楠山敏行，新美成二 他：声門閉鎖不全に対する声帯内ヒアルロン酸注入術の経験，日本喉頭科学会，ルネッサンスホテル創世，佐賀，2008.3.14
- ・ 森 有子，新美成二 他：声帯のmucosal pocket（仮称）の一症例，日本喉頭科学会，ルネッサンスホテル創世，佐賀，2008.3.14
- ・ 畦上恭彦：脳イメージングを用いた語彙習得（lexical mapping）の賦活法の検討（その1），第33回日本コミュニケーション障害学会，鶴見大学記念館，神奈川県横浜市，2007.6.23
- ・ 畦上恭彦：大田原市母子保健事業「すくすく教室」の開催意義と効果—生活の中で育む心とことば—，第11回 Four Winds全国大会in栃木，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2007.11.24
- ・ 柴本 勇（座長）：日本言語聴覚学会，アクトシティ浜松，浜松市，2007.6.2
- ・ 柴本 勇（座長）：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，大宮ソニックシティ，埼玉県，2007.9.14
- ・ 柴本 勇（ランチョンセミナー講師）：摂食・嚥下訓練を行う立場から見た食事提供のあり方，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，大宮ソニックシティ，埼玉県
- ・ 柴本 勇：介護予防の効果評価とその実効性を高めるための地域包括ケアシステムのあり方に関する実証研究，平成19年度長寿科学総合研究事業研究報告会，国立社会保障・人口問題研究所 会議室，東京，2007.12.7
- ・ 田中裕美子，石田宏代，青木さつき 他：SLIスペクトラム，第33回コミュニケーション障害学会学術講演会 ワークショップ，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24
- ・ 田中裕美子，小田部夏子：RTI (Responsiveness To Intervention)に基づく軽度発達障害児の発見と指導 通常学級におけるLDスクリーニングのプロセス，第33回コミュニケーション障害学会学術講演会，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24
- ・ 浦由希子，田中裕美子：軽度発達障害児における読み書きの問題 音韻処理能力からの検討，第33回コミュニケーション障害学会学術講演会，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24
- ・ 青木さつき，入山満恵子，田中裕美子：軽度発達障害の言語特徴Ⅰ—小1の3事例—，第33回コミュニケーション障害学会学術講演会，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24
- ・ 小林健史，田中裕美子：軽度発達障害の言語特徴Ⅱ—年長と小1の2事例—，第33回コミュニケーション障害学会学術講演会，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24
- ・ 遠藤重典，浦由希子，小田部夏子，畦上恭彦，田中裕美子：fMRIからみた読み・音韻処理における子どもの脳機能，第33回コミュニケーション障害学会学術講演会，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24
- ・ 畦上恭彦，田中裕美子，遠藤重典，谷口敬道：脳イメージングを用いた語彙習得における大脳半球の賦活法の検討（1），第33回コミュニケーション障害学会学術講演会，鶴見大学記念館，横浜市，2007.6.23-24



- ・武藤由貴子, 熊谷浩路, 秋田一子, 田中裕美子: 学童期における発達障害の比較検討ー音韻・意味・語用の側面から, 第33回コミュニケーション障害学会学術講演会, 鶴見大学記念館, 横浜市, 2007.6.23-24
- ・中平智子, 小川いずみ, 浦由希子, 田中裕美子: 心の理論課題成績に関する要因ーテストの誘発方法の影響, 第33回コミュニケーション障害学会学術講演会, 鶴見大学記念館, 横浜市, 2007.6.23-24
- ・Y. Tanaka, Welty: The efficacy of RTI-based screening of LD/RD in Japanese schools, American Speech Language Hearing Association, Boston, USA, 2007.11.15-19
- ・田中裕美子, 小田部夏子, 秋田一子: RTI (Responsiveness To Intervention)に基づくLDスクリーニング, 日本LD学会第16回大会, 横浜市民文化会館, 横浜市, 2007.11.23
- ・浦由希子, 遠藤重典, 田中裕美子: 読み書きに問題をもつ軽度発達障害児に対する読み指導の効果について, 日本LD学会第16回大会, 横浜市民文化会館, 横浜市, 2007.11.23
- ・遠藤重典, 浦由希子, 田中裕美子: Decoding (音ー文字連合)に関する脳機能ーfMRIを用いて, 日本LD学会第16回大会, 横浜市民文化会館, 横浜市, 2007.11.24
- ・長安吏江, 川崎聡大, 小淵千絵, 本多千穂, 福島邦博, 西崎和則: 純粋聴覚情報処理障害 (Auditory Processing Disorder; APD) 症例の障害機序ーAPD診断に必要とされる聴覚心理学的検査及び神経心理学的検査所見ー, 第8回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会, アクティ浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・田口智子, 川崎聡大, 小淵千絵, 長安吏江, 児山昭江, 赤澤啓史, 福島邦博: 聴覚情報処理障害 (APD) を呈した就学前一例ー認知神経心理学的特性と介入経過からー, 第8回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会, アクティ浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.2
- ・大賀健太郎, 小淵千絵, 霜山孝子, 篠山淳子: 成人の注意欠陥障害とアスペルガー障害にみられた聴覚処理障害について, ヒューマンインターフェイスシンポジウム, 工学院大学, 東京都新宿区, 2007.9.6
- ・小淵千絵, 原島恒夫, 川崎聡大: 聞き取りの問題を抱える軽度発達障害児の聴覚情報処理についてー聴覚情報処理障害 (APD) に類似した症状を持つ児への評価ー, 第54回日本特殊教育学会学術大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.9.23
- ・小川征利, 加藤登美子, 小淵千絵, 原島恒夫, 堅田明義: 聴覚処理障害 (Auditory Processing Disorders; APD) の実態に関する調査, 第54回日本特殊教育学会学術大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.9.24
- ・小淵千絵, 廣田栄子: 聴覚障害児の読解力と関連要因に関する検討, 第52回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.10.5
- ・廣田栄子, 小淵千絵, 木暮由季: 聴覚障害児における物語産生能力の評価法の検討, 第52回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.10.5
- ・前新直志 (座長): 吃音群, 日本コミュニケーション障害学会, 鶴見大学, 神奈川横浜市, 2007.6
- ・前新直志: 健常者における舌・口唇の筋力増強訓練の効果, 日本言語聴覚学会, アクティ浜松, 静岡県浜松市, 2007.6.3
- ・前新直志: 軽度発達障害と吃音のある学齢児の臨床特徴, 日本特殊教育学会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.9
- ・前新直志 (座長): 吃音群II, 日本音声言語医学会, 国立身体障害者リハビリテーションセンター, 埼玉県所沢市, 2007.10
- ・佐藤妙子: 初期アルツハイマー型認知症の呼称能力に関する研究, 日本高次脳機能学会, 和歌山市民文化会館, 和歌山, 2007.11.23

### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・加我君孝，城間将江 他：先天性難聴児の聴覚スクリーニングから就学後までの補聴器・人工内耳装用効果の総合追跡研究，平成18年度厚生労働科研補助金感覚器障害研究事業，感覚器障害，一般
- ・川越雅弘，柴本 勇：介護予防の効果評価とその実効性を高めるための地域包括ケアシステムのあり方に関する実証研究，厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業，一般，019，採
- ・田中裕美子（代表者）：学習障害児早期発見スクリーニング法開発のための縦断研究，文部科学省科学研究費補助金，基盤研究B，17330203，継続
- ・田中裕美子（代表者）：ことばの遅れか障害かを文法習得の躓きで判定する方法に関する研究，文部科学省科学研究費補助金，萌芽研究，18653121，継続
- ・小淵千絵：高齢者への早期補聴器装用指導による認知症予防の効果，文部科学研究費補助研究，若手研究(B)，新規採択
- ・原島恒夫（研究代表者），小淵千絵（分担研究）：聴覚処理障害児のスクリーニングおよび評価方法の開発，文部科学研究費補助研究，基盤研究(C)，新規採択
- ・原島恒夫（研究代表者），小淵千絵（分担研究）：聴覚障害児の書記リテラシーの評価と指導法の開発に関する研究，文部科学研究費補助研究，基盤研究(B)，継続採択
- ・藤本裕人，西牧謙吾，藤井茂樹，梅津亜希子，森田安德，前新直志：通常の学級で学習する障害のある子どもの日本語の音韻・音節の認識に関する研究－書き言葉において間違え易い日本語の特殊音節の特性の分析と指導法の開発，国立特殊教育総合研究所，平成18年－19年 課題別研究

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・小淵千絵：日本聴覚医学会 第5回研究奨励賞，聴覚障害児の韻律識別力と聴覚活用に関する検討，2007.10.3
- ・谷合信一：修士（保健医療学），摂食・嚥下障害の予後に関する研究－経口摂取可否に関する要因の検討，2008.3.7

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・藤田郁代：日本音声言語医学会（理事，評議員，研修委員会委員），日本神経心理学会（理事，学会誌編集委員），日本高次脳機能障害学会（理事，評議員，学会誌編集委員），日本リハビリテーション医学会，日本語聴覚学会（学会誌編集委員長，プログラム委員），言語障害臨床学術研究会（世話人），日本神経疾患医療福祉従事者学会（評議員），学術誌「総合リハビリテーション」（編集委員），学術誌「作業療法ジャーナル」（編集同人）
- ・磯貝 豊：日本耳鼻咽喉科学会（専門医），日本気管食道科学会（専門医）（評議員，代表幹事，専門医制度委員会委員長），日本音声言語医学会（評議員），日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部会（産業・環境保健委員長）
- ・城間将江：日本語聴覚士学会（教務委員，国際部委員），日本聴覚医学会，日本音声言語医学会（評議員），日本語聴覚士学会，Society of Asian Pacific Cochlear Implant and Related Sciences（世話人），American Speech-Language-Hearing Association，AG Bell Association，American Academy of Audiology，Asia Pacific Society For the Study of Speech, Language, and Hearing
- ・新美成二：日本耳鼻咽喉科学会（専門医）（聴・平衡・言語委員会委員長），日本気管食道科学会（専門医）（顧問），日本音声言語医学会（顧問），日本口蓋裂学会（名誉会員），日本嚥下医学会（理事），日本喉頭科学会（理事），日本発声指導者協会（副理事長），国際音声言語医学会（理事），CoMeT（国際舞台芸術医学会）（理事），東アジア音声外科研究会（理事）
- ・畦上恭彦：日本語聴覚学会，日本高次脳機能障害学会，日本音声言語医学会，日本特殊教育学会，日本LD学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，日本コミュニケーション障害学会（常任理事），日本赤ちゃん学会

- ・柴本 勇：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（評議員，査読委員），（独）国立健康・栄養研究所 栄養教育プログラム 食介護研究会（世話人），Dysphagia Research Society，Human Brain Mapping，Asia Pacific Society for the study of Speech, Language, and Hearing，日本音声言語医学会，日本嚥下臨床研究会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会
- ・森田秋子：日本言語聴覚士学会，日本老年医学会，日本高次脳機能学会，日本神経心理学会
- ・小淵千絵：日本心理学会，日本特殊教育学会，日本聴覚医学会，日本音声言語医学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本聴覚言語障害学会，日本生理心理学会
- ・前新直志：日本音声言語医学会，日本言語聴覚士協会，日本特殊教育学会，日本コミュニケーション障害学会，日本聴覚言語障害学会，日本発達心理学会，新潟歯学会，International Fluency Association
- ・小田部夏子：日本言語聴覚士協会，日本神経心理学会，日本コミュニケーション障害学会，日本LD学会
- ・佐藤妙子：日本高次脳機能学会，日本神経心理学会
- ・谷合信一：日本言語聴覚学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本音声言語医学会，日本高次脳機能障害学会
- ・山本瑞穂：日本言語聴覚学会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本音声言語医学会

## 保健医療学部（視機能療法学科）

### 著書

- ・新井田孝裕（分担）：今日の眼疾患治療指針（第2版），検査総論－筋電図－，737-738，医学書院，2007.10.15
- ・小原喜隆：前眼部アトラス（眼科プラクティス），副甲状腺白内障，398，文光堂，2007

### 原著論文

- ・新田任里江，清水公也，新井田孝裕：モノビジョン法における眼優位性の影響－第1報 優位眼の矯正状態による視機能への影響－，日眼会誌，111(6)，435-440，2007.6.10
- ・新田任里江，清水公也，新井田孝裕：モノビジョン法における眼優位性の影響－第2報 眼優位性の強さが視機能に及ぼす影響－，日眼会誌，111(6)，441-446，2007.6.10
- ・藤田純子，中田かづき，松林修子，新井田孝裕：視能訓練士教育における他職種との連携実習，日本視能訓練士協会誌，36，155-160，2007
- ・三柴恵美子，宇賀茂三，清水公也，白谷 徹，前田幸子，米川博通：RCTマウス遺伝性白内障の形態学的研究，あたらしい眼科，25(2)，227-237，2008
- ・柏渕真紀，北澤秀明，宇賀茂三，新井田孝裕，福島一哉：後囊側損傷に対するマウス水晶体の反応，あたらしい眼科，25(2)，238-248，2008
- ・Kikuchi M，Zub C，Obara Y，Joyce NC，Senoo T：p27kip1 siRNA induces proliferation in corneal endothelial cells from young but not older donors，Inv Ophthalmol & Vis Sci，47(11)，4803-4809，（2006）
- ・Matsushima H，Iwamoto H，Mukai K，Senoo T，Obara Y：Prevention of posterior capsule opacification using round-edged PMMAIOL，J Cataract Refract Sur，33，1133-1134，2007
- ・Senoo T，Chiba K，Terada O，Hasegawa K，Obara Y：Visual acuity prognosis after anterior chamber air replacement to prevent pseudo-anterior chamber formation after deep lamellar keratoplasty，Jpn J Ophthalmol，51，181-184，2007

- ・野堀秀穂, 松島博之, 高橋佳二, 小原喜隆: 各種スリットナイフによる創形成および石灰創への負荷, 眼科手術, 20(2), 247-250, 2007
- ・向井公一郎, 松島博之, 妹尾 正, 小原喜隆: 粘弾性物質を応用した蒸留水灌流と後発白内障抑制, あたらしい眼科, 24(6), 809-814, 2007
- ・永田真由美, 松島博之, 向井公一郎, 妹尾 正, 小原喜隆: 加齢白内障症例の前房水と水晶体蛋白質の成分解析, あたらしい眼科, 24(8), 1095-1098, 2007
- ・橋本浩隆, 高橋二郎, 筑田 眞, 小原喜隆: 白内障手術後におけるアスタキサンチン炎症抑制効果, あたらしい眼科, 24, 1357-1360, 2007
- ・四ノ宮佑馬, 山田徹人, 新井田孝裕: 正常者における交代遮蔽時の衝動性眼球運動の潜時, 眼科臨床医報, 101(2), 188-191, 2007

## 総説

- ・宇賀茂三: 形態学的にみた白内障発症機序, 湘西の眼科, 12, 6-17, 2007
- ・小原喜隆: 酸化ストレスと眼, 日眼会誌, 112(1), 22-29, 2008
- ・山田徹人: 橋被蓋網様体核と滑動性追従眼球運動, 神経眼科, 24(1), 59-64, 2007

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・新井田孝裕: 視覚生理学・ヒトの視覚特性・両眼視, 視能訓練士協会生涯教育制度新人教育プログラム, 北里大学薬学部棟, 東京都, 2007.7.15
- ・新井田孝裕: モノビジョン法と眼優位性, The IRSJ 2007 特集講演 モノビジョンの基礎から臨床, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2007.10.27
- ・小原喜隆: 白内障について, 国際医療福祉大学・イブニングタイム, 国際医療福祉大学F棟101教室, 栃木県大田原市, 2007.10.29
- ・三柴恵美子: めがねおもしろ話, イブニングタイム公開講座, 大田原 (国際医療福祉大学), 栃木県, 2007.11.15
- ・三柴恵美子: 平成20年度臨地実習指導者会議 (学生アンケート報告), 臨地実習指導者会議, 東京 (青山サテライトキャンパス), 東京都, 2008.2.22

## 学会発表

- ・新井田孝裕 (座長): 学術展示 屈折・視機能5, 第111回日本眼科学会総会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2007.4.19-22
- ・鶴羽美里, 四之宮佑馬, 山田徹人, 新井田孝裕: 正常者における交代遮蔽時の衝動性眼球運動の潜時-GAP課題, 第63回日本弱視斜視学会総会, 愛知勤労会館, 愛知県名古屋市, 2007.6.15-16
- ・小町祐子, 三柴恵美子, 新井田孝裕, 山口幸子, 平塚英治: 視能訓練士教育における実践的学習の効果-視覚障害者のボランティア体験-, 第48回日本視能矯正学会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.11.3-4
- ・井上香奈子, 田中靖彦, 新井田孝裕, 藤島 浩, 川島晋一: 眼精疲労を主訴とした外斜視患者に対する視能訓練の検討, 第48回日本視能矯正学会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.11.3-4
- ・谷口貴哉, 藤田純子, 小野里規子, 永井重之, 小山由香, 落合万理, 落合憲一, 新井田孝裕: コンタクトレンズ使用と角膜内皮細胞, 第48回日本視能矯正学会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.11.3-4
- ・Masaoka K, Niida T, Murakami M, Suzuki K, Sugawara M, Nojiri Y: Perceptual limit to display resolution of natural images as per visual acuity, IS&T/SPIE Electronic Imaging 2008, Human Vision and Electronic Imaging XIII, San Jose

Convention Center, San Jose, California, USA, 2008.1.27-31

- ・ 綿引 聡, 松島博之, 向井公一郎, 妹尾 正, 小原喜隆: ラット垂セレン酸白内障モデルの組織学的解析, 第46回日本白内障学会・第22回日本眼内レンズ屈折手術学会, 松山市, 2007.6.29
- ・ 松井英一郎, 松島博之, 中村恭子, 向井公一郎, 小原喜隆, 妹尾 正: 実験的ガス白内障の検討, 第46回日本白内障学会・第22回日本眼内レンズ屈折手術学会, 松山市, 2007.6.29
- ・ 松島博之, 向井公一郎, 岩本英壽, 永田万由美, 妹尾 正, 小原喜隆, 勝木陽子: 眼内レンズ表面改質による前囊収縮変化, 第46回日本白内障学会・第22回日本眼内レンズ屈折手術学会, 松山市, 2007.6.29
- ・ 向井公一郎, 松島博之, 澤野宗頭, 妹尾 正, 小原喜隆: 着色眼内レンズの光障害抑制効果について, 第46回日本白内障学会・第22回日本眼内レンズ屈折手術学会, 松山市, 2007.6.29
- ・ Matsushima H, Mukai K, Iwamoto H, Katsuki Y, Nagata M, Obara Y, Senoo T: Different surface modification and CCC (continuous curvilinear capsulorhexis) contraction after cataract surgery, US-Japan Cooperative Cataract Research Group Meeting, Kona Hawaii, Hawaii, 2007.12.4
- ・ 小町祐子 (共同演者): マルチメディアDAISY最適表示環境に関する研究, 第8回日本ロービジョン学会学術総会第16回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 (合同開催), 大阪国際交流センター, 大阪, 2007.9.23

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 三柴恵美子: 修士, RCTマウス遺伝性白内障の形態学的研究, 2008.3.7

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 新井田孝裕: 日本眼科学会 (専門医), 日本神経眼科学会 (評議員, 査読・書評・編集委員), 日本眼光学学会, 日本弱視斜視学会, 日本眼科手術学会, 日本神経科学学会, 日本解剖学会
- ・ 宇賀茂三: 日本眼科学会, 日本神経眼科学会, 日本白内障学会, 水晶体研究会 (名誉世話人), The Association for Research in Vision and Ophthalmology, International Society for Eye Research
- ・ 小原喜隆: 日本眼科学会 (専門医) (名誉会員), 日本眼科手術学会 (理事), 日本白内障学会 (監事), 酸化ストレス学会 (評議員), US-Japan CCRG (世話人)
- ・ 山田徹人: 日本神経眼科学会 (評議員), 日本眼科学会 (専門医), 日本眼光学学会, 日本視覚学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, The Society for Neuroscience
- ・ 小町祐子: 日本弱視斜視学会, 日本神経眼科学会, 日本眼光学学会, 日本視覚学会, 日本ロービジョン学会
- ・ 藤田純子: 日本弱視斜視学会, 日本ロービジョン学会
- ・ 三柴恵美子: 日本重症心身障害学会
- ・ 四之宮佑馬: 日本弱視斜視学会, 日本視覚学会, 日本視能矯正学会
- ・ 村上みや: 社団法人 日本視能訓練士協会
- ・ 鈴木賢治: 日本斜視弱視学会, 日本視能矯正学会

#### 保健医療学部 (放射線・情報科学科)

#### 著書

- ・ 竹原靖明 (監修), 佐々木博 (分担執筆): USスクリーニング, 第2章 USスクリーニングに必要な超音波の基礎,

32-41, 医学書院, 2008.3

- ・ 佐々木博, 飯沼一浩 : 診療放射線技師を目指す学生のための—医用超音波論 (改定), 2章以降全て, 4-118, Iuhw, 2007.4
- ・ 佐々木博, 小池貴久 : 診療放射線技師を目指す学生のための—医用X線CT工学 (改定), 1章~11章, 1-78, Iuhw, 2007.9
- ・ 飯沼一浩 (分担執筆) : USスクリーニング, USスクリーニングに必要な超音波の基礎, 22-29, 医学書院, 2008.3
- ・ 佐々木博, 小池貴久 (分担執筆) : 診療放射線技師を目指す学生のためのX線CT工学, 第12章~第16章, Iuhw, 2007

## 原著論文

- ・ 室井健三, 飯沼一浩 : リハビリテーションの評価を目的とした機能的磁気共鳴画像検査における掌握運動条件の検討, 国際医療福祉大学紀要, 12(2), 12-26, 2007
- ・ 土屋 仁, 黒崎弘正, 徐 驊 : FMEA手法を用いたリスク評価指標の研究, ARIMASS研究年報, 5, 51-59, 2007.5.20
- ・ 丸山純人 : ポリウムCTを用いた心機能評価に関する基礎的検討, 日本放射線技術学会雑誌, 63(10), 1133-1137, 2007

## 総説

- ・ 飯沼一浩 : 企業における研究開発の魅力, 東北大学青葉工業会報, 51, 27-33, 2007.11
- ・ 飯沼一浩 : 国際医療福祉大学大学院の現状と将来展望, 栃木県放射線技師会会誌, 98, 14-16, 2008.3
- ・ 土屋 仁 : 業務手順の見直しと多職種連携・交渉に役立つ『業務流れ図』の作成・活用, ナースマネジャー, 9(3), 30-37, 2007.6.1
- ・ 山本智朗 : SPECT分解能補正の臨床応用, 総合医用画像技術研究会, 18(1), 40-43, 2007

## 研究報告

- ・ 金場敏憲 他 : カンボジア及びタイ調査団報告書, 外務省・JICA・在外大使館, 2007年10月, 9-51, 2007
- ・ 石森佳幸, 石川演美, 門間昌彦, 島山六郎, 高橋順士, 土屋 仁, 藤井雅代 : 診療放射線技師教育に採用したチュートリアル教育の一考察, INNERVISION, 22(10), 96-99, 2007.10.1

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 金場敏憲 : 患者に優しい医療とは何か, RFC研究会, 川崎市婦人会館, 川崎市, (2007.2.24)
- ・ 金場敏憲 : 救急医療システムと放射線技師の役割, 東京都放射線技師会 千葉県放射線技師会, 国分寺労政会館, 東京都, 2007.7.22
- ・ 土屋 仁 : 医療事故分析の上手な進め方, 日総研セミナー, 東京JJホール, 東京, 2007.8.5
- ・ 樋口清孝 : 早期胃癌の病理と肉眼所見~陥凹型早期胃癌について~, 平成19年度 第3回消化管撮影研究会, 栃木県立がんセンター, 栃木県宇都宮市, 2007.12.15
- ・ 樋口清孝 : 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン おさえるべきポイントは?, 医用画像管理セミナー (中級) in東京, 国立がんセンター中央病院, 東京都中央区, 2008.2.17
- ・ 山本智朗 : 核医学の1次読影, 日本放射線技師会東京部会, 東京医科大学, 新宿区, 2008.1.26
- ・ 山本智朗 : 前処理フィルタの影響, 日本放射線技術学会 核医学分科会, 川崎医科大学, 倉敷市, 2008.1.27
- ・ 川村 拓 : 3次元線量分布測定用ポリマーゲルの基礎的特性, 日本医学物理学会-日本物理学会合同シンポジウム, 東京大学医学部附属病院, 東京都文京区, 2008.3.14

## 学会発表

- ・ 菊地義信：豊かな韻律表現のできる電気喉頭の試作とその修得実験，日本音声言語医学会，国立身体障害者リハビリテーションセンター，埼玉県所沢市，2007.10.27
- ・ 金場敏憲（評価者）：JICA海外研修生報告会，JICA/国際医療技術交流財団，JICA兵庫国際C.，神戸市，（2007.3.24）
- ・ 金場敏憲（座長）：JIMTEF国際学生セミナー，国際医療技術交流財団，JICA兵庫国際C.，神戸市，2007.12.16
- ・ 土屋 仁：『業務流れ図』を用いた時間分析法について，医療の質・安全学会，東京国際フォーラム，東京，2007.11.24
- ・ Yutaka Takahashi, Takshi Yamashita, Iori Sumita, Mitsuyasu Hashimoto et al. : Establishment of Japanese QA booklet in permanent seed implant brachytherapy, The 2007 AAPM annual meeting, Minneapolis, USA, 2007.7.22
- ・ 橋本光康，青木幸昌：電子線によるマイクロビーム放射線治療（MRT）の可能性に関する検討，第20回日本放射線腫瘍学会，福岡国際会議場，福岡市，2007.12.14
- ・ Yoshiyuki KONISHI, Takahisa KOIKE, Chiri YAMAGUCHI : Study on Accuracy Management of Gamma Knife Using Imaging Plate, 2008 Multinational Student Conference on Health Welfare and Biotechnology, Yuanpei University, Taiwan, 2008.3.17-18
- ・ 樋口清孝（主催者）：第9回医療画像情報学研究セミナー，東芝メディカルシステムズ，栃木県大田原市，2007.8.4
- ・ 山本智朗（座長）：脳機能画像の技術的問題点（X線CT・MRI・SPECT），第35回日本放射線技術学会秋季大会，名古屋国際会議場，名古屋市，2007.10.25
- ・ 川村 拓：ポリマーゲルを用いた陽子線線量分布測定の特性の基礎検討，応用物理学会・第55回応用物理学関係連合講演会，日本大学理工学部 船橋キャンパス，千葉県船橋市，2008.3.28
- ・ 橋本律夫（発表），宮崎朋美，横塚記代：物忘れ外来患者の神経心理学的所見と局所脳血流量の関係，第31回日本高次脳機能障害学会総会，和歌山県民文化会館，和歌山県和歌山市，2007.11.23

## 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 佐々木博，飯沼一浩：乳がん超音波装置に関する研究，東芝メディカルシステムズ（株）委託研究，継続
- ・ 飯沼一浩：水浸法による超音波乳がん検診装置の要素技術開発，（独）科学技術振興機構 シーズ発掘試験研究，委託研究，04-037，採択
- ・ 小池貴久：半導体カメラの性能評価，安西メディカル（共同研究）

## 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 室井健三：博士（保健医療学），fMRI検査用光センサ式掌握運動測定器の開発，2008.3.7

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 佐々木博：日本超音波医学会（評議員）
- ・ 飯沼一浩：日本超音波医学会（名誉会員），日本生体医工学会，日本放射線技術学会，日本放射線腫瘍学会，American Association of Physicists in Medicine
- ・ 大嶽 達：日本放射線学会（専門医），日本核医学会（認定医）
- ・ 菊地義信：日本音響学会，日本音声言語医学会，日本聴覚医学会，電子情報通信学会，The Institute of Electric and Electronic Engineers
- ・ 金場敏憲：日本放射線技術学会，日本国際保健医療学会，日本ME学会，日本アイソトープ協会，放射線防護連絡協

#### 議会

- ・ 土屋 仁：日本放射線技術学会，日本放射線技師会，医療の質・安全学会，危機管理システム研究学会，日本病院・管理学会
- ・ 冨沢比呂之：日本化学会，錯体化学会
- ・ 橋本光康：日本医学放射線学会（医学物理士），日本放射線腫瘍学会（放射線腫瘍学認定技師），日本医学物理学会，日本放射線技術学会，日本物理学会，放射線治療品質管理機構（放射線治療品質管理士）
- ・ 小池貴久：日本物理学会，日本応用物理学会，日本核医学会，日本放射線技術学会，総合医用画像技術研究会
- ・ 樋口清孝，日本胃癌学会，日本消化器がん検診学会，日本高齢消化器病学会，日本医用画像管理学会（学術・企画理事（学術・研究部長）），日本放射線技術学会，小児放射線技術研究会，総合医用画像技術研究会
- ・ 室井健三：日本放射線技術学会，日本放射線技師会，日本ヒト脳機能マッピング学会
- ・ 山本智朗：（社）日本放射線技術学会（核医学分科会委員），（社）日本医学放射線学会（医学物理士），（中）日本核医学会，日本核医学技術学会（関東地方会幹事），日本医学物理学会，日本心臓核医学会，日本ヒト脳機能マッピング学会，総合医用画像技術研究会（幹事），神奈川PET・SPECT研究会（世話人），核医学専門技師認定機構（核医学専門技師）（広報委員），放射線治療品質管理士認定機構（放射線治療品質管理士），放射線防護連絡協議会
- ・ 川村 拓：日本磁気共鳴医学会，日本放射線技術学会，日本医学物理学会，応用物理学会放射線分科会
- ・ 丸山純人：日本放射線技術学会
- ・ 横塚記代：日本高次脳機能障害学会

#### 医療福祉学部（医療経営管理学科）

##### 著書

- ・ 石川 徹，長谷川高志，今田敬子，外山比南子：コメディカル教育のための情報リテラシーとコンピュータの基礎，はじめに，医療におけるITの活用，全21ページ，えびす印刷，2008
- ・ 大西正利：レセプト請求の全技術，全167ページ，医学通信社，2007.5.31
- ・ 安藤秀雄，大西正利，杉本恵申（分担執筆，編集）：診療報酬請求事務能力認定試験「受験対策と予想問題集」（前期版），オリジナル実技問題 実技問題/解説と解答，116-138，156-161，177-182，197-201，217-222，236-242，257-262，278-282，297-302，317-322，337-343，医学通信社，2007.4.20
- ・ 安藤秀雄，大西正利，杉本恵申（分担執筆，編集）：診療報酬請求事務能力認定試験「受験対策と予想問題集」（前期版），オリジナル実技問題 実技問題/解説と解答，116-138，156-160，175-179，195-200，214-220，235-240，256-260，275-280，295-300，315-321，337-342，医学通信社，2007.10.1
- ・ 山本須美子，加藤尚子（共著）：ハンセン病療養所のエスノグラフィー「隔離」のなかの結婚と子ども，全ページ，医療文化社，2007
- ・ 関口 潔（単著）：医療経営管理総論，1-216，ヘルス・システム研究所，2008
- ・ 山田康夫（分担執筆） 他：管理栄養士 全科のまとめ 改訂3版，給食における経営管理，331，南山堂，2007.7
- ・ 今野広紀（分担執筆）（翻訳）：OECD学習の社会的成果，17-187，明石書店，2008

##### 原著論文

- ・ 藤原 寿，高橋 泰：病院コスト構成の地域格差，病院管理，44(3)，59-67，2007



- ・ 佐藤貴一郎：HRTの骨粗鬆症に対する対費用効果，日本臨牀，65巻増刊号9，615-621，2007
- ・ Otieno George Ochieng, Toyama Hinako, Asonuma Motohiro, Koide Daisuke, Naitou Keiko：Sophistication of Information Technology in healthcare: A comparison among a sample of hospitals in Japan, Electronic Journal of Health Informatics, 2(2), e12, 2007
- ・ Otieno George Ochieng, Toyama Hinako, Asonuma Motohiro, Naitou Keiko, Kanai-Pak M.：Nurses' views on the use, quality and user satisfaction with electronic medical records: questionnaire development, Journal of Advanced Nursing, 60(2), 209-219, 2007
- ・ 山本康弘, 高橋 泰, 外山比南子, 黒田史博：狭心症を対象としたDPC6桁コードによるデータ解析の有用性に関する研究，診療録管理，19(3)，31-36，2008
- ・ 河口洋行：わが国病院市場の競争形態に関する研究，医療経済研究（医療経済学会），19(2)，129-145，2007.12
- ・ 河口洋行：病院の効率性測定におけるDEAの領域制限の効果に関する研究，病院管理（日本病院管理学会），45(1)，17-28，2008.1
- ・ 関口 潔：虚血性心疾患治療における後発医薬品導入の経済効果，日本医療経営学会誌，2(1)，33-38，2007
- ・ 関口 潔：ホスピタリティ・マネジメントを指向した患者満足度調査とその実用性評価，日本ホスピタリティ・マネジメント学会誌「HOSPITALITY」，15，2008
- ・ 西堀眞弘, 渡邊 憲, 田中直文, 荒川真一, 千葉由美, 二宮彩子, 菅野範英, 土井 賢, 田中 博, 小森麻由, 上村 健二, 中口俊哉, 津村徳道, 三宅洋一, 鬼頭伸一郎, 洪 博哲, 橋本憲幸：皮膚の実物色と色素分布のリアルタイムイメージングシステムの開発，医療情報学，27(3)，337-342，2007
- ・ 山田康夫：X県における救急搬送の現状に関する考察，日本医療経営学会誌，2(1)，62-72，2007.11

## 総説

- ・ 高橋 泰：病院収支モデルにおける地域格差一首都圏の病院経営が崩壊寸前，病院，2007年8月号，28-32，2007
- ・ 高橋 泰：N新聞の最近の論調を考える，病院，2007年8月号，82-83，2007
- ・ 高橋 泰：DPCを巡る今後の3つの議論，病院，2007年9月号，82-83，2007
- ・ 高橋 泰：DPC病棟と非DPC病棟の棲み分けや診療報酬のあり方，病院，2007年10月号，82-83，2007
- ・ 高橋 泰：（日本DPC協議会が考える）DPC二階建て構想について，病院，2007年11月号，82-83，2007
- ・ 高橋 泰：DPC二階建て構想について2，病院，2007年12月号，82-83，2007
- ・ 高橋 泰：調整係数廃止と新たな機能評価係数について，病院，2008年1月号，82-83，2008
- ・ 高橋 泰：調整係数廃止時に設定される新機能係数のあるべき姿，病院，2008年2月号，82-83，2008
- ・ 高橋 泰：DPCを軸とした今後の医療制度改革の展望，病院，2008年3月号，82-83，2008
- ・ 高橋 泰：療養病床再編と08年診療報酬改定・介護報酬改定，社会保険旬報，2008年2月11日号，12-18，2008
- ・ 外山比南子, 長谷川高志：経営感覚を磨く，看護展望（12回連載），32(1)-(13)，2007
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療（医学通信社），62(4)，140-143，2007.4
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療（医学通信社），62(5)，130-134，2007.5
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療（医学通信社），62(6)，116-117，2007.6
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療（医学通信社），62(7)，140-143，2007.7
- ・ 大西正利：第26回診療報酬請求事務能力認定試験 実技問題／解答と解説，月刊保険診療（医学通信社），62(8)，134-138，2007.8
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療（医学通信社），62(9)，138-141，2007.9
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療（医学通信社），62(12)，146-149，2007.12

- ・ 大西正利：第26回診療報酬請求事務能力認定試験 実技問題／解答と解説，月刊保険診療（医学通信社），63(1)，129-133，2008.1
- ・ 加藤尚子：地域をひとつの病院に－医療連携の展望，医学のあゆみ，222(6-7)，471-475，2007
- ・ 関口 潔：DPC時代の病院運営 中小規模病院における地域医療連携拠点化戦略，SRI，89，46-58，2008
- ・ 山田康夫：看護現場に活かすトヨタ生産方式の可能性，看護部長通信，5(5)，8-13，2007.12
- ・ 山本康弘：第6回総合医療事務試験，月刊保険診療，62(10)，59-61，2007.10
- ・ 山本康弘：第6回総合医療事務試験〔解答〕，月刊保険診療，62(11)，77-80，2007.11
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向4），医道の日本，4月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向5），医道の日本，5月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向6），医道の日本，7月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向7），医道の日本，8月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向8），医道の日本，9月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向9），医道の日本，10月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向10），医道の日本，11月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向11），医道の日本，12月号，2007
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向12），医道の日本，1月号，2008
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向13），医道の日本，2月号，2008
- ・ 中田健吾：世界メディアの読み方（世界メディアが伝える「鍼灸」最新動向14），医道の日本，3月号，2008

## 研究報告

- ・ 外山比南子 他：DPC導入の地域医療体制への影響の分析に関する研究，厚生労働省，2007
- ・ 河原和夫，河口洋行：医療計画の実施及びその評価に関する研究，厚生労働科学研究費報告書，研究報告書，2008.3
- ・ 河原和夫，河口洋行，山田康夫 他：都道府県における医療計画の現状把握と分析に関する研究，平成19年度厚生科学研究費補助金（健康安全確保総合研究（医療安全・医療技術評価総合研究）），2008.3
- ・ 今野広紀：医療経済研究機構 諸外国における介護施設の機能分化等に関する調査，内装要覧08，50(13)，18-49，2007
- ・ 今野広紀：医療経済研究機構 保険者の管理的競争に関する国際比較研究，「医療費の構造分析と適正化に向けた政策的課題に関する研究」報告書，2008
- ・ 今野広紀：医療経済研究機構 医療費の構造分析と適正化に向けた政策的課題に関する研究，「医療費の構造分析と適正化に向けた政策的課題に関する研究」報告書，2008
- ・ 今野広紀：医療経済研究機構 レセプトデータにみる医療費適正化政策の有効性評価に関する研究，「レセプトデータにみる医療費適正化政策の有効性評価に関する研究」報告書，2008
- ・ 今野広紀：国立長寿医療センター 高齢者の医療費の地域格差に関する研究，「高齢者の医療費の地域格差に関する研究」報告書，2008
- ・ 今野広紀：ファイザーヘルスリサーチ財団 薬価決定のあり方に関する国際比較研究，「薬価決定のあり方に関する国際比較研究」報告書，2008

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 高橋 泰：DPCの展望，第6回長野県診療情報管理懇話会（研究会），佐久病院 農村研修センター，長野県佐久市，2007.4.21

- ・ 高橋 泰 : DPCの展望, 日本DPC協議会, 札幌コンベンションホール, 札幌, 2007.5.19
- ・ 高橋 泰 : DPCの展望, 日本病院管理学会例会, 東京女子医大, 東京, 2007.6.9
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 自民党若手勉強会, 自民党本部, 東京, 2007.6.15
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 金沢大学関連病院院長会議, 金沢厚生年金ホール, 石川県金沢市, 2007.7.7
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 日本病院会 モダンホスピタルショー, 東京ビッグサイト, 東京, 2007.7.12
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 福祉医療機構, 灘尾ホール, 東京, 2007.7.13
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 福祉医療機構, オーバルホール, 大阪, 2007.7.20
- ・ 高橋 泰 : DPCの展望, 日本DPC協議会, 愛知県医師会館, 名古屋, 2007.8.11
- ・ 高橋 泰 : DPCの展望, 日本DPC協議会, 梅田研修センター, 大阪, 2007.9.22
- ・ 高橋 泰 : 21世紀の病院経営, 全日本病院協会学会, 秋田ビューホテル, 秋田, 2007.9.23
- ・ 高橋 泰 : DPCの展望, 日本DPC協議会, 東医健保会館, 東京, 2007.10.20
- ・ 高橋 泰 : 療養病床の展望, 福祉医療機構, 灘尾ホール, 東京, 2007.11.2
- ・ 高橋 泰 : 療養病床の展望, 福祉医療機構, エルガーラホール, 福岡, 2007.11.15
- ・ 高橋 泰 : 認知症のケア, 福祉医療機構, エルガーラホール, 福岡, 2007.11.16
- ・ 高橋 泰 : 認知症のケア, 福祉医療機構, 灘尾ホール, 東京, 2007.11.30
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 富山県公的病院長協議会, サンシップとやま, 富山, 2007.12.1
- ・ 高橋 泰 : 医療経営の教育, 医療経営学会, ウェルシティー, 広島, 2007.12.8
- ・ 高橋 泰 : DPCの展望, 日本経営協会, 日本経営協会, 東京, 2007.12.19
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 医療戦略研究会, 厚生会館, 東京, 2007.12.22
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 大阪府私立病院協会, 大阪府病院年金会館, 大阪, 2008.1.18
- ・ 高橋 泰 : DPC病棟と非DPC病棟の展望, DPCマネージメント研究会, 明治大学, 東京, 2008.1.19
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 大阪病院会勉強会, リッツカールトンホテル, 大阪, 2008.1.29
- ・ 高橋 泰 : 療養病床における今後の動向について, 群馬県病院会, マークキュリーホテル, 前橋, 2008.2.2
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 福祉医療機構, 福祉医療機構本部, 東京, 2008.2.4
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 読売新聞社, 読売新聞社本社, 飯田, 2008.2.7
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 長野県自治体病院協議会, 松本勤労者福祉センター, 長野県松本市, 2008.2.9
- ・ 高橋 泰 : DPC病院非DPC病院の戦略, 岐阜県厚生連病院会議, 中濃厚生病院, 岐阜県関, 2008.2.16
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 堺市病院事長会, ホテルアイリス, 大阪府堺市, 2008.2.21
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 千葉県医療評価認定病院協会, ポートプラザ千葉, 千葉, 2008.2.29
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 富山県医学会, 富山県医師会館, 富山, 2008.3.1
- ・ 高橋 泰 : 診療報酬改定と医療機関経営(将来像), 青森県健康福祉部医療薬務課, ホテル青森, 青森, 2008.3.22
- ・ 高橋 泰 : 医療制度改革の展望, 大分県病院会, 大分県医師会館, 大分, 2008.3.29
- ・ 外山比南子 : 診療記録と病院情報の活用によって, 病院が変わる, 第2回茨城県病院マネージメント研究会, つくば国際会議場 小会議室405, 茨城県つくば市, 2007.12.7
- ・ 外山比南子 : 医療におけるIT推進と診療情報管理士の役割, ニチイ学館職員研修, ニチイ学館研修センター, 千葉県柏市, 2007.12.17, 2007.12.20
- ・ 大西正利 : 平成20年度 診療報酬改定 説明会, 名古屋記念病院, 名古屋記念病院, 愛知県, 2007.3.11
- ・ 加藤尚子 : 医療連携の現在過去未来, 九州HAS研究会第26回定例会, 東洋館, 佐賀県武雄市, 2007.11.10
- ・ 加藤尚子 : もう一つのハンセン病史, 平成19年第2回上都賀地区人権教育担当者連絡会研修会, 日光市赤間々会館, 日光市, 2008.2.5

- ・ 加藤尚子：市民が安心できる暮らしを求めてー地域医療問題から今後の医療を考えるー，男女共同参画ネットワークの主催 男女共同参画を考えるみんなの集い，佐野市文化会館，佐野市，2008.3.8
- ・ 河口洋行：我が国病院市場の競争促進は価格低下と品質向上をもたらすか，医療経済フォーラム・ジャパン，パレスホテル，東京都，2007.4.24
- ・ 河口洋行：英国NHSの病院評価手法，P4P研究会シンポジウム，一橋大学，東京都，2007.6.28
- ・ 山田康夫：医療経済論，社団法人群馬県看護協会 認定看護管理者研修セカンドレベル，社団法人群馬県看護協会，群馬県前橋市，2007.8.7-8
- ・ 山田康夫：医療管理 I 経営組織管理論，平成19年度国公立私立大学病院看護管理者講習会，千葉大学看護学部，千葉県千葉市，2007.8.23
- ・ 山田康夫：医療経済論，社団法人栃木県看護協会 認定看護管理者研修セカンドレベル，社団法人栃木県看護協会，栃木県宇都宮市，2007.9.7-8
- ・ 山田康夫：医療経済，平成19年度国公立私立大学病院副看護部長研修会，千葉大学看護学部，千葉県千葉市，2007.9.28
- ・ 山田康夫：医療管理学，社団法人東京都看護協会 平成19年度 認定看護管理師教育課程（感染管理），社団法人東京都看護協会，東京都新宿区，2007.11.2
- ・ 山本康弘：DPC時代における診療情報管理士の役割，第5回国際疾病分類学会学術大会，学術総合センター，東京都，2007.5.13
- ・ 山本康弘：医療制度改革の現状と自治体病院における経営管理の重要性，特定非営利活動法人みらい自治（FLAP）2007年度連続講座 第2回，みのお市民活動センター，大阪府箕面市，2007.8.18
- ・ 山本康弘：DPC6桁コードによるデータ解析の有用性に関する研究，第12回DPCマネジメント研究会（理事会），KPT 四谷第1会議室，東京都，2007.9.4
- ・ 山本康弘：最近の医療情勢について，関西医科大学事務職員研修会，三洋電機連合健康保険組合会議室，大阪府守口市，2008.1.12
- ・ 山本康弘：病院運営におけるDPCデータ活用，診療情報管理士会第7回地区研修会，国立病院機構仙台医療センター 大会議室，仙台市，2008.1.26
- ・ 山本康弘：日本DPC協議会の活動報告とDPCの展望，近畿・病院マネジメント研究会，毎日インテシオ3階会議室，大阪市，2008.2.1
- ・ 山本康弘：バランスト・スコアカードの手法について，関西医科大学事務職員研修会，三洋電機連合健康保険組合会議室，大阪府守口市，2008.2.23
- ・ 岡村世里奈：終末期医療と法的課題，全日本病院協会，京王プラザホテル，東京都，2007.4.20
- ・ 岡村世里奈：終末期医療と法的課題，志村大宮病院，志村大宮病院，茨城県，2007.9.5
- ・ 岡村世里奈：介護事業者と個人情報保護，JA千葉厚生連，千葉県農業会館，千葉県，2007.9.14
- ・ 岡村世里奈：介護事業者と個人情報保護，社会福祉法人 武蔵野療園，中野区，2007.9.20
- ・ 黒田史博：シンポジウム「DPCデータ精度の現状と課題」「様式1の見直し」，NPO法人日本DPC協議会，乃木坂ホール，東京都，2008.1.25
- ・ 黒田史博：DPCの今後について，福島県診療録管理研究会，陽日の里あづま館，福島県二本松市，2007.11.16
- ・ 中田健吾：医療行政に求められる広報コミュニケーションの検討，日本広報学会 第3回オピニオンショーケース，宝塚造形芸術大学，新宿区，2008.2.22

## 学会発表

- ・ 高橋 泰, 外山比南子, 黒田史博 : DPC調査データにおける3傷病名とDPCコーディング, 第33回日本診療録管理学会, ホテルグランヴィア京都, 京都, 2007.9.13
- ・ 高橋 泰 : 医療療養病床の医療区分1患者の退院困難要因分析, 病院管理学会, 港未来, 横浜, 2008.10.25
- ・ 小澤伸治, 佐藤貴一郎 (共同) : バランスト・スコアカードを用いた組織づくりの試み, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟コンベンションセンター, 新潟市, 2007.5.26
- ・ 佐藤貴一郎 (座長: 小倉 昇の代理) : 一般演題, 日本バランスト・スコアカード研究学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市, 2007.9.15
- ・ 佐藤貴一郎 (座長) : 病院経営の経済分析 (D1-4), 日本病院管理学会, 横浜ロイヤルパークホテル, 横浜市, 2007.10.25
- ・ 石川 徹, 長谷川高志, 今田敬子, 外山比南子 : コメディカルに対するコンピュータリテラシー教育とその特徴—コンピュータ利用経験の現状と能力別小人数クラス分けの効果—, 大学教育・情報戦略大会, アルカディア市ヶ谷, 東京, 2007.9.5
- ・ 外山比南子, 鳥羽克子, 長谷川高志, 開原成允 : 診療情報アナリストの育成, 第33回日本診療録管理学会, ホテルグランヴィア京都, 京都, 2007.9.13
- ・ 清水隆明, 外山比南子, 高橋 泰 : MDC分類別在院日数への影響因子分析, 第45回 日本病院管理学会学術総会, 横浜ロイヤルパークホテル, 横浜, 2007.10.25-26
- ・ 外山比南子, 清水隆明 : DPC調査データに見る高額診療費の実態, 第45回 日本病院管理学会学術総会, 横浜ロイヤルパークホテル, 横浜, 2007.10.25-26
- ・ 外山比南子 : 心疾患における画像検査—包括医療制度化における核医学検査, 第47回日本核医学会学術総会, 仙台国際センター, 仙台, 2007.11.4-6
- ・ 外山比南子 (座長) : 第47回日本核医学会学術総会, 仙台国際センター, 仙台, 2007.11.4-6
- ・ 石川 徹, 長谷川高志, 今田敬子, 外山比南子 : コンピュータリテラシー教育とその改善への取り組み—コンピュータ利用の現状と能力別クラス分けによる効果—, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.25
- ・ 清水隆明, 外山比南子, 高橋 泰 : DPCデータに見る在院日数を決定する要因の分析, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.25
- ・ 外山比南子, 黒田史博, 上村幸司 : 心疾患における重症度とDPC分類, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.25
- ・ 山本須美子, 加藤尚子 : 国立ハンセン病療養所における「子ども」, 日本文化人類学会第41回研究大会, 名古屋大学, 名古屋市, 2007.6.2
- ・ 加藤尚子, 長谷川敏彦 : 診療科部長医師を対象にした地域医療連携研修パッケージの開発, 第9回日本医療マネジメント学会, グランドプリンスホテル新高輪, 東京都品川区, 2007.7.13
- ・ 河口洋行 : 病院市場の競争形態に関する研究, 日本経済学会学術総会, 大阪学院大学, 大阪市, 2007.6.2
- ・ 河口洋行 : Effect of weight restriction by AR-DEA comparing with Composite Indicator, 国際医療経済学会学術総会, Copenhagen Business School, Copenhagen, 2007.7.9
- ・ 河口洋行 : 病院市場の競争形態に関する研究, 医療経済学会研究大会, 学習院大学, 東京都, 2007.7.21
- ・ 河口洋行 : パネルデータを用いた自治体病院の効率性の推定に関する研究, 日本病院管理学会学術総会, 横浜ロイヤルパークホテル, 横浜市, 2007.10.26
- ・ 関口 潔 : ホスピタリティ・マネジメントを指向した患者満足度調査とその実用性評価, 日本ホスピタリティ・マネジメント学会 第16回全国大会, 長崎ワシントンホテル, 長崎市, 2007.7.7

- ・ 関口 潔：経尿道的前立腺治療におけるDPCデータの診療報酬請求論的分析，第9回日本医療マネジメント学会学術総会，グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール，東京都港区，2007.7.13
- ・ 関口 潔：各種疾患治療におけるDPC入院期間の俯瞰，第45回日本病院管理学会学術総会，横浜ロイヤルパークホテル，横浜市，2007.10.26
- ・ 関口 潔：うつ病エピソードの薬物治療プロトコルに関する研究，第6回日本医療経営学会学術集会，ウェルシティ広島，広島市，2007.12.8
- ・ Masahiro Nishibori：Real Time Visualization of Skin Pigment Distribution, The 9<sup>th</sup> International Symposium on Multispectral Colour Science and Application (MCS'07), Chinese Culture University, Taipei, 2007.6.1
- ・ 西堀真弘：皮膚の実物色と色素分布のリアルタイムイメージングシステムの開発，第11回日本医療情報学会春季学術大会（シンポジウム2007），大阪国際交流センター，大阪，2007.6.16
- ・ 西堀真弘：末梢組織循環動態画像診断装置への臨床ニーズ開拓について，第54回日本臨床検査医学会学術集会，大阪国際会議場，大阪，2007.11.24
- ・ 西堀真弘（座長）：第27回医療情報学連合大会，神戸国際会議場，神戸，2007.11.25
- ・ 山田康夫：医療機関ガバナンスとしてのCSRレポートのケーススタディ，日本品質管理学会医療経営の総合的質研究会，日本科学学術連盟本部会議室，東京都新宿区，2007.6.9
- ・ 篠原久美子，山本康弘：DPC導入を契機とした診療情報管理部門の充実化への取り組み，第33回日本診療録管理学会学術大会，ホテルグランヴィア京都，京都市，2007.9.13
- ・ 山本康弘，高橋 泰：熊本地区における地域医療連携の実態調査，第33回日本診療録管理学会学術大会，ホテルグランヴィア京都，京都市，2007.9.14
- ・ 山本康弘，高橋 泰：大腿骨頸部骨折の医療連携が在院日数および診療報酬額に及ぼす影響，第45回日本病院管理学会学術総会，横浜ロイヤルパークホテル，横浜市，2007.10.25
- ・ 安藤由美：病院財務戦略の変遷，日本経営財務研究学会，立命館大学，滋賀県草津市，2007.10.07
- ・ 安藤由美：医療改革によるヘルスケアファンデーションへの影響，証券経済学会，関西大学，大阪府吹田市，2007.10.14
- ・ 坂巻弘之，今野広紀：薬価決定のあり方に関する国際比較研究，第14回ファイザーヘルスリサーチフォーラム，都市センターホテル，東京都千代田区，2007.11.10
- ・ 今野広紀，山崎 学：諸外国における介護施設の機能分化等に関する調査，第6回高齢者居住のあり方検討会，国土交通省，東京都千代田区，2008.1.16
- ・ 河井孝仁，宮田 穰，高橋輝子，池谷 廣，石川慶子，中田健吾：地方自治体の広報戦略の研究，日本広報学会 第13回研究発表大会，学習院大学，豊島区，2007.11.17

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 高橋 泰（分担）：効果的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究，厚生労働科学研究費長寿科学総合（痴呆・骨折臨床）研究事業，採択
- ・ 佐藤貴一郎（分担研究者）：包括的地域ケアにおける利用者視点に立つ取引コストの測定とネットワーク生成の研究，平成19年度文部科学研究費補助金，基礎研究(C)，18530450，継続
- ・ 外山比南子，開原成允（研究協力者）：DPC導入の地域医療体制への影響の分析に関する研究，厚生労働科学研究費補助金，厚生労働特別研究事業，H16-政策-027，継続
- ・ 外山比南子，井伊雅子（分担研究者）：医療データの計量手法による分析，文部科学省科学研究費補助金，基盤研究B，18330046，継続
- ・ 加藤尚子（分担），長谷川敏彦（主任研究者）：質効率向上と職業間連携を目指した病棟マネジメントの研究，平成

19年度厚生労働科学研究費補助金（医療安全・医療技術評価総合研究事業），H19-医療-一般-004

- ・ 河口洋行，河原和夫（主任研究者）：医療計画の実施及びその評価に関する研究，厚生労働科学研究費補助金，医療技術評価総合，H19-医療-009，継続
- ・ 河原和夫，河口洋行，山田康夫 他：都道府県における医療計画の現状把握と分析に関する研究，平成19年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全確保総合研究（医療安全・医療技術評価総合研究）），H18-医療-一般-012
- ・ 高橋 泰，山本康弘：地域における医療・介護資源の連携状況の効果的把握方法に関する調査研究事業，東京都療養型病院研究会
- ・ 岡村世里奈：有料老人ホームにおける医療・介護提供体制の在り方に関する研究，平成19年度厚生労働省老人保健健康増進等事業，採択
- ・ 今野広紀：医療費の構造分析と適正化に向けた政策的課題に関する研究，厚生科学研究費補助金，政策科学推進研究事業，19010901，継続
- ・ 今野広紀：レセプトデータにみる医療費適正化政策の有効性評価に関する研究，厚生科学研究費補助金，政策科学推進研究事業，H19-政策-一般-002，継続
- ・ 今野広紀：高齢者の医療費の地域格差に関する研究，長寿医療研究委託費，18公，7，継続
- ・ 河井孝仁，宮田 穰，高橋輝子，池谷 廣，石川慶子，中田健吾：行政コミュニケーション研究，日本広報学会テーマ研究助成，自由研究

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 河口洋行：経済学博士（一橋大学），医療分野の効率性測定の諸手法と問題点，2008.3.21
- ・ 山田康夫：博士（医療福祉経営学），茨城県における救急アクセス時間に関する研究，2008.3.31

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 高橋 泰：日本病院管理学会（評議委員），日本医療情報学会，日本公衆衛生学会，日本老年医学会，日本医療経営学会（評議委員），日本神経疾患医療福祉従事者学会（理事），日本診療情報管理学会
- ・ 佐藤貴一郎：日本病院管理学会（評議員），日本バランスト・スコアカード研究学会（評議員，学会誌編集委員会委員長），日本医療情報学会，日本経済学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会
- ・ 外山比南子：日本医療情報学会（医療情報技師試験問題作成委員）
- ・ 加藤尚子：日本文化人類学会，日本医療マネジメント学会
- ・ 河口洋行：国際医療経済学会，日本経済学会，日本病院管理学会，日本介護経営学会，医療経済学会，日本ヘルスサポート学会
- ・ 関口 潔：日本ホスピタリティ・マネジメント学会（論文編集委員）
- ・ 西堀真弘：日本臨床検査医学会（認定臨床検査専門医）（評議員，EBLM委員長，臨床検査室医療評価委員長，編集委員会査読委員），日本医療情報学会（評議員，幹事，編集委員会査読委員，医療情報技師検定試験出題委員，医療情報技師育成指導者，第28回医療情報学連合大会プログラム委員，第28回医療情報学連合大会総務委員長），デジタルバイオカラー研究会（総務担当常任理事，出版委員会副委員長），遺伝子検査精度保証研究会（総務担当理事），テーラーメイド健康管理研究会（総務担当理事）
- ・ 山田康夫：日本病院管理学会，日本クリニカルガバナンス研究会（副会長兼幹事），日本医療経営学会（編集委員会幹事），日本品質管理学会（医療経営の総合的質研究会委員，医療の質・安全部会会員，医療の質マネジメントシステム研究会会員，医療の質マネジメントシステム研究会第二ワーキンググループ（内部監査）主査），医療経済学会，臨床経済学研究会，ホスピタル・ガバナンス研究会（主宰），救急アクセス研究会，日本医療情報学会

- ・ 山本康弘：日本医療・病院管理学会，日本診療録管理学会，日本医療経営学会
- ・ 安藤由美：日本ファイナンス学会，日本金融学会，会計研究学会，証券経済学会，日本経営財務研究学会
- ・ 岡村世里奈：社会保障法学会，日本病院管理学会，日本医事法学会
- ・ 今野広紀：社会政策学会，日本医療・病院管理学会
- ・ 黒田史博：日本医療・病院管理学会
- ・ 中田健吾：日本広報学会，全日本鍼灸学会，日本伝統鍼灸学会（理事（国際部担当）），日本医療情報管理学会，日本医療・病院管理学会，Health Care Executives of Southern California

## 医療福祉学部（医療福祉学科）

### 著書

- ・ 上島国利（編著）：統合失調症とアリピプラゾール，①統合失調症治療の現状とアリピプラゾールの位置づけ，②統合失調症治療におけるアリピプラゾールの可能性，8-12，62-64，医薬ジャーナル，2007
- ・ 上島国利（分担執筆）：SSRIのすべて，現代社会におけるうつ病の問題とSSRIの意義，18-26，先端医学社，2007
- ・ 小林雅彦（分担執筆） 他7名：法令遵守の精神と実践，高齢者福祉事業，271-297，経済法令研究会，2007
- ・ 小林雅彦（分担執筆） 他12名：地域福祉論，生活協同組合，255-261，全国社会福祉協議会，2007
- ・ 六波羅詩朗（分担執筆）：社会政策学会誌「経済発展と社会政策」第18号，書評論文「被占領期社会福祉分析」，170-174，法律文化社，2007
- ・ 六波羅詩朗（分担執筆）：新版・社会福祉学習双書6「公的扶助論」，低所得者対策の概要及び関連施策，公的扶助と社会福祉援助活動，167-185，193-210，全国社会福祉協議会，2008
- ・ 六波羅詩朗（分担執筆）：エンサイクロペディア社会福祉学，福祉貸付の種類と特徴，低所得（者）対策，496-499，896-897，中央法規出版，2008
- ・ 山崎順子：ソーシャル・インクルージョンの社会福祉～新しい〈つながり〉をもとめて～，第10章 知的障害者の地域生活支援によるソーシャル・インクルージョンの過程～ソーシャル・サポート・ネットワークの形成における支援者の役割～，213-236，ミネルヴァ書房，2008.3.31
- ・ 浅香 勉 他9名：性虐待を防ぐ一子どもを守る術一，第4章 児童養護施設からの報告，84-96，誠信書房，2008
- ・ 絹木憲司：（分担執筆）：介護福祉士全国統一模擬試験（基礎編）の解説，レクリエーション活動援助法，45-48，中央法規出版，2007.6.20
- ・ 絹木憲司（分担執筆）：介護福祉士全国統一模擬試験（実力編）解説，レクリエーション活動援助法，45-48，中央法規出版，2007.10.20
- ・ 村上須賀子，竹内一夫，横山豊治，前田美也子，佐藤俊一，若林 浩，正司明美，武内昶篤，山路克文，石光和雄，黒木信之，小嶋章吾（分担執筆），真砂照美，永野なおみ，丸田育美，山館幸雄，東海林吉利子，草野裕子，高橋恭子，米村美奈，室田人志，荷見千草，攝待幸子，片岡靖子，鳥羽信行，竹中麻由美，高野龍昭，セノガ典子，松下康一郎，大石桃子，吉田麻希，金子 努，西村いづみ，角野智子，奥村晴彦，梶原敏臣，遠藤正樹，栗本孝雄：ソーシャルワーカーのための病院実習ガイドブック，第4章 実習準備（養成校）2 実習のシラバス例（1）医療ソーシャルワーク実習の位置付け（2）医療ソーシャルワーク実習＜実習指導＞の要点，55-58，勁草書房，2007
- ・ 村上須賀子，佐々木哲二郎，井上由美子，金蔵常一，金子 努，黒木信之，小嶋章吾（編集），藤田花緒里，森崎千晴：医療福祉総合ガイドブック（2007年度版），生活費（編集），64-96，医学書院，2007



- ・副田あけみ, 小嶋章吾 (編著) : ソーシャルワークの記録～理論と実際～ (第2刷), 第1章 記録の課題, 第1節 個人情報保護とプライバシーの尊重, 第2節 記録の開示と共有, 第3節 ソーシャルワーク記録の電子化, 第3章 記録の種類と取り扱い, 第3節 記録の構造化, 第5節 実践過程に沿った記録 (共著者: 奥村ますみ), 第6章 運営管理記録, 第1節 業務管理記録 (共著者: 美尾朱美), 第3節 教育訓練用記録 演習編 演習課題6 教育訓練用記録, 9-11, 13-16, 18-21, 39-43, 47-58, 116-119, 122-129, 147-148, 156-158, 誠信書房, 2008
- ・大石剛史 (分担執筆) : 生きがい情報士養成テキスト 技術編, 地域と社会参加活動, 75-95, 健康生きがい開発財団, 2007
- ・須藤昌寛 (分担執筆) : 介護福祉士受験講座2008テキスト, 第2章老人福祉論, 28-47, 国際福祉総合研究所, 2007.5.10
- ・須藤昌寛 (分担執筆) : 2008社会福祉士国家試験模擬問題集, 心理学, 中央法規出版, 2007.8.1
- ・林 和美 : 国際医療福祉大学医療福祉学科監修 ケアマネジャー試験合格対策2007, 福祉サービス分野, 236-303, 杏林図書 (774chテキスト), 2007.5.1
- ・林 和美 (分担執筆) : 介護支援専門員受験対策研究会編集, 介護支援専門員実務研修受講試験 模擬問題集, 介護保険制度改正の重要ポイント, 介護支援分野, 実践問題, 及び解答解説, 12-21, 24-81, 168-175, 184-227, 282-287, 中央法規出版, 2007.7.30
- ・林 和美 : (社) 日本社会福祉士会編集 2008社会福祉士国家試験模擬問題集, 老人福祉論, 模擬問題・解説, 108, 115-117, 中央法規出版, 2007.8.1
- ・林 和美 (監修, 出演) : 「ビデオで学ぶ ケアマネジャー試験2007」介護支援分野, DVD・ビデオ2巻60分, 42分, 中央法規出版, 2007.8.1
- ・林 和美 (分担執筆) : 在宅ケア学会監修 在宅ケア事典, 介護支援専門員, 社会福祉士, 500-501, 518-519, 中央法規出版, 2007.12.20
- ・開原成允, 林 和美, 若倉 健 (分担執筆) 他 : ケアマネジャー試験合格対策2007, 厳選過去問題集, 306-353, 杏林図書, 2007.5.1
- ・若倉 健 (分担執筆) : 2007社会福祉士国家試験模擬問題集, 中央法規, 2007.6
- ・本多 勇, 若倉 健 (分担執筆), 樋口京子, 門田直美他 : ケアマネジャー模擬問題集, 一橋出版, 2008.3.31

## 原著論文

- ・平島奈津子, 上島国利 : 境界性パーソナリティ障害の薬物療法の標準化を目指して, 精神経誌, 109, 572-577, 2007
- ・栗本孝雄, 荻津 守, 永野なおみ, 小嶋章吾 : 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題 (第4報) ～医療機関と大学・養成校の枠を超えた実習報告会の意義～, 医療と福祉, 41(1), 49-51, 2007
- ・須藤昌寛, 若倉 健 : 高齢者虐待に取り組む社会福祉士の現状と課題～栃木県地域包括支援センターにおける聞き取り調査より～, 社会福祉士, 15, 75-82, 2008.2
- ・野村晴美 : 特別養護老人ホームにおける介護記録の実態, 自立支援介護学, 1(1), 40-50, 2007.4.1
- ・野村晴美 (共著) : 特別養護老人ホームにおける「おむつ利用」および他のADLと離床との関係, 自立支援介護学, 1(1), 14-24, 2007.4.1
- ・野村晴美 (共著) : 特別養護老人ホームにおけるアセスメントの実態, 自立支援介護学, 1(1), 26-39, 2007.4.1

## 総説

- ・鈴木五郎 : 9章 日本ソーシャルワーカー協会の歴史, 日本のソーシャルワーク研究教育実践の60年, 単行本, 165-174, 2007.5

- ・ 上島国利：職場のメンタルヘルス，日本医師会雑誌，136(1)，1，2007
- ・ 上島国利：抗うつ薬の選択，新薬と臨床，53(3)，223-231，2007
- ・ 上島国利：塩酸パロキセチン水和物の有効性・安全性の総括，臨床精神薬理，10，1045-1061，2007
- ・ 上島国利：向精神薬，精神経誌，109，604-608，2007
- ・ 上島国利：うつ病（序文），日本臨床，65(9)，1559-1562，2007
- ・ 尾鷲登志美，上島国利：コンプライアンスからアドヒアランスへ，月刊薬事，50(3)，375-376，2008
- ・ 尾鷲登志美，上島国利：医薬品作用学 向精神薬，日本臨床，65(増刊8)，247-253，2007
- ・ 尾鷲登志美，上島国利：うつと循環器，血压，14(1)，1093-1097，2007
- ・ 上島国利：セラピストのための精神薬理学，日本サイコセラピー学会誌，8(1)，43-50，2007
- ・ 六波羅詩朗：生活保護制度改革に向けた論点，月刊福祉，90(6)，20-25，2007
- ・ 小嶋章吾：生活場面面接のプロセスと技法の体系化をめざして，M-GTA研究会 News letter，25，2-3，2008
- ・ 須藤昌寛：福祉現場でのストレスをどう扱っていくか，栃木県社会福祉士会福祉研究，3，2008.3
- ・ 栗本孝雄，荻津 守，永野なおみ，小嶋章吾：医療ソーシャルワーカー養成 教育の現状と課題（第四報），医療と福祉，82(41-1)，49-51，2007
- ・ 若倉 健：高齢者の消費者被害～社会福祉士の視点から～，栃木県社会福祉士会社会福祉研究，(3)，2008.3

## 研究報告

- ・ 永野なおみ，小嶋章吾，竹中麻由美，横山豊治：医療ソーシャルワーカー養成教育の現状とあり方に関する基礎的研究，調査報告書，10-21，2007
- ・ 小嶋章吾，嵐末憲子：社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究～実践的技法と教育訓練プログラムの開発，研究成果報告書，1-99，2007
- ・ 嵐末憲子，小嶋章吾：対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究～ケアマネジメントシステムにおける利用者の生活変化と援助プロセスを中心とした検討～，研究成果報告書，1-120，2007
- ・ 大石剛史（分担執筆）：とちぎ福祉教育研究会報告書，栃木県社会福祉協議会，11-102，2007
- ・ 永野なおみ：平成18年度科学研究費補助金実績報告書「大学における医療ソーシャルワーカー養成教育の現状とあり方に関する基礎的研究」，文部科学省，2007
- ・ 若倉 健：地域包括支援センターにおける「業務評価」研修の成果～「評価シート」を用いての議論を通して～，栃木県社会福祉士会地域包括支援委員会，1-5，2007.12
- ・ 山崎順子，品田望恵子，今井 厚，若倉 健：成年後見利用促進事業報告書，社会福祉法人栃木県社会福祉協議会，2008.3
- ・ 伊藤千尋：障害者保健福祉推進事業等事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト），障害者保健福祉推進事業等事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト）報告書，25-30，2007.6

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 上島国利：うつ病治療のマネジメント，京都不安抑うつ学術研究会，京都グランピアホテル，京都，2007.4.7
- ・ 上島国利：日常診療におけるうつ病への対応，日本医師会 大阪医師会，朝日生命ホール，大阪，2007.5.12
- ・ 上島国利：Female Depression，The XV International Congress of ISPOG，京都国際会議場，京都，2007.5.14
- ・ 上島国利：プライマリケアにおけるうつ病の早期発見と治療の重要性，日本医師会 秋田医師会，秋田県医師会館，秋田，2007.5.20
- ・ 上島国利：パニック障害・不安障害の病態・診断・治療，日本医師会 青森医師会，青森県医師会館，青森，

2007.8.4

- ・ 上島国利：かかりつけ医及び産業医のうつ病への気づきと自殺防止，埼玉県医師会，埼玉県県民センター，埼玉，

2007.9.16

- ・ 上島国利：精神障害の薬物療法，東京都病院薬剤師会，東医健保会館，東京，2007.9.15
- ・ 上島国利：うつって何？，平鹿市市民講座，平鹿学習センター，秋田，2007.9.2
- ・ 上島国利：うつ病のプライマリーケア，練馬区医師会，ホテルカデンツア光が丘，東京，2007.10.22
- ・ 上島国利：日常診療に役立つ，うつ病の診断と治療，左京区医師会，ホテルフジタ京都，京都，2008.2.9
- ・ 上島国利：うつ病に対するあるべき薬物療法，奈良不安・抑うつ臨床研究会，奈良ホテル，奈良，2008.3.13
- ・ 六波羅詩朗：社会福祉援助技術担当教員に必要とされる研修の在り方とその方向，全国社会福祉教育セミナー特別シンポジウム，北星学園大学，北海道札幌市，2007.11.3-4
- ・ 六波羅詩朗：社会福祉士制度改正と教員研修・基礎研修の意味と役割，社会福祉士養成校協会 社会福祉関係大学教員研修会，東洋大学，東京都文京区，2008.3.10-11
- ・ 山崎順子：障害者自立支援法施行に伴う課題等について，福島県社会福祉協議会，郡山ユラックス，郡山市，2008.1.23
- ・ 浅香 勉：乳児期から青年期の成長と発達，栃木県社会福祉協議会・児童相談担当者研修会，とちぎふくしプラザ，宇都宮市，2007.9.10
- ・ 浅香 勉：しなやかに生きるための人間理解，宇都宮市西原地区，西原地区コミュニティセンター，宇都宮市，2007.9.12
- ・ 浅香 勉：地域の中で要児童保護を育てる，第52回栃木県里親大会，鬼怒川グリーンパレス 日光ホール，日光市，2007.11.15
- ・ 小嶋章吾：民生委員・児童委員による相談・支援活動～面接相談の意義と展開を中心に～，東京都民生委員児童委員連合会・現任（1）研修，ティラこうとう，東京都江東区，2007.5.18
- ・ 小嶋章吾：アセスメントケアマネジメントPart1，みずべの苑ケアネットワーク・平成19年度第1回みずべの苑ケアネットワーク，みずべの苑在宅介護支援センター，東京都北区，2007.5.18
- ・ 小嶋章吾：民生委員・児童委員による相談・支援活動～面接相談の意義と展開を中心に～，東京都民生委員児童委員連合会・現任（1）研修，武蔵野スウィングホール，東京都武蔵野市，2007.6.8
- ・ 小嶋章吾：高齢者及び家族への相談援助，大田原市ケアマネジャー連絡協議会 平成19年度第1回研修会，大田原市庁舎，栃木県大田原市，2007.6.15
- ・ 小嶋章吾：民生委員・児童委員による相談・支援活動～面接相談の意義と展開を中心に～，東京都民生委員児童委員連合会・現任（1）研修，渋谷区立商工会館，東京都渋谷区，2007.6.22
- ・ 小嶋章吾：ケアプランの作成ーケアマネジメントPart2，みずべの苑ケアネットワーク 平成19年度第2回みずべの苑ケアネットワーク，みずべの苑在宅介護支援センター，東京都北区，2007.6.22
- ・ 小嶋章吾：高齢者及び家族への相談援助，大田原市ケアマネジャー連絡協議会 平成19年度第1回研修会，大田原市庁舎，栃木県大田原市，2007.6.29
- ・ 小嶋章吾：対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）講義，とちぎケアマネジャー支援センター 平成19年介護支援専門員研修 課程Ⅰ，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2007.7.7
- ・ 小嶋章吾：対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）演習，とちぎケアマネジャー支援センター 平成19年介護支援専門員研修 課程Ⅰ，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2007.7.21
- ・ 小嶋章吾：利用者・家族・地域を一体的に捉えた支援の展開，日本社会福祉士会 2007年度社会福祉士全国研修 選択講座1 生活構造，バルメイト出雲，島根県出雲市，2007.9.22

- ・ 小嶋章吾：利用者・家族・地域を一体的に捉えた支援の展開，日本社会福祉士会 2007年度社会福祉士全国研修 選択講座1 生活構造，宮崎観光ホテル，宮崎県宮崎市，2007.12.2
- ・ 小嶋章吾：利用者・家族・地域を一体的に捉えた支援の展開，日本社会福祉士会 2007年度社会福祉士全国研修 選択講座1 生活構造，総合福祉センター，徳島県徳島市，2007.12.9
- ・ Eriko Sase, 小嶋章吾（スーパーバイザー）：韓国人元ハンセン病患者の病の経験，M-GTA研究会 第44回M-GTA研究会「ペアセッション」，立教大学，東京都豊島区，2008.3.8
- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者の生活支援の方法①，栃木県認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.5
- ・ 須藤昌寛：少子高齢社会の家族と介護，大田原市・平成19年度男女参画講座，大田原市総合文化会館，栃木県大田原市，2007.9.13
- ・ 須藤昌寛：身体拘束は何故なくなるらないのか，栃木県・高齢者権利擁護等推進事業研修，栃木県総合教育センター，栃木県宇都宮市，2007.10.2
- ・ 須藤昌寛：チームと他のスタッフと自分の求める職場作り（働き続けるためのストレスマネジメント），神奈川県社会福祉事業団，自治総合研究センター，神奈川県横浜市，2007.11.5
- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者の生活支援の方法②，栃木県認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2008.1.17
- ・ 福井康江（ファシリテーター）：サービス提供プロセスの管理の実際①② 等，栃木県サービス管理責任者研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.7.23-24
- ・ 福井康江：相手を尊重するという事，精神保健ボランティア研修会，栃木県精神保健福祉センター，栃木県宇都宮市，2007.12.14
- ・ 若倉 健：認知症高齢者の理解と生活の捉え方（3）生活の捉え方，栃木県保健福祉部 平成19年度認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.5.28
- ・ 若倉 健：高齢者虐待について，大田原市保健福祉部 大田原市ケアマネージャー連絡協議会，大田原市庁舎，栃木県大田原市，2007.8.22
- ・ 若倉 健：介護予防，栃木県社会福祉士会 宇都宮市地域包括支援センター，とちぎ福祉プラザ，栃木県大田原市，2007.8.24
- ・ 若倉 健：認知症高齢者の理解と生活の捉え方（3）生活の捉え方，栃木県保健福祉部 平成19年度認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.3
- ・ 若倉 健：認知症高齢者の生活支援の方法（1）人的環境と住居環境を考える，栃木県保健福祉部 平成19年度認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.5
- ・ 若倉 健：認知症高齢者の生活支援の方法（2）地域社会環境を考える，栃木県保健福祉部 平成19年度認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.5
- ・ 若倉 健：認知症高齢者の生活支援の方法（3）生活環境を考える，栃木県保健福祉部 平成19年度認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.9.5
- ・ 若倉 健：ネットワーク，栃木県社会福祉士会 宇都宮市地域包括支援センター，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.10.26
- ・ 若倉 健：高齢者虐待について，栃木県地域包括・在宅介護支援センター協議会，宇都宮市河内総合福祉センター，栃木県宇都宮市，2007.11.27
- ・ 若倉 健：地域包括支援センター社会福祉士の業務評価，栃木県社会福祉士会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2007.12.15

- ・若倉 健：認知症高齢者の理解と生活の捉え方（3）生活の捉え方，栃木県保健福祉部 平成19年度認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2008.1.15
- ・若倉 健：地域包括支援センターの実践から～社会福祉士にできること～，栃木県社会福祉士会，パルティ（とちぎ男女共同参画センター），栃木県宇都宮市，2008.2.3
- ・若倉 健：高齢者虐待を考える－高齢者虐待の実態と求められる対応について－，栃木県保健福祉部 栃木市保健福祉部，栃木市文化会館，栃木県栃木市，2008.2.29

## 学会発表

- ・鈴木五郎（総合司会）：ソーシャルワーカーの役割，国際ソーシャルワークセミナー，霞ヶ関灘尾ホール，東京千代田区，2007.10.20
- ・西田崇大，相原和子：精神障害における自我障害への対応，第17回日本医療社会福祉学会，田園調布学園大学，町田市，2007.9.30
- ・相原和子（座長）：日本医療社会福祉学会，田園調布学園大学，町田市，2007.9.30
- ・上島国利（座長）：うつ病，日本医学会総会，ホテルニューオータニ大阪，大阪，2007.4.7
- ・上島国利（座長）：増大する現代型うつ病と一次予防の展望，第4回日本うつ病学会総会，札幌コンベンションセンター，札幌，2007.6.30
- ・上島国利（座長）：GADに対する治療アルゴリズムの提案，第5回GAD研究会，からすま京都ホテル，京都，2007.10.6
- ・上島国利（座長）：Management of late life depression and suicide prevention，IPA 2007 Osaka Silver Congress，大阪国際会議場，大阪，2007.10.15
- ・上島国利（座長）：アルコール依存症，第5回SNRI研究会，東京銀行協会，東京，2007.10.27
- ・上島国利（座長）：不安と抑うつにどう対処したらよいか，第20回日本サイコオンコロジー学会，札幌コンベンションセンター，札幌，2007.11.29
- ・上島国利（座長）：日本のSAD治療戦略，第3回SAD研究会，東京プリンスホテル，東京，2008.2.23
- ・上島国利（座長）：パニック障害，精神医学アドバンスフォーラム，グランドプリンスホテル新高輪，東京，2008.3.8
- ・山崎順子（実行委員，座長）：福祉領域第1分科会，栃木県ソーシャルワーク学会，とちぎ健康の森，宇都宮市，2007.12.3
- ・浅香 勉：自立援助ホーム～社会的養護への要請，日本子ども虐待防止学会，三重県総合文化センター，三重県津市，2007.12.15
- ・横山豊治，梶原敏臣，小嶋章吾，竹中麻由美，永野なおみ，村上須賀子 他：退院援助及び在宅療養におけるMSWの専門性の検討，第27回日本医療社会事業学会 口頭報告，高知市文化プラザかるぼーと，高知県高知市，2007.6.2
- ・村上須賀子，梶原敏臣，小嶋章吾，竹中麻由美，永野なおみ，横山豊治 他：在宅医療支援におけるMSWの専門性～多様な社会資源の活用・拡充・開発への効果からみるMSWの専門性～，第27回日本医療社会事業学会 口頭報告，高知市文化プラザかるぼーと，高知県高知市，2007.6.2
- ・梶原敏臣，小嶋章吾，竹中麻由美，永野なおみ，村上須賀子，横山豊治 他：在宅医療支援におけるMSWの専門性～患者・家族への援助効果からみるMSWの専門性～，第27回日本医療社会事業学会 口頭報告，高知市文化プラザかるぼーと，高知県高知市，2007.6.2
- ・小森 敦，古川孝順，中谷陽明，東條光雄，石川久展，小嶋章吾，白澤政和：社会福祉士の雇用状況と雇用に向けた調査研究（その1）～社会福祉施設における社会福祉士雇用ニーズ等の調査結果から～，日本社会福祉学会第55回全

国大会 口頭報告, 大阪市立大学, 大阪府大阪市, 2007.9.22

- ・ 永野なおみ, 小嶋章吾, 竹中麻由美, 横山豊治: 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題～講義・演習・実習科目についての調査から～, 日本社会福祉学会第55回全国大会 自主企画シンポジウム, 大阪市立大学, 大阪府大阪市, 2007.9.23
- ・ 大石剛史: 地域福祉の主体形成を促進する要因に関する研究, 日本地域福祉学会, 山口県立大学, 山口県, 2007.6.10
- ・ 須藤昌寛, 若倉 健: 高齢者虐待に取り組む地域包括支援センターの現状と今後の課題について～栃木県の取り組みから～, 日本地域福祉学会第21回大会, 山口県立大学, 山口県山口市, 2007.6.10
- ・ 若倉 健 (座長), 須藤昌寛: 「高齢者虐待」事例における支援展開の検討～A市地域包括支援センターの取り組みから～, 第4回日本高齢者虐待防止学会, 関東学院大学, 神奈川県横浜市, 2007.7.7
- ・ 須藤昌寛, 若倉 健, 山崎順子, 六波羅詩朗: 栃木県における高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センターの取り組み～社会福祉士の生活支援に焦点を当てて～, 日本福祉科会第55回全国大会, 大阪市立大学, 大阪府大阪市, 2007.9.23
- ・ 永野なおみ: 相談の場としての医療相談室の環境条件, 第27回日本医療社会事業学会, 高知市文化プラザ, 高知市, 2007.6.2
- ・ 永野なおみ: 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題—講義・演習・実習科目についての調査から—, 日本社会福祉学会第28回全国大会, 大阪市立大学, 大阪市, 2007.9.23
- ・ 永野なおみ: 四年制大学における医療ソーシャルワーカー養成教育の現状—社会福祉士実習指定施設への保健医療機関の追加を踏まえて—, 日本社会福祉教育学会, 北星学園大学, 札幌市, 2007.11.3
- ・ 福井康江: 9分割統合絵画法でみたSwイメージの変化, 栃木県医療社会事業協会学会, とちぎ福祉プラザ, 栃木県, 2007.4.14
- ・ 福井康江: 自立支援医療費を考える, 栃木県精神保健福祉士会 実践報告会, とちぎ健康の森, 栃木県, 2007.10.20
- ・ 野村晴美, 竹内孝仁: 特別養護老人ホームにおける介護記録の実態, 日本自立支援介護学会, 銀座ブロッサム, 東京, 2007.5.26
- ・ 山口光治, 坂田伸子, 高山直樹, 本多恵利, 若倉 健: 高齢者虐待予防のためのプログラム開発, 第15回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉学会, 志摩市阿児アリーナ, 三重県志摩市, 2007.5.16
- ・ 須藤昌寛, 若倉 健: 高齢者虐待問題に取り組む地域包括支援センターの現状と今後の課題について, 日本地域福祉学会第21回全国大会, 山口県立大学, 山口県山口市, 2007.6.10
- ・ 鈴木庸一, 若倉 健: ワンステップバス希少地域における有効なバスの運用, 日本福祉のまちづくり学会第10回全国大会, 東洋大学朝霞キャンパス, 埼玉県朝霞市, 2007.8.21
- ・ 伊藤千尋: PSWの働きがいに関する研究—利用者とのかかわりを中心に—, 日本社会福祉学会, 大阪市立大学, 大阪府大阪市, 2007.9.23
- ・ 打保由佳: 障害者の主体性を擁護する介助者の役割に関する研究, 日本社会福祉学会, 大阪市立大学, 大阪府大阪市, 2007.9.22

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 岡部 卓, 六波羅詩朗, 新保美香 他: 生活保護における自立支援の在り方に関する研究, 平成19年度文部科学省厚生科学研究費補助金, 基盤研究B, 課題番号18330112, 採択 (継続)
- ・ 永野なおみ, 小嶋章吾, 竹中麻由美, 横山豊治: 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状とあり方に関する基礎的研究, 平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究C, 継続
- ・ 大石剛史: 地域福祉の主体形成を促進する要因に関する研究, 文部科学省平成18年度科学研究費補助金若手研究B,

社会福祉学, 18730357, 採択

- ・ 永野なおみ : 大学における医療ソーシャルワーカー養成教育の現状とあり方に関する基礎的研究, 平成18年度科学研究費補助金, 基盤研究C, 18530447, 採択

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 会田元明 : 日本教育心理学会, 日本臨床心理士会
- ・ 相原和子 : 日本医療社会福祉学会, 日本社会学会, 日本犯罪社会学会, 日本社会病理学会
- ・ 小林雅彦 : 日本地域福祉学会 (栃木県担当委員), 日本認知症ケア学会 (関東甲信越地域部会委員)
- ・ 六波羅詩朗 : 日本社会福祉学会 (学会機関誌「社会福祉学」査読委員)
- ・ 山崎順子 : 日本社会福祉学会, 日本発達障害学会
- ・ 浅香 勉 : 日本子ども虐待防止学会, 日本社会福祉学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, 日本子ども家庭福祉学会, 日本社会事業大学社会福祉学会
- ・ 絹木憲司 : 日本地域福祉学会, キリスト教社会福祉学会, 介護福祉学会
- ・ 小嶋章吾 : 日本社会福祉学会 (査読委員), 日本介護福祉学会 (査読担当), 日本社会福祉実践理論学会 (査読担当), M-GTA研究会 (世話人)
- ・ 大石剛史 : 日本地域福祉学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会
- ・ 須藤昌寛 : 日本心理学会, 日本福祉心理学会, 日本カウンセリング学会 (認定カウンセラー), 日本老年行動科学会, 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会
- ・ 永野なおみ : 日本社会福祉学会, 日本医療社会事業学会, 介護教育福祉学会, 日本社会福祉教育学会
- ・ 林 和美 : 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本ケアマネジメント学会 (認定ケアマネジャー) (評議員, 学会誌編集委員, 認定ケアマネジャー試験委員)
- ・ 福井康江 : 日本芸術療法学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会
- ・ 野村晴美 : 日本自立支援学会
- ・ 若倉 健 : 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本高齢者虐待防止学会, 日本福祉のまちづくり学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本老年行動科学会, 立正大学社会福祉学会
- ・ 伊藤千尋 : 日本社会福祉学会, 日本精神保健福祉学会
- ・ 打保由佳 : 障害学会, 日本社会福祉学会
- ・ 木納聖子 : 日本介護福祉学会

### 薬学部 (薬学科)

#### 著書

- ・ 伊賀立二, 土屋文人, 井上章治, 中村 均, 宇田明洋, 清水秀行, 木津純子, 野中明人, 鈴木正彦, 旭満里子, 水垣一郎, 青山敏信 (分担執筆, 編集) : 第十二改定調剤指針, 外用薬の調剤一貼付剤 経皮吸収型製剤 外用液剤 吸入剤, 150-170, 薬事日報社, 2008
- ・ 有澤宗久, 奥田拓男 (分担執筆) : 最新生薬学 (3刷), キノン, ピロン, フェノール類またはそれらの配糖体を含む生薬, 122-144, 廣川書店, 2008
- ・ 有澤宗久, 奥田拓男 (分担執筆) : 最新薬用植物学, マメ科, ミカン科等他27科, 161-213, 廣川書店, 2008

- ・ 池田俊也 (分担執筆) : Xa阻害薬のすべて, わが国の医療経済における血栓塞栓症治療とXa阻害薬の役割を探る, 214-218, 先端医学社, 2007
- ・ 池田俊也 (分担執筆) : P4Pのすべてー医療の質に対する支払い方式とは, 米国公的医療保険におけるP4P, 108-116, 医療タイムズ社, 2007
- ・ 池田俊也 (監訳) : 患者安全学入門, エルゼビアジャパン株式会社, 2007
- ・ 小瀧 一 (分担) : 臨床検査データブック, 薬学に関する用語, 669-689, 医学書院, 2007
- ・ 小瀧 一 (編集, 分担執筆), 山田治美 (分担執筆) : ステッドマン医学大事典, 薬学に関する用語, メジカルビュー社, 2008
- ・ 小瀧 一 (編集, 分担執筆) : くすりの地図帳, 「薬の吸収」「ナルコレプシーとくすり」など6項目, 講談社, 2008
- ・ 佐藤拓夫 (分担執筆) : 治験QC/QA~GCP適合性調査の指摘事項をふまえて~, GCP適合性書面調査を踏まえた総括報告書の作成法, 173-181, サイエンス&テクノロジー, 2007
- ・ 角南明彦 (分担執筆) : 疾病薬学, 第8章 内分泌疾患, 第9章 代謝疾患, 189-201, 203-220, 医学評論社, 2007
- ・ 角南明彦 (分担翻訳) : ファーマコセラピー病態生理からのアプローチ (上, 下), 第113章 寄生虫症, 下巻 941-958, ブレーン出版, 2007
- ・ 千葉百子 (分担) : 最新臨床検査項辞典, セレン他, 282他, 医歯薬出版, 2008
- ・ 千葉百子 (分担) : 管理栄養士 全科のまとめ, 環境衛生 産業保健, 5-7, 35-36, 南山堂, 2007
- ・ 伊賀立二, 小瀧 一, 澤田康文 (監修, 解説), 山田治美 (分担執筆) 他 : くすりの地図帳, ①くすりの代謝 ②女性ホルモンと男性ホルモンのくすり, 20-21, 120-121, 講談社, 2008
- ・ 辻 稔 (分担執筆) : 疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学 (第1版第3刷), 第4章 脳・神経の疾患, 第5章 精神の疾患, 136-156, 157-168, 医歯薬出版, 2007
- ・ 辻 稔 (分担執筆) : 理学療法 リスク管理・ビューポイント, I 総論 7.薬物のリスク, 34-39, 文光堂, 2007
- ・ 廣澤伊織, 旭満里子 (分担執筆) : 病気と薬パーフェクトBOOK 2008, 胆石症, 膵炎, 原発性胆汁性肝硬変・原発性硬化性胆管炎, 自己免疫性肝炎, 南山堂, 2008.3
- ・ 真野泰成, 旭満里子 (分担執筆) : 病気と薬パーフェクトBOOK 2008, 肝炎, 肝硬変, NASH, 南山堂, (2007.3)

## 原著論文

- ・ 丸山順也, 旭満里子, 大森 栄 : 病院内医療スタッフへの院内ネットワークを利用した医薬品情報提供システムの評価ー病院内医療スタッフへのアンケート調査よりー, 医薬品情報学, 9(4), 29-36 (261-268), 2008
- ・ Oishi M, Yokoyama H, Abe N, Iwasaki K, Okuguchi F, Kawai K, Sugimoto H, Takamura H, Takeda H, Doi K, Hirao K, Ikeda S : Time and cost involved in the care of newly registered patients with diabetes mellitus and other lifestyle diseases at diabetes clinics in Japan (JDDM 4), Diabet Med, 24(10), 1149-55, 2007
- ・ 藤田 茂, 渡邊 聖, 池田俊也, 小林美亜, 長谷川友紀 : 入院患者の有害事象による追加的な医療費に関する研究, 病院管理, 44, 233-241, 2007
- ・ 恩田光子, 下堂園権洋, 折井孝男, 赤瀬朋秀, 石本敬三, 田中照夫, 飛野幸子, 武藤正樹, 池田俊也 : 病院薬剤師の疑義照会による結果に関する研究, 病院管理, 44, 345-352, 2007
- ・ 池田俊也, 小林 慎, 槇野博史 : 腎症を合併する2型糖尿病に対するアンジオテンシンII受容体拮抗薬の医療経済評価, 病院管理, 44, 353-362, 2007
- ・ Kobayashi M, Ikeda S, Kitazawa N, Sakai H : Validity of retrospective review of medical records as a means of identifying adverse events: comparison between medical records and accident reports., Eval Clin Pract, 14(1), 126-30, 2008



- ・池田俊也, 小林 慎: 高コレステロール血症患者に対するHMG-CoA還元酵素阻害剤 (スタチン) の薬剤経済分析, 日本医療マネジメント学会雑誌, 8(4), 521-525, 2008
- ・T. Yano, A. Aoyagi, S. Kouzuma, Y. Kawamura, I. Isshin, M. Inukai: Pleofungins, Novel Inositol Phosphorylceramide Synthase Inhibitors, from *Phoma* sp. SANK13899, *Journal of Antibiotics*, 60(2), 136, 142, 2007
- ・Ono M., Zhao X. Y., Shida Y., Akita H.:  $\delta$ -Lactone Formation from  $\delta$ -hydroxy-trans- $\alpha$ ,  $\beta$ -unsaturated carboxylic acids accompanied by trans-cis isomerization: synthesis of (-)-tetra- O-acetylosmundalin, *Tetrahedron*, 63, 10140-10148, 2007
- ・Ehara T., Tanigawa S., Ono M., Akita H.: Synthesis of (R)-Curcumene and (R)-Xanthorizol Based on 1,2-Aryl Migration via Phenonium Ion, *Chem. Pharm. Bull.*, 55(9), 1361-1364, 2007
- ・佐藤拓夫: 併用薬剤の調達 用法・用量外の場合における問題点とその解決, *医薬品研究*, 38(6), 306-311, 2007
- ・Kondo M, Tsuge M, Miyamoto H, Sato K, Xie Y, Wang S, Chiba M: Analysis of elements in hair and foods of residents bordering an area with endemic chronic arsenic poisoning caused by burning coal in China, *東横学園女子短期大学紀要*, 42, 1-7, 2008
- ・Yamanoshita O, Ichihara S, Hama H, Ichihara G, Chiba M, Kamijima M, Takeda I, Nakajima T: Chemopreventive effect of selenium-enriched Japanese radish sprout against breast cancer induced by 7, 12-dimethylbenz[a]anthracene in rats, *Tohoku J Exp Med*, 212, 191-212, 2007
- ・Suzuki K, Yamaya Y, Asano K, Chiba M, Sera K, Matsumoto T, Sakai T, Asano R: Relationship between hair elements and severity of atrioventricular block in horses, *Biological Trace Element Research*, 115(3), 255-264, 2007
- ・真野泰成, 野口隆志, 山田治美, 原 明義, 武田弘志, 伊賀立二: 早期体験実習 (Early Exposure) の実施とその評価 - 国際医療福祉大学における取り組み -, *医療薬学*, 33(8), 702-709, 2007
- ・Kurokawa M, Watanabe T, Ishikawa T: Model Construction for the ABC Ring System of Lysergic Acid via Vilsmeier-Haack-type Cyclization of 1H-indole-4-propanoic Acid Derivatives, *Helvetica Chimica Acta*, 90(3), 574-587, 2007
- ・Katakawa K., Nozoe. A., Kogure. N., Kitajima. M., Hosokawa. M., Takayama. H.: Fawcettimine-Related Alkaloids from *Lycopodium serratum*, *J. Nat. Prod.*, 70, 1024-1028, 2007
- ・Shigeyama. T., Katakawa K., Kogure. N., Kitajima. M., Takayama. H.: Asymmetric Total Syntheses of Two Phlegmarine-Type Alkaloids, Lycoposerramines-V and W, Newly Isolated from *Lycopodium serratum*, *Org. Lett.*, 9, 4069-4072, 2007

## 総説

- ・旭満里子, 前澤佳代子, 大森 栄: 問題解決型臨床薬剤師トレーニング⑬, 入院時における持参薬チェックと初回面談, *月刊薬事*, 49(4), 125-129 (583-586), 2007
- ・折井孝男, 旭満里子: 薬学共用試験OSCEとは - 評価者からの提言 - 病院薬剤師の立場から, *月刊薬事*, 49(5), 55-59 (691-695), 2007
- ・土屋広行, 百瀬泰行, 旭満里子, 大森 栄: 問題解決型臨床薬剤師トレーニング⑰, 気管支喘息発作にて入院となった患者へのテオフィリン投与と吸入指導, *月刊薬事*, 49(8), 109-114(1193-1198), 2007
- ・旭満里子 (巻頭言): 臨床薬剤師の役割と今後に期待するもの - 6年制薬学教育の実務実習を迎えるに当たって -, *日本医療薬学会会報*, 11(4), 1-2, 2007
- ・中島 梓, 百瀬泰行, 旭満里子, 大森 栄: 問題解決型臨床薬剤師トレーニング(21), 難治間接リウマチ患者における抗リウマチ薬と生物学的製剤, *月刊薬事*, 49(12), 101-107, 2061-2067, 2007
- ・池田俊也: 米国公的保険 (メディケア) における疾病管理の導入効果, *神奈川医師会報*, 682, 94-96, 2007
- ・池田俊也: ICUにおける専門医師配置の費用対効果, *神奈川医師会報*, 683, 108-110, 2007
- ・池田俊也: 患者集中化による治療成績向上の効果 ~ リープフロッグ・グループの推奨基準より ~, *神奈川医師会報*,

684, 88-90, 2007

- ・ 池田俊也：英国の家庭医に対する「質に基づく支払い（P4P）」の導入効果，神奈川医師会報，685，90-92，2007
- ・ 池田俊也：DPC導入に伴う診療内容の変化について，神奈川医師会報，686，78-80，2007
- ・ 池田俊也：DPC導入に伴う診療内容の変化について（2），神奈川医師会報，687，66-68，2007
- ・ 池田俊也：白血病治療薬イマチニブの費用対効果，神奈川医師会報，688，70-72，2007
- ・ 池田俊也，小林美亜：米国における保健指導の展開 疾病管理（ディジーズ・マネジメント）の考え方，保健師ジャーナル，63，486-490，2007
- ・ 小林美亜，坂口美佐，池田俊也：カルテレビューの方法 スクリーニング基準について，医療安全，12，74-82，2007
- ・ 坂口美佐，小林美亜，池田俊也：カルテレビューの方法 有害事象の最終判定を行う第2次レビューについて，医療安全，13，82-87，2007
- ・ 小林美亜，坂口美佐，池田俊也：カルテレビューの実践力を身につける，医療安全，14，74-79，2007
- ・ 池田俊也，小林美亜：DPC導入に伴う診療内容の変化について，医療と社会，17，167-179，2007
- ・ 池田俊也：ファーマコエコノミクスからみた分子標的治療薬，月刊薬事，49，1835-1839，2007
- ・ 池田俊也：ジェネリック医薬品と治療学的同等性～医師の視点から～，医薬ジャーナル，43，100-103，2007
- ・ 池田俊也：医療安全とコスト 医療事故・合併症により発生する社会的コスト～米国の研究結果より～，Risk Management Times，6，6-7，2007
- ・ 池田俊也：医療安全とコスト 質・安全対策の費用対効果～リープフロッグ・グループの推奨基準～，Risk Management Times，7，6-7，2007
- ・ 池田俊也：医療安全とコスト 医療の質・安全への投資の費用対効果～尿路感染症予防の経済評価，Risk Management Times，8，6-7，2007
- ・ 池田俊也：DPCと薬剤業務，Global Pharmacists，3(4)，8-10，2007
- ・ 池田俊也：効用値測定尺度（選好に基づく尺度），臨牀看護，33，1701-1703，2007
- ・ 小林美亜，池田俊也：眼科と医療問題 ベンチマーキングによる経営改善と医療の質の向上，IOL & RS，21，286-287，2007
- ・ 池田俊也（巻頭言）：イザイ，4，7，2007
- ・ 池田俊也：米国メディケアで導入された臨床指標の報告制度について，神奈川医師会報，689，82-90，2007
- ・ 池田俊也：H.pylori除菌（二次除菌）の医療経済効果，神奈川医師会報，690，88-90，2007
- ・ 池田俊也：臨床指標の最新動向 P4Pの導入で医療の質改善に効果，Team Approach，2，2-5，2007
- ・ 池田俊也：わが国の健康寿命に対する医療の貢献度，Geriatric Medicine，46(1)，21-25，2008
- ・ 池田俊也：H.pylori除菌の医療経済効果，実験治療，688，42-46，2007
- ・ 井関 健，飯島康典，池田俊也，大谷道輝，木平健治，後藤伸之，佐々木忠徳，中村敏明，藤田義人，松山賢治，柳川忠二，佐藤 博，澤田康文，政田幹夫：後発医薬品に関する調査研究，日本病院薬剤師会雑誌，43，1016-1018，2007
- ・ 井関 健，飯島康典，池田俊也，大谷道輝，木平健治，後藤伸之，佐々木忠徳，中村敏明，藤田義人，松山賢治，柳川忠二，佐藤 博，澤田康文，政田幹夫：後発医薬品に関する調査研究，日本病院薬剤師会雑誌，44，29-31，2008
- ・ 小野田学時，伊勢雄也，井上忠夫，大江洋一，恩田光子，佐藤 博，田中克巳，飛野幸子，池田俊也：DPCにおける薬剤師のクリニカルパスと医薬品マネジメントに関する調査研究，日本病院薬剤師会雑誌，43，1007-1010，2007
- ・ 小野田学時，伊勢雄也，井上忠夫，大江洋一，恩田光子，佐藤 博，田中克巳，飛野幸子，池田俊也：DPCにおける薬剤師のクリニカルパスと医薬品マネジメントに関する調査研究，日本病院薬剤師会雑誌，44，24-25，2008
- ・ 佐藤拓夫，中島香恵：国際共同治験において未承認の内容を含む併用薬を使用する場合の問題点と解決，PHARM

STAGE, 7(1), 65-69, 2007

- ・ 佐藤拓夫, 中島香恵: 併用療法において使用される併用薬に関する承認申請の問題点とその解決策, PHARM STAGE, 7(2), 62-66, 2007
- ・ 佐藤拓夫, 中島香恵: 併用療法において使用される併用薬の安全性情報の取り扱いと問題点, PHARM STAGE, 7(3), 62-66, 2007
- ・ 千葉百子, 篠原厚子: 微量元素と生殖, ビタミン, 82(1), 25-33, 2008
- ・ 千葉百子, 篠原厚子: 人工乳の問題点と新たなアプローチ 粉乳中の元素濃度の特徴, 産婦人科の実際, 56(3), 427-433, 2007
- ・ 宮川和也, 辻 稔, 竹内智子, 成田 年, 鈴木 勉, 武田弘志: ストレス適応期と疲憊期における5-HT<sub>1A</sub>受容体の機能変化, 精神科, 11(1), 62-67, 2007
- ・ 辻 稔, 宮川和也, 竹内智子, 武田弘志: 一般行動および抑うつ様行動の評価法, 日本薬理学雑誌, 130, 97-104, 2007
- ・ 辻 稔, 山田朋子, 宮川和也, 竹内智子, 松宮輝彦, 武田弘志: ストレス適応研究からみた気分障害治療薬開発の将来展望, 日本薬理学雑誌, 131, 11-15, 2008

## 研究報告

- ・ 池田俊也: 医療の質に応じた支払い (Pay for Performance) の動向とわが国への導入可能性, (財) 医療科学研究所 2007年度第8回医療経済研究会
- ・ 圓藤吟史, 千葉百子, 花岡研一, 山内 博: ひじきに含まれるヒ素の評価基礎資料調査報告書, 内閣府食品安全委員会 平成18年度食品安全確保総合調査, 1-80, 2007

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 旭満里子: 医療に求められる薬剤師育成のための実務実習—大学と実務実習施設との連携—, 日本医療薬学会第27回医療薬学公開シンポジウム, 日本大学会館, 東京都千代田区, 2007.10.27
- ・ 旭満里子: 6年制薬学教育の実務実習生を送り出す立場から—チーム医療における薬剤師の役割と今後の課題—, 平成19年度第二回薬剤師生涯教育研修会, とちぎ健康の森, 栃木県宇都宮市, 2007.11.4
- ・ 旭満里子: 栃木県から発信する新たな薬学教育と医薬品開発の展望—消費者・患者が求める「くすり」と専門職の役割—, 薬学部フォーラムパネルディスカッション, とちぎ福祉プラザ, 栃木県宇都宮市, 2007.11.18
- ・ 旭満里子: 6年制薬学教育と薬剤師業務の今後の展開—薬剤管理 (指導) 業務を中心に—, 石川県病院薬剤師会学術講演会, 石川県地場産業振興センター, 石川県金沢市, 2008.3.15
- ・ 池田俊也: 循環器疾患とP4Pについて, 第1回医療の質に基づく支払い (P4P) 研究会, 国際医療福祉総合研究所, 東京都港区, 2007.6.30
- ・ 池田俊也: DPCとCP, 平成19年度厚生労働科学研究「包括払いが医療経済及び医療提供体制に及ぼす影響に関する研究班」 (主任研究者: 松田晋哉教授) が実施するDPC夏季セミナー, 産業医科大学, 福岡県北九州市, 2007.8.27-28
- ・ 池田俊也: DPCと医療の質, 第2回総研フォーラム, 本学乃木坂ホール, 東京都港区, 2007.9.15
- ・ 池田俊也: H.pylori除菌治療の費用対効果—医療政策的視点から—, Helicobacter pyloriフォーラム, 経団連会館, 東京都千代田区, 2007.9.29
- ・ 池田俊也: DPCの動向と薬剤業務—ジェネリック医薬品からP4Pまで—, 第17回日本医療薬学会年会, 前橋テルサ, 群馬県前橋市, 2007.9.30
- ・ 池田俊也: カルテレビューによる有害事象の把握について—安全な医療の提供を目指して—, 独立行政法人国立病院

- 機構関東信越ブロック主催 医療安全対策研修会, 国立病院機構本部講堂, 東京都目黒区, 2007.10.17
- ・ 池田俊也 : カルテレビュー, 厚生労働省関東信越厚生局主催 医療安全ワークショップ, 厚生労働省関東信越厚生局, 埼玉県さいたま市, 2007.11.14
  - ・ 池田俊也 : DPC包括支払い導入に伴う診療内容の変化, 第45回日本病院管理学会学術総会パネルディスカッション, 横浜ロイヤルパークホテル, 神奈川県横浜市, 2007.10.26
  - ・ 池田俊也 : 質不良のコスト, 医療の質・安全学会 第2回学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都中央区, 2007.11.23
  - ・ 池田俊也 : 第8回日本クリニカルパス学会, DPC導入に伴う診療プロセスの変化, ロイトン札幌, 北海道札幌市, 2007.10.6
  - ・ 池田俊也 : 平成19年度第2回薬剤経済学研究会, HRQOLの基礎, WTCコンファレンスセンター, 東京都港区, 2007.12.11
  - ・ 池田俊也 : ファーマコエコノミクス研究会, 医療の質に応じた支払い (Pay for Performance)の動向とわが国への導入可能性, オフィス東京, 東京都中央区, 2008.3
  - ・ Chiba M : Nutritional survey and quality of drinking water, Medical Institute of Nukus, Medical Institute of Nukus, Nukus, Republic of Uzbekistan, 2007.4.16
  - ・ Chiba M : Health problem and quality of life, Uzbekistan Academy of Sciences, Institute of Water Problem, Tashkent, Republic of Uzbekistan, 2007.4.18
  - ・ Chiba M : Investigation of Health and Nutrition on school children living near the Aral Sea, Kazakhstan Republic, Institute of Food Research, Institute of Food Research, Norwich, England, 2007.5.4
  - ・ Chiba M : Child health for a sustainable future focused on the Central Asia Republics, International Geotechnical Symposium The Asian Technical Committee of Geotechnical Hazards, The Commission on Earthquake Engineering and Mitigating Industrial & Natural Disaster, Mega Palace Hotel, Yuzhino-Sakhalinsk, Russia, 2007.7.25-27
  - ・ Chiba M : Environment and nutrition plus economy for health, Kyrgyz Academy of Sciences, Academy of Sciences, Bishkek, Kyrgyz Republic, 2007.9.17
  - ・ Chiba M : Health problem after the devastation of the Aral Sea-Child health for a sustainable future focused on the central Asia Republics, II International Conference “Actual Problem of Geo-Ecology and Biodiversity Conservation”, Kyrgyz University Summer house, Isk-kul, Kyrgyz Republic, 2007.9.18-21
  - ・ Chiba M : Effects of environmental contaminants on human health, JICA Program Monitoring of water environments, 環境省地質調査所, 埼玉県所沢市, 2007.10.11
  - ・ 千葉百子 : 健康と飲料水中の微量元素, 第178回順天堂大学医学部衛生・公衆衛生合同ゼミナール, 順天堂大学医学部, 東京都文京区, 2007.10.16
  - ・ Chiba M : Shinohara A, Inaba Y : Environmental devastation and human health in case of reduction of the Aral Sea from the aspect of metal concentrations, International Symposium on Metallomics 2007 Chemical Society of Japan, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.28-12.01
  - ・ 千葉百子 : 金属毒性と化学種 環境汚染物質の健康影響, 環境省, 環境省地質調査所, 埼玉県所沢市, 2007.12.18
  - ・ 千葉百子 : Results of investigation developed east side of the Aral Sea, 鳥取大学農学部・砂田CREST, 鳥取大学農学部, 鳥取県鳥取市, 2008.2.23
  - ・ Chiba M : Environment correlates with nutrition and human health, Hamdard Foundation, Hamdard University, Karachi, Pakistan, 2008.3.6
  - ・ Chiba M : Environment and human health, Pakistan-Japan Culture Society, Japan Consulate General, Pakistan Karachi, 2008.3.7

- ・ Chiba M : Environment, nutrition, and health in children living near the Aral Sea-Protection and sustainable future-, UNDP and Ministry of Foreign Relations, Investments and Trade of the Republic of Uzbekistan International Conference, "Problem of Aral: Impact on the gene pool of population, flora, fauna and International Cooperation for mitigating consequences", Continental Hotel, Tashkent, Republic of Uzbekistan, 2008.3.11-12
- ・ 千葉百子 : 鉛に関する基礎知識, 内閣府食品安全委員会, 内閣府会議室, 東京都千代田区, 2008.3.19
- ・ 辻 稔 : ストレス適応研究からみた不安障害, 薬物・精神・行動の会, 東京慈恵会医科大学, 東京都港区, 2008.2.27
- ・ 辻 稔 : 「紫蘇葉」の抗うつおよび抗不安作用の解明, 第32回「漢方研究」イスクラ奨励賞贈呈式, イスクラ本社ビル, 東京都中央区, 2008.3.9
- ・ 辻 稔 : 気管支鏡に使用する薬剤の薬理動態, 第15回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2007.3.30

## 学会発表

- ・ 真野泰成, 廣澤伊織, 田島正教, 山田治美, 旭満里子 : 国際医療福祉大学における医薬品情報学実習の評価, 第10回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 北海道大学学術交流会館, 北海道札幌市, 2007.7.7-8
- ・ 渡辺紘子, 松田和弘, 萩原紘子, 平野泰子, 旭満里子 : 当院における医療安全への取り組み—院内処方ミス解析—, 日本病院薬剤師会関東ブロック 第37回学術大会, 栃木県総合文化センター, 栃木県宇都宮市, 2007.8.25-26
- ・ 佐藤美幸, 二階堂紋, 平野泰子, 旭満里子 : 病棟ストック薬管理の導入まで—薬剤師の必要性, 日本病院薬剤師会関東ブロック 第37回学術大会, 栃木県総合文化センター, 栃木県宇都宮市, 2007.8.25-26
- ・ 真野泰成, 廣澤伊織, 田島正教, 山田治美, 伊賀立二, 旭満里子 : 国際医療福祉大学薬学部における医薬品情報実習の評価, 日本病院薬剤師会関東ブロック第37回学術大会, 宇都宮総合文化センター, 栃木県宇都宮市, 2007.8.25-26
- ・ 旭満里子 (座長), 中村敏明 (座長) : シンポジウム 医師・看護師・患者と話せる薬剤師—医療における薬剤師の役割を考える, 第17回日本医療薬学会年会, 群馬県民会館 等, 群馬県前橋市, 2007.9.29-30
- ・ 山田治美, 廣澤伊織, 真野泰成, 田島正教, 旭満里子 : 統合失調症外来患者における薬物治療の現状, 第17回日本医療薬学会年会, 群馬県民会館 等, 群馬県前橋市, 2007.9.29-30
- ・ 真野泰成, 廣澤伊織, 田島正教, 山田治美, 伊賀立二, 旭満里子 : 国際医療福祉大学における医療系薬学実習の取り組み, 第17回日本医療薬学会年会, 群馬県民会館 等, 群馬県前橋市, 2007.9.29-30
- ・ 萩原紘子, 平野康子, 旭満里子, 野崎靖之 : 吸入ステロイド薬導入時における薬剤管理指導業務の有用性について, 日本薬学会第128年会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2008.3.26-28
- ・ S Ikeda, M Kobayashi : Cost-effectiveness analysis of palivizumab for respiratory syncytial virus infection in high-risk infants in Japan, 第12回 International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research, Marriott Crystal Gateway Arlington, アメリカ (バージニア州アーリントン), 2007.5.22
- ・ 池田俊也, 小林 慎, 槇野博史 : 2型糖尿病患者に対するテルミサルタンの薬剤経済分析, 第50回日本糖尿病学会年次学術集会, 仙台サンプラザ, ホテルメトロポリタン仙台 等, 宮城県仙台市, 2007.5.26
- ・ 佐藤敏彦, 池田俊也 : 健診・レセプト突合データを用いた糖尿病診療の現状分析, 第50回日本糖尿病学会年次学術集会, 仙台サンプラザ, ホテルメトロポリタン仙台 等, 宮城県仙台市, 2007.5.26
- ・ S Ikeda, M Kobayashi : Cost-Effectiveness of Statins for Primary Prevention of Coronary Heart Disease in Japan, 第23回 International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management, Quebec City Convention Centre, カナダ (ケベック州ケベックシティ), 2007.8.23
- ・ 桑原一彰, 松田晋哉, 久富洋子, 藤森研司, 池田俊也 : DPCとパス 診断群分類を活用した診療プロセスの定量化の試み, 第8回クリニカルパス学会学術集会, ロイトン札幌, 北海道札幌市, 2007.10.5-6

- ・ 桑原一彰, 松田晋哉, 今中雄一, 伏見清秀, 橋本英樹, 石川光一, 堀口裕正, 藤森研司, 林田賢史, 池田俊也 : 診断群分類データベースによる外傷患者の質評価 Injury Severity Score (ISS)とアウトカムとの関連, 第35回日本救急医学会総会・学術集会, リーガロイヤル大阪, 大阪府大阪市, 2007.10.16-18
- ・ 内倉 健, 橋口正行, 池田俊也, 望月真弓 : 薬剤経済研究論文の質の評価に関する既存のチェックリストの再現性・利用性の比較検討, 第13回日本薬剤疫学会学術総会, 東京大学医学部鉄門記念講堂, 東京都文京区, 2007.10.20-21
- ・ 佐藤敏彦, 池田俊也, 岡畑純江, 泉 和生, 野田光彦, 相澤好治 : 糖尿病血糖管理と医療費との関連, 第66回日本公衆衛生学会学術総会, 愛媛県県民文化会館, 愛媛県総合社会福祉会館, 愛媛看護研修センター, 愛媛県愛媛市, 2007.10.24-26
- ・ 坂巻祐介, 中谷英章, 篠村裕之, 石黒喜美子, 猿田享男, 池田俊也, 伊藤 裕 : アンジオテンシン受容体拮抗薬とカルシウム拮抗薬による脳卒中二次予防の医療経済効果の国際比較, 第30回日本高血圧学会総会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2007.10.25-27
- ・ 池田俊也, 小林美亜, 武藤正樹 : DPCデータを用いた診療の質評価の可能性～症例数と臨床指標との関係を中心に～, 第45回日本病院管理学会学術総会, 横浜ロイヤルパークホテル, 神奈川県横浜市, 2007.11.25-26
- ・ 坂口美佐, 小林美亜, 池田俊也 : 有害事象・インシデントにより発生する医療費推計の試み, 第45回日本病院管理学会学術総会, 横浜ロイヤルパークホテル, 神奈川県横浜市, 2007.11.25-26
- ・ 亀井美和子, 池田俊也, 武藤正樹, 飯島康典, 山本信夫 : 長期投薬患者に対する薬学的管理指導の有用性に関する研究, 第45回日本病院管理学会学術総会, 横浜ロイヤルパークホテル, 神奈川県横浜市, 2007.11.25-26
- ・ 尾能満智子, 中村紘一, 白石昌彦, 小田由起子, 藤原直子, 井尻聡一郎 : 国際医療福祉大学薬学部におけるコミュニケーション実習, 日本薬学会第128年会 (横浜), パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2008.3.27
- ・ 角南明彦 : 抗狭心症薬ranolazineのモルモット心室筋単一遅延Naチャンネル電流抑制作用, 第81回日本薬理学会年会, パシフィコ横浜 会議センター, 横浜, 2008.3.19
- ・ 千葉百子, 篠原厚子, 稲葉 裕 : 希土類化合物取扱い職場の粉塵中希土類元素と粒径分布, 第80回日本産業衛生学会総会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2007.4.25-27
- ・ 千葉百子 (座長) : シンポジウム 食品に含まれる微量元素の健康リスク評価, 第18回日本微量元素学会第総会 Biomed Res Trace Elements 18(2) 142-144, 福井県国際交流会館, 福井県福井市, 2007.7.5-6
- ・ 中西由季子, 鈴木美季子, 稲毛寛子, 千葉百子, 篠原厚子, 関根美和, 稲葉 裕, 駿河和仁, 木村修一 : 骨粗鬆症モデルラットにおけるCCP (カゼイン・カルシウム・フォスフォペプチド) 強化乳の生体利用効率試験, 第18回日本微量元素学会総会 Biomed Res Trace Elements 18(2) 164, 福井県国際交流会館, 福井県福井市, 2007.7.5-6
- ・ 篠原厚子, 松林里絵, 平畑徹幸, 千葉百子, 稲葉 裕 : キレーション治療による鉛の尿中排泄, 第18回日本微量元素学会総会 Biomed Res Trace Elements 18(2) 172, 福井県国際交流会館, 福井県福井市, 2007.7.5-6
- ・ Shinohara A, Chiba M, Inaba Y : Biological investigation after oral administration of samarium compounds in mice, Fifth International Conference on Rare Earth Development and Application, Baotou Municipal Government, Inner Mongolia, China, 2007.8.7-11
- ・ Shimoda T, Ogihara A, Shinohara A, Chiba M, Sasaki S : Seasonal variation in the food intake frequency of children in the Aral Sea region, 10<sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition, Taipei 101-story building, Taipei, Taiwan, 2007.9.9-13
- ・ 篠原厚子, 千葉百子 : 微量元素の生体内分布と疾病への応用, 日本分析化学会第56年会, 徳島大学工学部, 徳島県徳島市, 2007.9.19-21
- ・ Shimoda T, Ogihara A, Shinohara A, Chiba M : Iron status of seasonal variation investigated in children living near the Aral Sea, Kazakhstan, Third International Conference on Polyphenols and Health, Satellite Symposium in Kagoshima, Kagoshima University, Kagoshima, Kagoshima, 2007.11.23-24

- Matsukawa T, Kobayashi J, Shinohara A, Chiba M, Inaba Y : Simultaneous determination of the enantiomers of selenomethionine by capillary gas chromatography-mass spectrometry, International Symposium on Metallomics 2007 Chemical Society of Japan, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.28-12.1
- Kobayashi J, Terada H, Sugiyama H, Matsukawa T, Shinohara A, Chiba M, Inaba Y, Detection of trace bismuth in environmental water samples by ICP-MS, International Symposium on Metallomics 2007 Chemical Society of Japan, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.28-12.1
- Tanaka Y, Ohno T, Otake T, Shinohara A, Chiba M, Hirata T : Isotopic fractionation of iron through metabolism, International Symposium on Metallomics 2007 Chemical Society of Japan, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.28-12.1
- Hirata T, Tanoshita M, Tanaka Y, Suga A, Shinohara A, Chiba M : Isotopic fractionation of calcium through elemental metabolism, International Symposium on Metallomics 2007 Chemical Society of Japan, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.28-12.1
- Shinohara A, Chiba M, Inaba Y : Biological behavior of samarium compounds in mice-comparative studies of oral, intravenous, and inhalation routes, International Symposium on Metallomics 2007 Chemical Society of Japan, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.28-12.1
- 篠原厚子, 千葉百子, 稲葉 裕 : 女子大生の健康感一体型と食に関するアンケート結果, 第78回日本衛生学会総会日衛誌 63(2) 482, 熊本市市民会館, 熊本県熊本市, 2008.3.28-31
- 松川岳久, 小林 淳, 長谷川弘, 篠原佳彦, 篠原厚子, 千葉百子, 市田公美, 稲葉 裕 : GC-MS-SIMによるDおよびL-セレンメチオニンの分別定量法の開発, 第78回日本衛生学会総会日衛誌 63(2) 482, 熊本市市民会館, 熊本県熊本市, 2008.3.28-31
- 小田由紀子, 渡邊敏子, 村上泰興 : Benz[f]indoleの反応性の検討ーハロゲン化における生成物の構造解析ー, 日本薬学会第128年会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2008.3.26
- 藤井博文, 森 重信, 山田治美 他 : がんプロフェッショナル養成プラン採択プログラム発表 (自治医科大学・国際医療福祉大学) 「全人的ながん医療の実践者養成」, 文部科学省 平成19年度大学教育改革プログラム合同フォーラム, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2008.2.9
- 辻 稔, 宮川和也, 竹内智子, 武田弘志, プロテオーム解析によるストレス適応関連機能蛋白質の検索, 第116回日本薬理学会関東部会口演要旨集, 日本大学カザルスホール・大学院法務研究科講堂, 東京都千代田区, 2007.6.2
- 辻 稔 (座長) : 第116回日本薬理学会関東部会口演要旨集, 日本大学カザルスホール・大学院法務研究科講堂, 東京都千代田区, 2007.6.2
- 辻 稔 (座長) : 第29回日本生物学的精神医学会・第37回日本神経精神薬理学会合同年会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2007.7.13
- 辻 稔, 宮川和也, 竹内智子, 青木美穂子, 武田弘志 : 各種抗うつ薬の抗侵害刺激作用に対するカルバマゼピンの増強効果, 第1回日本緩和医療薬学会年会, 星薬科大学, 東京都品川区, 2007.10.20-21
- 辻 稔 (実行組織委員) : 第1回日本緩和医療薬学会年会, 星薬科大学, 東京都品川区, 2007.10.20-21
- 辻 稔, 宮川和也, 竹内智子, 武田弘志 : ストレス適応モデルマウスにおいて変動する脳内タンパク質の網羅的検索ープロテオーム解析による検討ー, 第23回日本ストレス学会学術総会, 東京医科大学病院臨床講堂, 東京都新宿区, 2007.11.9
- 辻 稔 (シンポジウムオーガナイザー, 座長) : ストレスにまつわる脳科学研究の最前線, 第23回日本ストレス学会学術総会, 東京医科大学病院臨床講堂, 東京都新宿区, 2007.11.10
- 辻 稔 (事務局長) : 第23回日本ストレス学会学術総会, 東京医科大学病院臨床講堂, 東京都新宿区, 2007.11.10

- ・ 辻 稔, 宮川和也, 竹内智子, 武田弘志 : DNAマイクロアレイを用いたストレス抵抗性マウスの海馬における遺伝子発現解析, 第81回日本薬理学会年会, パシフィコ横浜会議センター, 神奈川県横浜市, 2008.3.17
- ・ 辻 稔 (座長) : 第81回日本薬理学会年会, パシフィコ横浜会議センター, 神奈川県横浜市, 2008.3.17
- ・ 井尻聡一郎 他3名 : 微小透析法を用いた肝臓中ヒスタミン定量法の開発と発ガン性マーカーへの応用, 日本薬学会第128年会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2008.3.28
- ・ 重山貴秀, 片川和明, 小暮紀行, 北島満里子, 高山廣光 : 新規Phlegmarine型リコポジウムアルカロイド Lycoposerramine-VおよびWの不斉全合成, 第92回有機合成シンポジウム, 早稲田大学国際会議場, 東京都, 2007.11.8
- ・ 片川和明, 小暮紀行, 北島満里子, 高山廣光 : トウゲシバ (*Lycopodium serratum*) より単離した新規アルカロイドの構造, 日本薬学会128年会, パシフィコ横浜 他, 神奈川県横浜市, 2008.3.26
- ・ 辻 稔, 宮川和也, 竹内智子, 武田弘志 : プロテオーム解析を用いたストレス適応モデルマウスにおける脳内タンパク質の発現変動解析, 第23回日本ストレス学会学術総会, 東京医科大学, 東京, 2007.10.3
- ・ 高石雅樹, 北原有貴, 島田章則, 鈴木純子, 佐藤雅彦, 永瀬久光 : Benzo[a]pyreneの発がんに対するメタロチオネインの防御的役割, メタロチオネインおよびメタルバイオサイエンス研究会2007, 徳島文理大学国際会議場, 徳島県徳島市, 2007.9.29
- ・ Takaishi M, Sawada M, Shimada A, Suzuki JS, Satoh M, Nagase H : Protective role of metallothionein in benzo[a]pyrene-induced DNA damage and tumorigenesis, International Symposium on Metallomics 2007, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.11.29

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 池田俊也 (主任研究者) : 医療安全管理専従者の役割と効果に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業
- ・ 池田俊也 (分担研究者), 朝倉 均 (主任研究者) : EBM手法による診療ガイドラインの改善・評価と体系化推進を支援するソフトウェアの構築並びに実装に関する実験的研究, 厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業
- ・ 池田俊也 (分担研究者), 松田晋哉 (主任研究者) : 包括払い方式が医療経済及び医療提供体制に及ぼす影響に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業
- ・ 池田俊也 (分担研究者), 種田憲一郎 (主任研究者) : 医療安全推進に必須の組織文化 (安全文化) の測定および簡便な有害事象把握手法の開発と活用, 厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業
- ・ 池田俊也 (分担研究者), 高橋裕子 (主任研究者) : 各種禁煙対策の経済影響に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
- ・ 池田俊也 (分担研究者), 井上有史 (主任研究者) : 乳児重症ミオクロニーてんかんに対する新たな治療法確立のための研究, 厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業 : 臨床試験推進研究
- ・ 池田俊也 (研究協力者), 上原鳴夫 (主任研究者) : 医療の質・安全を確保する新しい医療システムを実現するための戦略に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 医療安全・医療技術評価総合研究事業
- ・ 千葉百子 (分担) : 開発途上国における環境汚染の発生・生殖影響に関する国際共同研究, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(B)海外学術調査, 18406026, 継続
- ・ 原 明義 : 心血管リモデリングにおけるプロスタノイドの役割解明とその予防・治療への応用, 科学研究費補助金 (平成18~20年度), 基盤研究(C), 18590229, 継続
- ・ 辻 稔 : ストレス適応の形成ならびに破綻機構における5-HT<sub>7</sub>受容体の機能的役割の解明, 平成19年度科学研究費補助金, 若手研究(B), 19790069, 採択



- ・片川和明：新規リコピジウムアルカロイドの探索と生合成に関する化学的アプローチ，科学研究費補助金（若手研究（スタートアップ）），198902030001，採択
- ・廣澤伊織：転倒・転落時の服用薬剤とその薬物血中濃度との関連についての調査，平成19年度科学研究費補助金（奨励研究），自然科学 医療 I（薬学），19923055，採（辞退）

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・辻 稔：第32回「漢方研究」イスクラ奨励賞，「紫蘇葉」の抗うつおよび抗不安作用の解明，2008.3.9

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・旭満里子：医療薬学会（評議員，認定・指導薬剤師，版委員，企画運営委員），医薬品情報学会（幹事），日本薬学会（薬学教育改革大学人会議OSCE内容・体制委員会委員）
- ・有澤宗久：日本薬学会，日本生薬学会（評議員），和漢医薬学会
- ・池田俊也：日本薬剤疫学会（理事，学会誌編集委員），日本病院管理学会（評議員，学会誌編集委員），日本医療マネジメント学会（評議員，査読委員），日本クリニカルパス学会（評議員），日本ジェネリック医薬品学会（評議員，査読委員），国際医薬経済・アウトカム研究学会（日本部会理事，次期会長），日本公衆衛生学会（査読委員），日本糖尿病学会，日本耳鼻咽喉科学会
- ・小嶋 晃：日本薬学会，日本生化学会
- ・尾能満智子：日本薬学会，有機合成化学協会，日本女性科学者の会
- ・小瀧 一：日本薬学会，日本医療薬学会（評議員），日本薬物動態学会，日本臨床薬理学会
- ・佐藤拓夫：日本薬理学会（学術評議員）
- ・角南明彦：日本薬理学会（学術評議員），日本生理学会（評議員），日本薬学会，Biophysical Society (US)，Society of General Physiologists (US)，The Physiological Society (UK)
- ・中村統一：日本臨床薬理学会（認定医，指導医）（評議員，「臨床薬理研究振興財団賞」選考委員会委員，拡充・広報小委員会委員），日本麻酔科学会（認定医，専門医），アメリカ麻酔学会，日本薬理学会，日本中毒学会，
- ・原 明義：日本薬理学会（学術評議員），日本臨床薬理学会，日本薬学会，日本循環薬理学会，創薬薬理フォーラム
- ・久岡正史：日本薬物動態学会，日本薬学会，日本臨床薬理学会
- ・吉川博治：日本生物工学会
- ・渡邊敏子：日本薬学会（関東支部幹事），日本化学会
- ・白石昌彦：日本薬学会，日本分子生物学会，日本生化学会，日本癌学会，Epigenetics Society
- ・山田治美：日本薬学会，日本薬物動態学会，日本医療薬学会
- ・辻 稔：日本薬理学会（学術評議員），日本ストレス学会（学術評議員），日本緩和医療薬学会（学術評議員，編集委員会委員），神経行動薬理若手研究者の集い（世話人），日本薬学会，日本神経精神薬理学会
- ・井尻聡一郎：日本薬学会，日本分析化学会
- ・片川和明：日本薬学会，日本生薬学会
- ・廣澤伊織：日本医療薬学会，日本薬学会
- ・真野泰成：日本医療薬学会（認定薬剤師），日本病院薬剤師会（実務実習指導薬剤師，生涯履修認定），日本薬学会，日本医薬品情報学会
- ・宗像達夫：日本薬学会，日本医療情報学会（医療情報技師）
- ・宮川和也：日本薬理学会，日本ストレス学会，日本神経精神薬理学会，日本緩和医療薬学会，日本神経科学学会，日本薬学会，日本トキシコロジー学会，日本鎮痛薬・オピオイド研究会

- ・ 高石雅樹：日本薬学会，日本トキシコロジー学会
- ・ 田島正教：日本薬学会，日本医療薬学会
- ・ 中前琢磨：日本薬学会，日本法中毒学会

## 福岡リハビリテーション学部（理学療法学科）

### 著書

- ・ 杉原 甫，青木茂久：糖尿病カレントライブラリー，肥満の脂肪細胞診断，76-80，文光堂，2007
- ・ 杉原 甫，青木茂久：メタボリック・シンドロームと循環器合併症，脂肪細胞は肥大し増殖する，25-29，中外医学社，(2007.1)
- ・ 石川 斎（編集），高橋精一郎（分担執筆）：図説理学療法技術ガイド（第3版），牽引療法，383-386，文光堂，2007
- ・ 細田多穂（監修），高橋精一郎（分担執筆）：理学療法入門テキスト，専門職団体の一員として，100-102，南江堂，2007
- ・ 奈良貴史：近世・近現代考古学入門，近世考古学と形質人類学，133-146，慶應義塾大学出版会，2007
- ・ 奈良貴史，澤田純明：考古学談叢，微小骨片の古組織学的検討による動物種類の同定，467-476，六一書房，2007
- ・ 金子秀雄：臨床理学療法マニュアル，協調性評価，62-66，南江堂，2007

### 原著論文

- ・ 丹羽 敦，矢倉千昭，江崎好美，龍 尚子，田淵由貴，古川昭人，田原弘幸：高齢者に対する運動機能向上プログラムが運動パフォーマンスおよび健康関連QOLに及ぼす影響，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，3，27-36，2007
- ・ 中原雅美，村上茂雄，矢倉千昭，森田正治，清水和代，宮崎至恵，坂口重樹，渡利一生，松崎秀隆，吉本龍司，山口 寿，玉利 誠，漆川沙弥香，田原弘幸：臨床実習における学生の情意能力とストレスの変化，柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院紀要，3，52-56，2007
- ・ 岡真一郎，矢倉千昭，花岡秀明，木原勇夫，岩本麻実子，山崎雅之，田原弘幸，塩飽邦憲：肥満傾向のある中高年者における体格 体組成及び運動機能と健康関連QOLとの関係，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，3，109-113，2007
- ・ Toda S, Sugihara H : Radiation Risk Perspectives in International Congress Series, Culture system for studying thyroid biology, 129, 273-280, 2007
- ・ Kai S, Yoshimoto R, Nakahara M, Murakami S, Watari K, Takahashi S : Change of the muscular activity by activation training of the lower trunk muscle in two-leg to one-leg standing shift of an elderly man, J. Phys. Ther. Sci., 20(1), 63-66, 2008
- ・ Kai S, Nakahara M, Murakami S, Yoshimoto R, Watari K, Ooura Y, Nakatomi K, Takahashi S : Heart rate variability during two-leg to one-leg standing shift in the elderly, J. Phys. Ther. Sci., 20(1), 67-70, 2008
- ・ 矢倉千昭，木原勇夫，乃木章子，花岡秀明，橋本道男，塩飽邦憲：肥満改善プログラムにおけるレジスタンス運動が体重および体格に及ぼす影響，理学療法福岡，20，58-63，2007
- ・ 津田拓郎，曾田武史，岡崎倫江，矢倉千昭：肩こりにおける頸部・上部体幹筋群の筋硬度評価，理学療法福岡，20，

91-94, 2007

- ・高畑哲郎, 那須千鶴, 橋爪佳代, 岡真一郎, 矢倉千昭: 健常成人男性における等速性膝関節筋力と片脚ホップパフォーマンスとの関係, 国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部紀要, 3, 115-119, 2007
- ・大石 賢, 高柳公司, 平野真貴子, 野口浩孝, 大場潤一, 有村圭司, 中川 浩, 曾田武史, 矢倉千昭: 脳卒中片麻痺患者における手すり支持椅子立ち上がりテストの有効性, 長崎理学療法, 7, 24-29, 2008
- ・中川 浩, 大石 賢, 矢倉千昭, 曾田武史, 中野裕之: 虚弱高齢者におけるバランス反応と転倒歴およびバランス評価との関係, 長崎理学療法, 7, 17-23, 2007

## 総説

- ・田原弘幸: 脳性麻痺理学療法の現状と課題, 理学療法, 24(3), 421-426, 2007.3.15
- ・杉原 甫: 脂肪細胞は増えるか, Adiposcience, 4(5), 466-468, 2007
- ・杉原 甫, 井手弘幸: メタボリック・シンドローム 俊約遺伝子の破綻, 国際医療福祉大学, 福岡リハビリテーション学部紀要, 3, 1-12, 2007

## 研究報告

- ・澤田純明, 奈良貴史: 花巻市高木中館遺跡出土骨片の骨組織形態学的検討, 岩手考古学, 19, 107-112, 2007
- ・奈良貴史: 西張平遺跡出土人骨, 青森県文化財調査報告書第436集, 245-248, 2007
- ・奈良貴史: 青森県東北町赤平(2)遺跡出土人骨について, 青森県文化財調査報告書第438集, 158-162, 2007
- ・安本誠一, 高田健次郎, 田崎 茂: 湯川型とガウス型の相互作用を使ったダイソン・ボソン展開法, 素粒子論研究, 115(2), B62-B67, 2007
- ・松田憲亮, 堤よりこ, 吉住浩平, 永井良治, 井上明生: 股関節圧縮下運動が立位姿勢制御に及ぼす影響, 柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院紀要, 3, 31-34, 2007
- ・堤よりこ, 永井良治, 吉住浩平, 松田憲亮, 井上明生, 荘念 仁, 境野昌範: 変形性股関節症病期進展予防の一手段—柳川リハ式簡易股関節装具の検討—, 柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院紀要, 3, 35-38, 2007
- ・吉住浩平, 永井良治, 梅津重治, 井上明生: 術後変形性股関節症患者の歩行開始後における骨盤傾斜の経時的変化—歩行開始後における骨盤傾斜角度の経時的変化—二次元動作解析を用いて—, Hip Joint, 33, 126-128, 2007
- ・梅津重治, 永井良治, 吉住浩平, 井上明生: 股関節伸展角度が骨頭悪圧壊に及ぼす影響, Hip Joint, 33, 110-114, 2007
- ・大木誠竜, 永井良治, 吉住浩平, 松田憲亮: 脊髄小脳変性症患者におけるリフティング課題の有用性の検討, 第29回九州PT・OT学会, 29, 83, 2007
- ・永井良治, 吉住浩平, 松田憲亮, 堤よりこ: 肩関節のニュートラル肢位と傘さし歩行の関係, PNF FUN, 2, 21-25, 2008
- ・広松聖夫, 井上明夫, 吉住浩平: Whole Body Vibration Exerciseによる転倒予防訓練, ジェントロジー, 19(3), 90-95, 2007

## 講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・田原弘幸: 職業倫理・職場管理, 福岡県理学療法士会・平成19年度新人研修会, 柳川リハビリテーション学院, 福岡県柳川市, 2007.11.25
- ・杉原 甫: 脂肪細胞 肥満, 再生, 癌—脂肪細胞の多彩な機能, 第17回福岡県医学検査学会, 国際医療福祉大学, 大川市, 2007.6.17

- ・ 杉原 甫：脂肪細胞の肥大と増殖，第15回西日本肥満研究会，国際交流会館，熊本市，2007.7.7
- ・ 杉原 甫：Meet the Specialist 2007 脂肪細胞，Meet the Specialist（世話人：東京大学循環器内科），山の上ホテル，東京都，2007.7.31
- ・ 杉原 甫：メタボリック・シンドロームと脂肪細胞，19年度長崎学校医協会懇話会，長崎市医師会館，長崎市，2007.11.5
- ・ 杉原 甫：脂肪細胞 肥満，再生，癌，第6回佐賀南部生活習慣病フォーラム，武雄センチュリーホテル，武雄市，2007.11.13
- ・ 高橋精一郎：障害概論，第16回障害者スポーツ指導員養成地方研修会，北九州市障害者スポーツセンター，北九州市，2008.2.24
- ・ 奈良貴史：フランス人類学事情，日本人類学会シンポジウム 海外の人類学関連学会の動向，日本歯科大学，新潟市，2007.10.6
- ・ 金子秀雄：呼吸理学療法入門，チーム医療CE研究会，国際医療福祉大学大講義室，福岡県大川市，2007.6.2
- ・ 金子秀雄：呼吸器疾病のリハビリテーション，大牟田市保健福祉部健康対策課，大牟田市労働福祉会館，福岡県大牟田市，2007.9.20
- ・ 永井良治：PNFマットと歩行について，日本PNF協会，柳川リハビリテーション病院，福岡県柳川市，（2007.1.27）
- ・ 永井良治：PNFの基本原則について，日本PNF協会，柳川リハビリテーション病院，福岡県柳川市，2007.7.22
- ・ 永井良治：キアリ手術後の理学療法について，久留米大学整形外科教室，柳川リハビリテーション病院，福岡県柳川市，2007.8.22
- ・ 吉住浩平：変形性股関節症患者の理学療法介入への提案，運動器リハビリテーション，福岡国際会議場，福岡市，2008.1.20
- ・ 吉住浩平：変形性股関節症患者と向き合うために，リハビリテーション筑豊の会，麻生飯塚病院，飯塚市，2008.3.23

## 学会発表

- ・ 曾田武史，矢倉千昭，津田拓郎，岡崎倫江，那須千鶴，吉村和代，高畑哲郎，中川 浩，大石 賢，田原弘幸：小型チップを用いた動的足底刺激がヒラメ筋H反射に及ぼす影響，第42回日本理学療法士学会大会，朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター），新潟県新潟市，2007.5.24-26
- ・ 甲斐 悟，金子秀雄，矢倉千昭，高橋精一郎，千代丸信一，田原弘幸：速さー正確性課題時の運動学習の両手間転移，第42回日本理学療法士学会大会，朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター），新潟県新潟市，2007.5.24-26
- ・ 青木茂久，杉原 甫 他：各種間質細胞は特異的な微小環境を形成することで癌細胞の浸潤・増殖を調節する，第96回日本病理学会総会，大阪国際会議場，大阪市，（2007.3.13）
- ・ 戸田修二，杉原 甫 他：マスト細胞は脂肪細胞の血管新生を促進する，第96回日本病理学会総会，大阪国際会議場，大阪市，（2007.3.14）
- ・ 内橋和芳，杉原 甫 他：骨芽細胞とヒト骨髄脂肪細胞の細胞相互間作用は骨髄のホメオスタシスに関与する，第96回日本病理学会総会，大阪国際会議場，大阪市，（2007.3.15）
- ・ 蒲池紀之，杉原 甫 他：放射線被爆線維芽細胞は扁平上皮癌細胞の浸潤性増殖を促進する，第96回日本病理学会総会，大阪国際会議場，大阪市，（2007.3.15）
- ・ 園田恵美子，杉原 甫 他：成熟脂肪細胞等のための細胞動態解析のための長期培養法の確立，第80回日本内分泌学会総会，東京国際フォーラム，東京都，2007.6.14
- ・ 内橋和芳，杉原 甫 他：骨芽細胞とヒト骨髄脂肪組織の相互作用は骨髄のホメオスタシスに関与する，第80回日本内分泌学会総会，東京国際フォーラム，東京都，2007.6.14

- ・戸田修二, 杉原 甫 他: マスト細胞は脂肪組織の血管新生を促進する, 第80回日本内分泌学会総会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.6.15
- ・角田智之, 杉原 甫 他: 脂肪腫の三例, 第75回日本口腔外科学会九州地方会, 筑水会館, 久留米市, 2007.9.1
- ・園田恵美子, 杉原 甫 他: 成熟脂肪細胞, 前脂肪細胞, 間葉系幹細胞を有する脂肪組織の長期培養法, 第11回日本内分泌病理学会総会, ロイトン札幌, 札幌市, 2007.10.19
- ・松崎秀隆, 甲斐 悟, 高橋精一郎, 村上茂雄, 森田正治: O脚を呈する若年女性の関節弛緩性と足趾筋力, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・平川善之, 上堀内三恵, 山崎登志也, 宮前雄治, 高橋精一郎, 甲斐 悟, 体幹筋トレーニングによる姿勢安定化の検討~下部腹筋トレーニング前後での股関節周囲筋群の筋活動の比較~, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・永崎孝之, 山本広伸, 福留英明, 岡田裕隆, 甲斐 悟, 高橋精一郎: 吹矢練習は呼吸機能にどのような影響を与えるか?, 第29回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 鹿児島県民交流センター, 鹿児島県鹿児島市, 2007.11.18
- ・金子秀雄, 丸山仁司, 佐藤広徳, 上 武士, 今山隆士, 中原快明: 慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸筋活動と運動耐容能の関連性, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・岡崎倫江, 那須千鶴, 吉村和代, 曾田武史, 津田拓郎, 高畑哲郎, 大石 賢, 中川 浩, 矢倉千昭: 女性における月経周期と膝関節周囲筋の筋硬度との関係, 第42回日本理学療法士学会大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・高畑哲郎, 津田拓郎, 曾田武史, 岡崎倫江, 那須千鶴, 吉村和代, 大石 賢, 中川 浩, 矢倉千昭: 健康成人におけるジャンプパフォーマンスと膝関節周囲筋の筋機能との関係, 第42回日本理学療法士学会大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・中川 浩, 大石 賢, 曾田武史, 岡崎倫江, 津田拓郎, 矢倉千昭: 質的バランス評価と定量的バランス評価の関係, 第42回日本理学療法士学会大会, 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・Yagura C, Kihara I, Hashimoto M, Watanabe M, Yamasaki M, Hanaoka H, Nogi A, Shiwaku K: Body Composition and Physical Function are Associated with Blood Pressure Levels and Arterial Compliance in Middle-Age and Older Adults, 15<sup>th</sup> International WCPT Congress in Canada, The Vancouver Convention and Exhibition Center, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- ・大石 賢, 高柳公司, 平野真貴子, 野口浩孝, 大場潤一, 有村圭司, 内田由美子, 中川 浩, 矢倉千昭: 維持期脳卒中片麻痺患者における手すり支持椅子立ち上がりテストと下肢筋力との関連, 第57回日本病院学会, つくば国際会議場(エポカルつくば), 茨城県つくば市, 2007.6.14-15
- ・木原勇夫, 矢倉千昭: 肥満改善プログラムにおける歩行能力の変化に関連する因子, 第62回日本体力医学会大会, ノースアジア大学, 秋田県秋田市, 2007.9.14-16
- ・那須千鶴, 津田拓郎, 吉村和代, 高畑哲郎, 曾田武史, 大石 賢, 中川 浩, 矢倉千昭: 筋硬度測定信頼性と再現性, 第29回九州理学療法士・作業療法士合同学会, かがしま県民交流センター, 鹿児島県鹿児島市, 2007.11.17-18
- ・高畑哲郎, 曾田武史, 津田拓郎, 那須千鶴, 吉村和代, 木原勇夫, 矢倉千昭: 温熱療法の直接および間接刺激による末梢循環機能の変化, 第29回九州理学療法士・作業療法士合同学会, かがしま県民交流センター, 鹿児島県鹿児島市, 2007.11.18
- ・荒巻誓子, 永井公子, 中原雅美, 青木雄介, 矢倉千昭: 介護老人保健施設入所者の前頭葉機能と認知機能, 社会活動性およびADLの関係, 第17回福岡県理学療法士学会, 朝倉市総合市民センター(ピーポット甘木), 福岡県朝倉市, 2008.2.24
- ・青木雄介, 松本陽子, 中原雅美, 荒巻誓子, 岡崎倫江, 矢倉千昭: 通所リハビリテーション利用者における運動機能, 身体活動量と抑うつとの関連, 第17回福岡県理学療法士学会, 朝倉市総合市民センター(ピーポット甘木), 福岡県朝

倉市, 2008.2.24

- ・ 安本誠一, 高田健次郎, 清水良文, 田崎 茂: 準粒子表示でのDyson boson mapping I, 日本物理学会第62回年次大会, 北海道大学, 北海道札幌市, 2007.9.21
- ・ 田崎 茂, 高田健次郎, 安本誠一: 準粒子表示でのDyson boson mapping II, 日本物理学会第62回年次大会, 北海道大学, 北海道札幌市, 2007.9.21
- ・ 永井良治 (座長): 第17回福岡県理学療法士学会, 朝倉市総合市民センター, 福岡県朝倉市, (2007.2.24)
- ・ 永井良治 (座長): 第29回九州PTOT学会, 鹿児島県民交流センター, 鹿児島県鹿児島市, 2007.11.17
- ・ 大木誠竜, 永井良治, 吉住浩平: 脊髄小脳変性症患者リフティング課題の有用性の検討, 第29回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 鹿児島県民交流センター, 鹿児島市, 2007.11.17
- ・ 吉住浩平 (運営): 第1回関節疾患理学療法研究会学術大会, 神奈川県立保健福祉大学, 神奈川県横須賀市, 2007.9.16-17

### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 杉原 甫: 指定なし, 奨学寄附金 (SRL社より)
- ・ 奈良貴史, 鈴木敏彦, 米田 穰, 澤田純明: 幼小児出土人骨の死の背景を探る, 科学研究費補助金, 基盤研究C, 18500769, 継続

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 矢倉千昭: 博士 (医学), 日本人健常若年成人における心血管リスクファクターおよび関連マーカーの評価  
Evaluation of cardiovascular risk factors and related clinical markers in healthy young Japanese adults, 2008.3.19
- ・ 吉住浩平: 保健医療学修士, 術後変形性股関節症患者の歩行開始時における運動力学的特性, 2008.3.7

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 田原弘幸: 日本理学療法士協会 (専門理学療法士 (理学療法基礎系) (教育・管理系)) (学術誌「理学療法学」編集委員), 日本疫学会, 日本公衆衛生学会, 日本QOL学会, 日本小児保健協会
- ・ 杉原 甫: 日本病理学会 (病理専門医) (学術評議員), 日本肥満学会 (理事 (財務担当)), 日本内分泌学会 (功労評議員), 再生医療学会, 内分泌病理学会 (名誉会員)
- ・ 高橋精一郎: 日本理学療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 日本公衆衛生学会, 日本産業衛生学会
- ・ 奈良貴史: 日本人類学会, 日本解剖学会, 日本考古学協会
- ・ 藤城直二: 日本生理学会 (評議員), 日本動物学会
- ・ 渡辺恵子: 日本病理学会 (専門医), 日本臨床細胞学会 (細胞診指導医)
- ・ 甲斐 悟: 日本理学療法士協会, 理学療法科学学会, 日本解剖学会, 日本障害者スポーツ協会, 日本整形徒手療法協会
- ・ 金子秀雄: 理学療法科学学会, 日本義肢装具学会, 日本靴医学会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 3学会合同呼吸療法認定士認定委員会 (3学会合同呼吸療法認定士)
- ・ 矢倉千昭: 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本運動生理学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本農村医学会, 日本徒手の理学療法研究会, 日本マイオセラピー協会, 理学療法科学学会
- ・ 安本誠一: 日本物理学会, 情報処理学会
- ・ 永井良治: 日本PNF協会, 日本理学療法士協会
- ・ 吉住浩平: 日本理学療法士協会, 福岡県理学療法士会, 日本PNF協会

## 福岡リハビリテーション学部（作業療法学科）

### 著書

- ・ 杉森 甫（分担執筆）：よくわかる卵巣がんのすべて，婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構，474-476，永井書店，2007
- ・ 丹羽 敦（分担執筆）：国試の達人 作業療法編第6版，評価の基本的理解，老年期障害，53-81，257-267，（有）アイベック，2007

### 原著論文

- ・ Tashiro K, Ogata K, Yamasaki T, Kuroda T, Goto Y 他4名：Repetitive transcranial magnetic stimulation alters optic flow perception, NeuroReport, 18(3), 229-233, 2007
- ・ Kurokawa-Kuroda T, Ogata K, Suga R, Goto Y 他3名：Altered soleus responses to magnetic stimulation in pure cerebellar ataxia, Clin Neurophysiol, 118(6), 1198-1203, 2007
- ・ Ueno A, Hisatomi T, Enaida H, Kagimoto T, Mochizuki Y, Goto Y 他3名：Biocompatibility of brilliant blue G in a rat model of subretinal injection, Retina, 27(4), 499-504, 2007
- ・ Hata Y, Enaida H, Sassa Y, Ueno A, Miura M, Hisatomi T, Goto Y 他1名：Preclinical investigation of fluorometholone acetate as a potential new adjuvant during vitreous surgery, Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol, 245, 2007
- ・ Ogata K, Kurokawa-Kuroda T, Goto Y 他1名：Multichannel surface EMGs to assess function of spinal anterior horn cells, In: Wu JL, Ito K, Tobimatsu S, Nishida T, Fukuyama H (eds.) Complex Medical Engineering, Springer, 527-534, 2007
- ・ Tobimatsu S, Goto Y 他4名：Visual ERPs and cortical functions
- ・ 柴田 滋：市民法原理と現代社会法原理，国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部紀要，3，59-108，2007.12
- ・ 丹羽 敦，矢倉千昭，江崎好美，龍 尚子，田淵由貴，古川昭人，田原弘幸：高齢者に対する運動機能向上プログラムが運動パフォーマンスおよび健康関連QOLに及ぼす影響，国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部紀要，3，27-36，2007

### 総説

- ・ 後藤純信 他3名：多局所ERGと多局所VEPによる視機能評価，臨床脳波，49(12)，2007.12

### 研究報告

- ・ 後藤純信：「optic flow」刺激を用いた運動視認知機能の加齢変化：アルツハイマー病の早期診断・治療システム確立，国際医療福祉大学紀要，2007
- ・ 後藤純信 他3名：直流電流刺激による一過性脳機能調節法を用いたヒトの視覚系と前庭・小脳系の機能連関の解明：失調患者に対する新たなリハビリテーション手法の開発に向けた基礎研究，2006年度 医科学応用研究財団研究報告，25，2007

### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 杉森 甫：婦人科がん治療の過去・現在・未来，第1回JGOG教育セミナー，都市センター・ホテル，東京，2007.8.25
- ・ 中山広宣：精神科作業療法の理論・評価，（社）福岡県作業療法協会研修会，福岡国際医療福祉学院，福岡市，2007.8.4
- ・ 中山広宣：研究と論文，宮崎県作業療法士協会研修会，都城市民文化センター，都城市，2008.3.8
- ・ 中山広宣：統合失調症の視覚情報処理機能，大分大学医学部，大分大学医学附属病院，大分市，2008.3.28

- ・ 後藤純信： “脳” ってなあに？，福岡教育大学附属福岡中学校，タカラホテル，福岡市，（2007.3.12）
- ・ 日田勝子： 軽度発達障害児の学級での具体的な支援について，南薫小学校，南薫小学校，久留米市，2007.5.18
- ・ 日田勝子： 感覚統合的視点からの子どもの理解と支援，障害児保育教育充実研修会，熊本市障害保健福祉課，熊本市役所，熊本市，2007.6.29，2007.8.6
- ・ 日田勝子： 発達障害のある児童生徒の理解と支援，熊本県特別支援教育コーディネーター養成研修，熊本県立教育センター，熊本県庁，熊本市，2007.8.6
- ・ 日田勝子： 広汎性発達障害を持つ児の学校支援地域支援のあり方，療育センター研究会，熊本県こども総合療育センター，熊本県宇城市，2007.8.17
- ・ 加藤寿宏，日田勝子，岩永竜一郎，太田篤志： 新日本版感覚統合検査の報告，日本感覚統合学会，日本府立女性総合センター，大阪市，2007.10.20
- ・ 日田勝子： 感覚統合の理論と実践，福岡県作業療法士協会筑後ブロック，国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部，福岡県大川市，2007.12.2
- ・ 日田勝子： 発達障害って何？，PTA講演会 岱明中学校，岱明中学校，玉名市，2007.12.7
- ・ 日田勝子： 感覚・運動面の指導，特別支援教育士養成セミナー 特別支援教育士認定協会/LD学会，青山学院大学，東京都，2007.12.25

## 学会発表

- ・ 小川 修，中山広宣，大津隆一 他： ストレスに対する作業活動の効果－免疫グロブリンAを用いて－，第41回日本作業療法学会，鹿児島市民文化ホール，鹿児島市，2007.6.23
- ・ 川辺千津子，中山広宣，立松康宏 他： 高次機能障害者に対するゲームを用いた認知訓練，第41回日本作業療法学会，鹿児島市民文化ホール，鹿児島市，2007.6.23
- ・ 早坂友成，中山広宣，後藤純信，森田喜一郎： 統合失調症者における探索眼球運動と判断力の関係性，第41回日本作業療法学会，鹿児島市民文化ホール，鹿児島市，2007.6.23
- ・ 中山広宣（座長）： 精神障害，第41回日本作業療法学会，鹿児島市民文化ホール，鹿児島市，2007.6.23
- ・ 後藤純信（座長）： 一般演題，第19回臨床神経生理研究会，くまもとエミナース，熊本市，2007.8.18
- ・ 川辺千津子，中山広宣，森田喜一郎： 統合失調症者における探索眼球運動の特長－母子の位置を反転させた表情写真の比較より－，第37回日本臨床神経生理学会学術大会，栃木県総合文化センター，宇都宮市，2007.11.22
- ・ 早坂友成，中山広宣，後藤純信 他： 統合失調症者における判断と視覚情報処理機能の関連性－探索眼球運動解析を用いて－，第37回日本臨床神経生理学会学術大会，栃木県総合文化センター，宇都宮市，2007.11.22
- ・ 後藤純信（オーガナイザー）： ハンズオンセミナー 大脳誘発電位，第19回臨床神経生理研究会，くまもとエミナース，熊本市，2007.8.19
- ・ 齊藤崇子，中島祥孝，Remijin GB，後藤純信 他1名： 時間縮小錯覚による聴覚時間知覚機構の検証，第19回臨床神経生理研究会，くまもとエミナース，熊本市，2007.8.18
- ・ 早坂友成，後藤純信，中山広宣 他2名： 統合失調症者における判断と探索眼球運動の関係性，第19回臨床神経生理研究会，くまもとエミナース，熊本市，2007.8.18
- ・ 齊藤崇子，中島祥好，Remijn GB，後藤純信 他1名： 時間縮小錯覚による聴覚時間知覚機構（シンポジウム），第37回日本臨床神経生理学会学術大会，栃木県総合文化センター，宇都宮市，2007.11.21
- ・ 中島大輔，山崎貴男，宮内 哲，金子邦彦，後藤純信 他1名： 空間周波数情報に基づく快の表情認知機構－fMRIによる検討－，第37回日本臨床神経生理学会学術大会，栃木県総合文化センター，宇都宮市，2007.11.22
- ・ Nobuhiro Nara，Hisako Shinkawa，Motoko Sugihara： Beginnings of Occupational Therapy Education in Mainland China -



Opinions of freshly graduated OTs, 4th Asia Pacific Occupational Therapy Congress, Hong Kong Convention and Exhibition Centre, 香港, 2007.6.24

- ・丹羽 敦, 鳥巢直子, 立木景子, 江口日登美: 在宅高齢障害者(デイケア利用者)のQOLを高める要因と作業療法の視点, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島市民文化ホール他, 鹿児島市, 2007.6.30
- ・丹羽 敦(座長): 第41回日本作業療法学会, 鹿児島市民文化ホール他, 鹿児島市, 2007.6.30

#### 研究助成金(文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・後藤純信, 山崎貴男, 中山広宣 他1名: 視空間認知障害の早期スクリーニング法の確立とリハビリテーションへの応用, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤C(一般)(代表), 19500457, 採用
- ・神尾陽子, 飛松省三, 後藤純信 他5名: 社会性の発達メカニズムの解明: 自閉症スペクトラムと定型発達のコホート研究, 社会技術研究事業, (分担), 継続
- ・桐本 光, 緒方勝也, 後藤純信, 飛松省三: 脳仮想病変による手指巧緻運動の可塑性: 新しい神経機能回復プログラムの開発, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤C(一般)(分担), 採用
- ・石橋達朗, 吉田茂生, 後藤純信 他2名: 糖尿病網膜症に伴う増殖組織の発症進展因子に関するゲノム医科学, 疫学的研究, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤B(一般)(分担), 採用
- ・畑 快右, 石橋達朗, 後藤純信 他1名: 増殖性網膜硝子体疾患の病態解明ならびに新規治療薬開発, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤C(2)一般(分担), 採用

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・中山広宣: 日本臨床神経生理学学会奨励論文賞, 恐怖性不安障害者における薬物療法と視覚認知訓練の併用による効果の精神生理学的検討, 2007.11.22

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・杉森 甫: 日本産科婦人科学会(専門医)(名誉会員), 日本癌治療学会(名誉会員), 日本臨床細胞学会(細胞診専門医)(名誉会員), 日本婦人科腫瘍学会(名誉会員), 婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構(副理事長)
- ・中山広宣: 日本臨床神経生理学学会, Psychiatry and Clinical Neurosciences学会, 日本統合失調症学会, 日本作業療法協会, 福岡県作業療法協会
- ・石井久敬: 日本総合病院精神医学会(専門医)(評議員), 日本精神神経学会
- ・後藤純信: 日本脳神経外科学会(専門医)(評議員), 日本臨床神経生理学学会(認定医(脳波分野), 認定医(筋電図・神経伝導分野))
- ・柴田 滋: 日本社会保障法学会
- ・新川寿子: 日本感覚統合学会, 日本作業行動研究会, 作業療法学基礎研究会, 日本レクリエーション協会
- ・丹羽 敦: 日本作業療法学会(査読委員), 在宅ケア学会(査読委員), 日本地域作業療法研究会, 日本作業療法教育研究会
- ・日田勝子: 日本LD学会(日本LD学会/特別支援教育認定協会認定, 特別支援教育士スーパーバイザー(S.E.N.S-S.V)), 日本感覚統合学会(学会認定講師・感覚統合認定セラピスト)(常任理事), 日本発達障害学会, 日本地域作業療法研究会, 日本作業療法教育研究会
- ・長谷麻由: 日本作業療法学会, 日本作業行動研究会
- ・早坂友成: 日本精神障害者リハビリテーション学会, 日本臨床神経生理学学会

## 福岡リハビリテーション学部（言語聴覚学科）

### 著書

- ・宮島 祐，田中英高，林 北見（編集），安立多恵子（分担執筆）：小児科医のための注意欠陥／多動性障害AD/HDの診断・治療ガイドライン，類似する発達障害との鑑別診断，66-70，中央法規，2007

### 原著論文

- ・南出好史：聴覚障害児における認知と言語の関係，国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部紀要，3，45-52，2007

### 総説

- ・深浦順一：リハビリテーション関連職種の現状と展望 言語聴覚士，総合リハビリテーション，35(6)，548-550，2007

### 学会発表

- ・立石直子，森本邦子，深浦順一，井之口昭：癌の治療に伴う長期入院が認知機能に与える影響，第8回日本言語聴覚学会，アクトシティ浜松，静岡県浜松市，2007.6.2
- ・松下義明，森本邦子，深浦順一，井之口昭，原 修一：アラビア数字と漢数字の書き取りにおける数処理の特徴，第8回日本言語聴覚学会，アクトシティ浜松，静岡県浜松市，2007.6.3
- ・森本邦子，深浦順一，井之口昭：舌・口腔底癌術後の送り込み障害への工夫，第8回日本言語聴覚学会，アクトシティ浜松，静岡県浜松市，2007.6.3
- ・深浦順一（座長）：臨床業務Ⅰ，第8回日本言語聴覚学会，アクトシティ浜松，静岡県浜松市，2007.6.3
- ・山野貴史，樋口仁美，村上 健，中川尚志，深浦順一，梅崎敏郎：当科におけるパーキンソン病の嚥下機能についての検討，第31回日本嚥下医学会，ワークピア横浜，神奈川県横浜市，2008.2.8
- ・湯本英二，深浦順一（座長）：教育パネル 臨床現場における音声治療の実際，第20回日本喉頭科学会，ルネッサンスホテル創世，佐賀県佐賀市，2008.3.14
- ・田宮 愛，深浦順一，久保健彦，田中 薫，庄司紘史：単純ヘルペス脳炎の後遺症－記憶障害の検討，第5回久留米ヘルペスウィルス感染症カンファレンス，久留米大学筑水会館，福岡県久留米市，2008.1.16
- ・田宮 愛，深浦順一，久保健彦，田中 薫，庄司紘史：単純ヘルペス脳炎の後遺症－記憶障害の検討，第181回日本神経学会九州地方会，九州大学コラボレーションⅠ，福岡県福岡市，2008.3.15

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・深浦順一：日本音声言語医学会（評議員），日本聴覚医学会，日本喉頭科学会，日本嚥下医学会，日本耳鼻咽喉科学会，日本高次脳機能障害学会（評議員），日本神経心理学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
- ・安立多恵子：日本音声言語医学会，日本小児神経学会
- ・為数哲司：日本音声言語医学会，日本高次脳機能障害学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
- ・田宮 愛：日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会

## 小田原保健医療学部（看護学科）

### 著書

- ・ 井村真澄（分担執筆）：母乳育児支援スタンダード，第1章5 IBCLCの行う母乳育児支援：業務基準・倫理規範，第2章6 母乳育児カウンセリングの理論と基本，第8章40 乳腺炎の予防と治療，36-45，46-54，309-321，医学書院，2007.9.15
- ・ 井村真澄（分担翻訳執筆）：コンパクト フィジカルアセスメント，第10章 乳房と腋窩，および局所的リンパ，第18章 女性生殖器，109-122，241-256，エルゼビア・ジャパン，2007.12.25
- ・ 井村真澄（分担執筆）：助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学，第5章C タッチケア，152-167，医学書院，2008.1.15
- ・ Creswell, J.W., 操 華子, 森岡 崇（翻訳）：研究デザイン 量的，質的，そしてミックス法，日本看護協会出版会，2007
- ・ Jarvis, C., 操 華子, 横山美樹（監訳）：コンパクト フィジカルアセスメント，第1章 面接と健康歴の聴取，第3章 アセスメントのためのテクニックと臨床におけるアプローチ，第14章 腹部，1-10，19-26，171-184，エルゼビア・ジャパン，2007
- ・ 操 華子：看護研究お助け隊 テキスト1 看護研究とは，テクノコミュニケーションズ，2007
- ・ 操 華子：看護研究お助け隊 テキスト2 看護研究のプロセス，テクノコミュニケーションズ，2007
- ・ 操 華子：看護研究お助け隊 テキスト3 データの収集方法 研究の具体的方法と手順，テクノコミュニケーションズ，2008
- ・ 操 華子：看護研究お助け隊 テキスト4 データ分析の仕方，テクノコミュニケーションズ，2008
- ・ 操 華子, Macnee, C.L., 小山真理子（監訳）（分担訳）：実践に活かす看護研究 量的・質的研究デザインと統計手法を理解する，第4章 記述的結果 第5章 推測統計の結果，58-81，83-109，292-298，中山書店，2008
- ・ 村田恵子：小児看護学事典 日本小児看護学会（監修・編集），家族中心ケア，125-126，ヘルス出版，2007
- ・ 村田恵子：小児看護学事典 日本小児看護学会（監修・編集），家族看護モデル，120-121，ヘルス出版，2007
- ・ 村田恵子：小児看護学事典 日本小児看護学会（監修・編集），家族アセスメント，118-119，ヘルス出版，2007
- ・ 村田恵子：小児看護学事典 日本小児看護学会（監修・編集），家族ストレス理論，124-125，ヘルス出版，2007
- ・ 村田恵子：小児看護学事典 日本小児看護学会（監修・編集），ライフスキル，840-841，ヘルス出版，2007
- ・ 操 華子, 横山美樹（監訳）：コンパクト フィジカルアセスメント，第4章 一般状態のアセスメント 身体測定バイタルサイン，第11章 胸郭と肺，第20章 完全なフィジカルイグザミネーションの統合，27-38，123-138，263-275，エルゼビアジャパン，2007.10
- ・ 操 華子, 横山美樹（監訳），ブリッジ志保（訳）：コンパクト フィジカルアセスメント，第15章 筋骨格系 第16章 神経系，185-230，エルゼビアジャパン，2007
- ・ 福田吉治，山縣然太郎，山崎喜比古，星 旦二，栗盛須雅子，鈴木孝太，近藤尚己，牛島佳代，田中太一郎，葉袋淳子，本庄かおり，金子善博，蝦名玲子，島内 節，田中正男，藤澤由和（分担執筆）：保健医療福祉の研究ナビ，2. 研究の具体的な進め方 フィールドへの「依頼文」の書き方，倫理委員会に向けての書類作成，55，66，金原出版株式会社，2007.5

### 原著論文

- ・ 村田恵子，内 正子：慢性病児・障害児の家族支援のためのアセスメント質問紙開発と臨床応用の検討，家族看護学研究，13(3)2008，114-123，2008

- ・二宮啓子, 小野智美, 村田恵子, 中西睦子 他: 小児看護における看護実践を記述する用語の構造と特徴, 日本看護科学会誌, 27(2), 61-70, 2007
- ・清水清美: 月経前症候群に対するアロマセラピーの効果, 御茶ノ水医学雑誌, 56(1), 15-25, 2008.3
- ・望月裕子, 松岡 恵, 三隅順子, 清水清美, 木村好秀: 妊婦運動が出産に対する自己効力感に及ぼす影響についての検討, 母性衛生, 48(4), 489-495, 2008.1
- ・新田真弓, 村上明美, 大石時子, 清水清美: 大学生の性交や避妊行動の決定と性役割態度の関係 (第1報), 思春期学, 25(3), 315-320, 2007.11
- ・Naoki Kondo, Junko Minai, Hisashi Imai, Zentaro Yamagata: Engagement in a cohesive group and higher-level functional capacity in older adults in Japan, A case of the Mujin. Social Science & Medicine, 64, 2311-2323, 2007.4
- ・Junko Minai, Kohta Suzuki, Yasuhisa Takeda, Kazuhiko Hoshi, Zentaro Yamagata: There are gender differences in attitudes toward surrogacy when information on this technique is provided, European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology, 132, 193-199, 2007.6
- ・Kohta Suzuki, Junko Minai, Zentaro Yamagata: Maternal negative attitudes towards pregnancy as an independent risk factor for low birthweight., The journal of obstetrics and gynaecology research, 33(4), 438-444, 2007.8
- ・Taichiro Tanaka, Junko Minai, for the HIPOP-OHP Research Group: Awareness and Treatment of Hypertension and Hypercholesterolemia in Japanese Workers: The High-Risk and Population Strategy for Occupational Health Promotion (HIPOP-OHP) Study, Hypertension Research, 30(10), 921-928, 2007.10

## 総説

- ・井村真澄: 産褥期のアロマセラピー, 助産雑誌, 61(7), 596-601, 2007
- ・井村真澄: いま, 日本母乳哺育学会が面白い!, 助産雑誌, 62(1), 78-79, 2008
- ・井村真澄: タッチケア カウンセリングROOM, タッチケアTouch care up date, 8(1), 2-3, 2007
- ・井村真澄: 乳幼児の行動の母親のタッチがもたらす効果, タッチケアTouch care up date, 8(3), 3, 2007
- ・井村真澄: 赤ちゃんが入院中の母親とベッドを共有する場合の方針のサンプル, 日本ラクテーション・コンサルタント協会ホームページ, <http://www.jalc-net.jp/>, 2008
- ・井村真澄: あなたの赤ちゃんとベッドで一緒に寝ることー母乳育児をしているお母さんたちへのガイドー, 日本ラクテーション・コンサルタント協会ホームページ, <http://www.jalc-net.jp/>, 2008
- ・Masumi Imura: Sharing a bed with your baby: Japanese, UNICEF UK: The baby friendly initiative, [http://www.babyfriendly.org.uk/items/resource\\_detail.asp?item=501&nodeid=](http://www.babyfriendly.org.uk/items/resource_detail.asp?item=501&nodeid=), 2008
- ・井村真澄 (分担執筆): ナーシンググラフィカ30 母性看護学 母性看護実践の基本, 15. 母乳育児と看護, 授業支援ツールCD, 2007.4
- ・井村真澄 (分担執筆): ナーシンググラフィカ31 母性看護学 母性看護技術, 3. 褥婦の看護にかかわる技術, 授業支援ツールCD, 2007.4
- ・操 華子: 禁煙は手術部位感染のリスクを減じるか?, 月刊ナーシング, 27(3), 60-66, 2007
- ・操 華子: サーベイランスに必要な疫学のポイント, 感染対策ICTジャーナル, 2(2), 144-150, 2007
- ・岩田多賀子, 操 華子: アメリカにおける外来点滴業務の実際 外来化学療法の日米比較, 月刊ナーシング, 27(7), 74-80, 2007
- ・高崎晴子, 操 華子: 看護実践場面における倫理的葛藤 なぜ生じるのか, どのように対応すべきか, 月刊ナーシング, 27(14), 68-76, 2007
- ・操 華子: 医療関連感染サーベイランスとは, イザイ, 5, 77-79, 2007

- ・ 操 華子：医療関連感染サーベイランスを開始するための準備，イザイ，6，58-61，2007
- ・ 中島由賀，操 華子：日本人の5人に1人は慢性腎臓病（CKD），月刊ナーシング，28(3)，94-101，2008
- ・ 横山美樹：特集 アセスメントの精度を上げる情報収集のスキルアップ，クリニカルスタディ，28(10)，10-23，2007
- ・ 荒木田美香子，森田理恵，奥山絢子，大塚敏江，太栗里香，竹内 恵，綾部明江，佐藤 潤，西田好江：特定保健指導の質の評価測定に関する提案，月刊地域保健，38(12)，50-59，2007
- ・ 加藤憲司：予防看護学と新しい疫学，看護研究，40(6)，55-62，2007
- ・ 清水清美：精子・卵子・胚の提供を望むカップルへのサポート カウンセラーから見たドイツの現状（解説），助産雑誌，61(5)，452-454，2007.5
- ・ 清水清美：周産期のアロマセラピー基本のき 不妊ケアとアロマセラピー（解説／特集），助産雑誌，61(7)，581-585，2007.7

## 研究報告

- ・ 井村真澄：産後の母親に対するアロマブレンドオイル使用マッサージとアロマ拡散下マッサージの心理的効果に関する準実験的研究，日本母性衛生学会誌，48(3)，118，2007
- ・ 井村真澄 他：初産後の母親に対するベッド上安静の心理的効果に関する準実験的研究，日本助産学会誌，21(3)，95，2008
- ・ 井村真澄 他：日本における母乳育児支援の専門家育成教育プログラムの開発 I：日本における母乳育児支援の専門家育成教育プログラムの開発の研究 II：日本における母乳育児支援の専門家育成教育プログラムの効果検証の研究，在宅地域ケア研究センター研究費による研究報告書，平成19年度版，23-36，2008
- ・ 祖父江育子，大田にわ，村田恵子，江上芳子：小児看護学における教育単位と技術の構成，日本看護学教育学会誌，17(1)，49-63，2007
- ・ 綾部明江：要介護高齢者の生活継続に関する影響要因とケアの視点，日本看護科学学会誌，27(2)，43-52，2007
- ・ 片倉直子，山本則子，石垣和子：統合失調症をもつ利用者に対する効果的な訪問看護の目的と技術に関する研究，日本看護科学学会誌，27(2)，80-91，2007
- ・ 片倉直子，山本則子，石垣和子：統合失調症をもつ利用者に対する効果的な訪問看護を提供するための教育プログラムの開発，日本在宅ケア学会誌，11(2)，65-74，2008
- ・ 清水清美，長岡由紀子，朝倉寛之：米国在住の日系卵子提供者の卵子提供および生まれた子どもの出自を知る権利の意識について わが国における精子提供者との比較から，産婦人科の実際，56(13)，2181-2188，2007.11
- ・ 薬袋淳子，吉岡名保恵，山縣然太郎：2006年度における健やか親子21公式ホームページの展開，厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」平成18年度分担研究報告書，1，16-18，2007
- ・ 山縣然太郎，松浦賢長，薬袋淳子，尾島俊之，鈴木孝太，田中太一郎，玉腰浩司，長瀬博文，仲宗根正，山崎嘉久，渡辺多恵子：「健やか親子21」ホームページの「取り組みのデータベース」登録事業の「セレクト2006」について，厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」平成18年度分担研究報告書，2，19-24，2007
- ・ 田中太一郎，鈴木孝太，松浦賢長，山崎嘉久，尾島俊之，谷原真一，山中龍宏，薬袋淳子，山縣然太郎：母子保健情報の収集と利活用のためのツールの開発，厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」平成18年度分担研究報告書，13，134-146，2007
- ・ 渡辺多恵子，鈴木孝太，田中太一郎，薬袋淳子，尾島俊之，市川香織，長瀬博文，松浦賢長，山縣然太郎：36.第65回

日本公衆衛生学会学術総会 自由集会 知ろう・語ろう・考えよう！ “一歩先行く” 健やか親子21 第6回報告，厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」平成18年度分担研究報告書，36，363-368，2007

### 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 井村真澄：最前線の医療現場から 人と人とのふれあい，学校法人横浜共立学園中学校・高等学校同窓会総会，横浜共立学園大講堂，横浜市中区，2007.4.28
- ・ 井村真澄：乳房の触診とアセスメント，聖路加国際病院産科新生児科，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.5.3
- ・ 井村真澄：WHO/UNICEF母乳育児支援ガイド 哺乳拒否・母乳不足，聖路加国際病院母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.5.20
- ・ 井村真澄：WHO/UNICEF母乳育児支援ガイド 特別なニーズのある早産児・授乳後期の問題，聖路加国際病院母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.7.9
- ・ 井村真澄：代替療法アロマ・マッサージセミナー，聖路加国際病院母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.8.9
- ・ 井村真澄：健常児へのタッチケア，日本タッチケア研究会，セミナーホールJ&J本社ビル，東京都文京区，2006.9.8
- ・ 井村真澄：妊娠・出産・育児期の母親へのタッチとマッサージ，日本タッチケア研究会，セミナーホールJ&J本社ビル，東京都文京区，2006.9.9
- ・ 井村真澄：タッチケア，首都圏新生児フォーラム，パシフィコ横浜国際会議場，横浜市西区，2007.9.24
- ・ 井村真澄：WHO/UNICEF母乳育児支援ガイド 搾乳・継続支援，聖路加国際病院母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.10.13
- ・ 井村真澄：乳幼児突然死症候群（SIDS）と添い寝と母乳育児をめぐる最近の動向，日本ラクテーション・コンサルタント協会，大阪国際交流センター，大阪市天王寺区，2007.11.4
- ・ 井村真澄：WHO/UNICEF母乳育児支援ガイド 地域・病院でのBFHI，聖路加国際病院母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.11.16
- ・ 井村真澄：乃木坂スクール 母乳育児専門家育成コース，国際医療福祉大学大学院，大学院東京キャンパス，東京都港区，2007.12.6
- ・ 井村真澄：母乳育児とその支援の世界的動向，東京大学大学院発達医科学研究室研究会，東京大学セミナーホール，東京都文京区，2007.12.1
- ・ 井村真澄：母乳育児と乳幼児突然死症候群（SIDS），日本ラクテーション・コンサルタント協会北海道エリア，札幌医師会館，札幌市，2007.12.15
- ・ 井村真澄：母乳育児支援基礎セミナー，小田原保健医療学部リプロダクティブヘルス看護学研究室，山王病院大会議室，東京都港区，2008.2.4-5
- ・ 井村真澄：乳幼児突然死症候群（SIDS）と添い寝児と母乳育児 病院・施設での対応，神奈川県周産期医療連絡会 地域医療連携室・医師の会共催，神奈川県総合医療会館，横浜市中区，2008.2.29
- ・ 井村真澄：ポジショニングとラッチ・オン，愛媛県助産師研究会 母乳育児推進グループ，愛媛県女性総合センター，愛媛県松山市，2008.3.9
- ・ 操 華子：教育講演 臨床現場でエビデンスを発掘してみよう！臨床研究を実施する際のルールとマナー，日本褥瘡学会，群馬県民会館，群馬県前橋市，2007.9.8
- ・ 操 華子：SSIサーベインランス そのいろは，日本手術看護学会大阪地区手術室セミナー，大阪国際会議場，大阪

市, 2007.10.6

- ・ 操 華子, 高崎晴子: 活かして使えるサーベイランスデータ 感染率がケアを変える? ケアが感染率を変える?, 日本環境感染学会, 長崎ブリックホール, 長崎県長崎市, 2008.2.22
- ・ 加藤憲司: Why do we age so differently?, 大阪大学大学院保健学専攻, 大阪大学保健学科, 大阪府吹田市, 2007.7.18
- ・ 加藤憲司: 見えない病気をさぐる, 日本双生児研究学会, 慶應義塾大学, 東京都港区, 2007.11.10
- ・ 清水清美: AIDを実施する前に考えておくこと, すまいる 親の会, 大阪市立社会福祉センター, 大阪市, 2007.5.19
- ・ 葉袋淳子: エビデンスに基づいた保健活動の評価について, 平成19年度 鳥取県初任者保健師研修会, 鳥取県庁第22会議室, 鳥取県, 2007.8.2
- ・ 葉袋淳子: 特定高齢者の選定・把握について理解と実践, 介護予防健診のありかた等, 平成19年度介護予防研修会 (山梨県福祉保健部), 山梨大学医学部管理棟3F会議室, 山梨県, 2007.8.22-23, 2008.2
- ・ 青木雅子: 研究参加者の恵みに導かれる看護の探求, 東京女子医科大学看護学会第3回学術集会, 東京女子医科大学, 東京, 2007.10.6

## 学会発表

- ・ Masumi Imura: Maternal and Child Health&Breastfeeding in Japan, The international The corroborative Conference of postpartum depression and safety food; Univ. of Stavanger and The Univ. of Tokyo, University of Stavanger, conference hall of Dept. of Social Sciences, Stavanger, Norway, 2007.8.29
- ・ 井村真澄: 産後の母親に対するアロマブレンドオイル使用マッサージとアロマ拡散下マッサージの心理的効果に関する準実験的研究, 日本母性衛生学, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2007.10.11
- ・ 井村真澄 (座長): C-10群母性看護, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.12.7-8
- ・ 井村真澄: 初産後の母親に対するベッド上安静の心理的効果に関する準実験的研究, 日本助産学会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2008.3.16
- ・ 渡辺京子, 操 華子 他: 看護師が行う, 継続的な外来糖尿病ケアの評価研究, 日本糖尿病学会, 仙台サンプラザ, 宮城県仙台市, 2007.5.26
- ・ 操 華子, 森兼啓太, 森澤雄司, 松田晋哉, 木村 哲: 末梢静脈留置型中心静脈カテーテル (PICC) と従来の中心静脈カテーテル (CVC) の使用現状と合併症, 日本看護学会 (看護総合), 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県那覇市, 2007.8.7
- ・ 操 華子 (座長): 感染管理・災害看護の6演題, 日本看護科学学会, 有楽町フォーラム, 東京都, 2007.12.6
- ・ 西山智子, 村田恵子: 2型糖尿病児の生活習慣・療養行動と健康教育に関する研究動向, 日本小児看護学会学術集会, 松本文化会館, 長野, 2007.7.20
- ・ 村田恵子 (座長): 長期療養児のケア, 日本小児看護学会学術集会, 松本文化会館, 長野, 2007.7.21
- ・ 村田恵子, 石川福江 他: 重度身体障害児の在宅ケアにおける家族機能と影響要因, 家族看護学会14回学術集会, 青森県立看護大学, 青森, 2007.9.2
- ・ 石川福江, 村田恵子 他: 在宅重度身体障害児を養育する家族員の燃えつきの影響要因, 家族看護学会14回学術集会, 青森県立看護大学, 青森, 2007.9.2
- ・ 村田恵子, 内 正子, 有村衣代 他: ライフスキル育成による喘息児と家族の健康増進プログラム 1.改訂プログラムの作成と実施効果, 日本看護科学学会第13回学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.12.8
- ・ 内 正子, 村田恵子, 有村衣代 他: ライフスキル育成による喘息児と家族の健康増進プログラム 2.フォローアッププログラムの作成と試行, 日本看護科学学会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.12.8

- ・ 長田 泉, 村田恵子, 青木正子 他：在宅重度身体障害児の在宅ケアにおける家族ストレス・対処行動と援助期待，日本看護科学学会第13回学術集会，東京国際フォーラム，東京，2007.12.8
- ・ 荒木田美香子，西森理恵，佐藤 潤，綾部明江：特別養護老人ホームに勤務する介護職の腰痛予防行動に与える職場環境要因の検討―第一報，日本地域看護学会第10回学術集会，神奈川県立保健福祉大学，神奈川県横須賀市，2007.7.28
- ・ 荒木田美香子，西森理恵，佐藤 潤，綾部明江：特別養護老人ホームに勤務する介護職の腰痛予防行動に与える職場環境要因の検討―第二報，日本地域看護学会第10回学術集会，神奈川県立保健福祉大学，神奈川県横須賀市，2007.7.28
- ・ 綾部明江，佐藤 潤：高齢脳血管障害患者の自立の状態と主観的幸福感の関連，日本看護科学学会，東京フォーラム，東京都千代田区，2007.12.8
- ・ 綾部明江：地域在住高齢者における基本健康診査受診に関連する要因，在宅ケア学会，学術総合センター一橋記念講堂，東京都千代田区，2008.3.16
- ・ 片倉直子，村上満子，島内 節，葉袋淳子：Psychological and priritual needs of cancer clients and non-cancer clients living at home，The 1st Korea-Japan Joint Conference on Community Health Nursing，Soul, Korea，2007.11
- ・ 片倉直子，野田勝二 他：精神障害者社会復帰施設の利用者への健康相談と園芸作業をとりいれたプログラムの効果と看護の役割との関連，第27回日本看護科学学会学術集会，東京国際フォーラム，東京，2007.12
- ・ 片倉直子，野田勝二 他：在宅精神障害者への園芸作業と看護相談をとりいれた効果的な社会復帰プログラムの検討，園芸学会春季大会，東京農業大学厚木キャンパス，神奈川県，2008.3
- ・ 加藤憲司（座長）：日本双生児研究学会，大阪大学コンベンションセンター，大阪府吹田市，2008.1.27
- ・ 上田恵子，澤野磨奈美，飯干雅稔：条件の違いによる幼児の手洗い時間への影響，第23回日本環境感染学会，長崎新聞文化ホール，長崎県，2008.2.22
- ・ 清水清美：非配偶者間人工授精（AID）を選択するカップルの支援，第5回日本生殖看護学会学術集会，アクロス福岡，福岡県福岡市，2007.9.9
- ・ 長岡由紀子，清水清美，朝倉寛之：第3者の提供卵子を用いた生殖補助医療に関するサポート体制に対する意識調査，第5回日本生殖看護学会学術集会，アクロス福岡，福岡県福岡市，2007.9.9
- ・ 森 明子，清水清美，永森久美子，桃井雅子：不妊当事者の選択をサポートする環境作り コミュニティのエンパワメントを推進するアウトリーチ活動，第48回母性衛生，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2007.10.12
- ・ 清水清美，長岡由紀子，朝倉寛之：第3者の提供卵子を用いた生殖補助医療に対する女性の意識調査（その1）卵子提供者となりうる満35歳未満の成人女性を対象として，第52回日本生殖医学会学術集会，秋田県民会館，秋田県秋田市，2007.10.25
- ・ 清水清美，長岡由紀子，朝倉寛之：第3者の提供卵子を用いた生殖補助医療に対する女性の意識調査（その2）～卵子提供を容認する女性の特徴・認識～，第52回日本生殖医学会学術集会，秋田県民会館，秋田県秋田市，2007.10.25
- ・ 葉袋淳子：心の健康状態がその後の生活習慣病リスクに与える影響―青・壮年を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究―，第17回日本疫学会，広島市センター，広島市，（2007.1.26-27）
- ・ 葉袋淳子：子母子保健情報モニタリングシステムの構築に向けて（第2報）―利活用の必要性―，第66回日本公衆衛生学会，松山市センター，松山市，2007.10.24-26
- ・ 葉袋淳子：End of Life Careのアウトカム到達度からみた課題（第2報）―看護師と遺族の相違点からケア項目を検討―，第27回日本看護科学学会，東京フォーラム，東京都，2007.12.8
- ・ 葉袋淳子，川窪ゆう子，相原洋子，島内 節：後期高齢者における認知症予防要因の検討，第10回日本地域看護学会，神奈川県立保健福祉大学，神奈川県，2007.7.28



- ・相原洋子, 北村 聖: インドネシア地域医療改善のための看護教育の取り組み, 国際看護研究会第10回学術集会, JICA地球広場, 渋谷区, 2007.9.15
- ・青木雅子(座長): 第43回日本小児循環器学会学術集会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.7.5-6
- ・青木雅子: 先天性心疾患患者の小児期におけるボディイメージの形成過程, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.12.8
- ・村田恵子, 青木雅子, 長田 泉 他: 重症身体障害児の在宅ケアにおける家族機能と影響要因, 第14回日本家族看護学会学術集会, 青森県立大学, 青森, 2007.9.1
- ・長田 泉, 村田恵子, 青木雅子 他: 重症身体障害児の在宅ケアにおける家族ストレス, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.12.8
- ・長崎光枝, 小松浩子: 外来で繰り返し化学療法を受けている進行非小細胞肺癌患者の倦怠感, 第22回日本がん看護学会学術集会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2008.2.9-10

### 研究助成金(文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・井村真澄: 赤ちゃんの示すサインに関する情報提供媒体試案の作成, タッチケア研究会基礎研究
- ・Masumi Imura, Megumi Haruna (Tokyo Univ.), Elisabeth Severinsson (Stavanger Univ. in Norway): The relationship between postpartum depression, breastfeeding, DHA and seafood consumption, The Research Council of Norway for bilateral cooperation - project establishment support (BILAT 2007)
- ・永森久美子, 堀内成子, 井村真澄: 生後14日間における母乳育児支援のための哺乳行動アセスメントツールの開発, 日本学術振興会平成19年度(2007年度)科学研究費補助金: 基盤研究(C), 医歯薬学, 19592540, 新規採択
- ・村田恵子, 法橋尚宏: ライフスキル育成による慢性病児・家族の健康増進プログラムの開発と活用法の確立, 日本学術振興会科学研究費, 基盤研究(B)(2), 17390580, 継続
- ・横山美樹: 看護におけるフィジカルアセスメントの重点内容を押さえた新しい教育方法の開発と評価, 平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究(C), 19592471, 採択
- ・清水清美, 柘植あづみ, 長沖暁子: 非配偶者間の生殖補助技術を用いて親になるカップルへの家族形成支援に関する研究, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究C, 18592345, 継続
- ・林さとみ: 日本人成人が認識する循環器疾患の危険因子, アリゾナ大学看護学部 アーレーンMプット研究助成奨学金, その他, 継続
- ・ブリッジ志保: 在宅療養に移行する脳血管障害患者のための服薬管理支援プログラムの開発, 平成19年度科学研究費補助金, 若手研究B, 19791721, 採用
- ・葉袋淳子(主任): 高齢者の自立生活維持に与える要因をエビデンスにした自立促進ケアプログラムの開発, 文部科学研究費補助金, 基盤研究(C), 19592605, 採択
- ・葉袋淳子(分担): 健やか親子21推進のための情報システム 構築及び各種情報の利活用に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金, 子ども家庭総合, 19130801, 採択
- ・青木雅子: 先天性心疾患をもつ子どものボディイメージ-身体のコントロール感の獲得過程-, 科学研究費補助金, 若手研究スタートアップ, 10890204, 採択

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・葉袋淳子: 医科学博士, Relation between Japanese Worker Mental Health and Changes in Lifestyle and Cardiovascular Risk Factors (日本人労働者における, 心の健康と生活習慣及び循環器疾患危険因子の変化との関連), 2008.3.14

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 井村真澄：International Lactation Consultant Association (International Board Certified Lactation Consultant Certification No.299-51499 1999, Recertified in 2004), International Board of Lactation Consultant Examiners (Asia-Pacific Region, Country coordinator Coordinator for Japan), Postpartum Support International-Japan (理事), 日本看護科学学会, 日本看護教育学会, 日本助産学会 (評議員), 日本母乳哺育学会 (理事), 日本ラクテーション・コンサルタント協会 (役員), 日本タッチケア研究会 (幹事), 日本家族心理学会, 日本母乳育児三者協議会 (日本母乳哺育学会・日本母乳の会・日本ラクテーション・コンサルタント協会) (事務局長), 聖路加看護学会
- ・ 操 華子：日本質的心理学会 (理事), 日本看護科学学会 (評議員)
- ・ 村田恵子：日本小児看護学会 (監事, 専任査読委員), 日本看護科学学会 (専任査読委員), 日本家族看護学会, 日本看護学教育学会 (専任査読委員), 日本小児保健学会
- ・ 横山美樹：日本看護科学学会, 聖路加看護学会 (学術交流委員)
- ・ 片倉直子：日本家族看護学会 (庶務担当理事)
- ・ 加藤憲司：日本双生児研究学会 (幹事)
- ・ 澤野磨奈美：日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本環境感染学会
- ・ 清水清美：日本生殖看護学会 (理事)
- ・ 林さとみ：Honor Society of Nursing, Sigma Theta Tau International Beta Mu Chapter, 日本看護科学学会
- ・ ブリッジ志保：日本看護診断学会, 日本看護科学学会
- ・ 葉袋淳子：日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本小児保健学会, 山梨県小児保健学会, 日本看護科学学会, 在宅ケア学会, 老年医学会, 老年看護学会
- ・ 相原洋子：日本国際保健医療学会, 日本地域看護学会, 日本看護科学学会
- ・ 青木雅子：日本看護科学学会 (広報委員会委員), 日本小児看護学会, 日本質的心理学会, 日本家族看護学会, 東京女子医科大学看護学会
- ・ 長崎光枝：日本がん看護学会, 日本看護科学学会, 日本緩和医療学会

## 小田原保健医療学部 (理学療法学科)

### 著書

- ・ 奈良 勲, 黒澤和生, 竹井 仁 (編集)：系統別治療手技の展開 改訂第2版, 協同医書出版, 2007
- ・ 黒澤和生：エビデンスに基づく整形外科徒手検査法, 臨床検査・測定と診断学的有用性に関する論文の分析, 25-38, エルゼビア・ジャパン, 2007.8.30
- ・ 黒澤和生：図解 理学療法技術ガイド 第3版, 尺骨神経麻痺, 1023-1028, 文光堂, 2007.9.20
- ・ 黒澤和生：理学療法科学学会監修 ザ・ROM 第1版, 疼痛とROM, 29-32, アイペック, 2007
- ・ 柘 幸伸 (文献抄録)：理学療法ジャーナル No.8, 年齢による姿勢平衡制御の相違, 693, 医学書院, 2007
- ・ 柘 幸伸 (文献抄録)：理学療法ジャーナル No.9, 3次元センサーを使った肩手術後の評価, 783, 医学書院, 2007
- ・ 佐藤 仁 (分担執筆)：理学療法リスク管理・ビューポイント, 筋力強化, 86-91, 文光堂, 2007
- ・ 初山日出樹 (分担執筆)：ザ・ROM, 筋トルクとROM, 2007.9.30
- ・ 上村さと美 (分担執筆)：理学療法リスク管理・ビューポイント, 脳血管障害一維持期一, 128-129, 文光堂, 2007
- ・ 渡邊観世子 (分担執筆)：ザ・ROM, 脳性麻痺とROM, 267-275, アイペック, 2007

- ・ 渡邊観世子 (分担執筆) : 理学療法リスク管理・ビューポイント, 脳性麻痺, パーキンソン病, 筋ジストロフィー, 132-133, 136-137, 138-139, 文光堂, 2007

## 原著論文

- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司 : 一側上肢PNFパターンへの等尺性抵抗運動域の違いが両下肢伸展筋力におよぼす影響, 理学療法科学, 22(2), 249-253, 2007
- ・ 小林 薫, 佐藤 仁 : 両側膝関節への抵抗構成運動, 動が動的バランス能力に及ぼす影響, 理学療法科学, 22(3), 419-423, 2007
- ・ 佐藤 仁 : 模擬患者を導入した授業の試み, 理学療法科学, 23(1), 115-119, 2008
- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司 : 一側上肢の異なる運動パターンへの等尺性抵抗運動域の違いが両側下肢伸展筋力におよぼす影響, 理学療法科学, 23(1), 175-180, 2008
- ・ 佐藤 仁 : 一側上肢から反対側下肢への間接的アプローチの影響, PNFリサーチ, 8(1), 2008
- ・ 上村さと美, 秋山純和 : 介護老人保健施設における起立運動負荷を用いた心肺機能評価—集団運動提供時の心肺機能に関するリスク管理の検討—, 理学療法科学, 23(1), 1-6, 2008

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ Kazuo Kurosawa, Hideo Ohta, Fumio Okuyama, Hitoshi Maruyama : Does the difference in crutch Length make any effects on energy consumption and handling difficulty?, 15<sup>th</sup> International WCPT Congress, Vancouver Convention and Exhibition Centre, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- ・ 黒澤和生 : 触診セミナー (体幹編), 第73回技術講習会, 小田原保健医療学部, 神奈川県, 2007.8.4-5
- ・ 黒澤和生, 安藤正志 : 頸部・上肢の軟部組織と関節モビライゼーション—頸部, 肩, 肘関節を中心に—, 世界の理学療法テクニック講習会, 小田原保健医療学部, 神奈川県, 2007.12.1-2
- ・ 黒澤和生, 浅田啓嗣, 瓜谷大輔 : 触診セミナー (上肢編), 第80回技術講習会, 米子YMCA医療技術専門学校, 米子市, 2007.12.15-16
- ・ 黒澤和生 : 触診入門, 第23回群馬県理学療法士会技術講習会, 高崎医療福祉専門学校, 高崎, 2008.2.24
- ・ 黒澤和生, 浅田啓嗣, 瓜谷大輔 : 触診セミナー (下肢編), 第82回技術講習会, 畿央大学, 奈良県, 2008.3.29-30
- ・ 黒澤和生 : マニュアルセラピーの実践, 理学療法科学, オオシマフォーラム, 栃木県, 2008.3.22
- ・ 谷 浩明 : 統計的手法の基礎, 静岡県理学療法士会学術研修会, 聖隷クリストファー大学, 静岡県浜松市, 2007.7.1
- ・ 谷 浩明 : 学習効果の評価方法, 日本理学療法士協会現職者講習会, 高崎市総合福祉センター, 群馬県高崎市, 2008.2.8
- ・ 柗 幸伸 : 肥満と運動, 市民公開講座, 小田原保健医療学部, 神奈川県小田原市, 2007.10.2
- ・ 柗 幸伸 : 私と仕事, 進路指導講演会, 県立田辺高等学校, 和歌山県田辺市, 2007.11.9
- ・ 柗 幸伸 : Stroke Rehabilitation “Impairments and adaptations”, JAICA草の根プロジェクト (ベトナム), Cho Ray Hospital, HCM City, Vietnam, 2008.1.25
- ・ 柗 幸伸 : Stroke Rehabilitation “Motion Analyses of Hemiplegia”, JAICA草の根プロジェクト (ベトナム), Cho Ray Hospital, HCM City, Vietnam, 2008.1.29
- ・ 柗 幸伸 : 運動を捉える, 第5回理学療法科学学会国際学会, 中国リハビリテーションセンター, 中華人民共和国北京市, 2008.3.29
- ・ 佐藤 仁 : PNF下肢パターンの基礎と応用, 埼玉東京神奈川PNF研究会, 久我山病院, 東京都世田谷区, 2007.6.17
- ・ 佐藤 仁, 乾 公美, 萩原利昌 : PNF (初級Aコース), 日本PNF学会, 愛知医療学院, 愛知県西春日井郡,

2007.9.16-17

- ・ 佐藤 仁 : 起きましよう, 座りましよう, 国際医療福祉大学小田原保健医療学部市民公開講座, 国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 神奈川県小田原市, 2007.11.13
- ・ 上村さと美 : 分散分析・共分散分析, 第1回リサーチ研究会, 東京サテライトキャンパス, 東京都, 2007.6.30

## 学会発表

- ・ 黒澤和生 (座長) : 第42回日本理学療法学会大会, 新潟コンベンションセンター, 新潟県, 2007.5.24-26
- ・ 谷 浩明 (座長) : 理学療法基礎系, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.26
- ・ 山城 緑, 谷 浩明 : 動的要素を含む部分荷重練習の検討, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.26
- ・ Miyoko Watanabe, Hiroaki Tani : The influence exerted by detail of knowledge of results(KR) on performance in a partial weight bearing (PWB) task, 15<sup>th</sup> international WCPT congress, Vancouver Convention and Exhibition Centre, Vancouver, Canada, 2007.6.5
- ・ 柘 幸伸 : 小型センサを用いた歩行中の肩甲骨の動きの評価, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24
- ・ 柘 幸伸 : Evaluation of shoulder girdle movement during gait using the angular velocity sensors, The 4th International Meeting of Physical Therapy Science, Century Plaza Hotel, Vancouver, CANADA, 2007.6.2
- ・ 柘 幸伸 (座長) : 口述発表セッション, 第25回神奈川県理学療法士学会, 横浜シンポジア, 神奈川県横浜市, 2008.3.8
- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司 : 一側上肢PNFパターンへの等尺性抵抗運動が反対側下肢へおよぼす遠隔的効果, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・ 小林 薫, 佐藤 仁 : 関節可動域拡大に対する抵抗構成運動の有効性, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・ 小川紀子, 佐藤 仁, 柘 幸伸, 川上佳代子, 佐藤晃也, 持田 誠, 橋本喬史 : 「生活環境論」教育における福祉住環境コーディネーター検定試験導入の効果—2級と3級の学習内容・難易度の比較—, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・ ト部吉文, 原 隆之, 佐藤 仁, 水上信智, 藤田英里 : 腹臥位姿勢における局所脳血流量の経時的変化, 第42回日本理学療法学会大会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2007.5.24-26
- ・ Sato H, Maruyama H : The effect of the diagonal movement in proprioceptive neuromuscular facilitation, 4<sup>th</sup> International Meeting of Physical Therapy Science, Century Plaza Hotel, Vancouver, Canada, 2007.6.1
- ・ 佐藤 仁 : PNFアプローチにおける一側上肢から反対側下肢への影響, 第8回日本PNF学会学会大会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2007.10.7
- ・ 佐藤 仁 (座長) : 第43回理学療法科学学会学会大会, 国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 神奈川県小田原市, 2008.1.13
- ・ 佐藤 仁 (主催者) : PNFインストラクター講習会, 埼玉東京神奈川PNF研究会, 久我山病院, 東京都世田谷区, 2008.1.27
- ・ 藤井菜穂子 (発表), 近藤邦彦, 酒井理恵子, 佐藤加奈子, 竹内 渉, 野田佳奈衣, 野長瀬高志 : 全身弛緩性が足部アライメントと歩行に及ぼす影響, 日本理学療法士学会, 朱鷺メッセ, 新潟市, 2007.5.25
- ・ 藤井菜穂子 (座長) : 生活環境支援系理学療法2, 日本理学療法士学会, 朱鷺メッセ, 新潟市, 2007.5.24
- ・ 初山日出樹, 黒澤和生 : 前腕の肢位の違いが握力やシーツを引っ張る張力に及ぼす影響, 第42回理学療法学会大会,

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター, 新潟県新潟市, 2007.5.25

- ・ Momiyama H, Osawa Y, Andou T: Dynamic movement of center of pressure with hand grip, 4th International Meeting of Physical Therapy Science, Meeting room, センチュリープラザホテル, カナダ, 2007.6.1
- ・ 上村さと美, 秋山純和, 杉本 諭, 瀬戸一秀: 反復起立運動実施時の%到達心拍数と心肺機能評価—介護老人保健施設における検討—, 第42回日本理学療法学会大会, 新潟コンベンションセンター, 新潟県, 2007.5.25
- ・ 上村さと美: 運動負荷学講義における身近な動作を用いた運動負荷実習の導入効果, 第2回教育FD研究会, 東京サテライトキャンパス, 東京都, 2007.7.1
- ・ Satomi kamimura, Sumikazu akiyama: The difference in services offered by physical and occupational therapists in visiting rehabilitation, 第2回北京国際フォーラム, 北京リハビリテーションセンター, 中国北京, 2007.8
- ・ 上村さと美, 秋山純和: 介護老人保健施設における起立運動負荷を用いた安静時から運動時の心肺機能評価の実践, 第26回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 軽井沢プリンスホテル, 長野県, 2007.9.2
- ・ 上村さと美, 昇 寛: 運動生理学実習内容と実習課題に関する工夫, 第4回理学療法教育FD研究会, 小田原保健医療学部, 神奈川県, 2008.1.13
- ・ 上村さと美, 秋山純和: 運動負荷による心音変化の検討, 第18回日本病態生理学会大会, 神戸学院大学, 兵庫県, 2008.1.26

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 佐藤 仁: 博士 (保健医療学), 運動療法における間接的治療法の検証, 2008.3.7

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 黒澤和生: 日本理学療法士協会, 日本リハビリテーション医学会, 日本人間工学会, 日本運動療法研究会, 日本理学療法科学学会 (理事, 社会局長, 健康増進, 部長), 日本徒手の理学療法研究会 (学術幹事), 日本整形徒手療法協会, 日本臨床神経生理学学会
- ・ 谷 浩明: 日本人間工学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 理学療法科学学会 (評議員), 運動学習研究会, スポーツ心理学会, 日本物理療法学会, 日本私立医科大学理学療法士学会, 日本VR医学会
- ・ 柁 幸伸: 日本理学療法士学会, 日本理学療法科学学会 (評議員), 日本体力医学会, 臨床歩行分析研究会
- ・ 佐藤 仁: 日本理学療法士協会, 理学療法科学学会 (評議員), 日本PNF学会 (学会認定インストラクター), 埼玉東京神奈川PNF研究会 (代表), 全国大学理学療法教育研究会
- ・ 藤井菜穂子: 日本理学療法士協会 (理学療法学編集協力委員), 理学療法科学学会 (評議員), 日本体力医学会, 生理人類学会, 小児保健協会
- ・ 朧山日出樹: 日本理学療法士学会, 日本生理学会, 日本体力医学会
- ・ 上村さと美: 日本理学療法士協会, 理学療法科学学会, 日本病態生理学会
- ・ 渡邊観世子: 理学療法科学学会, 日本ボバース研究会, 日本赤ちゃん学会

#### 小田原保健医療学部 (作業療法学科)

#### 原著論文

- ・ 岩間孝暢, 原 英修, 小枝周平, 澄川幸志, 白井純一郎, 原田智美, 平川裕一, 上谷英史, 清宮良昭: 体幹の側屈反

復運動時の臀部と足部の支持に関する研究, 青森県作業療法研究, 16(2), 9-19, 2007

- ・ 窪田 聡: 介護用ベッド背上げ時の姿勢評価ー姿勢に影響を及ぼす要因ー, 人間工学, 44(2), 2008

#### 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 森田千晶: 筋電義手の作業療法, 群馬県作業療法学会, 太田医療専門学校, 群馬県太田市, 2007.12.2
- ・ 窪田 聡: 介護用ベッド背上げ時の姿勢評価ー背上げに求められる条件とその応用ー, バイオメカニズムシンポジウム, かんぼの宿, 潮来, 2007

#### 学会発表

- ・ 上谷英史, 小枝周平, 澄川幸志, 板坂 歩, 清宮良昭: 食事動作における皿の前方位置と上肢関節運動範囲の関係, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島県鹿児島市, 2007.5.23
- ・ 上谷英史, 平川裕一, 原田智美, 鮫島隆洋, 小池祐土, 板坂 歩, 清宮良昭: スプーンの柄の長さが上肢関節運動範囲に及ぼす変化, 第22回リハ工学カンファレンス, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.8.24
- ・ 小枝周平, 澄川幸志, 原田智美, 上谷英史, 平川裕一, 岩間孝暢, 白井純一郎, 清宮良昭: 折り紙の紙の大きさと上肢関節角度との関係, 第22回リハ工学カンファレンス, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.8.25
- ・ 山路博文: Cognitive behavior Therapy with Schizophrenia: Random control Test, World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies, Barcelona, Spain, 2007.7.19

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 森田千晶: 保健医療学博士, 片側上肢切断者の姿勢に関する運動学的研究, 2008.3.7
- ・ 阿部浩美: 保健医療学, 視覚障害を伴う重症心身障害児(者)の視覚反応を知る手がかりの探求, 2008.3
- ・ 三浦慈子: 国際医療福祉大学大学院修士, 左脳損傷者と右脳損傷者の図形模写の特徴, (2007.3.7)

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 森田千晶: ヒトと動物の関係学会, 日本リハビリテーション工学協会
- ・ 阿部浩美: 日本作業療法士協会, 日本感覚統合学会
- ・ 窪田 聡: バイオメカニズム学会, 日本人間工学会看護人間工学部会, 日本リハビリテーション工学協会
- ・ 出口弦舞: 日本リハビリテーション工学協会
- ・ 三浦慈子: 日本高次脳機能障害学会

#### 小田原保健医療学部 (医学一般教育学科)

#### 著書

- ・ 貴邑 (田中) 富久子: 環境生理学, 環境としてのジェンダー, 419-429, 北海道大学出版会, (2007.2)
- ・ 田中 (貴邑) 富久子: 面白いほどよくわかる脳とこころのしくみ, 全189, アスペクト, 2007.8
- ・ 田中 (貴邑) 富久子: 性差とは何か, 脳の性差, 169-180, 日本学術協力財団, 2008.1
- ・ 貴邑 (田中) 富久子, 根来英雄: シンプル生理学 (改定第6版1刷), 神経系の機能, 感覚の生理, 内分泌系の機能, 栄養と代謝, 消化と吸収, 血液の生理, 循環の生理, 全326の2/3, 南江堂, 2008.3

- ・ 井上 豊 (単著) : 教師のためのExcelVBA活用法, 明治図書出版株式会社, 2007.9

## 原著論文

- ・ Hagiwara H, Funabashi T, Mitsushima D, Kimura F : Effects of neonatal testosterone treatment on sex differences in formalin-induced nociceptive behavior in rats, *Neuroscience Letters*, 412, 264-267, 2007
- ・ Takase T, Mitsushima D, Funabashi T, Kimura F : Postpubetal feeding experience Affects sex-specific spatial Ability in rats, *Neuroscience Letters*, 93, 553-539, 2008
- ・ Mitsushima D, Takase K, Funabashi T, Kimura F : Gonadal steroid hormones maintain the stress-induced acetyl choline release in the hippocampus: simultaneous measurements of the extracellular acetylcholine and serum corticosterone levels in the same subjects, *Endocrinology*, 149, 802-811, 2008
- ・ Nakamura Y, Yi SQ, Terayama H, Naito M, Li J, Moriyama H, Tsuchida A, Itoh M : Sequential Histopathology of Pancreatic Tissues in aly/aly Mice, *Cell Tissues Organs*, 186, 204-209, 2007

## 総説

- ・ 貴邑 (田中) 富久子, 船橋利也, 美津島大 : 性差研究の発展のために—ラットおよびヒト脳に関する性差研究の戦略と方法, *日本臨床*, 65(6), 1135-1145, 2007
- ・ 田中 (貴邑) 富久子 : 性差のある臓器と疾患—老年期認知症の性差, *Aging & Health*, 16(1), 18-19, 2007
- ・ 貴邑 (田中) 富久子, 船橋利也 : GnRHのパルス発生器とサージ発生器, *Hormone Frontier in Gynecology*, 14(2), 11-16, 2007

## 研究報告

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子, 千葉礼子 : コメディカル大学における英語教育のニーズアナリシスに基づくカリキュラム開発, 日本学術振興会, 2007

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 船橋利也, 貴邑 (田中) 富久子 : Sex differences in feeding behavior, 第84回日本生理学会, 大阪国際交流センター, 大阪市, (2007.3.22)
- ・ 貴邑 (田中) 富久子 : 脳の性 セックスとジェンダー, 日本消化器病学会付置研究会, ホテル青森, 青森市, 2007.4.20
- ・ 貴邑 (田中) 富久子 : 女性ホルモンと脳機能—基礎医学の立場から—, 第4回ウイメンズメンタルヘルス (女性精神医学), 砂防会館, 東京都, 2007.9.8

## 学会発表

- ・ 田中 (貴邑) 富久子, 船橋利也 : GID男女の性腺刺激ホルモン分泌調節機序, GID学会第9回研究大会, 所沢市民文化センター, 所沢市, (2007.3.16)
- ・ 萩原裕子, 船橋利也, 貴邑 (田中) 富久子 : Effects of neonatal testosterone treatment on sex differences in formalin-induced nociceptive behavior in rats, 第84回日本生理学会, 大阪国際交流センター, 大阪市, (2007.3.21)
- ・ 美津島大, 山田佳織, 高瀬堅吉, 船橋利也, 貴邑 (田中) 富久子 : Sex differences in the basolateral amygdale; serotonin and dopamine release and their responses to restraint stress in rats, 第84回日本生理学会, 大阪国際交流センター, 大阪市, (2007.3.22)

- ・ 貴邑 (田中) 富久子 (司会) : 川上正澄記念レクチャー, Ei Terasawa, 京王プラザホテル東京, 東京都, 2008.3.25
- ・ 田中美子, 宮崎路子 : Developing A Corpus of the Nursing Literature, International Medical Education Conference, Crowne Plaza Mutiara Hotel, Kuala Lumpur, Malaysia, 2007.4.20
- ・ 田中美子, 宮崎路子 : Our Shared Biomedical Language, International Medical Education Conference, Crowne Plaza Mutiara Hotel, Kuala Lumpur, Malaysia, 2007.4.20
- ・ 田中美子, 宮崎路子 : Assessing Biomedical English Competency, International Medical Education Conference, Crowne Plaza Mutiara Hotel, Kuala Lumpur, Malaysia, 2007.4.21
- ・ 南井紀子, 田中美子, 宮崎路子 : 授業力向上のための教材開発－医療関連職種専攻学生・教員のニーズアナリシスを展開させて, 外国語メディア学会 (LET) 関東支部第119回 (2007年度) 研究大会, 東北学院大学土樋キャンパス, 宮城県仙台市, 2007.10.27

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子, 千葉礼子 : ニーズアナリシスに基づく英語カリキュラム開発 (2) 「書き言葉」 (読解・作文), 日本学術振興会, 基盤研究(C), 19520502, 一般

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 貴邑 (田中) 富久子 : 日本神経科学学会 (会計監事), 性差医療・医学研究会 (評議員), Men's Health 医学会 (評議員), 日本生殖内分泌学会 (理事)
- ・ 田中美子 : 外国教育メディア学会 (LET), Teachers of English to Speakers of Other Language (TESOL), 国際平和教育学会 (IPE) (組織委員 (日本代表)), 大学英語教育学会 (JACET), 全国語学教育学会 (JALT)
- ・ 井上 豊 : 情報処理学会
- ・ 中村陽市 : 日本解剖学会 (評議員), 日本リンパ学会 (評議員), 人類形態学研究会

#### 小田原保健医療学部 (在宅地域ケア研究センター)

#### 著書

- ・ 栗盛須雅子 (分担執筆, 編集) : 保健医療福祉の研究ナビ, 研究のタイムスケジュール, 特許について, 18-21, 151-155, 金原出版, 2007

#### 原著論文

- ・ Hoshi Tanji, Ryu Shinu, Fujiwara Yoshinori, Kurimori Sugako : Urban Health and Determinant Factors for Longer Life for the Elderly Urban Dwellers in TOKYO, Proceedings of the International Symposium on Sustainable Urban Environment 2007, 61-66, 2007
- ・ 栗盛須雅子, 福田吉治, 中村桂子, 高野健人 : 介護保険統計を用いた都道府県別障害調整健康余命 (DALE) と健康指標としてのその意義, 厚生学の指標, 54(8), 33-39, 2007
- ・ 星 旦二, 秋山哲男, 市子太郎, 竹宮健司, 栗盛須雅子, 長谷川卓志 他 : 都市在宅高齢者における震災時避難可能性の実体と関連要因, 地域安全学会梗概集, 9, 245-251, 2007



## 総説

- ・ 栗盛須雅子, 福田吉治: 障害調整健康余命 (DALE) および障害調整生存 (DALY) のわが国における応用, 老年医学, 46(1), 39-44, 2008

## 研究報告

- ・ 葉袋淳子, 相原洋子, 山尾有紀, 栗盛須雅子, 西田幸典, 島内 節: 小田原市高齢者健康推進事業—地域づくり, そして, 団塊の世代円滑地域デビューに向けて—, 国際医療福祉大学 在宅地域ケア研究センター研究費による研究報告書—平成19年度版—, 69-76, 2008

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ Hoshi Tanji, Ryu Shinu, Fujiwara Yoshinori, Kurimori Sugako: Urban Health and Determinant Factors for Longer Life for the Elderly Urban Dwellers in TOKYO, Graduate School of Urban Environmental Sciences Tokyo Metropolitan University, 首都大学東京国際交流会館, 東京都八王子市, 2007.9.9
- ・ 栗盛須雅子: 沖縄県の健康余命の現状と健康余命延伸の為の提案, 第29回日本アールヴェーダ学会沖縄研究総会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2007.11.10
- ・ 栗盛須雅子: 沖縄県の健康長寿県復活へ向けての障害調整健康余命の施策への応用の提案—沖縄県の健康の現状から—, 第1回日本未病システム学会沖縄地方会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2007.12.9

## 学会発表

- ・ 栗盛須雅子, 福田吉治, 星 旦二: 都道府県別要介護認定率の較差を規定する要因の共分散構造分析, 第33回日本保健医療社会学会, 新潟医療福祉大学, 新潟県新潟市, 2007.5.20
- ・ 星 旦二, 栗盛須雅子: 都市高齢者における介護度別でみた3年後の累積生存率, 第33回日本保健医療社会学会, 新潟医療福祉大学, 新潟県新潟市, 2007.5.20
- ・ 福田吉治, 栗盛須雅子: 障害調整健康余命 (DALE) と加重障害保有割合 (WDP) の都道府県較差, 第33回日本保健医療社会学会, 新潟医療福祉大学, 新潟県新潟市, 2007.5.20
- ・ 星 旦二, 栗盛須雅子, 櫻井尚子, 巴山玉蓮, 高橋俊彦: 都市高齢者の3年後累積生存を規定する要因, 第16回日本健康教育学会, シティプラザ大阪, 大阪府大阪市, 2007.7.6
- ・ 栗盛須雅子, 福田吉治: 障害調整健康余命 (DALE) と加重障害保有割合 (WDP) の健康指標としての意義とDALEの利点, 第66回日本公衆衛生学会総会, 愛媛県県民文化会館, 愛媛県松山市, 2007.10.25
- ・ 星 旦二, 秋山哲男, 市子太郎, 竹宮健司, 栗盛須雅子, 長谷川卓志 他: 都市在宅高齢者における震災時避難可能性の実体と関連要因, 平成19年度地域安全学会研究発表会 (第21回秋季: 静岡), 静岡県地震防災センター, 静岡県静岡市, 2007.11.10
- ・ 二見伸子, 栗盛須雅子: 南足柄市の障害調整健康余命 (DALE) の経年変化と施策への応用の試み, 第18回日本疫学会学術集会, 学術総合センター—ツ橋記念講堂, 東京都千代田区, 2008.1.25
- ・ 栗盛須雅子, 福田吉治: 介護保険統計を用いた高齢者健康指標—地域相関研究と指標としての意義提, 第18回日本疫学会学術集会, 学術総合センター—ツ橋記念講堂, 東京都千代田区, 2008.1.25
- ・ 栗盛須雅子 (座長): 沖縄こそ緑のカーテンを, 第29回日本アールヴェーダ学会沖縄研究総会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2007.11.10
- ・ 栗盛須雅子 (座長): 沖縄のおばあに学ぶ長寿の知恵, 第29回日本アールヴェーダ学会沖縄研究総会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2007.11.10

## 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 栗盛須雅子（代表研究者），福田吉治（分担研究者）：障害調整健康余命（DALE）算出のための効用値の測定と評価指標としてのDALE，科学研究費補助金，基盤C，課題番号195906500004，採

## 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 小川恵子：PhD，Workload of Home Health Care Nurses in Japan，2008.3.6（最終審査合格）

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 小川恵子：日本在宅ケア学会，日本地域看護学会，日本看護科学学会
- ・ 栗盛須雅子：日本公衆衛生学会，日本健康科学学会，日本保健医療社会学会，日本看護科学学会，日本健康教育学会，日本疫学会，日本老年社会科学学会

## 基礎医学研究センター

### 著書

- ・ 黒澤美枝子（編集，分担翻訳）：トートラ人体解剖生理学 [原著第7版]，第21章 泌尿器系，529-548，丸善，2007
- ・ 黒澤美枝子（編集，分担執筆）：コメディカルのための専門基礎分野テキスト生理学 [第2版]，1章 神経，3章 運動，5章 内分泌，1-53，68-93，116-139，中外医学社，2008
- ・ Konno R（共同編集）：D-Amino Acids: A New Frontier in Amino Acid and Protein Research，Nephrotoxicity of D-serine in rats，187-190，Nova Science Publishers，2007
- ・ Konno R（共同編集）：D-Amino Acids: A New Frontier in Amino Acid and Protein Research，Screening for mutant mice lacking D-amino-acid oxidase activity，509-512，Nova Science Publishers，2007
- ・ 長谷川薫（分担執筆，編集）：コメディカルのための専門基礎分野テキスト生理学 [第2版]，7章 血液，8章 循環，9章 呼吸，10章 消化・吸収，152-248，中外医学社，2008
- ・ 長谷川薫（分担執筆）：看護師国家試験・解剖生理学クリアブック，9. 内分泌系による調節，124-139，医学書院，2007

### 原著論文

- ・ Kurosawa M，Toda H，Watanabe O，Budgell B：Contribution of supraspinal and spinal structures to the responses of dorsal spinal cord blood flow to innocuous cutaneous brushing in rats，Auton Neurosci，136(1-2)，96-99，2007
- ・ Suzuki Y，Ichinomiya S，Kurosawa M，Ohkubo M，Watanabe H，Iwasaki H，Matsuda J，Noguchi Y，Takimoto K，Itoh M，Taba M，Iida M，Kubo T，Ogawa S，Nanba E，Higaki K，Ohno K，Brady RO：Chmical Chaperone Therapy: Clinical effect in Murine Gma-Gangliosidosis，Ann Neurol，62(6)，671-675，2007
- ・ 下重里江，丸山貴美子，戸田寛子，黒澤美枝子：ラットの肝グルコース放出におよぼすニコチンの影響とその自律神経性機序，自律神経，44(3)，195-200，2007
- ・ Morikawa A，Hamase K，Inoue T，Konno R，Zaitu K：Alterations in D-amino acid levels in the brains of mice and rats after the administration of D-amino acids，Amino Acids，32，13-20，2007
- ・ Senoo T，Chiba K，Terada O，Hasegawa K，Obara Y：Visual acuity prognosis after anterior chamber air replacement to

prevent pseudo-anterior chamber formation after deep lamellar keratoplasty, Jpn. J. Ophthalmol, 51, 181-184, 2007

## 研究報告

- ・ 黒澤美枝子, 一ノ宮悟史, 戸田寛子, 下重里江, 鈴木義之: 遺伝子組み換えGM1-ガングリオシドーシスモデルマウスにおける神経学的検査法の開発, 厚生労働科学研究費補助金「こころの健康科学事業」別添報告書, 11-12, 2008
- ・ 金野柳一: 統合失調症とD-アミノ酸酸化酵素の関係の解明, 旭硝子財団助成研究成果報告2007, 19, 2007
- ・ 金野柳一: セリンラセマーゼ・ノックアウトマウスの作出とD-セリンの神経系における機能の解明, 日本学術振興会(科学研究費補助金研究成果報告書), 2007

## 講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 黒澤美枝子, 下重里江: 体性感覚神経を介する自律機能の反射性反応—卵巣血流を例として, 第49回日本平滑筋学会総会シンポジウム, 樺原ロイヤルホテル, 奈良県樺原市, 2007.7.5
- ・ Kurosawa M: Sympatho-adrenal medullary function in response to somatosensory stimulation, 5<sup>th</sup> Congress of the International Society of Autonomic Neuroscience, Kyoto, 2007, 京都テルサ, 京都府京都市, 2007.10.5
- ・ Kurosawa M: Responses of the gastric vagal afferent activity to interleukin-1 and the involvement of cholecystokinin, 5<sup>th</sup> Congress of the International Society of Autonomic Neuroscience, Kyoto, 2007, 京都テルサ, 京都府京都市, 2007.10.7
- ・ 金野柳一: D-アミノ酸酸化酵素欠損マウスとラット, 第30回日本分子生物学会年会・第80回日本生化学会大会・合同大会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2007.12.11

## 学会発表

- ・ Kurosawa M, Higashimura Y, Shimoju R, Maruyama H: Electroacupuncture improves insulin sensitivity via excitation of the somatic afferents in streptozotocin diabetic rats, 5<sup>th</sup> Congress of the International Society of Autonomic Neuroscience, Kyoto, 2007, 京都テルサ, 京都府京都市, 2007.10.8
- ・ Kurosawa M (座長): Symposium on Visceral Afferent, 5<sup>th</sup> Congress of the International Society of Autonomic Neuroscience, Kyoto, 2007, 京都テルサ, 京都府京都市, 2007.10.7
- ・ Suzuki Y, Ichinomiya S, Kurosawa M, Ohkubo M, Matsuda J, Iida M, Kubo T, Ogawa S: Chemical chaperone therapy: clinical effect in murine GM1-gangliosidosis, 7<sup>th</sup> Congress of the European Pediatric Neurology Society, Convention Center, トルコIzmir市, 2007.10.12
- ・ 一ノ宮悟史, 黒澤美枝子, 飯田真己, 檜垣克美, 鈴木義之: GM1-ガングリオシドーシスモデルマウスに対するケミカルシャペロン療法の臨床効果, 第49回日本先天代謝異常学会, 山形テルサ, 山形県山形市, 2007.11.16
- ・ 黒澤美枝子 (主催): 第35回自律神経生理研究会, 日本光電本社研修センター, 東京都新宿区, 2007.12.1
- ・ 東村幸枝, 黒澤美枝子: 骨格筋鍼通電刺激がI型糖尿病モデルラットの循環機能におよぼす影響, 第35回自律神経生理研究会, 日本光電本社研修センター, 東京都新宿区, 2007.12.1
- ・ 黒澤美枝子 (座長): 特別講演—摂食と自律神経系および脳可塑性の活性化, 第35回自律神経生理研究会, 日本光電本社研修センター, 東京都新宿区, 2007.12.1
- ・ Kurosawa M (座長): Symposium on Physiological Basis on Acupuncture Effects, 第85回日本生理学会大会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2008.3.25
- ・ Toda H, Motegi K, Maruyama H, Kurosawa M: Effects of electro-acupuncture stimulation on spinal cord blood flow in anesthetized rats, 第85回日本生理学会大会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2008.3.26
- ・ Tojo Y, Hamase K, Konno R, Koyanagi S, Ashida Y, Ohdo S, Zaitu K: Simple and rapid genotyping of D-amino acid

oxidase gene using microchip electrophoresis, 10<sup>th</sup> International Congress on Amino Acids and Proteins, Hotel Athos Palace, Chalkidiki, Greece, 2007.8.23

- ・三次百合香, 東條洋介, 浜瀬健次, 三田真史, 金子恒頭, 金野柳一, 財津 潔: D-アミノ酸化酵素活性欠損マウスにおけるD-Ser, D-Ala及びGlyの二次元同時分析, 第3回D-アミノ酸研究会学術講演会, 徳島大学長井記念ホール, 徳島県徳島市, 2007.9.15
- ・金野柳一 (座長): 第3回D-アミノ酸研究会学術講演会, 徳島大学長井記念ホール, 徳島県徳島市, 2007.9.15
- ・Sullivan S, Konno R, Miller RF: Retinal D-serine release in mice lacking functional D-amino acid oxidase, 2007 Neuroscience Meeting, San Diego Convention Center, San Diego, USA, 2007.11.3

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・黒澤美枝子: 遺伝子組み換えG<sub>M1</sub>-ガングリオンドーシスモデルマウスの神経学的評価, 厚生労働科学研究費補助金, こころの健康科学研究事業, 継続 (分担)
- ・黒澤美枝子: 種々のコメディカル医療における触刺激効果の教育研究, 私立大学経常費補助金, 大学教育高度化推進特別経費, 継続

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・黒澤美枝子: 日本生理学会 (評議員, 編集委員), 日本自律神経学会 (国際渉外委員, 編集委員, 広報委員), 日本神経科学会 (専門会員), International Society for Autonomic Neuroscience (編集委員)
- ・金野柳一: D-アミノ酸研究会 (監事), 日本生化学会, 日本分子生物学会, 無菌生物ノートバイオロジー学会
- ・長谷川薫: 日本生理学会 (評議員), 日本細胞生物学会, 日本組織培養学会, インビトロ・バイオロジー学会 (USA), 日本動物学会, New York Academy of Science (USA)
- ・小室正人: 日本解剖学会 (評議員)
- ・下重里江: 日本理学療法学会, 日本自律神経学会, 日本生理学会

#### 総合教育センター

#### 著書

- ・野中 泉: 英語教育, 若い人にこそ暗誦してもらいたい詩, 大修館, 2007

#### 原著論文

- ・柳澤順一: SELHiの光と影—運営指導委員の立場から, 国際教育研究所紀要, 14, 34-43, 2007.10.30

#### 総説

- ・小林真理子, 松下英介: 母親のがんと子どもの情緒的・行動的問題との関連要因, 精神科, 11(5), 395-398, 2007

#### 研究報告

- ・南井紀子, 田中美子, 宮崎路子, 千葉礼子: ニーズアナリシスに基づく英語カリキュラム開発(2)「書きことば」(読解・作文), 日本学術振興会, 2007

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子, 千葉礼子 : コメディカル大学における英語教育のニーズアナリシスに基づくカリキュラム開発, 日本学術振興会, 2007.6

#### 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 小林真理子 : 愛着 (アタッチメント) の形成について, 養護施設職員研修会, 児童養護施設養徳園, さくら市, 2007.4.19
- ・ 小林真理子 : これからの子育て, 上三川町乳幼児学級, 上三川町中央公民館, 上三川町, 2007.4.24
- ・ 小林真理子 : 愛着の形成と施設でのケア, 養護施設職員研修会, 児童養護施設氏家養護園, さくら市, 2007.6.21
- ・ 小林真理子 : 子どものこころの発達, 大山小学校PTA講演会, 大山小学校, 那須塩原市, 2007.7.6
- ・ 小林真理子 : 思春期の子どもたちと向かい合うために, 家庭教育オピニオンリーダー研修会, 栃木県総合教育センター, 宇都宮市, 2007.10.4
- ・ 小林真理子 : 一人ひとりを大切にした生徒支援, 安塚小学校人権教育職員研修会, 安塚小学校, 壬生町, 2007.11.15
- ・ 小林真理子 : パーソナリティ・アセスメント入門・統合型HTP法, 明治安田生命こころの健康財団講座, 明治安田生命こころの健康財団研修所, 東京, 2007.12.2
- ・ 小林真理子 : 思春期の心の発達と家族の対応, 稲葉小学校教育講演会, 稲葉小学校, 壬生町, 2007.12.5
- ・ 小林真理子 : 親の心の健康と子育て支援, 栃木県臨床心理士会子育て支援研修会, とちぎ健康の森, 宇都宮市, 2008.1.20
- ・ 柳澤順一 : 大聖寺高校SELHi特別講義 英語パラグラフの論理と構造, 石川県教育委員会 石川県立大聖寺高校 SELHi室, 石川県立大聖寺高校, 石川県加賀市, 2007.9.20
- ・ 柳澤順一 : 大聖寺高校SELHi特別講義 英語パラグラフ・ライティングの展開技法について, 石川県教育委員会 石川県立大聖寺高校SELHi室, 石川県立大聖寺高校, 石川県加賀市, 2008.2.19

#### 学会発表

- ・ 小林真理子, 木下愛子 : 統合型HTPにおける顔のない人物像にみるストレス表現, 第23回日本ストレス学会学術総会, 東京医科大学, 東京都新宿区, 2007.11.9
- ・ 小林真理子 : 乳がんを抱えた母親の子育て, FOURWINDS乳幼児精神保健学会第11回全国大会in栃木, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2007.11.24
- ・ 南井紀子, 田中美子, 宮崎路子, 千葉礼子 : 授業力向上のための教材開発ー医療関連職種専攻学生・教員のニーズアナリシスを展開させて, 外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部第119回研究大会, 東北学院大学土樋キャンパス5号館, 宮城県仙台市, 2007.10.27
- ・ Budgell B, Miyazaki M, O'Brien M, Perkins R, Tanaka Y : Our Shared Biomedical Language, International Medical Education Conference, International Medical University, マレーシア・クアラルンプール, 2007.4.20
- ・ Perkins R, Budgell B, Miyazaki M, O'Brien M, Tanaka Y : Assessing Biomedical English Competency: A Fair, Valid, Sensitive and Reliable Approach, International Medical Education Conference, International Medical University, マレーシア・クアラルンプール, 2007.4.20
- ・ Tanaka Y, Miyazaki M, Budgell B, O'Brien M, Perkins R : Developing A Corpus Of The Nursing Literature - A Pilot Study, International Medical Education Conference, International Medical University, マレーシア・クアラルンプール, 2007.4.20
- ・ Chao-chih Liao, Miyazaki M, Tsung-chin Chang, Willibald Ruch : Taiwanese versus Japanese in Self-perception of Gelotophobia, The 2007 ISHS Conference (国際ユーモア学会), Salva Regina University, Rhode Island, U.S.A., 2007.6.30
- ・ 齋藤智恵 : How Can World Englishes Bloom in Japan? The Situation and Problems of College English in Japan, International

Association for International Communication Studies, Harbin Institute of Technology (ハルビン工業大学), 中国ハルビン, 2007.6.22

- ・ 齋藤智恵 (座長) : Linguistic Rights and the Legitimation of Culture, International Association for International Communication Studies, Harbin Institute of Technology (ハルビン工業大学), 中国ハルビン, 2007.6.22

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 田中美子, 南井紀子, 宮崎路子, 千葉礼子 : ニーズアナリシスに基づく英語カリキュラム開発(2)「書きことば」(読解・作文), 日本学術振興会, 基盤研究(2), 19520502, 採択

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 小林真理子 : 日本心理臨床学会, 日本遊戯療法学会 (理事), 日本芸術療法学会, FOUR WINDS 乳幼児精神保健学会, 日本ストレス学会, 日本サイコオンコロジー学会
- ・ 森田耕喜 : 日本哲学会, 日本ヘーゲル学会, 西田幾多郎学会, 日本独文学会, 日本臨床死生学会
- ・ 南井紀子 : 大学英語教育学会 (JACET), 外国語教育メディア学会 (LET)
- ・ 柳澤順一 : 日本時事英語学会, IRICE英語学会 (国際コミュニケーション英語研究所), 国際教育研究所
- ・ 野中 泉 : 大学英語教育学会, 全国語学教育学会, 時事英語学会
- ・ 宮崎路子 : 日本英学史学会 (東日本支部役員 (会計)), IEEE PCS (Professional Communication Society), 国際ユーモア学会 (ISHS (International Society of Humor Studies)), AATH (Association for Applied and Therapeutic Humor), TESOL (Teachers of English to Speakers of Other Languages), 大学英語教育学会 (JACET), 外国語教育メディア学会 (LET)
- ・ 齋藤智恵 : 全国英語教育学会, アジア英語学会, 東京学芸大学大学院英語研究会
- ・ 千葉礼子 : 日本中世英語英文学会, 日本中世英語英文学会東支部会, 大学英語教育学会 (JACET)

#### 情報教育センター

#### 著書

- ・ 石川 徹, 長谷川高志, 今田敬子, 外山比南子 (分担執筆) : コメディカル教育のための情報リテラシーとコンピューターの基礎, 5章 文献検索してみる, 102-115, 学内印刷, 2008.3

#### 原著論文

- ・ 長谷川高志, 村瀬澄夫 : Distribution of telemedicine in Japan, Telemedicine and E- Health, 13(6), 695-702, 2007
- ・ 長谷川高志, 村瀬澄夫 : テレケアのモデルとしての医療・健康コールセンターの研究 2006年度厚生労働省科学研究費研究報告, 日本遠隔医療学会雑誌, 3(2), 320-323, 2007
- ・ 村瀬澄夫, 長谷川高志 : サービスモデルとしてのテレケアの再構築 2006年度厚生労働省科学研究費研究報告, 日本遠隔医療学会雑誌, 3(2), 318-319, 2007
- ・ 山口典秀, 長谷川高志 : 諸外国におけるインターネットテレビ電話医療の現状, 日本遠隔医療学会雑誌, 3(2), 301-304, 2007
- ・ 酒巻哲夫, 長谷川高志 : メールによる保健指導の留意点と評価法 検討と提言, 日本遠隔医療学会雑誌, 3(2), 191-

194, 2007

- ・ 長谷川高志, 郡 隆之, 田中孝一, 酒巻哲夫: e-healthの形態分類と評価方式の研究, 日本遠隔医療学会雑誌, 3(2), 174-177, 2007

## 総説

- ・ 今田敬子: 研究文献レビュー 看護図書館, カレントアウェアネス, 256, 37-44, 2008.3
- ・ 外山比南子, 長谷川高志: 経営感覚をみがく 生き残りをかけた病院の戦略, 看護展望, 32(13), 1301-1303, 2007
- ・ 長谷川高志, 外山比南子: 経営感覚をみがく 病院再建に向けたアクション 経営改善策へのトライ, 看護展望, 32(12), 1199-1202, 2007
- ・ 外山比南子, 長谷川高志: 経営感覚をみがく 病院再建に向けたアクション 交渉の成立と財務諸表の変化, 看護展望, 32(11), 1107-1110, 2007
- ・ 外山比南子, 長谷川高志: 経営感覚をみがく 病院再建に向けたアクション 常勤医の確保と看護配置の見直し交渉, 看護展望, 32(10), 1013-1016, 2007
- ・ 外山比南子, 長谷川高志: 経営感覚をみがく 状況分析と最初のアクション 機能性と生産性, 看護展望, 32(9), 922-925, 2007
- ・ 外山比南子, 長谷川高志: 経営感覚をみがく 経営シミュレーション その趣旨と目的, 看護展望, 32(8), 820-823, 2007
- ・ 長谷川高志, 外山比南子: 経営感覚をみがく 経営状況を知るための情報収集 収益構造と医療の質のベンチマーキング, 看護展望, 32(7), 730-733, 2007
- ・ 長谷川高志, 外山比南子: 経営感覚をみがく 経営状況を知るための情報収集 原価計算の手法, 看護展望, 32(6), 620-622, 2007
- ・ 外山比南子, 長谷川高志: 経営感覚をみがく 経営状況を知るための情報収集 入院診療報酬とDPCデータ, 看護展望, 32(5), 428-431, 2007
- ・ 長谷川高志, 外山比南子: 経営感覚をみがく 経営状況を知るための情報収集 原価計算と経営指標, 看護展望, 32(4), 534-527, 2007

## 研究報告

- ・ 長谷川高志: TV電話やバイタル計測装置によるテレケアの実施可能性に関する研究, 厚生労働省科学研究費補助金・医療安全・医療技術評価総合研究 テレケア診療ガイドラインの調査 (H19-医療-一般-027) 分担報告書, 2008.3

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 長谷川高志: Telecare in Japan, 知的クラスター創成事業 (第Ⅱ期) / 広域化プログラム事業 国際シンポジウム・健康福祉産業における産学連携—先進予防型社会とそれを支える産業のあり方—, 仙台国際センター, 仙台市, 2008.3.14

## 学会発表

- ・ 今田敬子 (座長): 看護学術情報の電子化の進展と展望 (ワークショップ), 日本医療情報学会学術大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.24
- ・ 今田敬子 (発表): 看護雑誌の傾向と学術情報流通の変化, 日本医療情報学会学術大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.24

- ・ 長谷川高志, 開原成允 : 遠隔授業システムから インターネットによる授業配信への展開, 教育工学会総会, 早稲田大宅 所沢校舎, 埼玉県所沢市, 2007.9.22
- ・ 長谷川高志 (司会) : 特別企画 日本の遠隔医療10年の歩みと今後の展望 (演者 村瀬澄夫日本遠隔医療学会会長), 日本遠隔医療学会学術大会, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2007.10.19
- ・ 長谷川高志 (司会) : 企画シンポジウム 遠隔医療のビジネスモデル, 日本遠隔医療学会学術大会, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2007.10.19
- ・ 長谷川高志 (座長) : 健康セルフチェックテクノロジー分科会研究報告会, 日本遠隔医療学会学術大会, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2007.10.19
- ・ 長谷川高志 (座長) : 一般演題(7) TV会議, 日本遠隔医療学会学術大会, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2007.10.20
- ・ 長谷川高志 (座長) : 2006年度厚生労働省科研費研究報告, 日本遠隔医療学会学術大会, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2007.10.20
- ・ 長谷川高志, 外山比南子, 高橋 泰, 阿曾沼元博, 開原成允 : 医療機関CIO育成コース 模擬経営実習のための病院経営シミュレータの開発, 病院管理学会学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2007.10.26
- ・ 石川 徹, 長谷川高志, 今田敬子, 外山比南子 : コンピュータリテラシー教育とその改善への取り組み コンピュータ利用の現状と能力別クラス分けによる効果, 医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.24
- ・ 長谷川高志, 石川 徹, 黒田博史, 外山比南子 : コンピュータリテラシーの技能水準と教育効果を継続調査する手法, 医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.24
- ・ 長谷川高志, 杉村雅文, 開原成允 : 遠隔授業システムを用いた大学院教育の効果, 医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.24
- ・ 石川 徹, 長谷川高志, 今田敬子, 外山比南子 : コメディカルに対するコンピュータリテラシー教育とその特徴, 大学教育・情報戦略大会, アルカディア市ヶ谷, 東京都千代田区, 2007.9.5

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 長谷川高志 (分担研究) : Tテレケア診療ガイドラインの調査, 厚生労働省科学研究費補助金・医療安全・医療技術評価総合研究, H19-医療-一般-027, 新規
- ・ 長谷川高志 (分担研究) : 医療機器の性能基準設定に関する研究, 平成19年度厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業, H16-医薬-一般-006, 継続

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 今田敬子 : 日本医療情報学会, 日本図書館情報学会, 情報メディア学会
- ・ 長谷川高志 : 日本医療マネジメント学会 (評議員), 日本医療マネジメント学会 (電子化委員), 日本遠隔医療学会 (理事), 日本遠隔医療学会 (健康セルフチェックテクノロジー分科会長)

#### 国際交流センター

#### 著書

- ・ 杉山 広, 大前比呂思, 小島莊明 (分担) : 食中毒予防必携 (第2版), 蠕虫類, 297-331, 日本食品衛生協会, 2007



## 原著論文

- Okabayashi H, Kojima S et al. : Keys to success for a school-based malaria control program in primary schools in Thailand, Parasitol. Int., 55, 121-126, 2006
- 石鍋 浩 : 医療・福祉分野を専攻する留学生のための専門用語の漢字授業の実践, 茨城大学留学生センター紀要, 6, 1-11, 2008

## 研究報告

- 石鍋 浩 : コメディカル専門語彙に使用される漢字の出現傾向調査ー留学生向け学習漢字の選定とワークブックの試作ー, 国際医療福祉大学紀要, 12(2), 63-71, 2007

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- 奈良武司, 小島 莊明 他 : フィリピン日本住血吸虫症患者におけるパラミオシンに対する抗体応答と病態との相関, 第67回日本寄生虫学会東日本支部大会, 東京大学農学部, 東京, 2007.10.6

## 学会発表

- Kojima S (座長) : 2 titles on malaria, 2<sup>nd</sup> Nagasaki Symposium on tropical and Emerging Infectious Diseases, Nagasaki University, Nagasaki, 2007.11.27
- Tsunoda M, Chen X : Effects of fluoride on viability and cytokine productions of hereditary nephrotic mice after oral administration for one month, XXVIIth Conference of the International Society for Fluoride Research, Bei-jing, china, 2007.10.8
- 陳 霞芬, 角田正史 : 在日外国人就労者の職業性ストレスに関する研究ー同居者の有無とストレスとの関連, 第23回日本ストレス学会学術総会, 東京医科大学病院・臨床講堂, 東京都, 2007.11
- 具 恩花, 石鍋 浩, 陳 霞芬, 水巻中正 : 中国における貧困削減に関するミレニアム開発目標の達成状況, 第19回岩手公衆衛生学会学術集会, いわて県民情報交流センター, 岩手県盛岡市, 2008.2.16
- 韋 明, 石鍋 浩, 陳 霞芬, 水巻中正 : 患者からみた中国安慶市の医療施設満足度調査, 第19回岩手公衆衛生学会学術集会, いわて県民情報交流センター, 岩手県盛岡市, 2008.2.16
- 張 章宇, 石鍋 浩, 陳 霞芬, 水巻中正 : 中国上海市における高齢者福祉施設に関する入居者の満足度, 第19回岩手公衆衛生学会学術集会, いわて県民情報交流センター, 岩手県盛岡市, 2008.2.16
- 石鍋 浩, 陳 霞芬 : 医療分野を専攻する留学生に求められる漢字能力の検討ー専門漢字の教材開発に向けてー, 第10回専門日本語教育学会研究討論会, 大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター, 大阪府吹田市, 2008.3.8

## 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- 石鍋 浩 : 日本語学習者による日本語音声知覚時の脳内活動についてーNIRS装置による測定ー, 平成19年度科学研究費補助金, 萌芽研究, 19652048, 採択

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- 小島 莊明 : 日本寄生虫学会 (評議員, 小泉賞選考委員), 日本熱帯医学会 (評議員), 韓国寄生虫学会, ICD制度協議会 (感染症制御専門医)
- 陳 霞芬 : 日本病院管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本産業衛生学会, 日本ストレス学会, 栃木県マネジメント学会, 岩手公衆衛生学会

- ・ 渡辺晴世 : 日本語教育学会
- ・ 石鍋 浩 : 日本語教育学会, 日本教育工学会, 専門日本語教育学会, 日本光脳機能イメージング研究会

## 大学院医療福祉学研究科

### 著書

- ・ Suzuki Y, Nanba E, Matsuda J, Higaki K, Oshima A : The Online Metabolic and Molecular Bases of Inherited Disease (ed by Valle D, Beaudet AL, Vogelstein B, Kinzler KW, Antonarakis SF, Ballabio A),  $\beta$ -Galactosidase deficiency ( $\beta$ -galactosidosis) : G<sub>M1</sub>-Gangliosidosis and Morquio B disease, <http://www.ommbid.com/>, McGraw-Hill, New York, 2008
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第9回, 37-40, 厚生統計協会, 2007.4
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第10回, 48-52, 厚生統計協会, 2007.5
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第11回, 51-54, 厚生統計協会, 2007.6
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第12回, 56-59, 厚生統計協会, 2007.7
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第13回, 56-59, 厚生統計協会, 2007.8
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第14回, 49-52, 厚生統計協会, 2007.9
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第15回, 51-54, 厚生統計協会, 2007.10
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第16回, 53-56, 厚生統計協会, 2007.11
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第17回, 40-43, 厚生統計協会, 2007.12
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第18回, 34-37, 厚生統計協会, 2008.1
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第19回, 35-38, 厚生統計協会, 2008.2
- ・ 兵頭明和 (分担執筆) : 厚生指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第20回, 35-39, 厚生統計協会, 2008.3
- ・ 開原成允 (分担執筆) : 明日の在宅医療, 第6巻 在宅医療と人材養成・人材確保 第3章 在宅医療と大学医学教育・臨床研修の現状と課題, 中央法規出版, 2008
- ・ 安島智子 : 日本の心理臨床の歩みと未来, 発達障害児への遊戯療法—「心の世界」の変容をもたらす統合的アプローチ, 147-166, 人文書院, 2007
- ・ 竹内孝仁 : 医学一般 改訂, ミネルヴァ書房, 2007.4
- ・ 竹内孝仁 : 完全版 ケアマネジメントの職人, 年友企画, 2007.4
- ・ 竹内孝仁 : 認定ケアマネジャーを鍛える, 年友企画, 2007.4
- ・ 竹内孝仁 : 認知症を治す事例集1&2, 年友企画, 2007.12
- ・ 竹内孝仁 : エンサイクロペディア社会福祉学, 福祉と保健・医療, 86-87, 中央法規, 2007.12
- ・ 竹内孝仁 : 生活の場と老年学 (第24回日本老年学会総会記録), 日本老年医学会雑誌 43(3), 297-298, (2006.6)
- ・ 竹内孝仁 : 医療 とくに高齢者医療のパートナー, ケアマネジャー—その役割と実態, 週刊医学のあゆみ 218(3), 243-246, (2006.7)
- ・ 竹内孝仁 : 歩けば寝たきりも認知症も予防できる, (財)日本万歩クラブ, 10月号, 2, (2006.10)
- ・ 竹内孝仁 : 施設での高齢者虐待の構造—思いやりのある職員は育つのか—, 介護保険情報, 10月号, 34-37, (2006.10)
- ・ 野口隆志 (監修) : お薬くん, 全編, CD, 篠原出版社, 2007
- ・ 野口隆志 : 改正GCPハンドブック改訂版Ⅱ版, 全編, 1-445, 薬事日報社, 2007

- ・野村 歆 (監修) : 子どもを事故と犯罪から守る環境と地域づくり, 第7章 今後の取り組みと課題, 179~186, 中央法規, 2007.5
- ・水卷中正 : 共済新報3月号, 多様, 深刻化する「医療格差」, 2-9, 共済組合連盟, 2007
- ・水卷中正 : 共済新報9月号, 与党の惨敗と社会保障改革の行方, 2-9, 共済組合連盟, 2007
- ・武藤正樹 (単著) : 医療制度改革で仕事はこう変わる, ぱる出版, 2007
- ・武藤正樹 (共著) 他 : P4Pのすべて, 医療タイムス, 2007
- ・和田 勝 (編著) : 介護保険制度の政策過程, 東洋経済新報社, 2007.9
- ・和田 勝 (社会福学習双書編集委員会) : 医学一般, 医療保障, 260-280, 全国社会福祉協議会, 2007.4
- ・和田 勝, 唐沢 剛 : 介護保険の手引き, ぎょうせい, 2007.6
- ・和田 勝 (編集責任者) : 国民健康保険事務提要, 全3巻, ぎょうせい, 2008
- ・波田野茂幸 (分担執筆) : 児童心理 61(7), 気持ちをうまく伝えられない子へのかかわり すぐキレてしまう, 644-648, 金子書房, 2007.5
- ・Takashima S et al. : Pediatric Neuropathology, 全巻を編集, Springer, 2007

## 原著論文

- ・Ichinomiya S, Watanabe H, Maruyama K, Toda H, Iwasaki H, Kurosawa M, Matsuda J, Suzuki Y : Neurological assessment of G<sub>M1</sub>-gangliosidosis model mice, *Brain Dev*, 29, 210-216, 2007
- ・Lei K, Ninomiya H, Suzuki M, Inoue T, Sawa M, Iida M, Ida H, Eto Y, Ogawa S, Ohno K, Kaneshi C, Brady RO, Suzuki Y : Enzyme enhancement activity of *N*-octyl- $\beta$ -valienamine on  $\beta$ -glucosidase mutants associated with Gaucher disease, *Biochim Biophys Acta*, 1772, 587-596, 2007
- ・Suzuki Y, Ichinomiya S, Kurosawa M, Ohkubo M, Watanabe H, Iwasaki H, Matsuda J, Noguchi Y, Takimoto K, Itoh M, Tabe M, Iida M, Kubo T, Ogawa S, Nanba E, Higaki K, Ohno K, Brady RO : Chemical chaperone therapy: clinical effect in murine G<sub>M1</sub>-gangliosidosis, *Ann Neurol*, 62, 671-675, 2007
- ・Takamura A, Higaki K, Kajimaki K, Otsuka Susumu, Ninomiya, Matsuda J, Ohno K, Suzuki Y, Nanba E : Enhanced autophagy and mitochondrial aberrations in murine G<sub>M1</sub>-gangliosidosis, *Biochem Biophys Res Commun*, 367, 616-622, 2008
- ・重久加代子, 渡辺孝子, 兵頭明和 : がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動を測定する質問紙の開発, *がん看護*, 12(6), 648-655, 2007.9
- ・Asahara S, Yamamoto S : A method for the determination of center of gravity during manual wheel chair propulsion in different axle positions, *Journal of physical therapy science*, 19, 57-63, 2007
- ・Katsuhira J, Yamamoto S, Asahara S : Comparison of the accuracy of measurement of floor reaction force and lower extremity joint moments calculated using different force plate measurement methods, *Journal of physical therapy science*, 19, 171-175, 2007
- ・武田江里子 : 対児感情の低い母親の妊娠期から産褥期における傾向と特徴, *小児保健研究*, 66(5), 665-674, 2007
- ・開原成允 (日本医学会医学用語管理委員会) : 医学用語の標準化をめざして—日本医学会医学用語辞典 (英和) 第3版の編集方針—, *日本医師会雑誌*, 136(1), 139-148, 2007
- ・開原成允 : 生活習慣病とIT, 肥満と糖尿病, 6(3), 419-423, 2007
- ・植村麻里, 開原成允 : 土曜の外来診療, 病院, 66(7), 583-587, 2007
- ・瀬戸僚馬, 開原成允 : 診療所向け電子カルテの真正性・見読性・保存性の現状と電子署名・タイムスタンプの活用に関する一考察, *医療情報学*, 27(4), 2007
- ・平良奈緒子, 開原成允, 田村 潤 : 診療報酬点数表の点数算定方式の分析と改善への提案, *社会保険旬報*, No2323

(8月1日号) , 6-16, 2007

- 野口隆志 (分担) : 地域住民の健康管理に関するドラッグストア従事者の意識調査に基づくセルフメディケーション推進のための基礎研究, 国際医療福祉大学紀要, 12(2), 1-11, 2007
- 野口隆志 (分担) : 地域住民健康ケアに関する薬局薬剤師の今後のあるべき姿について, 国際医療福祉大学紀要, 12(2), 42-53, 2007
- 野口隆志 (分担) : 早期体験学習の実施とその評価—国際医療福祉大学薬学部における取り組み—, 医療薬学, 33(8), 702-709, 2007
- 木下晃一, 野村 歡, 八藤後猛: 患者の利用実態に基づく医療施設における水治療法室の建築計画に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, (621), 15-19, 2007.11
- 長島 梢, 野村 歡, 八藤後猛: 筋萎縮性側索硬化症者の住環境整備に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, (623), 9-15, 2008.1
- 和田 勝: 医療保障政策研究21 医療構造改革の今日的課題, メディカルクオール, 19年4月号から20年3月号まで (12回連載), 2007, 2008
- 和田 勝: 視点, 健康保険 (月刊), 2007年9月号から毎号, 2007, 2008
- 中川佳子, 政岡ゆり, 本間生夫: 後期高齢者の文法能力におよぼす助詞判断課題の効果—日本語助詞の理解・表出力の評価とトレーニング, 高次脳機能研究, 27, 320-326, 2007
- Itoh M, Takashima S et al. : Methyl CpG-binding protein 2 (a mutation of which causes Rett syndrome) directly regulates insulin-like growth factor binding protein 3 in mouse and human brains, J Neuropathol Exp Neurol, 66, 117-123, 2007
- Ohkoshi Y, Takashima S et al. : Altered nestin expression in the cerebrum with periventricular leukomalacia, Pediatr Neurol, 36, 170-174, 2007
- Saitoh M, Takashima S et al. : Increase of ceramide mono-hexoside and dipalmitoyl glycerophospholipids in the brain of Zellweger syndrome, Neuroscience Letters, 417, 165-170, 2007
- 馬渡直子, 高嶋幸男: 福岡県南部における養護学校の課題—医療的ケアを必要とする生徒の実態, 脳と発達, 39, 373-377, 2007
- 渡利一生, 高嶋幸男 他: ヒト大脳皮質におけるニューロンの放射状および接線状発達, 理学療法科学, 22(1), 45-48, 2007
- Karashima E, Nishimura J, Iwamoto T, Hirano K, Hirano M, Kita S, Harada M, Kanaide H: Involvement of Na<sup>+</sup>-Ca<sup>2+</sup> exchanger in cAMP-mediated relaxation in mice aorta: Evaluation using transgenic mice, Br J Pharmacol, 1150, 434-444, 2007
- Fujiyoshi T, Hirano K, Hirano M, Nishimura J, Takahashi S, Kanaide H: Plasmin induces endothelium-dependent nitric oxide-mediated relaxation in the porcine coronary artery, Arterioscler Thromb Vasc Biol, 27, 949-954, 2007
- Shiga K, Hirano K, Nishimura J, Niino N, Naito S, Kanaide H: Dimethyl sulphoxide relaxes rabbit detrusor muscle by decreasing the Ca<sup>2+</sup> sensitivity of the contractile apparatus, Br J Pharmacol, 151, 1014-1024, 2007
- Hirano K, Nomoto N, Hirano M, Momota F, Hanada A, Kanaide H: Distinct Ca<sup>2+</sup> requirement for NO production between proteinase-activated receptor 1 and 4 (PAR<sub>1</sub> and PAR<sub>4</sub>) in vascular endothelial cells, J Pharmacol Exp Ther, 322, 668-677, 2007
- Kai Y, Hirano K, Maeda Y, Nishimura J, Sasaki T, Kanaide H: Prevention of the hyper-contractile response to thrombin by proteinase-activated receptor 1 antagonist in subarachnoid hemorrhage, Stroke, 38, 3259-3265, 2007
- Maeda Y, Hirano K, Kai Y, Hirano M, Suzuki SO, Sasaki T, Kanaide H: Up-regulation of proteinase-activated receptor 1 and increased contractile responses to thrombin after subarachnoid hemorrhage, Br J Pharmacol, 152, 1131-1139, 2007

- Hirano M, Kanaide H, Hirano K : Rac1-dependent transcriptional up-regulation of p27<sup>Kip1</sup> by homophilic cell-cell contact in vascular endothelial cells, Biochim Biophys Acta -Mol Cell Res, 1773, 1500-1510, 2007

## 総説

- Ogawa S, Kanto M, Suzuki Y : Development and medical application of unsaturated carbaglycosylamine glycosidase inhibitors, Mini-Rev Med Chem, 7, 679-691, 2007
- Suzuki Y : Chemical chaperone therapy for G<sub>M1</sub>-gangliosidosis, Cell Molec Life Sci, 10, 351-353, 2008
- 山本澄子 : 油圧を利用した短下肢装具の開発, フルードパワーシステム, 38(4), 18-20, 2007.7
- 山本澄子 : 脳卒中患者の歩行分析と下肢装具処方, Monthly Book Medical Rehabilitation, 2007年増刊号No.85, 113-119, 2007.11
- 安島智子 : 教育支援におけるプレーセラピーの活用, 教育心理臨床パラダイム, 現代のエスプリ別冊, 242-246, 2008
- 竹内孝仁 : 介護の未来を創り出すために, 介護保険情報, 9, 26-28, 2007.9
- 竹内孝仁 : 高齢者リハビリテーションを構築する, パワーリハビリテーション, 6, 12-23, 2007.9
- 竹内孝仁 : 新しい介護を創造しよう, 介護人材Q&A, 10, 6-12, 2007.10
- 竹内孝仁 : なぜ離れていくのか—離職の実態, 介護保険情報, 10, 52-55, 2007.10
- 竹内孝仁 : もう1つの離職の原因—職場での人間関係, 介護保険情報, 11, 92-95, 2007.11
- 竹内孝仁 : 「自立支援介護」はどこまで進んできているか, 介護保険情報, 12, 64-67, 2007.12
- 竹内孝仁 : どうすれば自立支援への道が拓かれるのか, 介護保険情報, 1, 76-79, 2008.1
- 竹内孝仁 : 「介護中心」のチームづくり, 介護保険情報, 2, 78-81, 2008.2
- 竹内孝仁 : 介護老人保健施設の人材育成を考える～人と組織を育て, 魅力ある施設にするために～, 介護人材Q&A, 2, 6-17, 2008.2
- 竹内孝仁 : リハビリテーション, 日本老年医学会雑誌, 45(1), 43-45, 2008.2
- 竹内孝仁 : チームとしての介護への出発点, 介護保険情報, 3, 30-33, 2008.3
- 武田宜子 : リハビリテーション看護における新たな課題, 家族看護学, 5(2), 12-17, 2007
- 野口隆志, 薬剤師のしごと, 化学と薬学の教室, 156, 24-25, 2007
- 武藤正樹 : 地域連携クリティカルパス, 保険診療 (医学通信社), 62(4), 120-121, 2007
- 武藤正樹 : P4P研究会, 保険診療 (医学通信社), 62(5), 74-75, 2007
- 武藤正樹 : 改正医療法への対応, 保険診療 (医学通信社), 62(6), 42-43, 2007
- 武藤正樹 : 4疾病5事業ごとの医療連携ネットワークへの対応, 保険診療 (医学通信社), 62(7), 56-57, 2007
- 武藤正樹 : 地域連携クリティカルパスの拡大, 保険診療 (医学通信社), 62(8), 54-55, 2007
- 武藤正樹 : イギリス版P4P, 保険診療 (医学通信社), 62(9), 106-107, 2007
- 武藤正樹 : 医療制度改革の奔流 (1), 保険診療 (医学通信社), 62(10), 62-63, 2007
- 武藤正樹 : 医療制度改革の奔流 (2), 保険診療 (医学通信社), 62(11), 120-121, 2007
- 武藤正樹 : 08年診療報酬改定と脳卒中連携パス, 保険診療 (医学通信社), 62(12), 122-123, 2007
- 武藤正樹 : 代替調剤元年, 保険診療 (医学通信社), 63(1), 48-49, 2008
- 武藤正樹 : スキルミクスとP4P, 保険診療 (医学通信社), 63(2), 104-105, 2008
- 武藤正樹 : リハビリアウトカムとP4P, 保険診療 (医学通信社), 63(3), 296-297, 2008
- 武藤正樹 : 在宅連携クリティカルパスと医療材料, メディカルクオール (メディカルクオール社), 2007年4月号, 28-32, 2007
- 武藤正樹 : 高齢者総合評価プログラム, メディカルクオール (メディカルクオール社), 2007年5月号, 28-31, 2007

- ・ 武藤正樹：医療の質に基づく支払い方式（P4P），メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年6月号，28-31，2007
- ・ 武藤正樹：改正医療法への対応，メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年7月号，28-32，2007
- ・ 武藤正樹：四疾病五事業への対応，メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年8月号，28-34，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携クリティカルパスの拡大，メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年9月号，28-32，2007
- ・ 武藤正樹：英国における「P4P」～ブレアの医療制度改革～，メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年10月号，26-31，2007
- ・ 武藤正樹：医療制度改革の奔流，メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年11月号，28-33，2007
- ・ 武藤正樹：2008年4月診療報酬改定，メディカルクオール（メディカルクオール社），2007年12月号，28-33，2007
- ・ 武藤正樹：後期高齢者の診療報酬改定，メディカルクオール（メディカルクオール社），2008年1月号，28-33，2008
- ・ 武藤正樹：2008年4月診療報酬改定（続），メディカルクオール（メディカルクオール社），2008年2月号，28-33，2008
- ・ 武藤正樹：ジェネリック医薬品の新たなステージを迎えて，メディカルクオール（メディカルクオール社），2008年3月号，28-33，2008
- ・ 武藤正樹：高齢者総合評価介入プログラム（CGAとGEMs），看護部長通信（日総研），5(1)，78-86，2007
- ・ 武藤正樹：医療の質に基づく支払い方式（P4P）と看護，看護部長通信（日総研），5(2)，86-95，2007
- ・ 武藤正樹：医療連携クリティカルパス最新事情，看護部長通信（日総研），5(3)，74-85，2007
- ・ 武藤正樹：医療制度改革と診療報酬改定，看護部長通信（日総研），5(4)，28-38，2007
- ・ 武藤正樹：完全予測！2008年4月診療報酬改定の動向，看護部長通信（日総研），5(5)，32-40，2007
- ・ 武藤正樹：完全予測！2008年4月診療報酬改定の動向，看護部長通信（日総研），5(6)，38-47，2007
- ・ 武藤正樹：即効！08年度診療報酬改定看護管理活用ガイド，看護部長通信（日総研），6(7)，2007
- ・ 武藤正樹：新たな地域医療計画と病院経営～地域連携室の役割，地域連携network，1(1)，98-103，2008
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 総論，月刊ミクス（エルゼビア），2007年4月号，42-43，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 大腿骨頸部骨折，月刊ミクス（エルゼビア），2007年5月号，38-39，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 前立腺がん，月刊ミクス（エルゼビア），2007年6月号，52-53，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス PEG，月刊ミクス（エルゼビア），2007年7月号，74-75，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 脳卒中，月刊ミクス（エルゼビア），2007年8月号，48-49，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 循環器疾患，月刊ミクス（エルゼビア），2007年9月号，56-57，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス がん，月刊ミクス（エルゼビア），2007年10月号，58-59，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス C型肝炎，月刊ミクス（エルゼビア），2007年11月号，50-51，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 08年4月診療報酬改定と脳卒中連携パス，月刊ミクス（エルゼビア），2007年12月号，48-49，2007
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 在宅ターミナル，月刊ミクス（エルゼビア），2008年1月号，52-53，2008
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 気管支喘息連携パス，月刊ミクス（エルゼビア），2008年2月号，50-51，2008
- ・ 武藤正樹：地域連携パス 地域連携クリティカルパスの作り方，月刊ミクス（エルゼビア），2008年3月号，48-49，2008
- ・ 高嶋幸男，金海武志：新生児の神経病理 中枢神経病変のみかた，病理と臨床，25，67-71，2007
- ・ 小沢愉理，金海武志，高嶋幸男：脳幹の神経伝達の発達とSIDS，日本SIDS学会雑誌，7，7-12，2007
- ・ 金出英夫：血管平滑筋の緊張調節－Ca<sup>2+</sup>シグナリングとCa<sup>2+</sup>感受性－，福岡医学雑誌，98(1)，1-10，2007

- ・平野勝也, 金出英夫: 脱分化血管平滑筋の収縮制御機構 培養血管平滑筋細胞を用いた収縮機構の解析, 医学のあゆみ, 223(13), 1113-1118, 2007

## 研究報告

- ・鈴木義之: ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発, 厚生労働科学研究費補助金総合研究報告書, 2005-2007年度, 2008
- ・鈴木義之: ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発, 厚生労働科学研究費補助金総括研究報告書, 2007年度, 2008
- ・田中 繁 (部会長) 他: 電動立ち上がり補助椅子の認定基準及び基準確認方法, (財)製品安全協会, (2007.1.12)
- ・山内 繁 (委員長), 田中 繁 他: JIS視覚障がい者の歩行・移動のための音声案内による支援システム指針, 日本工業標準調査会, JIS T 0901, (2007.2.20)
- ・田中 繁 (委員長) 他: 福祉用具標準化体系案, 独立行政法人 製品評価技術基盤機構, (2007.3.19)
- ・山内 繁 (委員長), 田中 繁 他: 支援分野に対応した福祉用具の研究開発・普及に関する調査, (株)三菱総合研究所, (2007.3)
- ・山内 繁 (委員長), 田中 繁 他: 公的給付における福祉用具評価システムに係わる調査研究, (財)テクノエイド協会, (2007.3)
- ・山内 繁 (委員長), 田中 繁 他: JIS電動立ち上がり補助いす, 日本工業標準調査会, JIS T 9255, 2007.4.20
- ・山内 繁 (委員長), 田中 繁 他: JISコミュニケーション支援用絵記号デザイン原則, 日本工業標準調査会, JIS T 0103, 2007.4.20
- ・武田江里子: 産褥1ヶ月の母親の子どもに対する感情を低下させる要因—産後入院中の母親の気分及びストレス要因から—, チャイルドヘルス, 8月号, 52-56, 2007
- ・島田千穂, 杉田美佐子, 岩下清子: 施設サービス利用者が, 身体機能の変化に応じて適切な車椅子を選択できるシステムの開発, フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団, 2007
- ・高嶋幸男, 小沢愉理, 金海武志: SIDSにおける睡眠・呼吸循環調節機構の発達神経病理学的研究, 平成18年度厚生労働科学研究費補助金(子どもの家庭総合研究事業)報告書, 2007

## 講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・江幡芳枝: 助産師教育の展望, 岡山大学大学院, 岡山大学, 岡山県岡山市, 2007.6.14
- ・江幡芳枝: 馬油の産科領域への応用, 第22回日本助産学会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2008.3.16
- ・Shigeru Tanaka, et.al. (Convener): Japanese challenge to assistive products –for systematic development of standards –, ISO/TC173/ 12<sup>th</sup> meeting, SIS Swedish Institute of Standard, Stockholm, Sweden, (2007.3.14)
- ・田中 繁: 茨城県地域リハビリネットワーク普及促進事業「リハビリ実務・研修」運動力学, 茨城県県北西部地域リハビリテーション連絡協議会, 志村大宮病院, 茨城県常陸大宮市, 2007.7.10 他全5回
- ・田中 繁: (ISO/IEC) 国際標準作成研修 NP提案の説明, 日本規格協会, 主婦会館, 東京都新宿区, 2007.12.3-4
- ・田中 繁: 福祉機器開発等におけるコンプライアンスについて, 健康・福祉・介護機器事業創出研究会, 佐野市総合福祉センター, 栃木県佐野市, 2007.12.7
- ・田中 繁: (ISO/IEC) 国際標準化リーダーシップ研修 経験者による講義, 日本規格協会, 主婦会館, 東京都新宿区, 2008.1.22-24
- ・田中 繁: 平成19年度第1回国際標準化リーダーシップ研修 (IEC/ISO) 経験者による講義, (財)日本規格協会, 主

婦会館，東京都新宿区，2008.1.23

- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，鹿児島県理学療法士会研修会，アステム，鹿児島市，2007.5.20
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，河北リハビリテーション病院勉強会，河北リハビリテーション病院，東京都杉並区，2007.6.24
- ・ 山本澄子：動作分析，文京学院大学生涯教育セミナー，文京学院大学，東京都文京区，2007.6.30-7.1
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，初台リハビリテーション病院勉強会，初台リハビリテーション病院，東京都渋谷区，2007.8.14
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，長崎県理学療法士会研修会，長崎大学医学部，長崎市，2007.8.18
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，群馬県理学療法士会基礎講座，群馬大学医学部，前橋市，2007.9.30
- ・ 山本澄子：動作分析から見た片麻痺者の歩行と装具による改善，第1回中国義肢装具学会，国際センター，チンタオ（中国），2007.10.19
- ・ 山本澄子：動作分析から見た片麻痺者の歩行，第4回理学療法科学会秋期研修会，健康科学大学，富士河口湖町，2007.10.28
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た短下肢装具の働きー装具はどのように歩行を補助できるかー，日本脊髄障害医学会，大宮ソニックシティ，大宮市，2007.11.10
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，大分県理学療法士協会研修会，湯布院厚生年金病院，大分県湯布院町，2007.11.11
- ・ 山本澄子：最先端装具の研究開発，生活支援技術革新ビジョン（厚生労働省局長勉強会），三田共用会議所，東京都港区，2007.11.28
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，千葉県理学療法士会研修会，千葉県労働者福祉センター，千葉市，2007.12.22
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，第17回山梨義肢装具を考える会，国際交流センター，甲府市，2008.3.8
- ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺者の歩行と短下肢装具，札幌コンベンションセンター，札幌市，2008.3.9
- ・ 山本澄子：動作分析，誠愛リハビリテーション病院研修会，誠愛リハビリテーション病院，福岡県大野城市，2008.3.15-16
- ・ 開原成允：これからの病院情報システム，ソフトウェアサービスユーザー会，新大阪ワシントンプラザ，大阪，2007.8.25
- ・ 開原成允：健康評価施設査定機構について，総合健診研修会，KFCホール（両国），東京，2007.9.30
- ・ 開原成允：日本の医療制度の評価，医薬品産業労働組合連盟シンポジウム，霞ヶ関ホール，東京，2007.10.23
- ・ 開原成允：採算性のある病院情報システム，平成19年度社会保険病院等副院長セミナー，全社連研修センター，東京，2007.11.2
- ・ 開原成允：最近の医療行政に対する雑感，港区医師会 時局対策会，港区医師会館，東京，2007.12.10
- ・ 開原成允（座長）：医療関連サービス振興会第17回シンポジウム，経団連会館，東京，2008.2.18
- ・ 開原成允：日本の医療制度，医薬品産業労働組合連盟総会，コクヨホール，東京，2008.3.22
- ・ 安島智子：遊戯療法の効用，茨城県臨床心理士会総会，筑波大学，つくば市，2007.6.10



- ・ 安島智子：シンポジウム 虐待を受けた子どものトラウマからの回復，日本遊戯療法学会全国研修会，京都文教大学，京都，2008.3.16
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，島根県老人保健施設協会，安来市，2007.4
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，長崎市老人福祉施設協議会，長崎市，2007.4
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，医療法人春成会，霧島市，2007.4
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰塾①，（株）ケア科学研究所，東京，2007.4
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション 認知症への効果，シルバーサポート（株），八王子市，2007.4
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，福島県介護福祉士会，棚倉町，2007.5
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰支援の基礎理論，長野県高齢者福祉協会，松本市，2007.5
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，パワーリハビリテーション研究会，広島市，2007.5
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，ワーカーズコープ宮崎，宮崎市，2007.5
- ・ 竹内孝仁：皆で支える介護予防－生涯自立し自分らしく生きるために－，余暇を利用する・ふれあいひろば「ひまつぶしの会」，川崎市，2007.5
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会①，全国老人福祉施設協議会，東京，2007.5
- ・ 竹内孝仁：介護保険の動向－老健・特養における自立支援・在宅復帰，富山在宅復帰をすすめる研究会，富山市，2007.5
- ・ 竹内孝仁：ケアマネリーダー研修会①，世田谷区社会福祉事業団，東京，2007.5
- ・ 竹内孝仁：自立支援をめぐる最近の動向，日本自立支援介護学会，東京，2007.5
- ・ 竹内孝仁：ケアマネリーダー研修会②，世田谷区社会福祉事業団，東京，2007.5
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション 認知症への効果，医療法人浜本内科，大津市，2007.6
- ・ 竹内孝仁：ケアマネリーダー研修会③，世田谷区社会福祉事業団，東京，2007.6
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，高齢者リハビリテーション研究所，東京，2007.6
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰塾②，（株）ケア科学研究所，東京，2007.6
- ・ 竹内孝仁：高齢者のリハビリテーションをとらえ直す，富山市福祉保健部，富山市，2007.6
- ・ 竹内孝仁：高齢者のリハビリテーションをとらえ直す，NPO法人介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会，札幌市，2007.7
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，（有）グループホーム来夢，常陸太田市，2007.7
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会②，全国老人福祉施設協議会，東京，2007.7
- ・ 竹内孝仁：自立支援・認知症について，長野県高齢者福祉協会，長野市，2007.7
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，十勝認知症研究会，帯広市，2007.7
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，鹿児島県老人保健施設協会，鹿児島市，2007.7
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，森本外科・脳神経外科医院，鳥取県琴浦町，2007.8
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，富山市福祉保健部，富山市，2007.8
- ・ 竹内孝仁：高齢者リハビリテーション学，NPO法人介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会，東京，2007.8
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰塾③，（株）ケア科学研究所，東京，2007.8
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会③，全国老人福祉施設協議会，東京，2007.9
- ・ 竹内孝仁：いつまでも元気で暮らそう－孫子のために！自分のために！－，琢成学区コミュニティ振興会 医療法人宏友会，酒田市，2007.9
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，高齢者リハビリテーション研究所，酒田市，2007.9

- ・ 竹内孝仁：ねたきりゼロをめざすまちの会，世田谷まちの会，東京，2007.10
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，岡山県老人福祉施設協議会，岡山市，2007.10
- ・ 竹内孝仁：地域リハビリテーションにおける連携のあり方，湖東地域リハビリテーション広域支援センター，彦根市，2007.10
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，介護老人保健施設愛生苑，庄原市，2007.10
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰塾④，（株）ケア科学研究所，東京，2007.10
- ・ 竹内孝仁：新しい介護を創る研究会，国際医療福祉大学，大田原市，2007.10
- ・ 竹内孝仁：認知症は治せる，（社福）東蒲原福祉会，新潟市，2007.10
- ・ 竹内孝仁：高齢者の閉じこもり予防，（財）全国老人クラブ連合会，東京，2007.11
- ・ 竹内孝仁：高齢者の尊厳を大切にされた施設ケア，兵庫県老人福祉事業協会 阪神ブロック，伊丹市，2007.11
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会④，全国老人福祉施設協議会，東京，2007.11
- ・ 竹内孝仁：ケアマネジメントセミナーin鳥取，森本外科・脳神経外科医院，鳥取県琴浦町，2007.11
- ・ 竹内孝仁：全国老協研究会議，全国老人福祉施設協議会，岐阜市，2007.11
- ・ 竹内孝仁：高齢者のパワーリハビリテーション，御茶ノ水老年病セミナー事務局，東京，2007.11
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション，大韓老人病院協議会，韓国光州，2007.11
- ・ 竹内孝仁：認知症を予防し，認知症を治すには，十勝高齢者グループホーム連絡協議会東部ブロック，北海道幕別町，2007.12
- ・ 竹内孝仁：介護予防・自立支援総論，パワーリハビリテーション研究会 北海道支部，帯広市，2007.12
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション指導員研修会，NPO法人介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会，東京，2007.12
- ・ 竹内孝仁：ケアマネジメント総論，社会福祉法人正吉福祉会，東京，2007.12
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰塾⑤，（株）ケア科学研究所，東京，2007.12
- ・ 竹内孝仁：認知症を予防し，認知症を治すには，鳥取県連合婦人会，米子市，2007.12
- ・ 竹内孝仁：認知症を治すケアを学ぶin札幌，医療法人北昂会，札幌市，2008.1
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会⑤，全国老人福祉施設協議会，東京，2008.1
- ・ 竹内孝仁：21世紀の健康観と老人クラブ活動への期待，（財）全国老人クラブ連合会，逗子市，2008.1
- ・ 竹内孝仁：介護予防，熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会，熊本県益城町，2008.1
- ・ 竹内孝仁：自立支援介護向上研修会，NPO法人長野県高齢者福祉協会，長野市，2008.1
- ・ 竹内孝仁：家族で治そう認知症，社団法人認知症の人と家族の会 山形県支部，山形市，2008.2
- ・ 竹内孝仁：これからの高齢者介護，長野圏域介護保険事業者連絡協議会，長野市，2008.2
- ・ 竹内孝仁：介護保険講演会，安来地域介護保険サービス事業者連絡会，安来市，2008.2
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰塾⑥，（株）ケア科学研究所，東京，2008.2
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション上級指導員研修会，NPO法人介護予防・自立支援パワーリハビリテーション研究会，東京，2008.2
- ・ 竹内孝仁：認知症の事例検討，長崎市老人福祉施設協議会，長崎市，2008.2
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーションの理論と技術，韓国柳韓大学・国際医療福祉大学，東京，2008.2
- ・ 竹内孝仁：自立を目指すケア研修会，高知市役所，高知市，2008.3
- ・ 竹内孝仁：認知症ケア研修会，高知市役所，高知市，2008.3
- ・ 竹内孝仁：認知症とパワーリハビリテーション，富山市役所，富山市，2008.3
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰のための研修会，富山市役所，富山市，2008.3

- ・ 竹内孝仁：認知症を治すケアーその理論と実際ー，高齢者リハビリテーション研究所，東京，2008.3
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会⑥，全国老人福祉施設協議会，東京，2008.3
- ・ 竹内孝仁：認知症研修会，京都市養護老人ホーム，京都市，2008.3
- ・ 竹内孝仁：パワーリハで元気になろう！！，高齢者リハビリテーション研究所，山形市，2008.3
- ・ 武田宜子：マニュアルリフティングのためのガイドライン，平成19年度横浜リハ研究会，横浜総合リハセンター，横浜市，2007.9.22
- ・ 武田宜子：脊髄損傷者の看護，全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 回復期リハ看護認定コース，三田NNホール，東京都，2007.12.1
- ・ 野口隆志（座長）：新GCP施行10年を記念してー現状と展望ー，医薬品開発基礎研究会シンポジウム，昭和大講堂，東京都，2007.11.9
- ・ 野口隆志：抗菌薬のPK/PDと今後の臨床試験についてーアカデミアの立場からー，第28回日本臨床薬理学会，栃木県総合文化センター，栃木県，2007.11.29
- ・ 水巻中正：医療介護保険制度改定1年後の現状と課題，東京都理学療法士会，くにたち市民芸術小ホール，東京都国立市，2007.6.2
- ・ 武藤正樹：地域連携クリティカルパスの作成と導入（日本版疾病管理を目指して），日本疾病管理研究会，東京都，2007.4.21
- ・ 武藤正樹：地域医療連携と医療の質，日本医療マネジメント学会長野地方会，松代，2007.5.12
- ・ 武藤正樹：新たなステージのジェネリック医薬品，日本ジェネリック医薬品学会学術総会，東京都，2007.5.26
- ・ 武藤正樹：DPC拡大と急性期病院，保健・医療・社会サービス研究会，東京都，2007.8.26
- ・ 武藤正樹：地域連携クリティカルパス，日本臨床医療福祉学会，福岡，2007.8.31
- ・ 武藤正樹：持続可能な医療制度とQOL，QOL学会，東京都，2007.9.2
- ・ 武藤正樹：医療制度改革と21世紀の薬剤師像，日本医療薬学会年会，前橋，2007.9.30
- ・ 武藤正樹：クリティカルパス，現在，過去，未来，日本医療マネジメント学会宮崎地方会，宮崎，2007.10.28
- ・ 武藤正樹：DPCの現状と課題，大阪病院学会，大阪，2007.11.11
- ・ 武藤正樹：新たなステージのジェネリック医薬品，日本臨床薬理学会，宇都宮，2007.11.29
- ・ 武藤正樹：新たな地域医療計画とがん地域連携パス，日本疾病管理研究会，東京都，2007.12.8
- ・ 武藤正樹：クリティカルパス現在・過去そして未来，日本医療マネジメント学会東京地方会，東京都，2007.2.16
- ・ 和田 勝：入所系ケアサービスの課題と方向，レジデンシャルケア研究協議会（全社協），文京シビックホール，文京区，2007.7
- ・ 和田 勝：特別講演 医療・介護制度の課題と改革，脳神経外科従事者学会，福岡県民ホール，福岡市，2007.8
- ・ 和田 勝：介護保険制度の政策過程，院・シンポジウム，アミティ乃木坂，港区，2007.9
- ・ 和田 勝：社会福祉歩人制度の今後，福祉問題研究会，東海会館，港区，2007.9
- ・ 和田 勝：水俣病問題について，熊本学園大学大学院 授業，熊本市，2007.10
- ・ 和田 勝：社会保障制度，大田区教育委員会，大田区役所庁舎，大田区，2007.11
- ・ 中川佳子：日本語の文法能力はどのように獲得されるか 用示威から児童期にかけて，全国早期支援研究協議会 聴覚障害児支援冬季研修会，名古屋市総合社会福祉会館，愛知県，2008.1.13
- ・ 中川佳子：J.COSSについて，大塚ろう学校，大塚ろう学校，東京都，2008.2.15
- ・ 中川佳子，木島照夫：小学部児童の日本語文法力の把握と指導の試み J.COSSを用いて，ろう・難聴教育研究会，さわやか千葉県民プラザ，千葉県，2008.2.23
- ・ 高嶋幸男：周産期の神経筋疾患における発達神経病理，第14回阪神小児神経筋研究会，大阪，2007.7.14

- ・高嶋幸男：発達期における脳障害と突然死の神経病理，第14回法医病理夏期セミナー，鹿児島大学，鹿児島，2007.8.6
- ・高嶋幸男：医療解説－後天性疾患（脳性麻痺を中心に），特別支援学校医療体制整備事業，福岡，2007.8.9
- ・高嶋幸男：医療解説－先天性疾患 特別支援学校医療体制整備事業，特別支援学校医療体制整備事業，福岡，2007.8.9
- ・Kiyonobu Ikezaki：Geriatric Trauma:Characteristics and Countermeasures, Mahmyook University International Seminar, Mahmyook University, Seoul, Korea, 2007.4.22
- ・池崎清信：これだけは知っておきたい脳の解剖と働きーコメディカルスタッフのためにー，第10回日本病院脳神経外科学会，ビーコンプラザ，大分県大分市，2007.7.15
- ・Kiyonobu Ikezaki：Overview and Current Approaches to Moyamoya Disease, 13<sup>th</sup> WFNS Interim Meeting, Nagoya International Congress Center, Nagoya, Aichi, 2007.11.20
- ・Kiyonobu Ikezaki：Rehabilitation in Ageing: Medical Background and Prevention, Annual Symposium of Institutional Meeting in Seoul National University Hospital, Boramae Municipal Hospital, Seoul, Korea, 2008.1.25
- ・Kanaide H：招待講演 A key role of proteinase-activated receptor-1 in the vasospasm after subarachnoid hemorrhage., International Heart Forum (IHF) Beijing 2007, Jiuhua Hotel and Resort, 北京, 2007.9.22
- ・小島加代子, 野見山真理：当院における過去7年間の多胎防止に対する取り組み，第4回柳川・大川地区産婦人科勉強会，御花，柳川市，2008.2.19

## 学会発表

- ・田村一代, 江幡芳枝：初産婦における妊娠中の腹筋の伸張と影響要因に関する研究，第33回日本看護研究学会，盛岡市民文化ホール，岩手県盛岡市，2007.7.28-29
- ・江幡芳枝, 大井伸子：大学生によるピアカウンセリング部の活動，第3回アジア性教育学術会議，立教大学池袋学舎，東京都，2007.8.18-20
- ・大井伸子, 江幡芳枝：岡山市内の小学校の性教育の実態と課題，第3回アジア性教育学術会議，立教大学池袋学舎，東京都，2007.8.18-20
- ・江幡芳枝, 森越美香, 小川景子：大学祭におけるピアカウンセリング部の効果，第26回日本思春期学会，東京慈恵会医科大学西新橋校，東京都，2007.8.25-26
- ・江幡芳枝（座長）：健康教育・性教育Ⅱ，第26回日本思春期学会，東京慈恵会医科大学西新橋校，東京都，2007.8.25-26
- ・田村一代, 大草 尚, 江幡芳枝：初産婦における妊娠中の腹筋の伸張と産後の腹筋力に関する研究，第48回日本母性衛生学会，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2007.10.11-12
- ・阿久津和子, 江幡芳枝：乳幼児が夜泣くことに対する母親の負担に関する研究，第48回日本母性衛生学会，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2007.10.11-12
- ・江幡芳枝（座長）：Group 28 助産師1，第48回日本母性衛生学会，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2007.10.11-12
- ・高野 綾, 江幡芳枝：仰臥位分娩における分娩介助者の腰部負担計測方法の検討，第22回日本助産学会学術集会，神戸国際会議場，兵庫県神戸市，2008.3.15-16
- ・田村一代, 江幡芳枝：初産婦における妊娠中の腹筋の伸張と産後の腹直筋離開との関連，第22回日本助産学会学術集会，神戸国際会議場，兵庫県神戸市，2008.3.15-16
- ・櫛田恵津子, 江幡芳枝：退院後の母乳育児継続に影響を与える要因，第22回日本助産学会学術集会，神戸国際会議場，

兵庫県神戸市, 2008.3.15-16

- Suzuki Y : Chemical chaperone therapy : molecular mechanism and possible clinical application, International Symposium of Child Neurology, Ljubljana, Slovenia, 2007.6.1
- Suzuki Y : Chemical chaperone therapy, University of Seville Seminar, Seville, Spain, 2007.6.5
- 一ノ宮悟史, 鈴木義之 : ライソゾーム病に対する新しい治療法の開発, 厚生労働省難治性疾患克服研究事業 ライソゾーム病 (ファブリー病を含む) に関する調査研究班会議, 東京, 2007.6.21
- García-Moreno MI, Aguilar M, Ortiz Mellet C, Iwasaki H, Ohno K, Suzuki Y, García Fernández JM :  $sp^2$ -Azasugar glycosidase inhibitors as chemical chaperons for the treatment of lysosomal storage disorders, International Symposium on Advances in Synthetic and Medicinal Chemistry, Saint Petersburg, Russia, 2007.8.27-31
- Takamura A, Higaki K, Matsuda J, Iida M, Suzuki Y, Nanba E : Dysregulation of Trk receptor signaling in  $\beta$ -galactosidase-deficient mouse brain, 第30回日本神経科学学会大会, 横浜, 2007.9.10-12
- Suzuki Y, Ichinomiya S, Kurosawa M, Ohkubo M, Matsuda J, Iida M, Kubo T, Ogawa S : Chemical chaperone therapy: clinical effect in murine  $G_{M1}$ -gangliosidosis, 7th European Paediatric Neurology Society Congress, Kusadasi, Turkey, 2007.9.26-29
- 一ノ宮悟史, 黒澤美枝子, 飯田真己, 檜垣克美, 鈴木義之 :  $G_{M1}$ -ガングリオシドーシスモデルマウスに対するケミカルシャペロン療法の臨床効果, 第49回日本先天代謝異常学会, 山形, 2007.10.15-17
- 檜垣克美, 高村歩美, 梶卷賢哉, 飯田真己, 鈴木義之, 難波栄二 :  $G_{M1}$ -ガングリオシドーシスに対するケミカルシャペロン療法のマウスモデル細胞を用いた解析, 第49回日本先天代謝異常学会, 山形, 2007.10.15-17
- Higaki K, Takamura A, Suzuki Y, Nanba E : Lysosomal storage and enhanced signaling of Trk receptors in the neurons of  $G_{M1}$ -gangliosidosis mouse brain, International Symposium of Lysosomal Storage Diseases, Maihama, Japan, 2007.11.29-12.1
- Suzuki Y : Chemical chaperone therapy: a new molecular therapeutic approach to lysosomal diseases, International Symposium of Lysosomal Storage Diseases (Special Lecture), Maihama, Japan, 2007.11.29-12.1
- 鈴木義之 : ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発, 平成19年度厚生労働科学研究・こころの健康科学 (神経分野) 研究成果発表会, 東京, 2008.2.5
- 田中 繁 : ISOと義肢装具, 第23回日本義肢装具学会学術大会, くにびきメッセ, 島根県松江市, 2007.11.17
- Yamamoto S : Gait improvement of hemiplegic patients by AFO with oil damper, 12<sup>th</sup> World congress of the ISPO, Convention & Exhibition Center, Vancouver, Canada, 2007.8.1
- 山本澄子 (座長) : パネルディスカッション ISOと義肢装具, 第23回日本義肢装具学会学術大会, くにびきメッセ, 松江市, 2007.11.17
- 伏見正江, 山下貴美子, 坂上玲子, 森越美香 : DV防止に向けて多様なボランティアと切り拓く女性の健康, 第48回日本母性衛生学会学術集会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2007.10.11
- 森越美香, 伏見正江, 滝沢美津子 : ふたご・未熟児の育児支援プログラム参加体験からの学び~看護学生のボランティア活動を通じた学習効果~, 第48回日本母性衛生学会学術集会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2007.10.12
- 伏見正江, 山下貴美子, 森越美香 : 母性看護学における当事者参加授業学習効果~女性の双胎妊娠における長期入院体験の語りから~, 第27回日本看護科学学会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.12.7
- Eriko Takeda : Consideration to meaning of stress concerning family in pregnancy end, The 8<sup>th</sup> International Family Nursing Conference, インペリアルクイーンズパークホテル, Bangkok, Thailand, 2007.6.4-7
- 武田江里子 : 産後入院中から産後1ヶ月にかけて対児感情の低下が大きかった母親の特徴, 第33回日本看護研究学会, 盛岡市民文化ホール, 岩手県盛岡市, 2007.7.28-29
- 武田江里子 : 家事育児に対する夫婦の意識と夫婦関係および妻の対児・対夫感情との関連, 第14回日本家族看護学会,

青森県立保健大学, 青森県, 2007.9.1-2

- ・ 武田江里子 : 18ヶ月の子どもの持つ母親のストレス対処と対児感情との関連, 第54回日本小児保健学会, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.9.21-22
- ・ 武田江里子 : 6ヶ月以上母乳を与えた母親の思いと児感情および育てやすさへの影響, 第48回日本母性衛生学会, つくば国際会議場, 茨城県つくば市, 2007.10.11-12
- ・ 武田江里子 : 産後18ヶ月の母親の「怒り-敵意」に関する要因および子どもに対する感情への影響-妊娠末期・産後入院中・産後1ヶ月・産後18ヶ月の経過から-, 第22回日本助産学会, 神戸国際展示場, 兵庫県神戸市, 2008.3.15-16
- ・ 長谷川高志, 開原成允 : 遠隔授業システムからインターネットによる授業配信への展開, 日本教育工学会 第23回全国大会 東京, 早稲田大学, 所沢, 2007.9.22
- ・ 木下善皓, 刀根 薫, 開原成允 : 経営の移譲が病院の運営効率に与えた影響, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 政策科学大学院, 東京都, 2007.9.27
- ・ 木下善皓, 開原成允 : 経営の以上が病院の運営効率に与えた影響, 第45回日本病院管理学会学術総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.10.26
- ・ 開原成允 : Potentials of Japanese claims database, 国際薬剤疫学会, 東京大学, 東京, 2007.11.2
- ・ 開原成允 (シンポジウム招待講演) : Do we really need electronic medical record in a hospital?, 第35回国際病院学会 (IHF), 韓国ソウル (COEX会議場), ソウル, 2007.11.6
- ・ 田村 潤, 平良奈緒子, 開原成允 : 診療報酬点数表の点数算定方式の分析と改善への提案, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.24
- ・ 開原成允 : 健康評価施設査定機構の意義と活動, 第36回総合健診医学会, 神戸国際会議場, 神戸, 2008.1.25
- ・ 木下善皓, 開原成允, 吉田秀一 : ネットワークDEAとブラックボックス型DEAの比較-自治体病院の経営指標-, 日本OR学会「評価のOR」研究部会, 東京都, 2008.2.19
- ・ 木下善皓, 刀根 薫, 筒井美樹, 吉田秀一, 開原成允 : Network DEA による自治体病院の効率性分析, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 京都, 2008.3.26
- ・ 安島智子 (座長) : 児童擁護施設における遊戯療法事例, 日本心理臨床学会, 東京フォーラム, 東京, 2007.9.5
- ・ 安島智子 : 遊戯療法の基本, 日本遊戯療法学会, 新潟青陵大学, 新潟, 2007.7.14
- ・ 安島智子 : 引きこもりがちな男性の箱庭療法 日本箱庭療法学会, ハウステンボス, 長崎, 2007.10.20
- ・ 武田宜子 (座長) : 整形外科領域における地域連携パスの開発, 第7回日本整形外科看護研究会学術集会 基調講演, はまぎんホールヴィアマーレ, 横浜市, 2006.6.10
- ・ 柳本優子, 武田宜子, 富田真佐子, 五木田和江 : 一般演題 人工膝関節全置換術後の疼痛とROMに対する漸進的筋弛緩法の効果, 第7回日本整形外科看護研究会学術集会, はまぎんホールヴィアマーレ, 横浜市, 2006.6.10
- ・ 佐藤公美子, 坪井良子 : 戦前からの連続の視点で検討した看護改革-北海道の事例から-, 日本看護研究学会第33回学術集会, 盛岡市アイーナ, 岩手県盛岡市, 2007.7.29
- ・ 野口隆志, 伊藤久裕 他1名 : 治験業務の適正化に向けたモニタリング業務の実態調査-CRA (Clinical Research Associate) の業務実態および意識調査-, 第7回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 神奈川県, 2007.9.15-16
- ・ 野口隆志, 下村恭子 他7名 : 医師主導型臨床試験におけるデータマネージメントの問題点と考察, 第7回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 神奈川県, 2007.9.15-16
- ・ 野口隆志, 丸山由紀子 他3名 : CRCの教育成果に関する調査研究 (第2報), 第7回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, パシフィコ横浜, 神奈川県, 2007.9.15-16
- ・ 野口隆志, 山木輝彦 他2名 : ボランティアパネルの治験参加意識調査, 第7回CRCと臨床試験のあり方を考える会議,

パシフィコ横浜, 神奈川県, 2007.9.15-16

- ・古谷聡子, 野村 歡, 八藤後猛: 高度医療を受療する子どもと家族の滞在施設の建築計画に関する研究, 日本建築学会大会, 福岡大学, 福岡県福岡市, 2007.8
- ・村井裕樹, 志田弘二, 八藤後猛, 野村 歡: 認知症グループホームにおける火災安全実態に関する基礎調査, 日本建築学会大会, 福岡大学, 福岡県福岡市, 2007.8
- ・橋本彼路子, 野村 歡, 八藤後猛: 障害の種類別や使用補装具別にみた建築物の障壁による困難に関する研究, 日本建築学会大会, 福岡大学, 福岡県福岡市, 2007.8
- ・若狭紅子(座長): 精神看護の実践Ⅱ 介入方法, 日本精神保健看護学会, 北里大学, 神奈川県, 2007.6.9
- ・中川佳子, 内山由実子, 岩田 誠, 河内十郎: アルツハイマー型認知症の文法能力1, 日本神経心理学会総会, 金沢東急ホテル, 石川県, 2007.9
- ・内山由実子, 中川佳子, 岩田 誠, 河内十郎: アルツハイマー型認知症の文法能力2, 日本神経心理学会総会, 金沢東急ホテル, 石川県, 2007.9
- ・中川佳子, 政岡ゆり, 本間生夫: 後期高齢者の文法能力におよぼす助詞判断課題の効果: 助詞の理解・表出力の評価と支援, 日本高次脳機能研究総会, 和歌山県立文化会館, 和歌山県, 2007.11
- ・Y. NAKAGAWA: *Grammatical Processing in the Elderly: A Dipole Tracing Study*, Dipole研究会, 国際文化会館, 東京都, 2008.2
- ・中川佳子, 小山高正: 高齢者における加齢と知的機能障害による文法理解力の影響 J.COSS日本語文法理解テストによる評価, 日本発達心理学会, 大阪国際会議場, 大阪府, 2008.3
- ・高嶋幸男(主催者): 乳幼児突然死症候群(SIDS), 第13回SIDS学会, 福岡国際医療福祉学院, 福岡, (2007.3.17)
- ・Deguchi K, Takashima S et al.: Extremely preterm infants with white matter injury: impaired neural progenitor cells and cortical development, 35th Fetal and Neonatal Neurological Conference, Osaka, 2007.5.20
- ・奥田憲一, 松尾久美子, 高嶋幸男: 下腿を下垂させた背臥位ポジショニングの考案と効果に関する研究, 第33回日本重症心身障害学会, 高知, 2007.8.27
- ・瀬川芳恵, 糸数直哉, 大矢崇志, 高嶋幸男: 先天性強直性ジストロフィーの脳白質障害 脳画像と病理, 第33回日本重症心身障害学会, 高知, 2007.8.28
- ・山本育美, 江藤恵美, 小出吉子, 入江幸子, 小関顕代, 池崎清信: 排尿障害者における小型超音波膀胱画像診断装置の有用性, 第10回日本病院脳神経外科学会, ビーコンプラザ, 大分県大分市, 2007.7.14
- ・井浦鮎子, 池崎清信: 行き場の無い患者への退院援助の取りくみ一事例を振り返って医療ソーシャルワーカーの役割を考える一, 第10回日本病院脳神経外科学会, ビーコンプラザ, 大分県大分市, 2007.7.15
- ・小島菜緒子, 吉田きぬ子, 稲富恵美, 江頭優子, 小関顕代, 池崎清信: 脊髄疾患患者の排泄自立に向けてのアプローチ, 第10回日本病院脳神経外科学会, ビーコンプラザ, 大分県大分市, 2007.7.15
- ・小川つかさ, 山本雪絵, 江頭優子, 小関顕代, 池崎清信: [経口摂取をあきらめない] 医療チームの支援, 第5回日本神経疾患医療福祉従事者学会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2007.8.31
- ・鷗野智子, 入江幸子, 小関顕代, 池崎清信: 脳卒中後遺症患者の口腔ケアマニュアルを作成して, 第5回日本神経疾患医療福祉従事者学会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2007.8.31
- ・Kiyonobu Ikezaki(座長): Spine 2, The 10<sup>th</sup> Young-Honam Kyushu Neurosurgical Joint Meeting, ホテルオークラ福岡, 福岡県福岡市, 2007.10.27
- ・牧田涼子, 野見山真理(主催者, 座長), 小島加代子: 卵管切除後に卵管断端妊娠を反復した一例, 第3回福岡産婦人科内視鏡手術懇話会, 福岡国際医療福祉学院, 福岡市, 2007.4.21
- ・有馬 薫, 野見山真理, 小島加代子: 腹腔鏡下卵巣子宮内膜症性嚢胞摘出術後のARTにおける卵巣の反応性に関する

検討, 第三回福岡産婦人科内視鏡手術懇話会, 福岡国際医療福祉学院, 福岡市, 2007.4.21

- ・山本新吾, 野見山真理, 小島加代子: Universal IVF Medium (Medi-Cult 社) の使用経験, 第64回日本生殖医学会九州支部会, 大丸エルガーラ, 福岡, 2007.4.22
- ・有馬 薫, 野見山真理, 小島加代子: 高木病院不妊センターにおける recombinant FSH 製剤の使用経験, 第25回日本受精着床学会総会・学術講演会, 仙台市, 2007.8.30-31
- ・西山和加子, 野見山真理, 眞崎暁子, 有馬 薫, 小島加代子: Day3ETにおける過去7年間の多胎防止に対する取り組み, 第25回日本受精着床学会総会・学術講演会, 仙台市, 2007.8.30-31
- ・眞崎暁子, 野見山真理, 西山和加子, 小島加代子: 高木病院不妊センターにおける単一胚移植の臨床成績, 第25回日本受精着床学会総会・学術講演会, 仙台市, 2007.8.30-31
- ・山田耕平, 野見山真理, 小島加代子: 単一胚移植による多胎妊娠予防の取り組み, 第10回日本IVF学会 日本臨床エンブリオロジスト学会/横浜ART研究会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.9.29-30
- ・塚崎あずさ, 野見山真理, 小島加代子: Day3ETにおける過去7年間の多胎防止に対する取り組み, 第52回日本生殖医学会総会・学術講演会, 秋田, 2007.10.25-26
- ・山本新吾, 野見山真理, 小島加代子: 高木病院不妊センターにおける単一胚移植の臨床成績, 第52回日本生殖医学会総会・学術講演会, 秋田, 2007.10.25-26
- ・野見山真理, 有馬 薫, 牧田涼子, 小島加代子: TCRで核出困難であった変性粘膜下筋腫の1例, 第43回筑後婦人科腹腔鏡手術懇話会, 大牟田市立総合病院, 大牟田市, 2008.2.1

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・鈴木義之: ライツゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発, 厚生労働科学研究費補助金, こころの健康科学研究事業, H17-こころ-一般-019, 継続
- ・田中裕美子, 兵頭明和, 前川喜久雄 他4名: ことばの遅れか障害かを文法習得の躓きで判定する方法に関する研究, 文部科学省科学研究費補助金, 萌芽研究, 18653121, 継続
- ・開原成允, 刀根 馨 (分担, 主任研究者): ネットワーク型DEAとその応用に関する研究, 文部科学省 科学研究費補助金, 基盤研究(B) (一般), 採択
- ・渡部節子, 武田宜子 他: 人工股関節全置換術の術前処置の安全性と効率に関する実証, 文部科学省科学研究費, 基盤研究C, 22701-06-1-7502-0004, 一般
- ・志田弘二, 野村 欽, 八藤後猛, 村井祐樹: 高齢者居住施設の火災安全に関する総合的調査と評価システムの開発研究, 文科省・科学研究費補助金, 基盤研究(C), 19560626, 採用
- ・武藤正樹: 長期投薬と保険薬局機能とくに分割調剤の可能性に関する研究, 日本薬剤師会研究助成
- ・中川佳子, 小山高正: 高次脳機能障害にかかわる言語障害評価と教育支援 評価・支援一体化ソフトウェアの開発, 平成19年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)一般, 17530497, 継続
- ・高嶋幸男, 小沢愉理, 金海武志: SIDSにおける睡眠・呼吸循環調節機構の発達神経病理学的研究, 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 (子どもの家庭総合研究事業), 継続

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・江幡芳枝: 日本助産学会, 日本看護研究学会, 日本母性衛生学会, 日本小児保健学会, 日本性科学学会, 日本思春期学会
- ・鈴木義之: 日本小児神経学会 (専門医) (名誉会員), 日本小児科学会 (専門医), 日本神経学会 (専門医) (評議員), 日本先天代謝異常学会 (名誉会員), 日本人類遺伝学会 (評議員), 日本新生児学会 (功労会員), 日本赤ら



- ゃん学会（理事），日本遺伝子治療学会（幹事），国際小児神経学会（人事委員長，研究委員会委員），米國小児神経学会，ヨーロッパ小児神経学会
- ・ 田中 繁：i-CREATE（international Convention on Rehabilitation Engineering & Assitive Technology）（International reviewer），日本リハビリテーション工学協会（理事），日本義肢装具学会（評議員），ISPO International Society of Prosthetics and Orthotics（終身フェロー），日本生活支援工学会（評議員），日本バイオメカニズム学会（評議員）
  - ・ 兵頭明和：日本統計学会
  - ・ 山本澄子：日本義肢装具学会（理事，標準化委員会担当），国際義肢装具連盟（日本支部副会長），臨床歩行分析研究会（事務局長），日本福祉工学会（理事），バイオメカニズム学会（評議員），日本生活支援工学会（評議員），日本リハビリテーション工学協会，日本理学療法科学会，日本リハビリテーション医学会，日本人間工学会，日本建築学会
  - ・ 森越美香：日本助産学会，日本看護科学学会，日本母性衛生学会，日本思春期学会，日本保健科学学会，日本母乳哺育学会，日本母性看護学学会
  - ・ 武田江里子：日本看護研究学会，日本看護教育学学会，日本家族看護学会，日本母性衛生学会，日本小児保健学会，日本助産学会，日本女性心身医学会，日本看護科学学会，日本母性看護学会
  - ・ 開原成允：日本医療情報学会（元会長，顧問），American College of Medical Informatics（Fellow），American Telehealth Association
  - ・ 安島智子：日本遊戯療法学会（理事長），日本箱庭療法学会（理事），日本精神衛生学会（理事）
  - ・ 竹内孝仁：日本ケアマネジメント学会（理事），日本自立支援介護学会（理事，会長）
  - ・ 武田宜子：第7回日本整形外科看護研究会学術集会（大会長），日本整形外科看護研究会（会長，査読委員），日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本リハビリテーション看護学会（奨学会委員），国際リハビリテーション看護研究会
  - ・ 坪井良子：日本生活支援工学会（評議員），日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本看護教育学学会，日本医史学会，日本看護歴史学会，聖路加学会
  - ・ 野口隆志：日本化学療法学会（評議員，臨床試験委員会委員，治験審査委員会設立委員），日本薬物動態学会（評議員），ジェネリック医薬品学会（評議員）
  - ・ 野村 敏：日本生活支援工学会（理事），日本福祉のまちづくり学会（幹事），日本建築学会，日本火災学会
  - ・ 丸木一成：日本病院管理学会，医療の質・安全学会，日本医療マネジメント学会，日本品質管理学会
  - ・ 武藤正樹：日本医療マネジメント学会（副理事長），日本ジェネリック医薬品学会（理事長），日本疾病管理研究会（会長），医療の質に基づく支払い（P4P）研究会（代表幹事），日本外科学会
  - ・ 若狭紅子：日本精神保健看護学会（理事），日本整形外科看護研究会（役員），日本循環器心身医学会（理事），日本看護科学学会，聖路加看護学会，東京女子医科大学看護学会
  - ・ 高嶋幸男：日本SIDS学会（理事），日本神経病理学会（評議員）
  - ・ 池崎清信：日本脳神経外科学会（専門医）（評議員，国際学会誘致委員），日本脳卒中学会（専門医），日本医師会（認定産業医），日本脳神経外科コンgres（評議員），日本小児神経外科学会，アメリカ神経外科コンgres（国際関係委員），スパインフロンティア（世話人），日本脳神経外科同時通訳団（九州支部長），日本神経疾患医療福祉従事者学会（評議員）
  - ・ 小島加代子：日本生殖医学会（生殖医療指導医）（評議員）
  - ・ 野見山真理：日本生殖医学会（生殖医療指導医）（評議員），日本産科婦人科内視鏡学会（技術認定指導医）（評議員）

## 国際医療福祉大学熱海病院

### 著書

- ・ 川口 実 (分担執筆) : 消化器内視鏡技師のためのハンドブック, 3. 十二指腸, 299-304, 医学図書出版, 2007.5.7
- ・ 川口 実 (編集, 分担執筆) : 内視鏡所見のよみ方と鑑別診断 上部消化管第2版, 所見からみた診断へのアプローチ (胃・十二指腸), 120-134, 300-325, 医学書院, 2007.6.15
- ・ 川口 実 (編集, 分担執筆) : 内視鏡所見のよみ方と鑑別診断 上部消化管第2版, 生検組織診断の基本的知識と考え方, 341-374, 医学書院, 2007.6.15
- ・ 川口 実 (分担執筆) : 患者さんとのコミュニケーションをはかるベッドサイドでの一言, 入院・退院にまつわる一言, 46-49, 日本医事新報社, 2007.9.10
- ・ 中村治彦 (分担執筆) : 患者さんとのコミュニケーションをはかるベッドサイドでの一言, 手術にまつわる一言, 80-81, 日本医事新報社, 2007
- ・ 中村治彦 (分担執筆) 気道をめぐる治療手技—各種インターベンションのすべて—, 緊急内視鏡, 1-8, 医学書院, 2007
- ・ 中村治彦 (分担執筆) : MOOK 肺癌の臨床 2007~2008, 日常診療 (他疾患経過観察中) における胸部検診, 71-78, 篠原出版新社, 2007
- ・ 伊藤 章, 鈴木由香 (分担執筆) : 図説ICU 呼吸管理編, 病原微生物学的検査, 163-187, 真興交易, 2007
- ・ 伊藤 章 (監修) : ホントに知ってる? エイズのこと, 1-16, 東京法規出版, 2007
- ・ 岩崎博幸 : 臨床外科, 甲状腺癌の疫学に関する最新のデータ, 39-46, 医学書院, 2007
- ・ 岩崎博幸 : 甲状腺疾患診療実践マニュアル第3版 (伊藤國彦監修), 気道閉塞MEN, 155-159, 181-183, 文光堂, 2007
- ・ 岩崎博幸 : 実力医の履歴書, 国際医療福祉大学熱海病院外科, 482, ライフ企画, 2007
- ・ 栗山 学 (分担執筆) : 未病医学 臨床, 泌尿器と未病, 107-112, 金芳堂, 2007
- ・ 篠永正道 (分担執筆) : 脳脊髄液減少症ガイドライン2007, ガイドラインの問題点と今後の課題 各施設の治療症例, 21-26, 103-113, メディカルレビュー社, 2007
- ・ 篠永正道 (監修) : 脳脊髄液減少症データ集 Vol.1, 各研究会プログラム, 30, 42, 48, 58-60, 69, 73, 76, 78, 80, メディカルレビュー社, 2007
- ・ 篠永正道 (分担) : 今日の治療指針2008, 慢性硬膜下血腫, 680, 医学書院, 2008
- ・ 築山久一郎 (分担執筆), 岡田興造 : ファーマナビゲーター利尿薬編,  $\beta$  遮断薬, 160-164, メディカルレビュー社, 2007
- ・ 築山久一郎 (分担執筆) : 高血圧ナビゲーター第2版, Framingham研究, 38-39, メディカルレビュー社, 2007
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦 : 日常診療に役立つ高血圧診療のエビデンス (編集: 荻原俊男), 脳梗塞の予防ガイドライン (AHA/ASA), 20-22, 先端医学社, 2008
- ・ 築山久一郎, 岡田興造, 糟谷 深 : 日常診療に役立つ高血圧診療のエビデンス (編集: 荻原俊男), Ca拮抗薬とACE阻害薬の比較—ALLHAT, 48-50, 先端医学社, 2008
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 小林 泉 : 日常診療に役立つ高血圧診療のエビデンス (編集: 荻原俊男),  $\beta$  遮断薬と微量アルブミン尿, 78-79, 先端医学社, 2008
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦 : 日常診療に役立つ高血圧診療のエビデンス (編集: 荻原俊男),  $\beta$  遮断薬は第一選択薬でよいか?, 142-143, 先端医学社, 2008
- ・ 築山久一郎, 生駒英子, 岡田興造 : 日常診療に役立つ高血圧診療のエビデンス (編集: 荻原俊男), 2005カナダ高血圧ガイドライン 治療, 144-145, 先端医学社, 2008

- ・ 林 洋 (分担執筆) : メタボリックシンドロームと循環器合併症, 人間ドック, 143-148, 中外医学社, 2007
- ・ 築山久一郎, 鈴木高弘, 佐々木隆 : 調剤と情報, 第2章 疾患を知る 高血圧, 13(10), 31-35, じほう, 2007.9

## 原著論文

- ・ 須藤英一, 川口 実 : 慢性呼吸器疾患患者を対象に行った呼吸器教室開催後の変化—心理面の評価より, Geriatric Medicine (老年医学), 45(4), 493-497, 2007
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M, Kato H : Epidermal growth factor receptor gene mutations in early pulmonary adenocarcinomas, Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 13(2), 87-92, 2007
- ・ Nakamura H : Controversies in thoracoscopic lobectomy for lung cancer, Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 13(4), 225-227, 2007
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M, Kitaya T : Reconstruction of the anterior chest wall after subtotal sternectomy for metastatic breast cancer: report of a case, Surg Today, 37(12), 1083-1086, 2007
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M, Kitamura H : A minute small-cell lung cancer showing a latent phase early in growth, Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 13(4), 254-257, 2007
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M, Kitamura H : Cavernal hemangioma of the rib diagnosed preoperatively by percutaneous needle biopsy, General Thoracic and Cardiovascular Surg., 55(3), 134-137, 2007
- ・ Nakamura H, Kawasaki N, Taguchi M, Kitamura H : Pulmonary Inflammatory Myofibroblastic Tumor Resected by Video-Assisted Thoracoscopic Surgery: Report of a Case, Surg Today, 37, 137-140, 2007
- ・ Ishikawa T, Hamaguchi Y, Tanabe M, Momiyama N, Chishima T, Nakatani Y, Nozawa A, Sasaki T, Kitamura H, Shimada H : False-Positive and False-Negative Cases of Fine-Needle Aspiration Cytology for Palpable Breast Lesions, Breast Cancer, 14(4), 388-392, 2007
- ・ Hatamochi A, Sasaki T, Kawaguchi T, Suzuki H, Yamazaki S : A novel point mutation in the gene encoding capillary morphogenesis protein 2 in a Japanese patient with juvenile hyaline fibromatosis, British Journal of Dermatology, 157(5), 1037-1039, 2007
- ・ 林 洋 : 糖尿病合併高脂血症患者の薬物療法におけるシンバスタチンの有用性, Prog Med, 27, 651-656, 2007
- ・ 林 洋, 山田佳彦, 都島基夫 : 蔗糖摂取後のラット小腸リンパ脂肪酸組成の変化, 日本臨床栄養学雑誌, 28, 307-311, 2007
- ・ 関目綾子, 金井節子, 太田 稔, 林 洋, 船越顕博, 宮坂京子 : 2型糖尿病モデルラット (OLETFラット) の腸管脂質代謝の変化, 消化と吸収, 29, 55-59, 2007

## 総説

- ・ 川口 実 : 元気のひけつ 便秘, 朝日新聞, 2007.9.16
- ・ 伊藤 章 : 労働衛生随想234 最近感じたこと, 労務安全衛生 (かながわ), 52(4) No.698, 34-35, 2007.4
- ・ 伊藤 章 : 労働衛生随想238 健康被害2題, 労務安全衛生 (かながわ), 52(8) No.702, 32-33, 2007.8
- ・ 伊藤 章 : 労働衛生随想242 冬場の健康管理2題, 労務安全衛生 (かながわ), 52(12) No.706, 22-23, 2007.12
- ・ 伊藤 淳, 藤田英彦 : 大腿骨近位骨折患者の手術後予後予測と早期リハビリテーション, Medical Rehabilitation, 84, 23-29, 2007
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 岡田興造 : 特集 最近の高血圧診療  $\beta$ 遮断薬は一次薬より除外すべきか, Modern Physician, 27(5), 639-649, 2007
- ・ 築山久一郎, 鈴木映二 : 降圧治療における向精神薬の使用法, 血圧, 14(11), 47-50, 2007

- ・高橋恵理, 鈴木映二: セロトニン症候群, 臨床精神医学, 36 (増刊号), 132-136, 2007
- ・鈴木映二, 高橋恵理: アザピロン系 Tandospirone, 精神科治療学, 22 (増刊号), 226-227, 2007
- ・鈴木映二: うつ病の診断と薬物療法, 作業療法ジャーナル, 42(2), 100-108, 2008
- ・佐々木哲雄: [皮膚の老化] 気になる皮膚の衰え, 臨床婦人科産科, 61(7), 892-895, 2007
- ・篠永正道: 脳脊髄液減少症におけるRI脳槽シンチグラフィの役割, Isotope News, (5), 7-9, 2007
- ・篠永正道: 頭頸部外傷の不定愁訴, JOHNS, 23, 1033-1035, 2007
- ・篠永正道: ミニレクチャー 脳脊髄液減少症, JIM, 17, 504-505, 2007
- ・篠永正道: 脳脊髄液減少による頭痛の診断とブラッドパッチ治療の効果について, 日本頭痛学会誌, 34, 165-168, 2007
- ・篠永正道: 低髄液圧性頭痛の診断と治療, 日本医師会雑誌, 136, 2205-2208, 2008
- ・安東克之, 築山久一郎, 木村玄次郎, 植田真一郎, 瀧下修一, 藤田敏郎: 利尿薬の種類と使い方, 血圧, 14(4), 438-445, 2007
- ・築山久一郎, 林 洋: 高尿酸血症に関する検討課題, 血圧, 14(6), 641-645, 2007
- ・築山久一郎: 職場高血圧 (worksite hypertension) —その臨床的意義と対策, Ther Res, 28(7), 1217-1232, 2007
- ・築山久一郎, 鈴木高弘, 佐々木隆: 高血圧, 調剤と情報, 13 (9月臨時増刊号), 1211-1215, 2007
- ・築山久一郎: 降圧薬としての $\beta$ 遮断薬の再評価, Prog Med, 27(10), 2343-2358, 2007
- ・築山久一郎:  $\beta$ 遮断薬と利尿薬の併用はガイドラインから削除すべきか 削除に反対の立場から, 臨床高血圧, 13(4), 252-263, 2007
- ・築山久一郎, 小林俊一, 峯岸慎太郎: 高血圧から慢性心不全までの大規模介入試験からみた $\beta$ 遮断薬の評価, Ther Res, 29(1), 9-32, 2008
- ・築山久一郎, 小林俊一, 糟谷 深: 他疾患を合併する高血圧, 血圧, 15(1), 62-66, 2007
- ・林 洋: 中性脂肪とRLP-C, The Lipid, 18, 434-439, 2007

## 研究報告

- ・土屋了介, 中村治彦 他: 18指-1 難治癌の総合的な対策に関する研究 分担: よりよい医療情報の発信のありかたに関する研究, 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集 平成18年度, 477-488, 2007
- ・佐々木哲雄, 矢田佳子, 國見裕子, 三津山信治, 高藤 繁, 重政朝彦, 清川 浩: 肺病変にステロイドパルス後のシクロホスファミドパルス療法が奏効したと思われる全身性強皮症, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成19年度総括・分担報告書, 234-239, 2008.3
- ・佐々木哲雄, 高橋一夫, 池田伸昭, 内田敬久, 近藤 恵: 顕微鏡的多発血管炎を併発した全身性強皮症の1例, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成19年度総括・分担報告書, 240-242, 2008.3
- ・桑名正隆, 竹原和彦, 石川 治, 尹 浩信, 遠藤平仁, 川口鎮司, 後藤大輔, 佐藤伸一, 高橋裕樹, 佐々木哲雄, 室慶直, 矢澤徳仁, 佐藤隆司, 高橋一夫, 三崎義堅, 三森経世: 抗RNAポリメラーゼIII抗体ELISAの有用性の検討, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成17年度～平成19年度総合研究報告書, 150-154, 2008.3
- ・原田竜彦, 神崎 仁, 館野 誠: 低周波音響負荷時の歪成分耳音響放射の時間変動の観察, 日本音響学会聴覚研究会資料, 37(8), 715-718, 2007

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 川口 実：胃疾患のX線診断，射水市胃癌検診合同研修会，射水市民病院，富山県射水市，2007.5.25
- ・ 川口 実：胃炎の内視鏡診断－胃粘膜の見方，香川県消化器病談話会，香川県高松市，2007.10.11
- ・ 栗山 学：PSA超高値症例への対応，第2回磐周泌尿器医会，浜松アクトシティーオークラホテル，浜松，2008.1.19
- ・ 栗山 学：前立腺がん初期治療におけるCAB+UFT併用の意義，UFT-Advising Meeting，大鵬薬品工業沼津営業所，沼津，2008.3.28
- ・ 鈴木映二：うつ病に関する最近の話題，第3回熱海・伊東市薬剤師勉強会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海市，2007.5.29
- ・ 鈴木映二：うつ病治療の基本的知識 基礎的研究の紹介，第5回群馬CNS治療研究会，前橋市ロイヤルホテル，前橋市，2007.9.14
- ・ 鈴木映二：簡単にわかるうつ病の診断と治療，熱海医師会学術講演会，後楽園ホテル，熱海市，2007.11.13
- ・ 鈴木映二：ストレスケアに役立つ認知療法の基本，熱海メンタルヘルス勉強会，アズバールホテル熱海，熱海市，2007.12.18
- ・ 鈴木映二：簡単にわかるうつ病，ハートフル研修会，伊東市，2008.2.27
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，第7回大阪神経研究会，大阪グランビアホテル，大阪府大阪市，2007.4.18
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療－RI脳槽シンチの役割，第9回静岡県脳循環代謝核医学研究会，ホテルアソシア静岡，静岡県静岡市，2007.7.21
- ・ 篠永正道：外傷後の脳脊髄液減少症について，第104回中部整形外科災害外科学会教育研修講演，奈良公会堂，奈良県奈良市，2007.10.4
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，三島市医師会外科系医会，三島グランドホテル，静岡県三島市，2008.1.31
- ・ 築山久一郎：高血圧から心不全までの大規模介入試験からみたβ遮断薬の評価（シンポジウム β遮断薬 心不全治療薬の薬理から臨床薬理），第2回日本臨床薬理学会／日本薬理学会共催シンポジウム，栃木県宇都宮市，2007.11.28
- ・ 林 洋：動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007，第11回横浜代謝フォーラム，ホテルニューグランド，神奈川県横浜市，2007.6.21
- ・ 林 洋：脂質の吸収－最近の話題－，第3回大江戸食事療法研究会，山の上ホテル，東京都千代田区，2007.8.25
- ・ 林 洋，鈴木高弘（主催），佐々木隆：コレステロール代謝から見た高脂血症薬の使い分け，第5回熱海・伊東地区薬剤師勉強会，国際医療福祉大学熱海病院，静岡県熱海市，2007.11.8
- ・ 林 洋：動脈硬化－予防する時代から治療する時代へ－，島田薬剤師会学術講演会，島田市保健福祉センター，静岡県島田市，2008.2.15
- ・ 林 洋：高コレステロール血症の治療，小笠医師会学術講演会，掛川グランドホテル，静岡県掛川市，2008.3.14
- ・ 板倉敬乃：退院後養育に問題が予想される母児との関わりについて，第4回周産期連絡会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海市，2007.4.23
- ・ 板倉敬乃：病児をもった家族とどう向き合うか，第6回周産期連絡会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海市，2007.10.29
- ・ 板倉敬乃：周産期からの育児支援－虐待防止をめざして－，第14回国際医療福祉大学熱海病院公開講座，熱海市観光会館，熱海市，2008.2.24
- ・ 藤井本晴：頸部・頭蓋内外血管狭窄症に対する血管内治療と動脈硬化，興和創薬学術集会，静岡，2007.5.25
- ・ 藤井本晴：脳梗塞の急性期治療－脳卒中ネットワークの構築に向けて，第1回東伊豆脳卒中ミーティング，熱海病院，熱海市，2007.11.29
- ・ 藤井本晴：脳卒中最前線－脳神経解剖から急性期治療まで，熱海・伊東地区リハビリテーション研修会，熱海KKRホ

テル，熱海市，2008.3.13

- ・ 北川恒実：脳卒中患者の早期リハビリテーション患者動向～当院での一年間の動向～，第一回東伊豆脳卒中ミーティング，国際医療福祉大学熱海病院 大会議室，静岡県熱海市，2007.11.29
- ・ 鈴木高弘：NRを取得した病院薬剤師が考える健康食品・サプリメントの利用方法，第28回日本臨床薬理学会年会シンポジウム，栃木県総合文化センターほか，栃木県宇都宮市，2007.11
- ・ 鈴木高弘：病院薬剤師の仕事と健康食品・サプリメントの関わりについて，日本NRスクールNR養成講習会，昭和女子大学，東京都世田谷区，2008.2
- ・ 鈴木高弘：医療機関における食物アレルギー患者への対応，日本NRスクールNR養成講習会，昭和女子大学，東京都世田谷区，2008.2

## 学会発表

- ・ 川口 実：胃体部にみられる白色扁平隆起の検討，第73回日本消化器内視鏡学会総会，高輪プリンスホテル，東京，2007.5.9
- ・ 新井英二，川口 実：虫垂開口部付近にのみ軽微な所見を認めたアメーバ性大腸炎mの一例，第84回日本消化器内視鏡学会関東地方会，京王プラザホテル，東京，2007.6.8
- ・ 早坂 佑，川口 実：急激な経過をとったいわゆる“malignant histiocytosis”の一例，日本消化器病学会東海支部第106回例会，浜松市，2007.6.16
- ・ 須藤英一，川口 実：呼吸器教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響－終了2年後までの評価，第25回日本老年医学会総会，札幌国際会議場，札幌市，2007.6.20
- ・ 川口 実（座長）：特別講演，第2回伊豆GUT研究会，伊豆の国市，2007.6.23
- ・ 川口 実：症例提示，第15回胃と腸東部会，三島グランドホテル，三島，2007.7.13
- ・ 川口 実（司会）：特別講演，第15回胃と腸東部会，三島グランドホテル，三島，2007.7.13
- ・ 川口 実：これからの上部消化管内視鏡検査－経口か経鼻か－経口，第15回東部内視鏡手技懇話会，沼津キャッスルホテル，沼津，2007.7.26
- ・ 三塚智彦，川口 実：採血時気分不快を訴え，腹水，貧血を認め，精査にて胃癌が見出されるも入院一週間で亡くなった78歳女性例，第28回熱海病院内学術懇話会，熱海病院，熱海，2007.7.27
- ・ 川口 実（コメンテーター）：X線コメンテーター，第12回浜名湖胃と腸フォーラム，浜松アークホテル，浜松，2007.9.8
- ・ 上杉佳代，川口 実：診断に苦慮した腹部腫瘍の一例，第14回伊豆消化器病懇話会，伊東，2007.9.13
- ・ 武井雄一郎，川口 実：心房細動発作にて緊急外来受診し，胸部X-Pにて多発性肺腫瘍を認め，精査にて肝にも多発性転移巣が見出されるも，原発不明の83歳女性例，第29回熱海病院内学術懇話会，熱海病院，熱海，2007.9.28
- ・ 川口 実（座長）：小腸－症例2，第49回日本消化器病学会大会，神戸国際会議場，神戸市，2007.10.18
- ・ 木川昌康，川口 実：上行大動脈解離の既往を有し，多臓器不全にて死亡した87歳女性例，第30回熱海病院内学術懇話会，熱海病院，熱海，2007.11.30
- ・ 上杉佳代，川口 実：露出血管周囲に止血目的でエタノール局注後に巨大胃潰瘍を形成した一例，第50回日本消化器内視鏡学会東海地方会，岐阜国際会議場，岐阜市，2007.12.8
- ・ 石井桃子，川口 実：高血圧，糖尿病で通院中，突然の吐下血を来たし，CTにて腓頭部腫瘍が見出された91歳女性例，第31回熱海病院内学術懇話会，熱海病院，熱海，2008.1.25
- ・ 川口 実（司会）：mFLOFOX6にて肝不全をきたし死亡した一例，第15回伊豆消化器病懇話会，熱海KKRホテル，熱海市，2008.1.30

- ・ 川口 実：血管造影が診断に有力であった壁外発育型胃GISTの一例，第4回日本消化管学会総会学術集会，大阪国際会議場，大阪，2008.2.7
- ・ 中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦：肺癌手術適応決定におけるFDG-PETの有用性，第24回日本呼吸器外科学会総会，パシフィコ横浜，横浜，2007.5.17
- ・ 中村治彦（座長）：ポスターセッション 診断と手術適応，第24回日本呼吸器外科学会総会，パシフィコ横浜，横浜，2007.5.17
- ・ 中村治彦（座長），第2回日本呼吸器外科学会安全教育セミナー 低リスク医療の実現に向けて（河野龍太郎），第24回日本呼吸器外科学会総会，パシフィコ横浜，横浜，2007.5.18
- ・ 中村治彦（座長）：肺癌患者の呼吸管理，熱海病院院内学術講演会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.5.24
- ・ 中村治彦（座長）：症例検討，熱海病院第2回救急症例検討委員会（熱海），国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.5.26
- ・ 中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦：PET陽性で肺癌を疑った結核性肉芽腫の1切除例，第142回日本胸部外科学会・関東甲信越地方会，市ヶ谷日大会館，東京，2007.6.2
- ・ 中村治彦（座長）：ポスターセッション 症例その他の腫瘍，第30回日本呼吸器内視鏡学会，東京ドームホテル，東京，2007.6.8
- ・ 中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦，西川潤一：肺癌術前検索のFDG-PET/CTで発見された肺外腫瘍性病変，第32回日本外科系連合学会総会，新宿 京王プラザホテル，東京，2007.6.22
- ・ 田口雅彦，中島瑠美子，川崎徳仁，中村治彦：高齢者原発性肺癌症例における外科治療に関わる問題点とその対策，第32回日本外科系連合学会総会，新宿 京王プラザホテル，東京，2007.6.22
- ・ 中村治彦（座長）：ポスターセッション 一般，第32回日本外科系連合学会総会，新宿 京王プラザホテル，東京，2007.6.22
- ・ 中村治彦：症例相談，第10回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.6.22
- ・ 中村治彦（主催）：研究会，第10回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.6.22
- ・ 中村治彦（座長，主催）：症例，第6回静岡東部地区肺癌研究会，ブケ沼津，沼津，2007.6.30
- ・ 中村治彦：より良い医療情報の発信のあり方に関する研究，厚生労働省 がん研究助成 田村班「難治がんの総合的な対策に関する研究」・小班「より良い医療のための現状の検討と対策に関する研究」平成19年度第1回小班会議，国立がんセンター会議室，東京，2007.7.6
- ・ 中村治彦（座長）：症例，第149回日本肺癌学会関東部会，新宿 京王プラザホテル，東京，2007.7.7
- ・ 木川昌康，平田剛史，田口雅彦，北村 創，中村治彦：再燃した悪性リンパ腫に合併した肺癌の1切除例，第149回日本肺癌学会関東部会，京王プラザホテル，東京，2007.7.7
- ・ 中村治彦（座長）：症例，静岡呼吸器外科医会 平成19年度症例検討会，静岡医療センター，静岡，2007.7.14
- ・ 中村治彦，平田剛史，田口雅彦，北谷知己：乳癌胸骨転移に対し胸骨亜全摘・胸壁再建を施行した1例，静岡県呼吸器外科医会 平成19年度症例検討会，静岡医療センター，静岡，2007.7.14
- ・ 中村治彦（主催）：研究会，第11回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.7.20
- ・ 中村治彦：症例相談，第11回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.7.20
- ・ Nakamura H，Kawasaki N，Taguchi M，Nishikawa J：Usefulness of fluorodeoxyglucose positron emission tomography integrated with computed tomography (FDG-PET/CT) in determining the resectability of primary lung cancer，12th International Congress for the Study of Lung Cancer (IASLC)，ソウル（国際会議センター），韓国，2007.9.4
- ・ 平田剛史，田口雅彦，中村治彦：肺気腫に合併した肺癌の1切除例，第12回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.9.21

- ・ 中村治彦（主催）：研究会，第12回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.9.21
- ・ 中村治彦，平田剛史，田口雅彦，西川潤一：肺癌病期診断におけるFDG-PET/CTの有用性，第48回日本肺癌学会総会，名古屋国際会議場，名古屋，2007.11.9
- ・ 田口雅彦，中村治彦，平田剛史，川崎徳仁：後期高齢者肺癌外科治療の問題点，第48回日本肺癌学会総会，名古屋国際会議場，名古屋，2007.11.9
- ・ 中村治彦（主催）：研究会，第13回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.11.16
- ・ 中村治彦，平田剛史，田口雅彦：Pancoast 肺癌の1切除例，第13回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.11.16
- ・ 平田剛史，田口雅彦，中村治彦：肺癌レーザー治療と遺伝子診断，第13回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.11.16
- ・ 平田剛史，田口雅彦，中村治彦：Pancoast 型肺癌の1例，静岡県呼吸器外科医会 第19回集談会，静岡県男女共同参画センター，静岡，2008.1.19
- ・ 中村治彦，平田剛史，田口雅彦：肺癌治療薬イレッサ副作用報道の研究，第14回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2008.2.22
- ・ 平田剛史，田口雅彦，中村治彦：肺癌と鑑別を要した好酸球性肺炎の1例，第14回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2008.2.22
- ・ 中村治彦（主催）：研究会，第14回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2008.2.22
- ・ 中村治彦（主催）：専門医大会，第15回日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医大会（東京），新宿 京王プラザホテル，東京，2008.3.30
- ・ Nakamura H（座長）：Minisymposium，2008-3-31，15th World Congress for Bronchology，新宿 京王プラザホテル，東京，2008.3.31
- ・ 伊藤 章，鈴木由香，三須莉恵，柳川裕美，山崎 円，鈴木高弘，篠永正道：この5年間に何が起きたか，そしてどうなったか（感染対策と効果），第2回静岡東部感染症診断・治療・感染制御研究会，静岡がんセンター，三島市，2007.9.17
- ・ 鈴木高弘，伊藤 章，鈴木由香，佐々木隆：リネゾリド使用条件の設定と届出制導入について～ICT活動より～，第17回日本医療薬学会年会，群馬県民会館，前橋市，2007.9.29
- ・ 佐々木由香，三須莉恵，柳川裕美，伊藤 章，鈴木高弘：病院感染5年間のサーベイランス結果からみた感染対策の効果と課題，第19回日本臨床微生物学会，江戸川区民ホール，東京都江戸川区，2008.1.25
- ・ 佐々木由香，鈴木高弘，伊藤 章，山崎 円，佐々木隆，篠永正道：当院における過去5年間のMRSA院内感染率推移と今後の課題～MRSA院内感染率が減少した理由の考察を含めて～，第23回日本環境感染学会，長崎ブリックホール，長崎市，2008.2.23
- ・ 山崎 円，佐々木由香，伊藤 章，鈴木高弘，篠永正道：検査部対応に変更後の職業感染事故対応のメリット，第23回日本環境感染学会，長崎ブリックホール，長崎市，2008.2.23
- ・ 鈴木 寧，吉田 牧，鈴木高弘，佐々木隆，加藤和彦，佐々木由香，伊藤 章：抗MRSA用薬届出制の導入とTDMの活用，第3回静岡東部感染症診断・治療・制御研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海市，2008.3.29
- ・ 伊藤 章（座長）：第6回静岡東部感染症研究会，沼津キャッスルホテル，沼津市，2008.3.14
- ・ 伊藤 章（主催）：第3回静岡東部感染症診断・治療・制御研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海市，2008.3.29
- ・ 伊藤 淳：大腿骨頸部骨折患者におけるBarthel Indexと術後歩行能力との関係，第44回日本リハビリテーション医学会学術集会，神戸国際会議場，神戸，2007.6.8
- ・ 岡本連三，三ツ木直人，伊藤 淳，藤田英彦：大腿骨頸部骨折患者の入院日数と創入院治療費，第44回日本リハビリ



テーション医学会学術集会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.6.8

- H. Iwasaki : Diagnosis and treatment for follicular thyroid carcinoma with bone metastasis, 78th Annual meeting of American thyroid association, Sheraton Hotel, New York, USA, 2007.10.4
- 片上秀喜, 岩崎博幸: 甲状腺片葉切除7年後に聴力低下を主訴として来院した甲状腺濾胞癌, 第50回日本甲状腺外科学会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.11.16
- 北村 創 (病理学コメンテーター) : 第18回神奈川乳腺疾患懇話会, ホテルニューグランド, 横浜市, 2007.4.27
- 桐原利規, 高橋良実, 伊藤 仁, 北村 創 : 骨・軟骨化生を伴う乳癌の1例, 第48回日本細胞学会総会, 幕張メッセ, 千葉県千葉市, 2007.6.8
- 桐原利規, 高橋良実, 伊藤 仁, 北村 創 : 胸腺原発低分化神経内分泌癌の1例, 第46回日本臨床細胞学会秋季大会, 仙台国際センター, 宮城県仙台市, 2007.12.1
- 河合貞幸, 重政朝彦, 小林俊一, 小林 泉, 岡田興造, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 志村 岳, 金岡知彦: 感染性腹部大動脈瘤が疑われた高齢男性の1例, 第202回日本内科学会東海地方会, 愛知医科大学本館, 愛知県愛知郡長久手町, 2007.6.16
- 志村 岳, 金岡知彦, 岡田興造, 糟谷 深, 小林 泉, 重政朝彦, 肥田大二郎, 中村勝運, 大高正行, 生井世雄: 塩酸セベラマー投与が原因で消化管出血を起こしたと思われる維持透析患者の一例, 第52回日本透析医学会学術集会・総会, 大阪国際会議場&リーガロイヤルホテル, 大阪府大阪市, 2007.6.16
- 糟谷 深, 重政朝彦, 小林俊一, 小林 泉, 岡田興造, 峯岸慎太郎: MDCTにて確認した左上大静脈遺残の1例, 第129回日本循環器学会東海地方会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.6.23
- 織田寛子, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 渡部まき, 桐原真梨子, 井上のぞみ, 鏑本奈央: 心臓周囲の構造物として観察された食道疾患の2例, 日本超音波医学会第25回中部地方学術集会, 長良川国際会議場, 岐阜県岐阜市, 2007.7.1
- 伊藤真紀, 重政朝彦, 小林 泉, 岡田興造, 糟谷 深: 当院における高齢者に対する心臓リハビリテーションの問題点, 第13回日本心臓リハビリテーション学会, 都市センターホテル&シェーンバッハ・サボー, 東京都千代田区, 2007.7.14
- 峯岸慎太郎, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 志村 岳, 金岡知彦, 北村 創 : 大網原発gastrointestinal stromal tumorと確認された高齢女性の1例, 第18回日本老年医学会東海地方会, 名古屋市中心企業振興会館, 愛知県名古屋市, 2007.9.8
- 小林俊一, 重政朝彦, 糟谷 深, 峯岸慎太郎: 術後18年経過した大伏在静脈グラフト吻合部にcypher stentを留置した一例, 第49回静岡県冠動脈疾患研究会, 静岡県産業経済会館, 静岡県静岡市, 2007.9.29
- 金岡知彦, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 志村 岳: 心膜嚢胞が疑われた高齢女性の1例, 第203回日本内科学会東海地方会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.10.6
- 小林俊一, 重政朝彦, 糟谷 深, 峯岸慎太郎: 左前下行枝中間部にTAXUSステント留置したところ冠動脈穿孔をきたした一例, 第18回日本心血管インターベンション学会東海北陸地方会, ミッドランドスクエア・ミッドランドホール, 愛知県名古屋市, 2007.10.20
- 峯岸慎太郎, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深: Stanford B型大動脈解離発症4年後にA型急性大動脈解離を発症したループス腎炎の1例(第2報), 日本循環器学会第130回東海・第115回北陸合同地方会, 石川厚生年金会館, 石川県金沢市, 2007.11.18
- 佐々木哲雄, 矢田佳子, 國見裕子, 三津山信治, 高藤 繁, 清川 浩, 重政朝彦: 肺病変にステロイドパルス後のシクロホスファミドパルス療法が奏効したと思われる全身性強皮症, 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班2007年度班会議・第11回強皮症研究会議合同会議, 大正製薬(株)本社2号館1F, 東京都豊島区,

2008.1.19

- ・ 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深: 峯岸慎太郎, 判断に迷った大動脈疾患症例, 第1回静岡県東部心臓外科循環器科連携の会, 沼津東急ホテル, 静岡県沼津市, 2008.2.1
- ・ 金岡知彦, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 志村 岳: 病院内の待合室においてAdams-Stokes発作を初発症状とした急性冠症候群の2例, 第204回日本内科学会東海地方会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2008.2.16
- ・ 渡部まき, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 桐原真梨子, 井上のぞみ, 織田寛子, 鏑本奈央, 浦川英樹: 肺癌の心筋転移が疑われた1例, 日本超音波医学会第26回中部地方会学術集会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2008.2.17
- ・ 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 志村 岳, 金岡知彦, 唐澤英偉: MDCTが診断に有用であった左上大静脈遺残の2例, 第27回日本画像医学会, 東京コンファレンスセンター・品川, 東京都品川区, 2008.2.22
- ・ 小林俊一, 重政朝彦, 糟谷 深, 峯岸慎太郎: 新幹線車内で発症し, 当院に搬送された急性心筋梗塞の一例, 第18回静岡県東部循環器救急医学会, 沼津東急ホテル, 静岡県沼津市, 2008.3.6
- ・ 糟谷 深, 重政朝彦, 川口 実, 小林俊一, 峯岸慎太郎, 志村 岳, 金岡知彦: 塩酸パロキセチン投与による薬剤性SIADHが考えられた1例, 第18回臨床内分泌代謝: Update, 高知市文化プラザかるぼーと, 高知県高知市, 2008.3.15
- ・ 小林俊一, 重政朝彦, 糟谷 深, 峯岸慎太郎, 宮崎直道, 本郷洋一郎: 分岐部病変PCI中に冠動脈解離を生じ, ショックとなった一例, 第50回静岡県冠動脈疾患研究会, 静岡県女性総合センターあざれあ, 静岡県静岡市, 2008.3.15
- ・ 伊藤真紀, 重政朝彦, 小林俊一, 糟谷 深, 峯岸慎太郎: 当院における心不全患者に対する心臓リハビリテーションの取り組み, 第12回静岡県理学療法士学会, 常葉学園大学, 静岡県静岡市, 2008.3.16
- ・ 鈴木映二, 朝倉哲也, 山森早織, 東 貞宏, 片岡正和, 渡辺 滋, 宮岡 等, 高橋正身: SNAP-25変異マウスの神経伝達物質放出能と拘束ストレスに対する反応に関する研究, 第29回日本生物学的精神医学会, 札幌コンベンションセンター, 札幌市, 2007.7.13
- ・ 鈴木映二, 上条義人, 横山正宗, 浜中 聡, 宮岡 等: 救命救急に搬送された自殺患者の重症度に関する研究, 第15回日本精神科救急学会, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2007.9.27
- ・ 鈴木映二 (シンポジスト), 高橋正身: 神経伝達物質の放出とストレス脆弱性との関連; SNAP25遺伝子改変マウスでの検討, 第23回日本ストレス学会, 東京医科大学病院 臨床講堂, 新宿区, 2007.11.9
- ・ 田中 英, 吉田芳子, 須藤章子, 鈴木映二, 宮岡 等: 大学病院精神神経科における家族教室に対する患者家族のニーズに関する研究, 第27回日本社会精神医学会, 福岡国際会議場, 福岡市, 2008.2.28
- ・ 井上雄介, 小野田雅仁, 小岩克至, 内田敬久, 山口由衣, 高橋一夫, 藤原晶子, 佐々木哲雄, 山本 聡, 池澤善郎, 薬剤性血球貪食症候群 (HPS) が合併したと考えられたSLEの1例, 第106回日本皮膚科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.4.20-22
- ・ 高橋一夫, 山口由衣, 佐々木哲雄, 池澤善郎: 皮膚病変からみた悪性腫瘍合併の皮膚筋炎の特徴, 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.4.26-29
- ・ 佐藤隆司, 桑名正隆, 石川 治, 遠藤平仁, 川口鎮司, 佐々木哲雄, 後藤大輔, 高橋一夫, 高橋裕樹, 三崎義堅, 三森経世, 室 慶直, 佐藤伸一, 竹原和彦: 抗RNAポリメラーゼIII抗体ELISAの有用性の検討, 第51回日本リウマチ学会総会・学術集会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.4.26-29
- ・ Satoh T, Kuwana M, Ishikawa O, Ihn H, Endo H, Kawaguchi Y, Sasaki T, Goto D, Takahashi K, Takahashi Y, Masaki Y, Mimori T, Muro Y, Yazawa N, Sato S, Takehara K: Accuracy and clinical utility of a commercial ELISA kit for detection of anti-RNA polymerase III antibody, Dr. LeRoy Memorial International Workshop on Scleroderma, 京王プラザホテル, 東京都, 2007.5.18-20
- ・ 三津山信治, 國見裕子, 矢田佳子, 伊東祥雄, 小林照子, 佐々木哲雄, 田中一郎, 北村 創: 多発性基底細胞癌の1

- 例, 第88回日本皮膚科学会静岡地方会, 静岡音楽館AOI, 静岡市, 2007.6.30
- ・ 佐々木哲雄 (座長) : 教育講演7, 第9回日本褥瘡学会学術集会, グリーンドーム前橋他, 前橋市, 2007.9.7-8
  - ・ 伊東祥雄, 矢田佳子, 佐々木哲雄, 川島淳子, 高橋慎一: 四肢の稗瘤腫様特発性皮膚石灰沈着症を伴ったDown症候群の1例, 第71回日本皮膚科学会東部支部学術大会, ロイトン札幌, 札幌市, 2007.9.22-23
  - ・ 三津山信治, 國見裕子, 矢田佳子, 伊東祥雄, 小林照子, 佐々木哲雄, 北村 創: Hailey-Hailey病の2例, 第71回日本皮膚科学会東部支部学術大会, ロイトン札幌, 札幌市, 2007.9.22-23
  - ・ 柏木久輝, 鈴木 寧, 鈴木高弘, 佐々木隆, 佐々木哲雄: 当院における薬剤師の褥瘡治療への関わりと今後の課題について, 第17回日本医療薬学会年会, 群馬県民会館他, 前橋市, 2007.9.29-30
  - ・ 中島瑠美子, 小林照子, 矢田佳子, 三津山信治, 國見裕子, 佐々木哲雄, 北村 創: 腎癌を伴ったサルコイドーシスの1例, 第89回日本皮膚科学会静岡地方会, 三島市民文化会館, 三島市, 2007.10.6
  - ・ 旗持 淳, 鈴木弘美, 山崎雙次, 佐々木哲雄, 川口とし子: Capillary morphogenesis protein 2遺伝子 (ANTXR2) に変異が見られたjuvenile hyaline fibromatosisの1例, 第58回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 国立京都国際会館, 京都市, 2007.10.20-21
  - ・ 佐々木哲雄, 矢田佳子, 國見裕子, 三津山信治: 薬剤誘発性過敏症候群 (DIHS) の3例, 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.11.1-3
  - ・ 國見裕子, 佐々木哲雄, 三津山信治, 矢田佳子, 松倉節子, 蒲原 毅, 伊東祥雄, 池澤善郎, 嶋倉邦嘉, 塩見一雄: ホタテなどの貝類によりアナフィラキシーを繰り返し, 遷延性アナフィラキシーに至った1例, 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.11.1-3
  - ・ 山口由衣, 高橋一夫, 池田伸昭, 内田敬久, 近藤 恵, 桑名正隆, 佐々木哲雄, 池澤善郎: 抗CADM140抗体および抗Mi-2抗体陽性皮膚筋炎の臨床検討, 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.11.1-3
  - ・ 池田伸昭, 山口由衣, 近藤 恵, 高橋一夫, 内田敬久, 佐々木哲雄, 石ヶ坪良明, 池澤善郎: Wegener肉芽腫 (WG) と考えた3例, 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.11.1-3
  - ・ 池田伸昭, 山口由衣, 内田敬久, 近藤 恵, 高橋一夫, 井畑 淳, 佐々木哲雄, 池澤善郎: 顕微鏡的多発血管炎を併発した全身性強皮症, 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班2007年度班会議・第11回強皮症研究会合同会議, 大正製薬本社, 東京都, 2008.1.19
  - ・ 佐々木哲雄 (座長) : 口述発表32~37, 第31回皮膚脈管膠原病研究会, 前橋テルサ, 前橋市, 2008.1.25-26
  - ・ 廣門未知子, 高橋一夫, 内田敬久, 近藤 恵, 佐々木哲雄, 須田昭子, 岳野光洋, 池澤善郎: 成人ステイル病様症状を認めた皮膚筋炎の1例, 第31回皮膚脈管膠原病研究会, 前橋テルサ, 前橋市, 2008.1.25-26
  - ・ 池田伸昭, 山口由衣, 内田敬久, 近藤 恵, 高橋一夫, 池澤善郎, 佐々木哲雄: Methotrexateが奏効したSLEの1例, 第31回皮膚脈管膠原病研究会, 前橋テルサ, 前橋市, 2008.1.25-26
  - ・ 佐々木哲雄 (司会) : 一般演題, 第27回県央皮膚科・アレルギー懇話会, ザホテルオブラファエロ湘南, 藤沢市, 2008.1.30
  - ・ 國見裕子, 三津山信治, 矢田佳子, 小林照子, 佐々木哲雄, 北村 創, 伊東祥雄: 下口唇扁平苔癬から生じた有棘細胞癌, 第71回日本皮膚科学東京支部学術大会, ANAインターコンチネンタルホテル東京, 東京都, 2008.2.9-10
  - ・ 三津山信治, 國見裕子, 矢田佳子, 小林照子, 佐々木哲雄, 北村 創: カルバマゼピンによる薬剤誘発性過敏症候群の1例, 第90回日本皮膚科学会静岡地方会, 浜松プレスタワー, 浜松市, 2008.2.16
  - ・ 篠永正道: 難治性むち打ち症後遺症の原因の一つとしての脳脊髄液減少症, 第80回日本整形外科学会サテライトディスカッション, 神戸ポートピアホテル, 兵庫県神戸市, 2007.5.26
  - ・ M.Shinonaga: Cerebrospinalfluid hypovolemia as a cause of post-traumatic syndrome, 13<sup>th</sup> Congress of the International Headache Society, Stockholm Convention Center, Sweden, Stockholm, 2007.6-28-7.1

- ・ M.Shinonaga : Cerebrospinalfluid hypovolemia In children and adolescents, 13<sup>th</sup> Congress of the International Headache Society, Stockholm Convention Center, Sweden, Stockholm, 2007.6-28-7.1
- ・ 篠永正道 : “不定愁訴” 診療に於ける脳神経外科の役割, 第10回日本病院脳神経外科学会, 別府市ビーコンプラザ, 大分県別府市, 2007.7.14
- ・ 篠永正道 : 脳脊髄液減少症に於けるRI脳槽シンチグラフィの役割, 第13回東海脳神経核医学研究会, 名古屋グランドホテル, 愛知県名古屋市, 2007.8.18
- ・ 篠永正道 (座長) : 小児の脳脊髄液減少症 脳脊髄液, 第35回日本頭痛学会総会, 都市センターホテル, 東京都, 2007.11.10
- ・ 篠永正道 : 血液第13因子製剤の使用経験, 第6回脳脊髄液減少症研究会, 日本メジフィジックス東京本部, 東京都, 2008.2.17
- ・ 篠永正道 : 小児脳脊髄液減少症の病態, 第6回脳脊髄液減少症研究会, 日本メジフィジックス東京本部, 東京都, 2008.2.17
- ・ 山川 正, 木村一雄, 重松 洋, 寺内康夫, 遠山慎一, 林 洋, 道下一朗, 安田 元 : Yokohama Multicenter Crestor Anti-atherosclerosis (YMCA) Trial-2: HNG-CoA RIロスバスタチンの有用性の検討, 第39回日本動脈硬化学会総会, 大阪国際会議場, 大阪府大阪市, 2007.7.13
- ・ 板倉敬乃 (主催) : 第5回周産期連絡会, 国際医療福祉大学熱海病院, 熱海市, 2007.7.23
- ・ 板倉敬乃 : 温蔵庫を用いた新生児用ミルクの加温について, 第54回日本小児保健学会, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.9.22
- ・ 板倉敬乃 : 地域との連携による周産期からの育児支援をめざして, 第32回静岡小児保健学会, 静岡パルシェ, 静岡県静岡市, 2007.10.13
- ・ 板倉敬乃 (座長) : 第114回日本小児科学会静岡地方会, 東レ研修センター, 静岡県三島市, 2007.10.28
- ・ 板倉敬乃 : 著しい脱水と体重増加不良で発見されるも宗教上の理由で投薬治療困難なアトピー性皮膚炎の一乳児例, 第114回日本小児科学会静岡地方会, 東レ研修センター, 静岡県三島市, 2007.10.28
- ・ 柏木広哉, 清原祥夫, 陶山秀夫, 中西 基 : 諸問題に苦慮しながら放射線治療を施行した, 認知症患者の眼瞼基底細胞癌, 第25回日本眼腫瘍研究会, 大阪赤十字病院, 大阪市, 2007.9.29
- ・ 北川恒実, 原田竜彦, 清川 浩, 林 輝明 : 外耳道内での嚙下音測定の試み (3) - 頸部聴診音波形との比較 -, 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.6.6-8
- ・ 清川 浩, 北川恒実, 原田竜彦, 林 輝明 : 外耳道内での嚙下音測定の試み (2) - 外耳道音の音響的性質についての検討 -, 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.6.6-8
- ・ 原田竜彦, 北川恒実, 清川 浩, 林 輝明 : 外耳道内での嚙下音測定の試み (1) - 外耳道音の音響的性質についての検討 -, 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.6.6-8
- ・ 原田竜彦 : 内耳障害を近似した音声加工による健聴者の語音明瞭度の変化, 日本聴覚医学会 内耳ひずみ研究会, 大手町JAビル, 東京, 2007.7.6
- ・ 原田竜彦 (座長) : 総合討論, 日本聴覚医学会 内耳ひずみ研究会, 大手町JAビル, 東京, 2007.7.6
- ・ 原田竜彦, 神崎 仁 : ヘテロダイナ法を用いた低周波音響負荷時のDPOAE変動の観察, 日本聴覚医学会ERAOAE研究会, エーザイ (株) ホール, 東京, 2007.7.8
- ・ 原田竜彦, 北川恒実, 清川 浩, 林 輝明 : 外耳道内での嚙下音測定の試み, 第21回日本リハビリテーション医学会中部・東海地方会, 大正製薬株式会社名古屋支社, 愛知県名古屋市, 2007.9.1
- ・ 原田竜彦, 神崎 仁 : 同側低周波音響負荷に対するDPOAEの時間変動の観察, 日本聴覚医学会学術講演会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.10.5

- ・ 原田竜彦, 神崎 仁：低周波音響負荷時の歪成分耳音響放射の時間変動の観察, 日本音響学会聴覚研究会, いこいの村岩手, 岩手県八幡平市, 2007.10.20
- ・ 原田竜彦, 田川崇正, 神崎 仁, 林裕次郎：当科におけるめまい患者の動向, 静岡めまい研究会, ホテルアソシア, 静岡県静岡市, 2007.12.22
- ・ 原田竜彦 (座長)：講演2 (急性中耳炎と起炎菌), One airway, One disease Forum in Numazu, 沼津東急ホテル, 静岡県沼津市, 2008.1.12
- ・ 原田竜彦 (座長)：特別講演1 (低音障害性難聴の臨床像について), 静岡県東部耳鼻科集談会, 三島プラザホテル, 静岡県三島市, 2008.2.23
- ・ 藤井本晴：特発性正常圧水頭症のリハビリテーション, 第44回日本リハビリテーション医学会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2007.6.5
- ・ 藤井本晴：頸動脈ステント留置術における周術期合併症—自験30例より, 第23回日本脳神経血管内治療学会総会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2007.11.16
- ・ 藤井本晴：前大脳動脈遠位部破裂動脈瘤に対する血管内治療の1例, 第13回静岡脳神経血管内手術懇話会, ツインメッセ静岡, 静岡市, 2007.12.8
- ・ 藤井本晴：小脳半球・脳幹梗塞に対する脊髄硬膜外電気刺激療法 of 1例, 第47回日本定位・機能神経外科学会, アクティ浜松, 浜松市, 2008.1.26
- ・ 藤井本晴：頸動脈ステント留置術の治療成績, 第33回日本脳卒中学会総会, 国立京都国際会館, 京都市, 2008.3.20
- ・ 藤井本晴, 北川恒実, 林 輝明：特発性正常圧水頭症 (iNPH) 患者のリハビリテーション, 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会, 国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.6.4
- ・ Tsunemi Kitagawa, Hiroshi Kiyokawa, Tatsuhiko Harada：Evaluation of the swallowing sound recorded in the auditory canal, The 32<sup>nd</sup> Annual Conference of International Lung Sounds Association, International House of Japan, Tokyo, Japan, 2007.11.2
- ・ 小林純子, 清水利光, 石澤朋子, 北川恒実, 原田竜彦, 藤井本晴, 林 輝明：嚥下内視鏡における直接嚥下訓練開始を判断するための評価項目の検討, リハビリテーションネットワーク研究会, 日本医科大学同窓会館橘桜会館, 東京都文京区, 2007.12.2
- ・ 柏木久輝, 鈴木 寧, 鈴木高弘, 佐々木隆, 佐々木哲雄：当院薬剤師の褥瘡対策チームへの関わり (第一報), 日本医療薬学会, 群馬県民会館, 群馬県前橋市, 2007.9.29-30
- ・ 相本恒陽, 柏木久輝, 鈴木高弘, 佐々木隆, 岡田国一：災害時における薬剤師活動の可能性について, 東海薬剤師学術大会, 四日市市文化会館, 三重県四日市, 2007.12.2
- ・ 長谷川貴通, 石川憲行, 鈴木高弘, 佐々木隆：DPC導入における白内障クリニカルパスの検討, 静岡県病院薬剤師会学術大会, 静岡県立総合病院, 静岡県静岡市, 2008.3.2
- ・ 中村友志, 雲野元実, 鈴木高弘, 佐々木隆, 山田佳彦：「熱海DMポート (糖尿病患者会)」への関わりと今後の課題, 静岡県病院薬剤師会学術大会, 静岡県立総合病院, 静岡県静岡市, 2008.3.2
- ・ 鈴木高弘, 佐々木隆 (主催)：うつ病に関する最近の話題, 第3回熱海伊東地区薬剤師勉強会, 国際医療福祉大学熱海病院, 静岡県熱海市, 2007.5
- ・ 鈴木高弘, 佐々木隆 (主催)：エビデンスに基づく高血圧治療薬の使い分けについて, 第4回熱海伊東地区薬剤師勉強会, 国際医療福祉大学熱海病院, 静岡県熱海市, 2007.8
- ・ 鈴木高弘, 佐々木隆 (主催)：症例から学ぶパーキンソン病治療薬の使い方, 第6回熱海伊東地区薬剤師勉強会, 国際医療福祉大学熱海病院, 静岡県熱海市, 2008.2

## 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 川口 実：胃癌の予防に関する研究，東京医科大学ガンセンター研究助成金
- ・ 中村治彦：分担研究課題「より良い医療情報の発信のあり方に関する研究」・難治がんの総合的な対策に関する研究（田村班），平成19年度 厚生労働省がん研究助成金，18㊦-1，継続
- ・ 鈴木映二，宮岡 等，高橋正身：衝動行為を見せる遺伝子改変マウスの薬物療法に関する研究，日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究，19591372
- ・ 佐々木哲雄（研究協力者），竹原和彦（主任研究者）：強皮症における病因解明と根治的治療法の開発，厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業，継続
- ・ 篠永正道（分担）：脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する調査研究，平成19年度厚生労働省科学研究費補助金，H19こころ一般，022，採択

## 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 川口 実：日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医）（評議員），日本消化器病学会（指導医，専門医）（評議員），日本潰瘍学会（評議員），日本消化器癌発生学会（評議員），日本消化管学会（評議員）
- ・ 中村治彦：日本外科学会（認定医，専門医，指導医），日本胸部外科学会（認定医），日本呼吸器外科学会（専門医，指導医）（評議員，評議員資格選定委員会委員，安全教育部会委員，呼吸器外科専門医試験実務委員），日本呼吸器学会（専門医，指導医）（用語委員会委員），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医）（理事，評議員，規則改訂委員会委員長，保険委員会委員，専門医認定小委員会委員，選挙委員会委員），日本呼吸器内視鏡学会関東支部会（幹事），日本肺癌学会（評議員，会則改定委員会委員），日本肺癌学会関東支部会（幹事），日本気管食道科学会（評議員，編集委員会委員，診療ガイドライン委員会委員），日本外科系連合学会（評議員），日本レーザー医学会（評議員），日本癌病態治療研究会（世話人），日本癌学会，日本癌治療学会，日本臨床外科学会，日本外科感染症学会，日本遺伝子治療学会，国際肺癌学会（International Association for the Study of Lung Cancer, IASLC），静岡県東部地区肺癌研究会（幹事），Association of Thoracic and Cardiovascular Surgery of Asia（査読委員）
- ・ 伊藤 章：日本感染症学会（感染症専門医，感染症指導医，ICD（Infection Control Doctor））（功労会員），日本化学療法学会（抗菌薬臨床試験指導医，抗菌化学療法指導医）（評議員），日本臨床検査医学会（臨床検査専門医，臨床検査管理医）（功労会員），日本臨床検査専門医会（臨床検査専門医），日本医真菌学会（医真菌学専門医）（功労会員），日本環境感染学会（評議員），日本臨床微生物学会（名誉会員），日本内科学会（認定内科医，臨床研修医指導医），日本抗生物質学術協議会（幹事），日本エイズ学会，神奈川県感染症医学会（幹事），神奈川県臨床検査医学会（監事），神奈川県医真菌研究会（顧問），静岡県東部感染症研究会（代表世話人，事務局），静岡県東部地区感染症診断・制御研究会（代表世話人，事務局），International Society of Human and Animal Mycology
- ・ 伊藤 淳：日本手の外科学会（専門医）
- ・ 岩崎博幸：日本外科学会（指導医，専門医），日本がん治療認定医機構（暫定教育医）
- ・ 北村 創：日本病理学会（指導医，専門医）（評議員），日本臨床細胞学会，日本乳癌学会，日本皮膚科学会
- ・ 重政朝彦：日本内科学会（認定内科医，認定内科専門医，指導医）（病院教育責任者，東海地方会評議員），日本循環器学会（循環器専門医），日本心臓病学会（特別正会員（FJCC））（評議員），日本高血圧学会（指導医）（特別正会員（FJSH）），日本老年医学会（老年病専門医，老年病指導医），日本内分泌学会（内分泌代謝科（内科）専門医，内分泌代謝科（内科）指導医），日本超音波医学会（超音波専門医，超音波指導医），日本画像医学会（評議員），日本心臓リハビリテーション学会（心臓リハビリテーション指導士），日本心血管インターベンション学会，日本心血管内分泌代謝学会，日本不整脈学会，日本心エコー図学会，日本臨床検査医学会，米国内科学会（American College of Physicians），米国高血圧学会（American Society of Hypertension），日本医師会（認定産業医，認定健康ス

- ポーツ医), 身体障害者福祉法指定医 (心臓機能障害), 日本体育協会 (公認スポーツドクター)
- ・ 鈴木映二: Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologicum (フェロー), 日本生物学的精神医学会 (国際会員), 日本神経化学会, 日本精神科診断学会 (認定制度指導医), 日本精神神経学会, 躁うつ病の薬理生化学的研究懇話会 (幹事), 神奈川県精神医学会 (編集委員), 日本うつ病学会 (双極性障害委員会委員), 日本臨床精神神経薬理学会 (認定医), 日本社会精神医学会, 日本精神科救急学会, 日本ストレス学会, 静岡県総合病院精神医学研究会 (理事)
  - ・ 佐々木哲雄: 日本皮膚科学会 (認定専門医), 日本研究皮膚科学会 (評議員), 日本結合組織学会 (評議員), 日本臨床免疫学会 (評議員), 日本リンパ網内系学会 (評議員), 日本アレルギー学会, 日本リウマチ学会, 日本乾癬学会, マトリックス研究会, 静岡県皮膚科医会, 神奈川県皮膚科医会, 横浜市皮膚科医会, 皮膚脈管膠原病研究会 (世話人)
  - ・ 篠永正道: 日本脳神経外科学会 (専門医) (評議員), 日本脊髄外科学会 (専門医), 日本頭痛学会 (専門医), 日本脳卒中学会 (専門医), 日本神経外傷学会, 日本神経モジュレーション学会 (評議員), 日本神経学会
  - ・ 築山久一郎: 日本高血圧学会 (功労会員), 日本臨床生理学会 (評議員)
  - ・ 林 洋: 日本内科学会 (認定内科医), 日本動脈硬化学会 (評議員), 日本人間ドック学会 (人間ドック認定医) (評議員), 日本臨床栄養学会 (認定臨床栄養指導医) (評議員)
  - ・ 板倉敬乃: 日本小児科学会 (小児科専門医), 日本小児感染症学会 (インфекションコントロールドクター), 日本小児科医会 (子どもの心相談医), 日本小児保健学会, 日本周産期・新生児医学会, 日本小児呼吸器疾患学会
  - ・ 陶山秀夫: 日本眼科学会 (専門医), 日本神経眼科学会 (評議員), 日本温泉気候物理医学会, 日本旅行医学会, 日本眼科手術学会, 日本緑内障学会, 日本自律神経学会
  - ・ 原田竜彦: 日本耳鼻咽喉科学会 (認定専門医), 日本気管食道科学会 (認定専門医), 日本聴覚医学会 (編集部会委員, 難聴対策委員会委員)
  - ・ 藤井本晴: 日本脳神経外科学会 (専門医) (評議員), 日本脳神経血管内治療学会 (専門医), 日本脳卒中学会 (専門医), 日本神経内視鏡学会 (認定医), 日本リハビリテーション医学会 (認定臨床医)
  - ・ 北川恒実: 日本リハビリテーション医学会 (運動器リハビリテーション研修修了認定医, 義肢装具等適合判定医師), 日本内科学会, 日本産業衛生学会, 日本老年医学会, 日本リウマチ学会, 日本リハビリテーションネットワーク研究会, 中部・東海リハビリテーション医学会, 日本医師会 (認定産業医)
  - ・ 佐々木隆: 日本医療薬学会, 日本癌治療学会, 日本環境感染学会
  - ・ 塩川健夫: 日本整形外科学会, 日本骨折治療学会, 日本脊椎脊髄病学会
  - ・ 鈴木高弘: 日本病院薬剤師会 (研修認定薬剤師, 実務実習指導薬剤師), 日本薬剤師研修センター (認定薬剤師, 実務実習指導薬剤師), 日本医療情報学会 (医療情報技師), 日本癌治療学会, 日本緩和医療薬学会, 日本医療薬学会, 日本臨床薬理学会, 日本環境感染学会, 日本臨床微生物学会, 四病院団体協議会, Infection Control Staff (ICS)
  - ・ 鈴木 寧: 日本医療薬学会, TDM学会, 日本緩和医療薬学会, 日本癌治療学会

## 国際医療福祉大学三田病院

### 著書

- ・ 朝波惣一郎 (編著): 口腔外科ハンドマニュアル07, クインテッセンス出版, 2007
- ・ 朝波惣一郎 (編著): 「薬」歯科 疾患名から治療薬と処方例がすぐわかる本, クインテッセンス出版, 2007

- ・ 朝波惣一郎 (分担執筆) : 看護学学習辞典, 学習研究社, 2008
- ・ 荒川 孝 (分担執筆) : 新しい診断と治療のABC 腎結石・尿路結石, 第3章診断 結石様の疼痛と鑑別診断, 175-181, 最新医学社, 2007
- ・ 荒川 孝 (分担執筆) : やさしい尿路結石の自己管理, 内視鏡による結石破碎術, 44-51, 医薬ジャーナル社, 2007
- ・ 大東貴志 (分担執筆) : 疾患から見た解剖学, 腎・尿路系, 188-207, メジカルビュー, 2007
- ・ 大東貴志 (分担執筆) : 疾患から見た解剖学, 副腎, 231-233, メジカルビュー, 2007
- ・ 大東貴志 (分担執筆) : 腎・泌尿器疾患診療マニュアル, 急性陰嚢症, 290-292, 日本医師会, 2007
- ・ 大東貴志 (分担執筆) : ガイドライン外来診療2008, 前立腺肥大症, 315-320, 日経メディカル開発, 2008
- ・ 太田恵一郎 : 実地医家のための漢方医学入門, これだけは知っておきたい漢方処方 十全大補湯, 50-53, 協和企画, 2007
- ・ 酒井成身 : 今日の眼疾患治療指針 第2版, 眼球陥凹, 473, 医学書院, 2007
- ・ 酒井成身 : 今日の眼疾患治療指針 第2版, 義眼, 474, 医学書院, 2007
- ・ 酒井成身 : 今日の眼疾患治療指針 第2版, 眼窩陥凹の治療, 474-475, 医学書院, 2007
- ・ 酒井成身 : 今日の眼疾患治療指針 第2版, 義眼の種類と管理, 475, 医学書院, 2007
- ・ 酒井成身, 酒井成貴 : これからの乳癌診療, 乳癌における乳房再建の現況, 35-40, 金原出版, 2008
- ・ 酒井成身 : 標準形成外科学 第5版, 乳癌切除後の再建 腫瘍切除後の再建一躯幹, 279-282, 医学書院, 2008
- ・ 酒井成身 : 標準形成外科学 第5版, 腹壁の再建 腫瘍切除後の再建一躯幹, 282-283, 医学書院, 2008
- ・ 佐久間肇 (分担執筆) : 障害者雇用ガイドブック (高齢者・障害者雇用支援機構編), 内部障害者, 224-232, (社)雇用問題研究会, 2007
- ・ 佐久間肇 (分担執筆) : 障害者の合併症予防 病気の予防とリハビリテーション (順天堂大学医学部編), 障害者の合併症予防, 100-136, 学生社, 2007
- ・ 佐久間肇 (分担執筆) : ノーマライゼーション (障害者の福祉) 特集 障害者とメタボリックシンドローム, メタボリックシンドロームについて, 9-12, 日本障害者リハビリテーション協会, 2007
- ・ 佐久間肇 (分担執筆) : ノーマライゼーション (障害者の福祉) 特集 障害者とメタボリックシンドローム, 障害のある方の人間ドックについて, 13-15, 日本障害者リハビリテーション協会, 2007
- ・ 佐久間肇 (分担執筆) : 日本医師会雑誌一特集 リハビリテーション医療, 中途失明者のリハビリテーション, 136, 日本医師会, 2007
- ・ 佐藤敦久 (分担執筆) : 原発性アルドステロン症診療マニュアル薬物療法 エプレレノンの可能性, 131-134, 2007.11
- ・ 佐藤敦久 (分担執筆) : EBM 循環器疾患の治療, アンジオテンシンII受容体拮抗薬は空咳のないACE阻害薬と考えるとよいか?, 494-499, 中外医学社, 2008.1
- ・ 武田克彦, 水野智之 : はじめの神経内科, 1-270, 中外医学社, 2007
- ・ 岩田信恵, 武田克彦 : 新体系 看護学全書 成人看護学6 脳・神経, 意識障害, 高次脳機能障害神経心理学的検査, 24-34, 100-103, メジカルフレンド社, 2007
- ・ 小野木雄三 : 日本医学会 医学用語辞典 英和 第3版 日本医学会医学用語管理委員会編, 南山堂, 2007.4.5
- ・ 折口信人, 重松 宏, 宮田哲郎 : 循環器症候群III, 動脈硬化性穿孔, 368-371, 日本臨床社, 2008.2.28
- ・ 久保田啓介 : (上西紀夫監訳) 「消化器癌」MDアンダーソン癌センターに学ぶ癌診療, 限局した根治性のある膵癌の進行度診断と治療法, 133-140, シュプリンガー・ジャパン, 2007



## 原著論文

- Kubota K, Katayama A, Takeshita Y, Nozaki K, Ueda T, Imamura K, Hiki N, Nomura S, Kaminishi M, Mafune K : Effect of imatinib mesylate in a patient with a metastatic gastrointestinal stromal tumor with a c-kit mutation in exon 11, Digestive Diseases and Sciences, 52, 1725-1729, 2007
- Kubota K, Kuroda J, Origuchi N, Kaminishi M, Isayama H, Kawabe T, Omata M, Mafune K : Stomach-partitioning gastrojejunostomy for gastroduodenal outlet obstruction, Archives of Surgery, 142, 607-611, 2007
- Shimoyama S, Imamura K, Hiki N, Shimizu N, Yamaguchi H, Mafune K, Kaminishi M : Nutritional comparisons between a pylorus-preserving gastrectomy with and without suprapyloric lymph node clearance: a preliminary report, Hepatogastroenterology, 54, 2401-2405, 2007
- 真船健一, 本郷久美子, 下山省二, 中島 淳, 高澤 豊, 上西紀夫 : 胸腔鏡補助下に摘出した気管分岐部Castleman病の一例, 日本外科系連合学会誌, 32, 648-653, 2007
- 石田 健, 村岡 渡, 新里知佳, 角田和之, 角田博之, 池内 忍, 中川種昭, 朝波惣一郎 : 口腔外科処置後に全身状態が悪化した骨髄異形性症候群, 有病者歯科医療, 16(1), 9-16, 2007
- 森 泰昌, 池内 忍, 村岡 渡, 森 晶子, 加藤 伸, 朝波惣一郎 : 小児の下唇に発生したCD10陽性Spindle cell tumorの2例, 小児口腔外科, 17(1), 39-43, 2007
- 矢郷 香, 朝波惣一郎, 高田聖子, 酒向 淳, 臼田 慎, 山田 学, 中川種昭, 田中陽一 : 唾液腺腫瘍の56例の臨床・病理組織学的検討, 日本口腔科学雑誌, 56(4), 356-366, 2007
- 橋本和彦, 矢郷 香, 新部邦透, 中川種昭, 朝波惣一郎, 田中陽一 : 歯牙腫を伴い上顎洞に充満した石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の1例, 日本口腔外科学会 雑誌, 53(10), 613-617, 2007
- Markiewicz R.M, Nishiyama K, Yago K, Okada M, Asanami S, Yoshinari M, Hirayama M, Margarone JE, Chuang S : Draining Orocutaneous Fistula Associated with a failing Subperiosteal Implant Report of a case, Journal of Oral Implantology, 33(6), 347-352, 2007
- Nakashima J, Tanimoto A, Kikuchi E, Miyajima A, Nakagawa K, Oya M, Ohigashi T, Murai M : Clinical implications of tumor size and local extent of primary prostatic lesions in prostate cancer patients with metastases: value of endorectal magnetic resonance imaging in patients with metastases, Urology, 70(1), 86-90, 2007
- Ohigashi T, Nakamura K, Nakashima J, Baba S, Murai M : Long-term results of three different 'minimally invasive therapies' for lower urinary tract symptoms due to benign prostatic hyperplasia: Comparison at a single institute, International Journal of Urology, 14(4), 326-330, 2007
- Nakashima J, Kikuchi E, Miyajima A, Nakagawa K, Oya M, Ohigashi T, Murai M : Long-term stratification of survival using bone scan and serum C-reactive protein in prostate cancer patients with metastases, Urol Int, 80(2), 19-133, 2008
- 西本紘嗣郎, 中島 淳, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志, 村井 勝 : 根治的前立腺摘除後の病理学的病期の予測における生検病理診断の臨床的意義, 泌尿器外科, 20, 1003-1005, 2007
- Okuda H, Shiratori K : Long-term nutritional assessment and quality of life in patients with cirrhosis taking a late evening snack, J Gastroenterol, 42(2), 186-187, 2007
- 酒井成身, 酒井成貴 : 乳房再建, 最新医学, 51, 228-231, 2007
- 酒井成身, 酒井成貴 : 乳頭・乳輪の再建, 手術, 61, 192-196, 2007
- Yamamoto M, Suyama T, Oi N, Yamada M, Matsui A, Takakura Y, Kumamoto K, Kunisawa Y, Takahashi Y, Kabayashi T, Sakuma H : The Influence of 2006 Revision of Medical Service Fees on the Acute-Phase Rehabilitation, 2nd Report, The Journal of Saitama Kenou Rehabilitation, 7(1), 66-69, 2007
- Takakura Y, Takahashi Y, Kunisawa Y, Kawamura T, Nakamura A, Fujita H, Yamamoto M, Yamada M, Matsui A,

- Suyama T, Kumamoto K, Kobayashi T, Sakuma H : Putaminal hemorrhage followed by brain edema in acute stage and prognosis of basic movements, *The Journal of Saitama Kenou Rehabilitation*, 7(1), 58-61, 2007
- 植田 恵, 高山 豊, 小山美恵, 長田久雄 : ごく軽度アルツハイマー病および軽度認知障害 (MCI) における記憶障害と手段の日常生活活動低下の特徴—もの忘れ外来質問表への回答の分析—, *老年社会科学*, 29, 506-515, 2008
  - 久徳弓子, 萩原宏毅, 市川弥生子, 武田克彦, 砂田芳秀 : Brodmann1,2野に局限した脳梗塞巣により手指の複合感覚障害と巧緻性障害を呈した1例, *臨床神経学*, 47, 151-155, 2007
  - 東原真奈, 園生雅弘, 橋田秀司, 海野聡子, 武田克彦 : 電気生理学的に局在診断できた胸骨正中切開後C8腕神経叢障害の1例, *臨床神経学*, 47, 160-164, 2007
  - 根本充貴, 清水昭伸, 小畑秀文, 武尾英哉, 縄野 繁 : カスケード識別による乳房X線像上の悪性腫瘤影識別処理の高度化, *Medical Imaging technology*, 25(2), 121-130, 2007
  - 小野木雄三 : 電子的診療ガイドラインへの禁止医療行為の追加, 第27回医療情報学連合大会論文集, 27(suppl.), 706-709, 2007
  - 小野木雄三 : 医療安全のための臨床意志決定支援 診療ガイドラインの役割, 第27回医療情報学連合大会論文集, 27(suppl.), 120-123, 2007
  - 小野木雄三 : 知識処理と論理学, 第27回医療情報学連合大会論文集, 27(suppl.), 190-193, 2007
  - Onogi Y : Assigning Categorical Information to Japanese Medical Terms Using MeSH and MEDLINE, *Proceedings of MedInfo2007*, 694-698, 2007
  - Imai T, Aramaki, E Kajino M, Miyo K, Onogi Y, Ohe K : Finding Malignant Findings from Radiological Reports using Medical Attributes and Syntactic Information, *Proceedings of MedInfo 2007*, 540-544, 2007
  - Kubota K, Katayama A, Takeshita Y, Nozaki K, Ueda T, Imamura K, Hiki N, Nomura S, Kaminishi M, Mafune K : Effect of imatinib mesylate in a patient with a metastatic gastrointestinal stromal tumor with a c-kit mutation in exon 11, *Digestive Diseases and Sciences*, 52(7), 1725-1729, 2007
  - Kubota K, Kuroda J, Origuchi N, Kaminishi M, Isayama H, Kawabe T, Omata M, Mafune K : Stomach-partitioning gastrojejunostomy for gastroduodenal outlet obstruction, *Archives of Surgery*, 142(7), 607-611, 2007
  - Okada K, Shatari T, Yamamoto T, Sasaki T, Suwa T et al. : Necrotizing fasciitis secondary to carcinoma of the gallbladder with perforation, *J Hepatobiliary Pancreat Surg.*, 14, 336-339, 2007
  - 佐々木貴浩, 諏訪達志 : 腹腔鏡下に切除し得た腸閉塞で判明した転移性小腸腫瘍の1例, *日本内視鏡外科学会雑誌*, 12, 197-202, 2007
  - Uchida O, kajiwara N, Hayashi A, Miyajima K, Nagatsuka T, Hayashi H, Taira M, Kimura M, Tsuboi M, Kato H : Met-RANTES Ameliorates Fibrous Airway Obliteration and Decrease ERK Expression in a Murine Model of Bronchiolitis Obliterans, *Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery*, 13, 82-86, 2007
  - Ikeda N, Hayashi A, Iwasaki K, Honda H, Tsuboi M, Usuda J, Kato H : Comprehensive diagnostic bronchoscopy of central type early stage lung cancer, *Lung Cancer*, 56, 295-302, 2007
  - 三浦弘規 : 前側方喉頭垂直部分切除術を施行した喉頭癌74例の臨床的検討—根治照射後救済手術としての有用性—, *日本耳鼻咽喉科学会会報*, 110(8), 571-580, 2007
  - Watanabe T, Tamaki K : Cidofovir Diphosphate Inhibits Molluscum Contagiosum Virus DNA Polymerase Activity, *Journal of Investigative Dermatology*, doi:10.1038/sj.jid.5701161, 2007.11.15

## 総説

- 荒川 孝 : 尿路結石症の最新の話題 最新の医療経済と問題点, *Pharma Medica*, 25(2), 45-48, 2007

- ・ 荒川 孝：ここが聞きたい泌尿器科処置・手術とトラブル対処法，臨床泌尿器科，61（増刊号），107-115，2007
- ・ 荒川 孝：尿管結石の積極的治療方針ガイドラインは医療の現場に何を指し示すのか，臨床泌尿器科，61(11)，859-868，2007
- ・ 大東貴志：限局性前立腺癌に対する凍結治療のエビデンス，Jpn J Endourol ESWL，20，177-181，2007
- ・ Okuda H：Hepatocellular carcinoma development in cirrhosis，Best Practice & Research Clinical Gastroenterology，21（1），161-173，2007
- ・ 沖田 極，関谷千尋，奥田博明，坂口孝作，池田健次：PIVKA-IIの新しい展開（座談会），肝胆膵，54（4），541-554，2007
- ・ 太田恵一郎：外科における漢方診療の位置づけ，外科治療，97(5)，455-460，2007
- ・ 太田恵一郎：私のこれまでとこれから，鹿児島大学医学部同窓会鶴陵会會報，36，3-4，2007
- ・ 太田恵一郎：漢方・アンチエイジング外来を担当して，漢方医学，32(1)，33，2008
- ・ 太田恵一郎：漢方の臨床研究，Progress in Medicine，28(1)，113，2008
- ・ 酒井成身，酒井成貴：ここまできた乳房再建，医学のあゆみ，222(4)，328-329，2007
- ・ 酒井成身：鼻骨骨折，PEPARS，18，17-18，2007
- ・ 酒井成身：手術アトラス，義眼床再建術，眼科ケア，9(11)，73-78，2007
- ・ 酒井成身：豊胸術—私の方法と最近の工夫 豊胸術のupdate.，形成外科，50(12)，1403-1412，2007
- ・ 佐藤敦久：脂肪細胞とアルドステロン，医学のあゆみ，221，753-758，2007
- ・ 佐藤敦久，浦 信行，梅村 敏：ARBとACE阻害薬の相違にせまる，Medical Tribune，40，70-71，2007
- ・ 佐藤敦久：抗アルドステロン薬の心・腎の線維化抑制作用，成人病と生活習慣病，37，895-903，2007
- ・ 佐藤敦久，堀美智子：ACE阻害薬の多面的作用機序，調剤と情報，13，821-829，2007
- ・ 佐藤敦久：抗アルドステロン薬の臨床的有用性，内分泌・糖尿病科，25，406-411，2007
- ・ 佐藤敦久，鈴木則宏：脳血管専門医が考えるRA系抑制薬の選択—脳卒中後の降圧治療は現在のままで良いのか？—，Medical Tribune（特別企画），2007.11
- ・ 佐藤敦久：アルドステロン そのベールをぬぎ循環器分野へ，目黒医師会会報，208，7-8，2007
- ・ 佐藤敦久：最も有効な心・腎保護治療ACE阻害薬の差別化へ，名古屋内科医会誌，127，36-45，2007
- ・ 佐藤敦久：レニン・アンジオテンシン・アルドステロン（RAA）系抑制薬の新たな話題—併用療法，抗アルドステロン薬，レニン阻害薬等—，VITA，25，54-61，2008
- ・ 佐藤敦久，磯部伸介：アンジオテンシンII受容体拮抗薬とアンジオテンシン変換酵素阻害薬の臨床的相違，ホルモンと臨床，55，67-78，2007
- ・ 佐藤敦久，吉村道博，水野杏一，平山 篤，木庭新治：循環器疾患のTotal Careをめざして，Medical Tribune，36-37，2007.12.20
- ・ 佐藤敦久，猿田享男，武田仁勇，成瀬光栄：アルドステロンブレイクスルー現象を考える，Medical Tribune，40-41，2007.10.4
- ・ 佐藤敦久，猿田享男：アルドステロンの最近の研究から，日経メディカル，482，83-89，2008.1
- ・ 佐藤敦久：腎疾患とアルドステロン症—選択的アルドステロンブロッカー（SAB）エブレレノンの使い方—，Progress in Medicine，28，129-134，2008
- ・ 海野聡子，武田克彦：失語症の画像診断，J of Clinical Rehabilitation，17(1)，20-25，2008
- ・ 佐々木康人，縄野 繁，小野木雄三：グループ病院間の遠隔画像診断，GE today，24，44-47，2007
- ・ 縄野 繁，黒木嘉典，田仲 隆，矢野友規，木下 平：胃粘膜下腫瘍のCT・MRI・超音波内視鏡診断，臨床放射線，52(11)，1455-1466，2007

- ・ 縄野 繁 : CADと医師のチームワークCADの本格的な実用化と普及へ向けて, コンピュータ支援診断学会論文誌, 11(3), 12-13, 2007
- ・ 諏訪達志 : 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 (D1+□) の簡略化の追求, Harmonic Club, 19, 9-10, 2007
- ・ 渡邊雄介 : 咽喉頭酸逆流症診断の指針・治療の指針, 総合臨床, 56(3), 583-584, 2007
- ・ 望月隆一, 牟田 弘, 渡邊雄介, 川本将浩, 山本圭介 : 難治性喉頭肉芽腫に対する声帯内自家脂肪注入術の治療成績, 日本気管食道科学会会報, 58(1), 30-37, 2007
- ・ 細川清人, 渡邊雄介, 今井貴夫, 花本 敦, 伊藤真人 久保 武 : 声帯溝症に対する新しい外科的治療, 日本耳鼻咽喉科学会会報, 110, 581-585, 2007
- ・ 渡邊雄介 : メディクイズ, 日経メディカル, 7, 85-86, 2007
- ・ 渡邊雄介 : 加齢による変化とそのアンチエイジングー構音, 音声ー, JOHNS, 23(10), 1571-1573, 2007
- ・ Motoyasu Kusano, Naohito Shirai (acknowledgement), Tsutomu Chiba, Yoshikazu Kinoshita, Yusuke Watanabe (acknowledgement) : It is possible to classify non erosive reflux disease (NERD) patients into endoscopically normal group and minimal change group by subjective symptoms and responsiveness to rabeprazole-report rom study with Japanese patients-, American Journal of Gastroenterology, 375, 1-22, 2007
- ・ 渡邊雄介 : ERD患者はどこへゆくー断大敵, 道外病変ー (座談会) , Current Review of Gastroenterology, 12(3), 2-7, 2008
- ・ 古川佳子, 赤石 誠 : 心臓腫瘍, 救急・集中治療, 19(7・8), 1033-1038, 2007
- ・ 古川佳子 : 狭心症, ハートナーシング, 21(3), 42-48, 2008
- ・ 田嶋博樹, 渡辺茂和 : 国際医療福祉大学三田病院薬剤部におけるがん化学療法に対する取り組み, 薬事新報, 2505, 9-14, 2007

## 研究報告

- ・ 太田恵一朗 : 進行胃癌に対する漢方治療の有用性に関する研究, 厚生労働省, 2007
- ・ 堀尾卓矢, 杉浦芳章 他 : 外傷を契機として発見された膵 S&P tumor の1例, 胆と膵, 28, 319-324, 2007
- ・ Yoshihisa Naitoh, Yoshiaki Sugiura et al. : Multicentric invasive carcinomas derived from IPMN of the pancreas: Report of a case, Virchows Arch, 450, 487-490, 2007
- ・ Kitasaka T, Tsujimura Y, Nakamura Y, Mori K, Suenaga Y, Ito M, Nawano S : Automated Extraction of Lymph Nodes from 3-D Abdominal CT images Using 3-D Minimum Directional Difference Filter, MICCAI 2007, 336-343, 2007
- ・ 久保統規, 清水昭伸, 古川大介, 小畑秀文, 縄野 繁 : 3次元腹部CT像における複数臓器同時抽出のための腹腔領域の階層的標準化処理, 電子情報通信学会技術研究報告, 107(461), 21-28, 2008
- ・ 坂下牧子, 北坂孝幸, 森 健策, 末永康仁, 縄野 繁 : 4時相の三次元腹部CT像を用いた膵臓領域抽出手法の開発, 電子情報通信学会技術研究報告, 107(461), 35-42, 2008
- ・ 田中慎也, 清水昭伸, 古川大介, 小畑秀文, 縄野 繁, 篠崎賢治 : 最大事後確率法とアンサンブル学習に基づく3次元腹部CT像からの肝臓領域抽出, 電子情報通信学会技術研究報告, 107(461), 123-130, 2008

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 寺田総一郎 : サプリメント・健康食品による健康障害について, 港区医師会, 港区医師会館, 東京都港区, 2008.3.10
- ・ 朝波惣一郎 : 口腔病変ー粘膜病変の診断ー, CDRI研究会, 吉田学術研修室, 東京都, 2007.4.7
- ・ 平田千弥, 岡田 豊, 朝波惣一郎 : 骨芽細胞様細胞と口腔癌細胞におけるGinsenoside Rh2と各種抗癌剤の併用効果について, 第61回口腔科学会学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.4.19

- ・吉田和成, 河瀬 武, 小川 郁, 富田俊樹, 朝波惣一郎, 矢郷 香: 側頭下窩へ進展した腫瘍の手術戦略, 第19回日本頭蓋底外科学会, 東京都, 2007.7.5
- ・朝波惣一郎: 顎顔面領域におけるインプラントの位置づけ, 新潟再生歯学研究会, 越前谷ホテル, 新潟県三条市, 2007.10.20
- ・朝波惣一郎: 初期口腔癌の臨床診断—その鑑別の要点—, 港区麻布歯科医師会, 南青山会館, 東京都, 2007.11.19
- ・太田恵一朗: あなたとあなた大切な人のために—がん専門医からのメッセージ—, 熊本の明日を語る会, ココデンカエスタ青山A会議室, 東京都, 2007.6.6
- ・太田恵一朗: 外科と漢方, 筑波大学アドヴァンスコース 今日医療としての東洋医学, 筑波大学大学院臨床医学系講義室, つくば市, 2007.6.29
- ・太田恵一朗: 外科診療と漢方, 抗加齢医学の実際2007, 大手町サンケイプラザサンケイホール, 東京都, 2007.9.17
- ・太田恵一朗: がんの補完代替医療, 愛知県立看護大学大学院特別講義, 愛知県がんセンター講堂, 名古屋市, 2007.10.12
- ・太田恵一朗: がんについて—胃がんを中心として—, 国際医療福祉大学大学院乃木坂スクール, 国際医療福祉大学大学院 東京サテライトキャンパス, 東京都, 2007.10.18
- ・太田恵一朗: 消化器外科医が求める胃X線検査, 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会放射線部会 第2回胃X線検査レベルアップセミナー, 島津製作所東京支所, 東京都, 2007.12.8
- ・太田恵一朗: 消化器癌の病態生理と診断・治療—胃がん・大腸がん— (診療ガイドラインを中心として), イーピーメントがん臨床試験特化研修, 株式会社イーピーメント本社会議室, 東京都, 2007.12.15
- ・太田恵一朗: がんの補完代替医療, 国際医療福祉大学大学院乃木坂スクール, 国際医療福祉大学大学院 東京サテライトキャンパス, 東京都, 2007.12.20
- ・太田恵一朗: 三田病院の医療相談・支援・緩和ケアセンター, 第2回三田病院一般公開講座 がん治療を支える緩和ケア, 高輪区民ホール, 東京都, 2008.1.19
- ・太田恵一朗: 三田病院における緩和ケアの実情, 第2回港区在宅緩和ケア・ホスピスケア支援推進協議会, みなと保健所, 東京都, 2008.2.12
- ・太田恵一朗: がんの補完代替医療, がん専門薬剤師研修, 国際医療福祉大学三田病院, 東京都, 2008.3.18
- ・酒井成身: 乳房再建, 講演会 乳癌トピック in Oita 2006, 大分全日空ホテル, 大分, (2007.1.12)
- ・酒井成身: 眼窩の再建術—義眼床形成を主体として—, 第30回日本眼科手術学会総会, 京都国際会館, 京都, (2007.1.26)
- ・酒井成身: 最新の乳房再建術 パネルディスカッション ビューティー&プレストキヤンサー, 第15回日本乳癌学会学術総会 市民公開講座—乳癌の診断と治療2007, 有楽町朝日ホール, 東京, 2007.5.12
- ・Shigemi Sakai: Cosmetic breast reconstruction after breast cancer, 2007 International college of cosmetic surgery - Mammoplasty course, Seoul, Seoul, 2007.6.9
- ・Shigemi Sakai: Postoperative complication of Augmentation Mammoplasty, 2007 International college of cosmetic surgery - Mammoplasty course, Seoul, Seoul, 2007.6.9
- ・酒井成身: パネルディスカッション「乳癌術後の放射線治療の意義」乳房再建における放射線治療の功罪, 第15回日本乳癌学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.29
- ・酒井成身: 特別講演 乳房形成とアート, 第12回山形形成外科懇話会, 山形国際ホテル, 山形, 2007.7.7
- ・酒井成身: 乳癌手術後の乳房〜ご存知でしたか? 乳房再建〜, 愛知乳がん市民フォーラム, 竜美丘会館, 岡崎, 2007.7.28
- ・Shigemi Sakai: Mastopexy methods for Oriental, 2007 Korean Academy of Cosmetic Surgery - Mammoplasty Special

- Workshop, COEX Convention centre, Seoul, 2007.8.26
- Shigemi Sakai : Correction for inverted nipple, 2007 Korean Academy of Cosmetic Surgery - Mammoplasty Special Workshop, COEX Convention centre, Seoul, 2007.8.26
  - 酒井成身 : パネルディスカッション「乳房増大術後の変形, その修正の5症例」修正が難しかった症例, 第30回日本美容外科学会総会(第100回学術集会), ルネッサンスホテル札幌, 札幌, 2007.10.7
  - 酒井成身, 酒井成貴 : 眼瞼部rejuvenation, 第61回日本臨床眼科学会専門研究会「形成外科」, 京都国際会館, 京都, 2007.10.11
  - 酒井成身 : 乳房と眼の悩みの美容形成外科, 第8回JSCR学術集会, メルパルク京都, 京都, 2007.10.14
  - 酒井成身 : 特別講演 乳房再建とアート, 第27回鹿児島乳癌研究会, ブルーウエーブイン鹿児島, 鹿児島, 2007.11.16
  - 酒井成身 : 「乳房切除後の形成外科的手技」拡大広背筋皮弁による乳房再建, 第15回乳癌手術手技研究会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.30
  - Shigemi Sakai : Asian aging blepharoplasty, International Conference on Anti-aging & Preventive Medicine, Everbright convention centre, Shanghai, 2007.12.7
  - 酒井成身 : 特別講演 私の歩んでいる形成外科というアート, 2008聖マリアンナ医大形成外科同窓会, 京王プラザホテル, 東京, 2008.1.27
  - 酒井成身 : 特別講演 眼瞼・眼窩床の形成外科, 第16回慶応義塾大学形成外科同門会学術集会, 慶応義塾大学, 東京, 2008.2.2
  - 佐久間肇 : 脊髄損傷者の生活習慣病・二次障害の実態と運動習慣, 第42回日本脊髄障害医学会・シンポジウム, 大宮ソニックシティビル, 埼玉県さいたま市, 2007.11.10
  - 佐久間肇 : 障害のある方の人間ドックの現状と障害者の健康管理について, 第7回日本リハビリテーションネットワーク研究会学術集会・招待講演, 日本医大同窓会館橘桜会館, 東京都文京区千駄木, 2007.12.2
  - 佐久間肇 : 内部障害, 平成19年度障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ医養成講習会, 国立身障者リハビリセンター, 埼玉県所沢市, 2008.2.3
  - 佐久間肇 : 生活習慣病と障害者の健康管理, 平成19年度国立更生援護施設看護師研修会, 国立身障者リハビリセンター, 埼玉県所沢市, 2008.2.15
  - 佐久間肇 : 脊髄損傷者の生活習慣病・二次障害の実態と運動習慣, 障害者スポーツセミナー・シンポジウム, 日本都市センターホテル, 東京都千代田区平河町, 2008.3.2
  - 佐藤敦久 : RA系抑制薬の作用メカニズムを知る, The Young Doctors Guide to ACE-I, グランドプリンスホテル赤坂, 東京都千代田区, 2007.6.23
  - 佐藤孝幸, 磯部伸介, 佐藤敦久 : ANCA関連腎炎治療中に腹腔内出血を合併した1例, 第16回愛宕山腎疾患カンファレンス, ザ・プリンス・パークタワー, 東京都港区, 2007.7.20
  - 佐藤敦久 : 高性能ACE-Iの選択とそのエビデンス~ACE-Iも使い分ける時代~, RA系阻害薬を再考する2007, グランドプリンスホテル赤坂, 東京都千代田区, 2007.8.4
  - 佐藤敦久 : RAA系新時代 アルドステロンブロックの重要性, 第5回関西RAAS研究会, ホテルグランヴィア京都, 京都府京都市, 2007.10.12
  - 佐藤敦久 : 高用量ディオバンのエビデンス, Clinical Specialist Meeting, ウェスティンホテル東京, 東京都目黒区, 2007.10.17
  - 佐藤敦久 : アルドステロンの最近の研究から, セララシンポジウム, グランドプリンスホテル新高輪, 東京都品川区, 2007.10.21

- ・ 佐藤敦久：レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の新しい概念，薬剤師フォーラム，グランドプリンスホテル新高輪，東京都品川区，2007.11.4
- ・ 佐藤敦久：RAA系新時代 アルドステロン・ブロックの重要性，第9回アテローム研究会，ホテルモントレ横浜，神奈川県横浜市，2007.11.15
- ・ 佐藤敦久：RAA系新時代 アルドステロン・ブロックの重要性，津市薬剤師講演会，津都ホテル，三重県津市，2007.11.19
- ・ 佐藤敦久：Heart and Kidney, as twins!，第1回Heart and Kidney Conference，渋谷エクセルホテル東京，東京都渋谷区，2007.11.30
- ・ 佐藤敦久：CKD（慢性腎臓病）対策～ACE阻害薬の上手な使い方～，RAAフォーラム，品川インターシティホール，東京都港区，2007.12.1
- ・ 佐藤敦久：最も有効な心・腎保護治療，大阪府病院薬剤師会，豊中ホテル，大阪府豊中市，2007.12.4
- ・ 佐藤敦久，磯部伸介：ACE阻害薬治療中の咳の副作用についての現状と対策，Hypertension Council，グランドプリンスホテル赤坂，東京都千代田区，2007.12.15
- ・ 佐藤敦久（座長）：アルドステロンと心血管疾患についての最近の知見，第1回JFK Forum，京王プラザホテル，東京都新宿区，2008.1.28
- ・ 佐藤敦久：エビデンスから考えるACE阻害薬の使い方，高齢者高血圧の新たな治療戦略，東京ステーションコンファレンス，東京都千代田区，2008.2.2
- ・ 佐藤敦久：エビデンスから考えるACE阻害薬の使い方，RA系阻害薬を再考する IN 立川，パレスホテル立川，東京都立川市，2008.2.27
- ・ 佐藤敦久（座長）：ACE阻害薬／ARB，Renin-Angiotensin Special Symposium，六本木アカデミーヒルズ・タワーホール，東京都港区，2008.3.10
- ・ 愛甲 聡，杉浦芳章 他：食道癌術後早期の $\omega$ -3脂肪酸およびシベレスタットNa投与による生体反応抑制，第62回日本消化器外科学会，京王プラザ，東京，2007.7.18
- ・ 武田克彦：半側空間無視について，Neurology Conference in 栃木，獨協医科大学付属病院，栃木県宇都宮市，2007.4.25
- ・ 武田克彦：高次脳機能障害とリハビリテーション，第40回石見神経懇話会，浜田ワシントンホテルプラザ，島根県浜田市，2007.6.27
- ・ 武田克彦：神経心理学ーベッドサイドから脳科学へー，第11回埼玉県神経内科医学会総会，パレスホテル大宮，埼玉県さいたま市，2007.7.19
- ・ 武田克彦：中心視と周辺視，第71回日本心理学会，東洋大学，東京都文京区，2007.9.18
- ・ 武田克彦：視覚失認の最近の諸問題，第31回日本神経心理学会，金沢エクセル東急，石川県金沢市，2007.9.28
- ・ 武田克彦：半側空間無視について，第21回三奈大脳高次機能懇話会，伊勢慶友病院，三重県伊勢市，2007.11.17
- ・ 武田克彦：高次脳機能障害のリハビリテーション，日本リハビリテーションネットワーク研究会，日本医科大学橋桜会館，東京都千代田区，2007.12.2
- ・ 武田克彦：神経心理学の新展開，自治医科大学神経内科セミナー，自治医科大学セミナー室，栃木県下野市，2008.2.13
- ・ 武田克彦：高次脳機能障害の新展開，第6回和歌山神経心理研究会，和歌山ビッグ愛，和歌山県和歌山市，2008.3.8
- ・ 縄野 繁：薬事申請協力医師としての経験，第17回コンピュータ支援画像診断学会・シンポジウム，広島大学霞キャンパス，広島県，2007.11.3
- ・ 小野木雄三：「知識処理を含めたEHRのプラグアンドプレイを目指すCEN EN13606のインパクト」知識処理の立場か

- ら, 第11回日本医療情報学会春季学術大会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2007.6.16
- ・ 小野木雄三: 画像情報システムーネットワーク・RIS・連携ー, 静岡県放射線技師会管理士部会セミナー, 藤枝市立病院, 静岡県藤枝市, 2007.6.30
  - ・ 小野木雄三: 国際医療福祉大学における遠隔画像診断, 国際モダンホスピタルショウ2007, 東京ビッグサイト, 東京都, 2007.7.13
  - ・ 小野木雄三: 「医療IT化の活用事例」遠隔放射線診断ー国際医療福祉大学グループ病院における運用についてー, 日本医療情報学会 ランチョンセミナー, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.23
  - ・ 小野木雄三: 電子カルテの今後を占うー診療論理と証跡性ー診療支援にも資するには, 日本病院管理学会第260回例会, 那覇市医師会館, 沖縄県那覇市, 2007.12.1
  - ・ 林 和: ハンズオンセミナー1 超音波気管支鏡 EBUS/TBNA 講師, 第30回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.6.8
  - ・ 渡邊雄介: シンポジウム24 耳鼻咽喉科領域における手術合併症予防の対策 外科手術後音声障害についての予防と対策ー反回神経麻痺を中心にー, 第32回日本外科系連合学会, 東京, 2007.6.23
  - ・ 渡邊雄介: 座談会 非定型症状 GERD患者はどこに行く?, 東京, 2007.7.4
  - ・ 渡邊雄介: 特別講演 GERDの中の耳鼻咽喉科領域の症状・病態・治療について〜のどやけに気を付けて〜, 第1回二北会学術講演会, 長崎, 2007.9.21
  - ・ 渡邊雄介, 熊田政信, 渡嘉敷亮二: 耳鼻咽喉科医師による言語聴覚士学生向け講義(発声発語の解剖・生理)の実際とその工夫, 第53回日本音声言語医学会, 所沢, 2007.10.26
  - ・ 渡邊雄介: シンポジウム2 GERD診療のup-to-date 耳鼻咽喉科領域のGERD-LPRD(咽喉頭酸逆流症) up-to-date, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1
  - ・ 渡邊雄介: LPRDについて〜その病態と診断〜(教育講演), 第17回睡眠呼吸障害研究会耳鼻咽喉科部会, 東京, 2008.2.15
  - ・ 渡邊雄介: GERD, LPRDと睡眠時無呼吸(パネルディスカッション), 第17回睡眠呼吸障害研究会耳鼻咽喉科部会, 東京, 2008.2.15

## 学会発表

- ・ 真船健一, 三森功士, 久保田啓介, 黒田純子, 加藤亜裕, 西田康二郎, 森 正樹: 食道発癌過程におけるMAL遺伝子発現消失の意義について, 第107回日本外科学会定期学術集会, 大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪, 大阪, 2007.4.11-13
- ・ 真船健一(座長): 一般演題 デジタルポスターセッション 食道(悪性度-1), 第107回日本外科学会定期学術集会, 大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪, 大阪, 2007.4.11
- ・ 森 潔, 小田島慎也, 藤城光弘, 矢作直久, 小松達司, 塚田百合子, 前出幸子, 羽村公代, 関戸 仁, 土井卓子, 佐藤靖郎, 瀬戸泰之, 真船健一: 経鼻用内視鏡を用いた胃癌の発見率と細径であることを生かした大腸内視鏡検査, 第84回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 海運クラブ シェーンバツハ・サボー, 東京, 2007.6.8-9
- ・ 真船健一(座長): 一般演題 食道 III, 第84回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 海運クラブ シェーンバツハ・サボー, 東京, 2007.6.8-9
- ・ 真船健一(主催): 第9回城南消化器外科疼痛緩和研究会, 目黒雅叙園「ペガサス」, 東京, 2007.6.15
- ・ 真船健一(座長): 特別講演, 第9回城南消化器外科疼痛緩和研究会, 目黒雅叙園「ペガサス」, 東京, 2007.6.15
- ・ 真船健一(座長): 一般演題53 治療成績, 第61回日本食道学会学術集会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.22.
- ・ 上田竜大, 加藤亜裕, 折口信人, 出口倫明, 黒田純子, 加藤悠太郎, 久保田啓介, 諏訪達志, 吉田 昌, 太田恵一朗,



- 安達実樹, 杉浦芳章, 真船健一, 武藤正樹, 北島政樹: 腹腔鏡下胆嚢摘出術後に遺残胆嚢管内に結石を生じた一例, 第32回日本外科系連合学会学術集会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.6.22-23
- 真船健一 (座長): ミニシンポジウム1 消化管gastrointestinal stromal tumor再発, 転移に対する治療戦略, 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.7.18-20
  - 真船健一 (主催): 第24回文京消化器内視鏡研究会, 大正富山製薬, 東京, 2007.8.25
  - 真船健一 (座長): 一般演題 (示説) 胃症例報告(5), 第45回日本癌治療学会総会, 国立京都国際会館 宝ヶ池プリンスホテル, 京都, 2007.10.25
  - 真船健一 (座長): 一般演題 口腔・食道, 第18回日本消化器癌発生学会総会, 北海道厚生会館ウェルシティー札幌, 札幌, 2007.11.8-9
  - 真船健一 (座長): 一般演題 胃・十二指腸 悪性 治療成績1, 第20回日本内視鏡外科学会総会, 仙台国際センター, 仙台, 2007.11.19-21
  - 諏訪達志, 吉田 昌, 久保田啓介, 黒田純子, 出口倫明, 加藤亜裕, 似鳥修弘, 加藤悠太郎, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 杉浦芳章, 真船健一, 武藤正樹, 北島政樹: 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 (D1+β) の簡略化への工夫, 第20回日本内視鏡外科学会総会, 仙台国際センター, 仙台, 2007.11.19-21
  - 出口倫明, 安達実樹, 似鳥修弘, 加藤亜裕, 黒田純子, 加藤悠太郎, 久保田啓介, 諏訪達志, 吉田 昌, 折口信人, 杉浦芳章, 真船健一, 北島政樹, 松田圭二, 渡邊聡明: 十二指腸GISTに対する腹腔鏡下手術の経験, 第20回日本内視鏡外科学会総会, 仙台国際センター, 仙台, 2007.11.19-21
  - 上田竜大, 杉浦芳章, 加藤悠太郎, 加藤亜裕, 折口信人, 出口倫明, 黒田純子, 似鳥修弘, 久保田啓介, 諏訪達志, 吉田 昌, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一, 北島政樹: 膵IPMNを伴った十二指腸乳頭部癌の1例, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.29-12.1
  - 六車耕平, 加藤亜裕, 加藤悠太郎, 久保田啓介, 黒田純子, 出口倫明, 似鳥修弘, 諏訪達志, 吉田 昌, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 杉浦芳章, 真船健一, 北島政樹: 膵・胆管合流異常に対する予防的胆嚢摘出術でss胆嚢癌を認めた一例, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.29-12.1
  - 加藤亜裕, 杉浦芳章, 加藤悠太郎, 折口信人, 出口倫明, 黒田純子, 似鳥修弘, 久保田啓介, 諏訪達志, 吉田 昌, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一, 武藤正樹, 北島政樹: 膵IPMNに並存した通常型膵管癌の1例, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.29-12.1
  - 出口倫明, 安達実樹, 加藤亜裕, 黒田純子, 似鳥修弘, 加藤悠太郎, 久保田啓介, 諏訪達志, 吉田 昌, 折口信人, 太田恵一朗, 真船健一, 北島政樹, 田島康夫: 術前診断に苦慮した巨大膵管内乳頭腺腫の1例, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.29-12.1
  - 加藤亜裕, 杉浦芳章, 加藤悠太郎, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一, 北島政樹: 膵管内乳頭粘液性腺癌の術後4年経過し, 3度目の再発を切除した1例, 第80回外科集談会, 東京大学 山上会館, 東京, 2007.12.8
  - 真船健一 (座長): 一般ポスターII クリニカルパス1, 第80回日本胃癌学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2008.2.27-29
  - 真船健一 (座長): 食道・胃, 第80回外科集談会, 東京大学 山上会館, 東京, 2008.3.8
  - 朝波惣一郎 (座長): 炎症, 第61回口腔科学会学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.4.19
  - 朝波惣一郎 (座長): 口腔, 第31回頭頸部癌学会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2007.6.14
  - 佐藤豊彦, 加藤 伸, 池内 忍, 宮下英高, 朝波惣一郎, 行木英生: 上顎腫瘍切除後の即時義顎による補綴的機能再建例の検討, 第31回頭頸部癌学会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2007.6.15
  - 太田淳也, 角田和之, 高森康次, 角田博之, 新里知佳, 朝波惣一郎, 永井哲夫, 中川種昭: 口腔粘膜病変を伴ったCrohn病の1例, 日本口腔粘膜学会総会, タワーホール船堀, 東京, 2007.7.5-6

- ・ 佐藤豊彦, 宮下英高, 加藤 伸, 新里知佳, 池内 忍, 河奈裕正, 朝波惣一郎 : 下顎低位埋伏智歯抜歯術における新しいアプローチ, 第52回日本口腔外科学会総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.9.29-30
- ・ 朝波惣一郎 (座長) : 口腔乾燥症, 第52回日本口腔外科学会総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.9.29-30
- ・ Sato T, Miyashita H, Kto S, Niizato C, Ikeuchi S, Kwana H, Asanami S : New approach of the Removal of a deeply impacted mandibular third molar, American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons 89<sup>th</sup> Annual Meeting, Scientific Session and Exhibition in Conjunction with the Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons and the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Honolulu Convention Center, Hawaii, USA, 2007.10.8-13
- ・ Yago K, Kawata Y, Hhodo T, Nakagawa T, Asanami S : The experience of Oral Surgery on a Patient with Muluvihill-Smith syndrome:case report and reviw of literature, American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons 89<sup>th</sup> Annual Meeting, Scientific Session and Exhibition in Conjunction with the Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons and the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Honolulu Convention Center, Hawaii, USA, 2007.10.8-13
- ・ Asanami S, Yago K : Dental implant in a Paicent maintaind on antiplatelet therapy, CAMLOG Symposium 2007, Tokyo, Japan, 2007.11.10
- ・ 朝波惣一郎 (座長) : 良性腫瘍, 第184回日本口腔外科学会関東地方会, 日本大学理工学部駿河台校舎CSTホール, 東京, 2007.11.10
- ・ Sato T, Miyashita H, Kato S, Ikeuchi S, Kawana H, Asanami S : Correcting facial asymmetry in adult clefts patint using computer- Assisted navigation system, The18<sup>th</sup> Internatinal Conference of Oral and Maxillofacial surgery, Bangalore, India, 2007.11.14-18
- ・ 木津英樹, 矢郷 香, 鈴木啓介, 西原正弘, 中平 宏, 朝波惣一郎 : 抗血栓薬継続下でもインプラント治療に関する検討, 第11回日本顎顔面インプラント学会, 日本歯科大学 新潟生命歯学部講堂, 新潟県新潟市, 2007.12.1
- ・ 朝波惣一郎 (座長) : シンポジウム インプラント埋入のための併用手術を検証する, 第11回日本顎顔面インプラント学会, 日本歯科大学 新潟生命歯学部講堂, 新潟県新潟市, 2007.12.1
- ・ Sato T, Miyashita H, Niizato C, Kato S, Ikeuchi S, Kawana H, Asanami S : Bone augmentation using Harvested bone from torus mandibularis, The 23<sup>rd</sup> Annual Meeting of The Academy of Osseointegretion, The Hynes Convetion Center, Boston MA, USA, 2008.2.28-3.1
- ・ 安達実樹 (座長) : 大腸1, 第294回日本消化器病学会関東支部例会, 海運クラブ, 東京, 2007.5.12
- ・ 出口倫明, 安達実樹 他 : 経肛門的イレウス管によって大腸穿孔を起こした1例, 第805回外科集談会, 山上会館, 東京, 2007.6.9
- ・ 上田竜大, 久保田啓介, 出口倫明, 加藤亜裕, 黒田純子, 加藤悠太郎, 諏訪達志, 吉田 昌, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 杉浦芳章, 真船健一, 北島政樹 : 臍ヘルニアVentralax術後早期の再発に対しComposix Kugelにて根治した1例, 第805回外科集談会, 山上会館, 東京, 2007.6.9
- ・ 安達実樹 (座長) : 大腸穿孔, 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.7.18
- ・ Adachi M (Chairman) : Symposium 8 “Colonoscopy”, 11<sup>th</sup> Congress of Asian Federation of Coloproctology, Tokyo Dome Hotel, Tokyo, 2007.9.22
- ・ 安達実樹 (座長) : その他3, DDW-Japan 2007 第49回日本消化器病学会大会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.10.20
- ・ 安達実樹 (座長) : 大腸穿孔, 第62回日本大腸肛門病学会学術集会, 高輪プリンスホテル, 東京, 2007.11.2
- ・ 安達実樹 (座長) : 大腸肛門 (悪性) 17, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.30
- ・ 似鳥修弘, 安達実樹 他 : 4回の再切除により7年間の長期生存が得られた虫垂粘液嚢胞腺癌再発の1例, 第68回大腸癌研究会, JALリゾートシーホークホテル福岡, 福岡, 2008.1.25
- ・ 安達実樹 (座長) : 大腸4, 第44回日本腹部救急医学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2008.3.15

- ・ 似鳥修弘, 安達実樹 他: 大腸内視鏡検査前処置(腸管洗浄)を契機に腸重積症を発症した回腸悪性リンパ腫の1例, 第44回日本腹部救急医学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2008.3.15
- ・ 荒川 孝(座長): 学会特別企画ーポストゲノム時代の尿路結石症治療ー遺伝子情報は尿路結石の将来を変えるのか?, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.4.17
- ・ 荒川 孝(座長): 一般演題ポスター, 第72回日本泌尿器科学会東部総会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2007.8.30
- ・ 荒川 孝(座長): シンポジウム1 ESWL時代の内視鏡的結石破砕術ーTULが第一選択となる尿路結石症とは?, 第21回日本Endourology・ESWL学会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.11.28
- ・ 岩崎康夫(座長): 第35回日本小児神経外科学会, かずさアカデミアホール, 木更津, 2007.6.1
- ・ 大東貴志, 水野隆一, 内田康光, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 中島 淳, 村井 勝: 血清PSA $\leq$ 10 ng/mlのものにおける生検前の因子による臨床的に重要な前立腺癌の存在予測, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.4.14
- ・ 金井邦光, 菊地栄次, 大東貴志, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 中島 淳, 村井 勝: 進行性尿路上皮癌に対するGemcitabin・Paclitaxelを用いた化学療法の治療成績, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.4.14
- ・ 山崎恵一, 菊地栄次, 小堀紀英, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志, 中島 淳, 村井 勝: 浸潤性膀胱癌に対する膀胱温存療法の臨床検討, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.4.14
- ・ 中島 淳, 菊地栄次, 小堀紀英, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志, 村井 勝: 進行性前立腺癌における経直腸コイルMRIの局所評価の意義, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.4.14
- ・ 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 中島 淳, 大東貴志, 村井 勝: 先行性膀胱腫瘍の既往の有無が上部尿路上皮腫瘍の膀胱再発・予後に与える影響, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.4.14
- ・ 内田康光, 菊地栄次, 大東貴志, 宮嶋 哲, 中島 淳, 村井 勝: Vitamin Eを用いた膀胱腫瘍の殺細胞効果の検討, 第95回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.4.14
- ・ Nakashima J, Yamazaki K, Kikuchi E, Miyajima A, Nakagawa K, Oya M, Ohigashi T, Murai M: Prediction of extraprostatic cancer by serum [-2]pro prostatic specific antigen in clinically localized prostate cancer, American Urological Association 102<sup>nd</sup> Annual Meeting, Anaheim Convention Center, Anaheim, 2007.5.22
- ・ Nakashima J, Kikuchi E, Miyajima A, Nakagawa K, Oya M, Ohigashi T, Murai M: Simple stratification of survival using bone scan and serum c-reactive protein in prostate cancer patients with metastasis, American Urological Association 102<sup>nd</sup> Annual Meeting, Anaheim Convention Center, Anaheim, 2007.5.22
- ・ Nakagawa K, Ohigashi T, Nakashima J, Murai M: Transurethral enucleation with bipolar (TUEB) for treatment of benign prostatic hyperplasia: A novel device of TURIS system, American Urological Association 102<sup>nd</sup> Annual Meeting, Anaheim Convention Center, Anaheim, 2007.5.22
- ・ Kosaka T, Miyajima A, Kikuchi E, Nakashima J, Ohigashi T, Sakamoto M, Hayakawa M, Murai M: Angiotensin II receptor antagonist as an angiogenic inhibitor in prostate cancer, American Urological Association 102<sup>nd</sup> Annual Meeting, Anaheim Convention Center, Anaheim, 2007.5.22
- ・ Kikuchi E, Miyajima A, Nakagawa K, Oya M, Ohigashi T, Nakashima J, Murai M: Previous history of bladder cancer is an independent prognostic factor for upper urinary tract transition cell carcinoma, American Urological Association 102<sup>nd</sup> Annual Meeting, Anaheim Convention Center, Anaheim, 2007.5.22
- ・ 越田竹朗, 中川 健, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 大家基嗣, 大東貴志, 中島 淳: High risk前立腺癌に対する腹腔鏡前立腺全摘術におけるneoadjuvant hormone therapyの検討, 第72回日本泌尿器科学会東部総会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2007.8.30

- ・ 武田利和, 中島 淳, 菊地栄次, 宮島 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志: 再燃前立腺癌における抗アンドロゲン交替療法の検討, 第72回日本泌尿器科学会東部総会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2007.8.30
- ・ 森田伸也, 中島 淳, 菊地栄次, 宮島 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志: FACT-Pを用いた早期前立腺癌に対する永久挿入密封小線源治療のQOLの検討, 第72回日本泌尿器科学会東部総会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2007.8.30
- ・ 安藤利行, 菊地栄次, 宮島 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志, 丸茂 健, 中島 淳, 村井 勝: 高齢者勃起障害患者に対するクエン酸シルデナフィルの有効性の検討, 第72回日本泌尿器科学会東部総会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2007.8.30
- ・ Ohigashi T, Mizuno R, Kanao K, Kikuchi E, Miyajima A, Nakagawa K, Nakashima J, Murai M: Prostate specific antigen adjusted for transition zone volume is useful for pre-biopsy prediction of clinically significant prostate cancer, 29<sup>th</sup> Congress of Societe Internationale d'Urologie, Palais des Congres, Paris, 2007.9.4
- ・ 石田 勝, 中島 淳, 篠田和伸, 菊地栄次, 宮島 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志: 限局性前立腺癌における予測腫瘍体積の意義, 第45回日本癌治療学会総会, 京都国際会議場, 京都, 2007.10.25
- ・ 菊地栄次, 小堀紀英, 宮嶋 哲, 堀口 裕, 中島 淳, 大東貴志, 梅澤一夫: 前立腺癌細胞に対する新規NF-κB活性化阻害剤DHMEQによる放射線感受性増強効果, 第45回日本癌治療学会総会, 京都国際会議場, 京都, 2007.10.25
- ・ 松本一宏, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 大東貴志, 中島 淳: High長期経過観察を行った表在性膀胱癌の再発に関するrisk分類とBCG膀胱内注入療法の意義, 第45回日本癌治療学会総会, 京都国際会議場, 京都, 2007.10.26
- ・ 中川 健, 中島 淳, 大東貴志, 大家基嗣, 村井 勝: TUEB (Transurethral enucleation with bipolar)による前立腺肥大症核出術式の最適化, 第21回日本Endourology・ESWL学会総会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.11.27
- ・ 宮嶋 哲, 菊地栄次, 中川 健, 大東貴志, 中島 淳, 大家基嗣: 鏡視下手技における学習効果に関する検討, 第21回日本Endourology・ESWL学会総会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.11.27
- ・ 大東貴志, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大家基嗣, 中島 淳, 村井 勝: 前立腺体積が50ml以上の前立腺肥大症患者に対するHoLEPとTURPの比較, 第21回日本Endourology・ESWL学会総会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.11.27
- ・ 中島 淳, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大東貴志, 大家基嗣: 前立腺肥大症に対するHoLEP後の血清PSA値の変化, 第21回日本Endourology・ESWL学会総会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.11.27
- ・ 金井邦光, 中島 淳, 菊地栄次, 宮嶋 哲, 中川 健, 大東貴志, 大家基嗣: 前立腺癌に対する永久挿入密封小線源治療後のPSA bounce現象に関する検討, 第21回日本Endourology・ESWL学会総会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.11.27
- ・ 太田恵一朗 (司会): ワークショップ 胃癌治療の周術期管理, 第79回日本胃癌学会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, (2007.3.3)
- ・ 太田恵一朗 (司会): ポスター 血行性転移, 第79回日本胃癌学会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, (2007.3.3)
- ・ 太田恵一朗 (座長): サージカルフォーラム 胃癌 (診断), 第107回日本外科学会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2007.4.11
- ・ 上島健太郎, 太田恵一朗, 高山 豊, 伊藤寛之, 金澤敦子, 小林 毅, 小林美樹, 水澤佳代子, 遠藤芳子, 田嶋博樹, 渡辺茂和: ポスター 緩和ケアチーム導入における処方変化に関する検討ー薬剤師の立場からー, 第12回日本緩和医療学会, 岡山コンベンションセンター, 岡山市, 2007.6.22
- ・ 太田恵一朗 (座長): 一般演題 (口演) 胃癌QOL, 第62回日本消化器外科学会, 京王プラザホテル, 東京都, 2007.7.18
- ・ 太田恵一朗 (総合司会): 第1回地域連携PEGパス研究会, 虎の門バストラル, 東京都, 2007.9.22

- ・ Kikuchi S, Obata Y, Yagyu K, Lin Y, Nakajima T, Kobayashi O, Kikuchi M, Ohta K, Ushijima R : Serum vascular endothelial growth factor (VEFG), VEGF-receptor-1 and -2 among gastric cancer patients and healthy subjects, The 14th European Cancer Conference, Barcelona, Spain, 2007.9.23-27
- ・ 太田恵一朗 (座長) : ポスター 一般演題, 第31回日本死の臨床研究会, 熊本県立劇場, 熊本市, 2007.11.9
- ・ 太田恵一朗 (司会) : サージカルフォーラム PETの問題点, 第69回日本臨床外科学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.11.29
- ・ 黒田純子, 太田恵一朗, 久保田啓介, 加藤亜裕, 出口倫明, 似鳥修弘, 加藤悠太郎, 諏訪達志, 吉田 昌, 折口信人, 安達実樹, 杉浦芳章, 真船健一, 北島政樹 : 胆嚢原発胆嚢神経線維腫の一例, 第69回日本臨床外科学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.11.30
- ・ 太田恵一朗 (当番世話人) : 合同シンポジウム 漢方の臨床研究, 第69回日本臨床外科学会 第17回外科漢方研究会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.12.1
- ・ 太田恵一朗 (座長) : 一般演題, 第1回日本音楽医療研究会, 東京女子医大総合外来棟5階大会議室, 東京都, 2007.12.2
- ・ 太田恵一朗 (総合司会) : がん治療を支える緩和ケア, 第2回三田病院一般公開講座, 高輪区民ホール, 東京都, 2008.1.19
- ・ 酒井成身, 安藤和正, 酒井成貴 : 乳癌手術創の方向と乳房再建, 第50回日本形成外科学会総会, ホテル日航東京, 東京, 2007.4.12
- ・ 酒井成身 (座長) : 乳房III, 第50回日本形成外科学会総会, ホテル日航東京, 東京, 2007.4.12
- ・ 酒井成身 (座長) : 再建1, 第15回日本乳癌学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.30
- ・ 酒井成身, 酒井成貴 : 分裂乳頭の陥没乳頭関連治療法, 日本美容外科学会第99回学術集会, オークスカナルホテル富山, 2007.7.14
- ・ 酒井成身 (座長) : 乳房, 第30回日本美容外科学会総会 (第100回学術集会), ルネッサンスホテル札幌, 札幌, 2007.10.7
- ・ 酒井成身, 酒井成貴 : 眼瞼のrejuvenation (下垂, Sunken eye, 下眼瞼), 第22回日本眼窩疾患シンポジウム, 新潟県医師会館, 新潟, 2007.12.8
- ・ 酒井成身 (座長) : ランチョンセミナー アクティブエイジングのためのパワープレートトレーニング, 第2回日本美容抗加齢医学会, 横浜シンポジア, 横浜, 2007.11.18
- ・ 酒井成身 (座長) : 一般演題, 日本美容外科学会第101回学術集会, 新宿クイントビル, 東京, 2008.1.19
- ・ 酒井成身 (座長) : パネルディスカッション 眼瞼下垂, 第19回眼瞼・義眼床研究会, 京都大学, 京都, 2008.2.16
- ・ Shigemi Sakai : Cosmetic breast reconstruction by the Extended Latissimus Dorsi Myocutaneous Flap (ELD-MC flap), 19th congress International Society of Aesthetic Plastic Surgery, Melbourne Convention Centre, Melbourne, 2008.2.11
- ・ 横瀬道絵, 角田伸代, 稲山貴代, 池川繁樹, 佐久間肇, 樋口幸治, 繁田文子, 内山久子, 加園恵三 : 脊髄損傷者における食生活の実態調査, 第61回日本栄養・食糧学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2007.5.18
- ・ Yokose Y, Tunoda N, Inayama T, Ikegawa S, Oka J, Sakuma H, Higuti Y, Sigeta F, Utiyama H, Kasono K : Body characteristics and resting energy expenditure in persons with spinal cord injury, The 10<sup>th</sup> Asian Congress of Nutrition, International Convention Center, Taipei, Taiwan, 2007.9.11
- ・ 佐久間肇, 樋口幸治, 中澤公孝 : 内臓脂肪蓄積が脊髄損傷者の生活習慣病危険因子に及ぼす影響, 第62回日本体力医学会, ノースアジア大学, 秋田県秋田市, 2007.9.16
- ・ 樋口幸治, 佐久間肇, 中澤公孝 : 脊髄損傷後の加齢 (受傷経過年数) が生活習慣病危険因子に及ぼす影響 定期的な車いすスポーツ活動との関係, 第18回臨床スポーツ医学会, ビーコンプラザ, 大分県別府市, 2007.11.3

- ・ 佐久間肇 (座長) : メタボリック症候群, 第42回日本脊髄障害医学会, 大宮ソニックシティビル, 埼玉県さいたま市, 2007.11.10
- ・ 佐久間肇, 樋口幸治, 中澤公孝, 石井 昇, 肥沼武司: 脊髄損傷者のメタボリック症候群, 第42回日本脊髄障害医学会, 大宮ソニックシティビル, 埼玉県さいたま市, 2007.11.10
- ・ 齋木文子, 大熊雄祐, 佐久間肇, 赤居正美, 岩谷 力: 運動習慣がNTx/Creatと骨密度に与える影響について, 第42回日本脊髄障害医学会, 大宮ソニックシティビル, 埼玉県さいたま市, 2007.11.10
- ・ 西岡亮治, 佐久間肇, 山崎裕功, 牛山武久, 江藤文夫, 岩谷 力: 脊髄損傷者の生活習慣病予防における人間ドック形式介入研究の事前リスクチェックとしての下肢超音波検査, 第42回日本脊髄障害医学会, 大宮ソニックシティビル, 埼玉県さいたま市, 2007.11.10
- ・ 横瀬道絵, 角田伸代, 稲山貴代, 佐久間肇, 樋口幸治, 加園恵三: 脊髄損傷者におけるメタボリックシンドロームのリスクと食生活, 第42回日本脊髄障害医学会, 大宮ソニックシティビル, 埼玉県さいたま市, 2007.11.10
- ・ Yokose Y, Tsunoda N, Inayama T, Ikegawa S, Oka J, Sakuma H, Higuchi Y, Sigeta H, Utiyama H, Kasono K : BODY CHARACTERISTICS AND DIETARY LIFE IN PERSONS WITH SPINAL CORD INJURY, The 39<sup>th</sup> Conference of the Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH), Kagawa Nutrition University, Sakado, Saitama, 2007.11.24
- ・ 磯部伸介, 佐藤敦久, 大山邦雄: ACE阻害薬治療中の咳の副作用の現状と対策—継続投与, 併用療法にて軽快, 消失する—, 第50回日本腎臓学会学術総会, アクトシティ浜松, 静岡県浜松市, 2007.5.25
- ・ 佐藤敦久, 磯部伸介, 大山邦雄: 少量抗アルドステロン薬の抗アルブミン尿効果—慢性腎不全患者への新しい腎保護薬としての位置づけへ—, 第50回日本腎臓学会学術総会, アクトシティ浜松, 静岡県浜松市, 2007.5.25
- ・ 佐藤敦久: アルドステロンとCKD (慢性腎臓病) —アルドステロンブロッカー—どこまで使えるか—, 第80回日本内分泌学会学術総会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.6.15
- ・ 佐藤敦久: 注目されるCKD対策—高性能ACE阻害薬をいかに使えるか—, 日本腎臓学会創立50周年記念事業九州CKD学術講演会, リーガロイヤルホテル小倉, 福岡県小倉市, 2007.6.26
- ・ 佐藤敦久: 注目されるCKD対策—高性能ACE阻害薬をいかに使えるか—, 日本腎臓学会創立50周年記念事業大阪CKD学術講演会, ヒルトン大阪, 大阪府大阪市, 2007.7.19
- ・ 佐藤敦久: 丸山達也: 腎保護薬としての抗アルドステロン薬—どこまで適応か?—, 第30回日本高血圧学会総会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県那覇市, 2007.10.26
- ・ 佐藤敦久 (座長) : クリニカルアワー13 ACE阻害薬とARBの心血管イベント抑制効果, 第80回日本内分泌学会学術総会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.6.15
- ・ 佐藤敦久 (座長) : 臨床・薬物療法セッション, 第30回日本高血圧学会総会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県那覇市, 2007.10.26
- ・ 佐藤敦久: 選択的アルドステロンブロッカー, エプレレノン; 慢性腎臓病 (CKD) 対策にどう用いるか, 第72回日本循環器学会総会・学術集会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2008.3.29
- ・ 杉浦芳章 (座長) : 診療と研究のビューポイント, 第43回日本腹部救急医学会, 京王プラザホテル, 東京, (2007.3.9)
- ・ 坂野孝史, 杉浦芳章 他: 術後開腹ドレナージを要した横隔膜下膿瘍の2例, 第43回日本腹部救急医学会, 京王プラザホテル, 東京, (2007.3.9)
- ・ 石塚隆充, 杉浦芳章 他: 光硬化性キトサンゲルの腫瘍増殖抑制効果, 第107回日本外科学会, 大阪国際会議場, 大阪, 2007.4.12
- ・ 杉浦芳章, 志水正史 他: 外腸骨動脈を臍帯静脈グラフトで置換し20年間開存した1例, 第35回日本血管外科学会,

ウェスティンナゴヤキャッスル, 名古屋, 2007.4.24

- ・小川 均, 杉浦芳章 他: 胆嚢十二指腸瘻の2例, 第19回日本肝胆膵外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.7
- ・熊野 勲, 杉浦芳章 他: 肝胆膵領域治療中に血漿交換した症例の検討, 第19回日本肝胆膵外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.7
- ・堀尾卓矢, 杉浦芳章 他: 門脈合併切除した膵癌症例の検討, 第19回日本肝胆膵外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.7
- ・堀尾卓矢, 杉浦芳章 他: LAP-C後の胆管狭窄の3例, 第19回日本肝胆膵外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.8
- ・杉浦芳章, 吉住 豊 他: 挿入法の膵腸吻合における貫通縫合の工夫, 第19回日本肝胆膵外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.8
- ・杉浦芳章 (座長): 膵癌 (3), 第19回日本肝胆膵外科学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.8
- ・武田克彦 (座長): 高次脳機能障害治療への集学的アプローチ, 第48回日本神経学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.5.16
- ・武田克彦, 萬年 徹: 健常人の中から認知症を見出す試み, 第48回日本神経学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.5.16
- ・海野聡子, 武田克彦: 重度の右半側空間無視を呈した左後大脳動脈領域梗塞, 第181回日本神経学会関東地方会, 全共連ビル, 東京都千代田区, 2007.6.2
- ・海野聡子, 武田克彦: 純粋語唾の経過について, 第44回日本リハビリテーション医学会学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.6.6
- ・海野聡子, 水野智之, 武田克彦: Brodmann1,2,3野に脳梗塞を生じた47歳男性例, 第182回日本神経学会関東地方会, 都市センターホール, 東京都千代田区, 2007.9.1
- ・野間 桃, 海野聡子, 水野智之, 武田克彦: 読解が良好なWernicke失語を呈した50歳男性例, 第183回日本神経学会関東地方会, 都市センターホール, 東京都千代田区, 2007.12.1
- ・武田克彦: 高次脳機能障害リゾースの構築, 日本医療マネジメント学会第8回東京地方会学術集会, 国際医療福祉大学大学院東京サテライトキャンパス, 東京都港区, 2008.2.16
- ・水野智之, 海野聡子, 武田克彦: 外傷性くも膜下出血後左側頭極をふくむ病変により固有名詞呼称障害 (proper name anomia) を呈した77歳女性例, 第184回日本神経学会関東地方会, 砂防会館, 東京都千代田区, 2008.3.1
- ・山崎智浩, 平山 昭, 佐藤 隆, 縄野 繁, 羽石秀昭: 呼吸同期PETにおける呼吸補正法—臨床データへの適用—, 第26回日本医用画像工学会大会, つくば国際会議場, 茨城県, 2007.7.20
- ・中村嘉彦, 辻村幸弘, 北坂孝幸, 森 健策, 末永康仁, 縄野 繁: 局所濃淡構造処理を用いた腹部X線CT像からのリンパ節抽出手法の検討, 第26回日本医用画像工学会大会, つくば国際会議場, 茨城県, 2007.7.21
- ・本木達也, 清水昭伸, 小畑秀文, 縄野 繁: 3次元腹部CT像からの複数臓器抽出手法の開発—造影CT像への適用—, 第26回日本医用画像工学会大会, つくば国際会議場, 茨城県, 2007.7.21
- ・田中慎也, 清水昭伸, 小畑秀文, 縄野 繁, 篠崎賢治: 3次元腹部CT像を用いた肝臓領域抽出手法の改良, 第26回日本医用画像工学会大会, つくば国際会議場, 茨城県, 2007.7.21
- ・田中慎也, 清水昭伸, 古川大介, 小畑秀文, 縄野 繁, 篠崎賢治: 最大事後確率法による三時相CT像からの肝臓領域抽出処理, 第17回コンピュータ支援画像診断学会大会, 広島大学霞キャンパス, 広島県, 2007.11.3
- ・久保統規, 清水昭伸, 古川大介, 小畑秀文, 縄野 繁: 3次元腹部CT像からの複数臓器同時抽出のための腹腔内標準化処理の開発, 第17回コンピュータ支援画像診断学会大会, 広島大学霞キャンパス, 広島県, 2007.11.3
- ・坂下牧子, 北坂孝幸, 森 健策, 末永康仁, 縄野 繁: 4時相の3次元腹部CT像を用いた膵臓領域抽出手法の開発, 第17回コンピュータ支援画像診断学会大会, 広島大学霞キャンパス, 広島県, 2007.11.3

- ・小田昌宏, 北坂孝幸, 森 健策, 末永康仁, 高山哲治, 高島博嗣, 森 雅樹, 名取 博, 縄野 繁: 局所濃淡構造解析によるdigital bowel cleaningの不要な残渣造影CT像からの大腸ポリープ検出手法, 第17回コンピュータ支援画像診断学会大会, 広島大学霞キャンパス, 広島県, 2007.11.3
- ・小野木雄三: 医療安全のための臨床意志決定支援, 診療ガイドラインの役割, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.23
- ・小野木雄三: 電子的診療ガイドラインへの禁止医療行為の追加, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.24
- ・小野木雄三: 知識処理と論理学, 第27回医療情報学連合大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.11.25
- ・折口信人, 北島政樹: 子宮筋腫により両側深部静脈血栓症を発症した1例, 第48回日本脈管学会総会, ホテルブエナビスタ, 長野県松本市, 2007.10.25
- ・久保田啓介, 三浦敬史, 出口倫明, 加藤亜裕, 黒田純子, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一: 鼠径部ヘルニア分類の有用性と問題点の検討, 第5回日本ヘルニア研究会 (シンポジウム), アクトシティ浜松, 浜松, 2007.4.7
- ・三浦敬史, 久保田啓介, 出口倫明, 加藤亜裕, 黒田純子, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一: 内ソケイヘルニア再々発根術後の創部にMRSA感染をきたした1例, 第5回日本ヘルニア研究会, アクトシティ浜松, 浜松, 2007.4.7
- ・黒田純子, 久保田啓介, 三浦敬史, 加藤亜裕, 出口倫明, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一: 食道癌術後胃管潰瘍の心囊穿孔症例の1例, 第61回日本食道学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.6.22
- ・久保田啓介 (座長): 食道 症例2, 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.7.18
- ・中田和智子, 吉田 昌, 渡邊義敬, 山本夏代, 小山秀彦, 黒田純子, 久保田啓介, 諏訪達志, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一, 北島政樹, 板橋正幸: 診断に苦慮した胃隆起性病変の一例, 第24回文京消化器内視鏡研究会, 大正製薬株式会社, 東京, 2007.8.2
- ・Tatsushi Suwa: Our practical procedure for laparoscopy-assisted distal gastrectomy with lymph nodes dissection, Society of Gastroenterological and Endoscopic Surgery, Paris Las Vegas Hotel, Las Vegas NV, USA, 2007.4.19
- ・諏訪達志: 胃食道逆流症の腹腔鏡下手術とその適応についての検討, 第73回日本消化器内視鏡学会総会, 高輪プリンスホテル, 東京, 2007.5.10
- ・捨田利外茂夫, 佐々木貴浩, 岡田健一, 玉田智之, 佐藤知美, 諏訪達志, 内田智夫, 古内孝幸, 竹中能文, 佐久間正祥: Functional end to end法の関与が示唆された横行結腸癌吻合部再発の1例, 日本消化器外科学会, 2007.7
- ・玉田智之, 諏訪達志, 岡田健一, 佐々木貴浩, 捨田利外茂夫, 内田智夫, 佐藤宏喜, 古内孝幸, 竹中能文, 佐久間正祥: 胃癌切除不能例に対するTS-1単独療法の効果についての検討, 日本消化器外科学会, 2007.7
- ・諏訪達志, 佐久間正祥, 竹中能文, 古内孝幸, 佐藤宏喜, 内田智夫, 捨田利外茂夫, 佐々木貴浩, 岡田健一, 玉田智之, 杉浦芳章, 北島政樹: 腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 (D1+β) の簡略化の工夫, 第62回日本消化器外科学会総会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.7.19
- ・Tatsushi Suwa: Our rational procedure in laparoscopy-assisted distal gastrectomy with lymph nodes dissection for early gastric cancer, ISS Lecture 32<sup>nd</sup> Annual Scientific Meeting of the Royal College of Surgeons of Thailand, Ambassador City Jomtien, Choburi, Thailand, 2007.7.30
- ・Tatsushi Suwa: Our rational procedure in laparoscopy-assisted distal gastrectomy with lymph nodes dissection for early gastric cancer, International Surgical Week The 42<sup>nd</sup> World Congress of the International Society of Surgery, Montreal Convention Center, Montreal, Canada, 2007.8.28
- ・佐藤知美, 佐藤宏喜, 佐久間正祥, 竹中能文, 古内孝幸, 内田智夫, 捨田利外茂夫, 諏訪達志, 岡田健一, 玉田智之, 堀眞佐男: 当院における非浸潤性乳管癌 (DCIS) の検討, 慶應医学会, 2007.9



- ・長瀬清亮, 長束美貴, 本多英俊, 林 和, 池田徳彦, 加藤治文: 中枢気道粘膜病変, 第17回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会, 福島, 福島, 2007.4.22
- ・坪井正博, 高橋 充, 林 和, 佐治 久, 角田佳彦, 宮島邦治, 内田 修, 大平達夫, 平野 隆, 加藤治文: Endobronchial hamartomaに対する経気管支的核出術 Mucosa-lifting techniqueの応用, 第30回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.6.7
- ・井上達哉, 坪井正博, 佐治 久, 一ノ瀬修二, 高橋 充, 林 和, 梶原直央, 大平達夫, 平野 隆, 加藤治文: 当科での超音波気管支鏡下吸引細胞診 (EBUS-TBAC) の成績, 第30回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 東京ドームホテル, 東京, 2006.6.7
- ・長瀬清亮, 坪井正博, 本多英俊, 長束美貴, 白田実男, 林 和, 大平達夫, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: 最近1年間のOCT (optical coherence tomography: 光干渉断層法) 実施症例の検討, 第30回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.6.8
- ・長瀬清亮, 坪井正博, 本多英俊, 白田実男, 林 和, 大平達夫, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: OCT (optical coherence tomography: 光干渉断層法) による中枢気道病変に対する診断技術, 第32回日本外科系連合学会学術集会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.6.22
- ・池田徳彦, 林 和, 岩崎賢太郎, 梶原直央, 内田 修, 宮島邦治, 大平達夫, 坪井正博, 平野 隆, 加藤治文: 末梢小型肺癌のマネージメント, 第32回日本外科系連合学会学術集会, 京王プラザホテル, 東京, 2007.6.23
- ・Ikeda N, Honda H, Hayashi A, Kakihana M, Tsuboi M, Iwasaki K, Ohira T, Hirano T, Kato H : Severe dysplasia detected on AFB, 12<sup>th</sup> World Conference on Lung Cancer, Seoul, Korea, 2007.9.3
- ・三浦弘規: 気管傍郭清時の気管血流維持の工夫, 日本頭頸部癌学会, 横浜, 神奈川県, 2007.6.15
- ・濱宇津愛子, 蘆田龍一, 久保正英, 岡崎みさと, 宮本礼子, 師田 暁, 吉本賢隆, 渡邊孝宏: 乳癌に合併した皮膚筋炎の1例, 第71回日本皮膚科学会東京支部総会, ANAインターコンチネンタルホテル, 東京都港区, 2007.2.9
- ・渡邊雄介 (座長): 第14群 音声外科II, 第53回日本音声言語医学会, 所沢, 2007.10.27
- ・本橋 玲, 渡嘉敷亮二, 平松宏之, 中村珠理, 船戸宣利, 渡邊雄介, 鈴木 衛: 片側声帯麻痺に対する新しい披裂軟骨内転術-fenestration approach-, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1
- ・中村一博, 平松宏之, 吉田知之, 清水 颯, 清水雅明, 渡邊雄介, 鈴木 衛: 性同一性障害に対する甲状軟骨形成術4型の術中音声分析, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1
- ・中村一博, 吉田知之, 塚原清彰, 長谷川剛, 清水雅明, 山田哲也, 渡邊雄介: 性同一性障害に対する甲状軟骨形成術4型の術中音声分析, 第23回西日本音声外科研究会, 松山, 2008.1.12
- ・渡邊雄介 (座長, 司会): 特別講演1, 第3回Dear Conference, 東京, 2008.2.2
- ・渡辺茂和, 土田沙織, 安江麻美, 山上 潤, 土屋雅勇, 木津純子, 堀 誠治: Theophyllineおよびxanthine誘導体の抗炎症作用に関する研究, 第17回日本医療薬学会年会, 前橋総合福祉会館, 群馬県前橋市, 2007.9.29
- ・前田真之, 上島健太郎, 田嶋博樹, 渡辺茂和: 抗菌薬適正使用に向けた院内分離菌の動向と注射抗菌薬の使用状況に関する検討, 第17回日本医療薬学会年会, 前橋総合福祉会館, 群馬県前橋市, 2007.9.29
- ・田嶋博樹, 上島健太郎, 前田真之, 渡辺茂和: 国際医療福祉大学三田病院薬剤部におけるがん化学療法への取り組み, 第17回日本医療薬学会年会, 前橋総合福祉会館, 群馬県前橋市, 2007.9.30
- ・上島健太郎, 田嶋博樹, 前田真之, 渡辺茂和: ポケット版オピオイドレスキュー簡易変換表の配布と処方変化に関する検討, 第17回日本医療薬学会年会, 前橋総合福祉会館, 群馬県前橋市, 2007.9.30
- ・上島健太郎, 田嶋博樹, 森 玄, 前田真之, 小澤康久, 渡辺茂和: オピオイドレスキュー簡易変換表と処方変化に関する検討, 第1回日本緩和医療薬学会年会, 星薬科大学, 東京都品川区, 2007.10.21

### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 朝波惣一郎，矢郷 香，河奈裕正，中溝ひかる，小川 聡，片岡利之，桑澤隆補，扇内秀樹，佐藤一道，山根源之，村岡 渡，大泰司正嗣，臼田 慎，笠崎安則，大鶴 洋，安居孝純，鬼沢勝弘，佐藤豊彦，池内 忍，岩淵博史，橋本和彦，潮田高志，山田素子，西原 昇：抗凝固療法患者の抜歯も関する医師を含めたガイドライン作成案について，歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い
- ・ 太田恵一朗：進行胃癌に対する漢方治療の有用性に関する研究，平成19年度厚生労働科学研究費補助金（医療安全，医療技術評価総合研究事業），H18-医療，一般-038，継続
- ・ 佐久間肇，中澤公孝，樋口幸治：脊髄損傷者の生活習慣病・二次障害予防のための適切な運動処方・生活指導に関する研究，厚生労働科学研究費補助金，継続（最終年度）
- ・ 縄野 繁：デジタル画像処理によるがん診断支援システムの開発と利用に関する研究，厚生労働省がん研究助成金，分担，19-25，採択
- ・ 小野木雄三：診療ガイドラインによる診療内容確認に関する研究，医療安全・医療技術評価総合研究事業，厚生労働省，H18-医療-一般-031，継続
- ・ 渡邊孝宏：伝染性難属腫ウイルスDNAポリメラーゼの機能解析，科研費基盤研究(c)，18591235，継続

### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 渡辺茂和：博士（薬学），Theophyllineの抗炎症作用に関する研究，2008.3.31

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 寺田総一郎：日本内科学会（認定医，指導医），日本肝臓学会（専門医）（東部会評議員），日本消化器病学会（専門医）（関東地方会評議員），日本消化器内視鏡学会（専門医，指導医）（関東地方会評議員），日本感染症学会（専門医），日本人間ドック学会（人間ドック認定指定医），日本医師会（認定産業医），日本消化器免疫学会（評議員），日本臨床分子形態学会（評議員）
- ・ 真船健一：日本外科学会（指導医，専門医，認定医），日本胸部外科学会（指導医，認定医），日本消化器外科学会（指導医，専門医，認定医）（評議員），日本消化器病学会（指導医，専門医，認定医）（関東支部評議員），日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医，認定医）（評議員，雑誌編集委員会査読委員，関東支部評議員），日本癌治療学会（臨床試験登録医），日本臨床腫瘍学会（暫定指導医），日本消化管学会（胃腸科認定医）（評議員），ICD制度協議会（認定ICD（感染制御医）），日本がん治療認定医機構（暫定教育医），日本臨床外科学会（評議員），日本外科系連合学会（評議員），日本消化器癌発生学会（評議員），日本胃癌学会（評議員，財務委員），日本食道学会（評議員，保険診療検討委員），日本消化管学会（評議員），日本癌学会，日本超音波医学会，日本高齢消化器医学会，日本腹部救急医学会，日本内視鏡外科学会，日本乳癌学会，日本大腸肛門病学会，日本外科感染症学会，日本環境感染学会，日本静脈経腸学会，American College of Surgeons，American Association for Cancer Research，American Society of Clinical Oncology，Society of Surgical Oncology，New York Academy of Science，International Society for Diseases of Esophagus，International Society of Surgery，International Gastric Cancer Association，World Gastroenterology Organization，International College of Surgeons，日本エンドトキシン研究会（世話人），胃分泌研究会，食道・胃外科フォーラム（代表幹事）
- ・ 朝波惣一郎：日本口腔外科学会（指導医・専門医）（理事），日本顎顔面インプラント学会（理事），日本有病者歯科医療学会（理事），日本小児口腔外科学会（理事），日本口腔科学会（評議員），日本頭頸部学会（評議員），日本口腔粘膜学会（評議員）
- ・ 安達実樹：日本外科学会（指導医，専門医），日本消化器外科学会（指導医，認定医），日本臨床外科学会（評議

- 員), 日本消化器病学会(指導医, 専門医), 日本消化器内視鏡学会(専門医), 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本大腸肛門病学会(指導医, 専門医)(評議員, 用語委員), International Society of University School of Colon and Rectal Surgeons (Active Member), 日本外科系連合学会(評議員), 日本腹部救急医学会(評議員), 日本内視鏡外科学会, 日本成人病(生活習慣病)学会(評議員), 日本臨床腸内微生物学会(評議員), 日本胃癌学会, 日本救急学会, 日本家族性腫瘍学会, 日本自己血輸血学会, 日本消化器癌発生学会, 日本消化器病学会関東支部例会(評議員), 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 日本外科感染症学会
- ・ 荒川 孝: 日本尿路結石症学会(理事)
  - ・ 岩崎康夫: 日本脳神経外科学会(専門医), 日本小児神経外科学会(世話人, 機関紙査読委員), 日本こども病院神経外科医会(元会長, 世話人), 日本脳神経外科コンgres, 日本小児神経学会, 日本二分脊椎研究会
  - ・ 大東貴志: 日本泌尿器科学会(専門医, 指導医), 日本腎臓学会(認定専門医), 日本透析学会(認定医), 日本Endourology・ESWL学会(泌尿器腹腔鏡技術認定医)(評議員), 日本内視鏡外科学会(技術認定医), 日本癌学会, 日本癌治療学会, アメリカ泌尿器科学会, アメリカ癌学会, 国際泌尿器科学会
  - ・ 奥田博明: 日本内科学会(指導医, 認定内科医), 日本消化器病学会(指導医, 専門医)(評議員), 日本肝臓学会(指導医, 専門医)(評議員), 日本消化器内視鏡学会, 日本人間ドック学会, 日本消化器がん検診学会, 日本静脈経腸栄養学会, 日本消化吸収学会(評議員), 日本胆道学会, 日本ビタミン学会, 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本肝癌研究会, アルコール医学生物学会, 日本医師会(認定産業医), 世界消化器病学会(OMGE), 国際肝臓学会(IASL), 米国肝臓学会(AASLD), アジア太平洋肝臓学会(APASL)
  - ・ 太田恵一朗: 日本外科学会(指導医, 専門医, 認定医), 日本消化器外科学会(指導医, 専門医, 認定医, 消化器がん外科治療認定医)(評議員), 日本胃癌学会(評議員, 企画広報委員, 規約委員), 日本臨床外科学会(評議員), 日本外科系連合学会(フェロー会員), 日本緩和医療学会(評議員, ガイドライン作成委員), 日本リンパ学会(評議員), 日本東洋医学会(指導医, 専門医), 日本癌治療学会(臨床試験登録医), 日本死の臨床研究会(世話人), 癌とリンパ節研究会(幹事), 胃外科・術後障害研究会(施設代表者), 日本がん治療認定医機構(暫定教育医), 日本音楽医療研究会(世話人), 外科漢方研究会(世話人), 日本静脈経腸栄養学会(TNT研修修了)
  - ・ 酒井成身: 日本形成外科学会(専門医), 日本美容外科学会(専門医)(常任理事), 日本外科系連合会(評議員), 日本乳癌学会(評議員), 日本頭蓋顎顔面外科学会(評議員)
  - ・ 佐久間肇: 日本内科学会(認定医, 専門医), 日本リハビリテーション医学会(認定医, 専門医), 日本神経学会(専門医), 日本消化器内視鏡学会(専門医)
  - ・ 佐藤敦久: 日本内科学会(指導医, 専門医, 認定医, 認定内科医資格認定試験問題作成委員, 認定内科専門医資格認定試験問題作成委員), 日本腎臓学会(専門医)(学術評議員), 日本内分泌学会(指導医, 専門医, 第80回学術総会一般演題選定委員)(代議員), 日本高血圧学会(高血圧認定施設指導医, 第31回学術総会一般演題選定委員)(評議員), 日本心血管内分泌代謝学会(評議員), 日本結合組織学会(評議員)
  - ・ 杉浦芳章: 日本肝胆膵外科学会(特別会員), 日本血管外科学会(特別会員), 日本癌治療学会(功労会員)
  - ・ 高山 豊: 日本老年精神医学会(認定専門医)(広報委員), 日本精神神経学会, 日本神経心理学会, 日本高次脳機能学会, 日本核医学会
  - ・ 武田克彦: 日本神経内科学会(専門医)(評議員), 日本内科学会(認定内科医), 日本リハビリテーション学会(認定臨床医)
  - ・ 縄野 繁: 日本医学放射線学会(放射線科専門医)(代議員), 日本核医学会(核医学専門医)(PET核医学認定医), コンピュータ支援画像診断学会(副会長), 日本医用画像工学会(常任幹事), 日本磁気共鳴医学会(評議員), 乳癌画像研究会(世話人), 北米放射線学会
  - ・ 小野木雄三: 日本医療情報学会, American Medical Informatics Association, 日本医学放射線学会(専門医), 日本放射

- 線腫瘍学会，情報処理学会（自然言語処理研究会），日本医用画像工学会，日本VR医学会（幹事）
- ・ 折口信人：日本脈管学会（評議員），日本血管外科学会，日本外科学会（専門医），日本静脈学会，日本心臓血管外科学会（国際会員），日本消化器外科学会
  - ・ 久保田啓介：日本外科学会（認定医，指導医），日本消化器外科学会（認定医，専門医，指導医），日本消化器内視鏡学会（認定医，専門医，指導医），日本消化器病学会（専門医），日本外科感染症学会（ICD），日本食道学会（評議員），東京UGI研究会（世話人）
  - ・ 諏訪達志：日本外科学会（指導医，専門医），日本消化器外科学会（指導医，専門医，消化器がん外科治療認定医），日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医），日本消化器病学会（専門医），日本内視鏡外科学会（技術認定医），日本胸部外科学会，日本癌治療学会，日本食道学会（評議員），日本胃癌学会，日本医師会（認定産業医），American Association for Cancer Research（Active Member），The Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons（Active Member），日本がん治療認定医機構（暫定教育医）
  - ・ 林 和：日本外科学会（専門医，指導医），日本胸部外科学会（認定医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医），日本肺癌学会（渉外委員会禁煙推進小委員会委員），日本移植学会，日本呼吸器学会，日本癌学会，日本癌治療学会，日本気管食道科学会，日本臨床外科学会，日本レーザー学会，日本内視鏡外科学会，日本臨床細胞学会，日本乳癌学会，日本臨床腫瘍学会，日本外科感染症学会，日本緩和療法学会，日本がん治療認定医機構（暫定教育医）
  - ・ 渡邊孝宏：日本皮膚科学会（専門医），日本研究皮膚科学会（評議員），アメリカ皮膚科アカデミー（国際会員）
  - ・ 渡邊雄介：日本喉頭科学会（査読委員），日本音声言語医学会（評議員）
  - ・ 渡辺茂和：日本医療薬学会（認定薬剤師，指導薬剤師），日本薬学会，日本緩和医療薬学会，日本薬剤師研修センター（認定薬剤師）
  - ・ 田嶋博樹：日本臨床腫瘍学会，日本薬学会，日本医療薬学会（認定薬剤師）

## 国際医療福祉大学病院

### 著書

- ・ 谷 禮夫：ケアマネジャー試験合格対策2007，高齢者保健医療の基礎知識，120-175，杏林図書，2007.5
- ・ 橋本雅章：わたしのここから第5号，脳の案内役ーナビゲーションを用いた脳の手術，24-25，オフィス東和，（2007.3.1）
- ・ 橋本雅章：わたしのここから第6号，痛みのメカニズム（前編），22-23，オフィス東和，2007.9.1
- ・ 岩本晃明（分担執筆）：生殖医療ガイドライン2007（日本生殖医学会編），精液検査，150-152，金原出版株式会社，2007
- ・ 岩本晃明（分担執筆）：NEW泌尿器科学（西沢 理，松田公志，武田正之 編），精索静脈瘤，266-267，南江堂，2007
- ・ 岩本晃明（分担執筆）：生殖医療ガイドライン2007（日本生殖医学会編），精索静脈瘤，85-87，金原出版株式会社，2007
- ・ 江口光興：小児がんの診断と治療，良性腫瘍，325-326，診断と治療社，2007
- ・ 加藤宏之（分担執筆）：脳卒中に対する標準的理学療法介入，脳卒中になったら，まず何が行われるの？脳卒中の標準治療，11-23，文光堂，2007

- ・ 柳田 薫：生殖医療ガイドライン2007（日本生殖医学会編），不妊の治療 顕微授精，230-231，金原出版，2007.8
- ・ 吉村泰典，苟原 稔，柳田 薫：生殖医療ガイドライン2007（日本生殖医学会編），最適な不妊治療の選択指針，301-310，金原出版，2007.8
- ・ 柳田 薫：専門医に聞く最新の臨床 産婦人科，顕微授精，180-182，中外出版，2007.4
- ・ 柳田 薫：図説よくわかる臨床不妊症学，ICSIの基礎研究，28-40，中外出版，2007.9
- ・ 柳田 薫，片寄治男，藤倉洋子：図説よくわかる臨床不妊症学，ICSIの実際，213-223，中外出版，2007.9
- ・ 片寄治男（分担執筆）：臨床婦人科産科 増大号 産婦人科ベストナビゲーション，【男性不妊】薬物療法，544-545 医学書院，2007
- ・ 片寄治男（分担執筆）：臨床婦人科産科 増大号 産婦人科ベストナビゲーション，【男性不妊】無精子症の治療 546-547，医学書院，2007
- ・ 片寄治男（分担執筆）：臨床婦人科産科 増大号 産婦人科ベストナビゲーション，【男性不妊】性交障害，548-549 医学書院，2007

## 原著論文

- ・ Nakazawa R, Tanaka M, Takahashi T, Kobayashi S, Iwamoto T : Effects of castration and testosterone administration on angiotensin II receptor mRNA expression and apoptosis-related proteins in rat urinary bladder, *Endocrine Journal*, 54, 211-219, 2007.5
- ・ 柳田 薫，藤倉洋子，片寄治男，岩本晃明：不妊因子からみたARTの成績，重症男性不妊症例に焦点をあてて，臨床看護，33，825-829，2007.5
- ・ 岩本晃明，松下知彦：男性不妊症の療法—射精障害・勃起障害のストラテジー，臨婦産，61，1471-1477，2007
- ・ 岩本晃明，吉池美紀，野澤資亜利：精液検査標準化法 正しく行うにはどうするか—他施設との比較を行えるように—，*Modern Physician*, 27, 1593-1600, 2007
- ・ 中野 透，辻本文雄，岩本晃明，高木正之，野澤資亜利，高橋 剛：超音波検査にて観察される精巣内微細石灰化の病理学的検討，聖マリアンナ医大誌，35，245-254，2007
- ・ 岩本晃明：男性不妊症の非手術療法の治療ストラテジー—無精子症からの精子出現をめざして—，医学のあゆみ，223，61-68，2007.10
- ・ Yamakawa K, Yoshida K, Nishikawa H, Kato T, Iwamoto T : Comparative analysis of interindividual variations in the seminal plasma proteome of fertile men with identification of potential markers for azoospermia in infertile patients, *J Andrology*, 28, 858-865, 2007
- ・ Iwamoto T, Working group of the Committee for LOH Guideline : Guideline for LOH in Japan :A biological marker for LOH diagnosis is serum free Testosterone, *The Aging Male*, 10 Supplement 1, 5-6, 2007
- ・ Amano T, Imao T, Takemae K, Iwamoto T, Yamakawa K, Baba K, Nakanome M, Sugimori H, Tanaka T, Yoshida K, Katabami T, Tanaka M : Profile of Serum Testosterone Levels After Application of Testosterone Ointment (Glowmin) and Its Clinical Efficacy in Late-Onset Hypogonadism Patients., *J Sex Med*, 2007.12 [Epub ahead of print]
- ・ Tanaka S, Watanabe Y, Kato H, Araki T : Immunohistochemical changes related to ageing in the mouse hippocampus and subventricular zone, *Mech Ageing Dev*, 128, 303-310, 2007
- ・ Hayakawa N, Kato H, Araki T : Age-related changes of astrocytes and microglia in the mouse hippocampal CA1 sector, *Mech Ageing Dev*, 128, 311-316, 2007
- ・ Takeda K, Gomi Y, Imai I, Shimoda N, Hiwatari M, Kato H : Shift of motor activation areas during recovery from hemiparesis after cerebral infarction: a longitudinal study with near-infrared spectroscopy, *Neurosci Res*, 59, 136-144, 2007

- Takagi S, Hayakawa N, Kimoto H, Kato H, Araki T : Damage to oligodendrocytes in the striatum after MPTP neurotoxicity in mice, J Neural Transm, 114, 1553-1557, 2007
- Lee T-H, Yang J-T, Ko Y-S, Kato H, Itoyama Y, Kogure K : Influence of ischemic preconditioning on levels of nerve growth factor, brain-derived neurotrophic factor and their high-affinity receptors in hippocampus following forebrain ischemia, Brain Res, 1187, 1-11, 2008
- Shimoda N, Takeda K, Imai I, Kaneko J, Kato H : Cerebral laterality differences in handedness: a mental rotation study with NIRS, Neurosci Lett, 430, 43-47, 2008
- Watanabe Y, Kato H, Araki T : Protective action of neuronal nitric oxide synthase inhibitor in the MPTP mouse model of Parkinson's disease, Metab Brain Res, 23, 51-69, 2008
- Yazawa H, Yanagida K, Sato : Human round spermatids from azoospermic men exhibit oocyte-activation and Ca<sup>2+</sup> oscillation-inducing activities, Zygote, 15, 337-346, 2007.11
- Suzuki H, Ishikawa S, Satoh H, Ishikawa H, Sakai M, Yamamoto T, Onizuka M, Sakakibara Y : Preoperative CYFRA 21-1 levels as a prognostic factor in c-stage I non-small cell lung cancer, Eurpean J of Cardio-thoracic Surgery, 32, 648-652, 2007
- Onuki T, Ishikawa S, Yamamoto T, Ito H, Sakai M, Onizuka M, Sakakibara Y, Iijima T, Noguchi M, Ohara K : Pathologic radioresponse of preoperatively irradiated invasive thymomas, J of Thoracic Oncology, 3(3), 270-276, 2008
- 小貫琢哉, 稲垣雅春, 井口けさ人, 山本達生 : 自然気胸手術のステープルラインからの出血によると思われる血痰の1例, 胸部外科, 61, 164-167, 2008
- 片寄治男, 高山智子, 菅沼亮太, 林章太郎, 柳田 薫, 佐藤 章 : 精子核の質的評価と体外胚発生能, 日本哺乳動物卵子学会誌, 24(4), 153-160, 2007
- Ueda A, Hirayama A, Nagase S, Inoue M, Oteki T, Aoyama M, Yokoyama H : In vivo detection of intrinsic reactive oxygen species using acyl-protected hydroxylamine in puromycin nephrosis, Free Radical Research, 41(7), 823-828, 2007
- Oteki T, Nagase S, Hirayama A, Ueda A, Shimohata H, Yokoyama H, Yoshimura T : Nitric oxide protection against adriamycin-induced tubulointerstitial injury, Free Radical Research, 42(2), 154-161, 2008
- 静間 徹, 石渡一夫, 中澤博江, 長野正信, 盛 英三, 福山直人 : 黒酢もろみ末による大腸癌の抑制効果—ヒト大腸癌細胞を移植した動物モデルを用いて, 静脈経腸栄養, 22(3), 337-343, 2007.9
- 石渡一夫, 静間 徹, 中澤博江, 盛 英三, 福山直人 : 沖縄モズク由来アセチルフコイダンの癌抑制効果, 静脈経腸栄養, 22(4), 489-495, 2007.12
- 静間 徹 : Human herpesvirus 6の再活性化を伴ったEpstein-Barr virusによる伝染性単核症の1例, 感染症学雑誌, 82(1), 47-50, 2008.1

## 総説

- 柳田 薫 : 不妊治療と画像 2)経腔採卵, 産科と婦人科, 74(suppl), 175-180, 2007.4
- 柳田 薫, 藤倉洋子, 片寄治男, 岩本晃明 : 不妊因子からみたARTの成績, 重症男性不妊症例に焦点をあてて, 臨床看護, 33, 825-829, 2007.5
- 柳田 薫, 片寄治男, 藤倉洋子, 岩本晃明 : 顕微授精 (産婦人科診療Data Book), 産婦人科の実際, 56, 1639-1644, 2007.10
- 片寄治男, 高山智子, 菅沼亮太, 林章太郎, 柳田 薫, 佐藤 章 : 精子核の質的評価と体外胚発生能, J. Mamm. Ova. Res, 24, 153-160, 2007.10
- 柳田 薫, 高田智美 : 顕微授精での受精障害, 医学の歩み, 223, 85-89, 2007.10

- ・ 柳田 薫：不妊治療と遺伝子異常，臨床婦人科産科，61，1482-1487，2007.12

## 研究報告

- ・ 岩本晃明（研究代表者）H17年～18年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書：ヒト造精機能障害に関する精細管基底膜内糖蛋白の同定と機能解析，文科省科研費補助金報告書，2008.2

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 橋本雅章：脳の構造から見た心の健康，日創研 全国大会，栃木県総合文化センター，宇都宮市，2007.5.14
- ・ 橋本雅章：認知症と脳の病気の早期発見，西那須野商工会，いとう，那須塩原市，2007.11.21
- ・ 岩本晃明：男性性腺機能低下症（MHH）をどのように診断し，治療していくか，日本アンドロロジー学会第26回学術大会ランチョンセミナー，ディズニーアンバサダーホテル，千葉県浦安市，2007.7.6
- ・ 岩本晃明：自然妊娠を期待して無精子症／無精液症に対してどう対処するか，産婦人科臨床懇話会セミナー 不妊治療 2007，聖路加国際病院，東京中央区，2007.8.19
- ・ 岩本晃明：LOH症候群，男性更年期障害診療の手引き，日本泌尿器科学会東部総会卒後・生涯教育プログラム，札幌コンベンションセンター，北海道札幌，2007.8.31
- ・ 岩本晃明：男性不妊症の治療戦略－無精子症／無精液症からの精子出現を目指して－，日本受精着床学会 第3回ART生涯研修コース，仙台国際センター，宮城県仙台市，2007.9.1
- ・ 岩本晃明：男性不妊症の治療戦略 精子症/無精液症に対するの精子獲得の努力，群馬生殖医療研究会，群馬大学医学部病院，群馬県前橋市，2007.10.6
- ・ 加藤宏之：脳血管障害，平成19年度東北大学医学部4年次神経内科通論講義，仙台，2007.9.20
- ・ 加藤宏之：脳梗塞の再発予防と抗血小板剤，仙台中江病院病診連携研究会，仙台，2007.9.20
- ・ 加藤宏之：生活習慣と脳卒中，市民公開講座 脳卒中にならないために，大田原，2007.10.21
- ・ 村上厚文：外科医が行うPTAとその位置付け－下肢ASO治療の低侵襲化をめざして－，大塚製薬社内講演会，大塚製薬宇都宮支店，宇都宮，2007.7.6
- ・ 村上厚文：下肢閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療の早期および遠隔成績－シンポジウム4，第35回日本血管外科学会総会，ウエスティンナゴヤキャッスル，名古屋市，2007.5.24
- ・ 村上厚文：腸骨動脈領域CTO病変に対する血管内治療のtrouble shooting－シンポジウム－，第14回日本血管内治療学会総会，アルカディア市谷，東京，2007.7.27
- ・ 村上厚文：血管内手術の現状と展望－下肢ASO治療の低侵襲化をめざして－，田辺三菱製薬社内講演，田辺三菱宇都宮支店，宇都宮，2007.9.28
- ・ 村上厚文：閉塞性動脈硬化症に対する低侵襲治療－より効果的な低侵襲化をめざして－，薬師寺末梢血管疾患講演会，自治医科大学，栃木県，2008.1.11
- ・ 村上厚文：PDA疾患とvascular laboratoryの重要性－高まる検査技師の役割－，栃木検査技師講演会，国際医療福祉大学病院，栃木県，2008.2.29
- ・ 柳田 薫：シンポジウム 生殖医学の進歩と不妊治療への応用－女性不妊とその最近の治療指針，第27回日本医学会総会，大阪国際会議場，大阪市，2007.4.6
- ・ 柳田 薫：特別講演 日本ではじめてのICSIの成功，第48回日本哺乳動物卵子学会，アピオ甲府，甲府市，2007.5.26
- ・ 柳田 薫：シンポジウム ICSIのサイエンス，第26回日本アンドロロジー学会，ディズニーアンバサダーホテル，浦安，2007.7.6
- ・ 柳田 薫：特別講義 生殖補助医療の現状，新潟大学特別講義，新潟大学，新潟市，2007.8.2

- ・ 柳田 薫 (座長) : シンポジウム IVMFCにおけるニューテクノロジー2007, 第25回日本受精着床学会, 国際会議場, 仙台市, 2007.9.1
- ・ 柳田 薫 (主催) : 第10回日本IVF学会, 横浜国際会議場, 横浜, 2007.10.29-30
- ・ 柳田 薫 : 会長講演 受精障害, 第10回日本IVF学会, 横浜国際会議場, 横浜, 2007.10.29
- ・ 柳田 薫 (座長) : 第52回日本生殖医学会, 秋田キャッスルホテル, 秋田市, 2007.11.25
- ・ 柳田 薫 : 受精障害の基礎と臨床, 第4回日本受精着床学会ART生涯研修コース講演, 東京コンファレンスホール, 東京, 2007.2.24
- ・ 山本達生 : 栃木県から発信する新たな医薬品開発と薬学教育, 国際医療福祉大学薬学フォーラム, とちぎ福祉プラザ, 栃木県宇都宮市, 2007.11.18
- ・ 大橋一之, 内藤浩美, 牛山美江, 石下透江 : 口腔ケア, 栃木県看護協会研修会, 栃木県青年会館コンセーレ, 栃木県宇都宮市, 2007.12.4
- ・ 小川朋子 : 筋ジストロフィー症における遺伝子治療について, 栃木県筋ジストロフィー協会, 那珂川苑, 栃木県那珂川町, 2008.2.24
- ・ 両角和人, 片寄治男, 小宮ひろみ, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳町隆造 : シンポジウム5 ARTにおける基礎分野と産学連携 卵細胞質内精子注入法における精子先体酵素の胚発生への影響, 第25回日本受精着床学会総会・学術講演会, 仙台国際会館, 宮城県仙台市, 2007.8.30
- ・ 片寄治男 : シンポジウム3 胚発生における精子の関与, 第52回日本生殖医学会総会・学術講演会, 秋田県立文化センター, 秋田県秋田市, 2007.10.26
- ・ 片寄治男 : 不妊治療の最前線Ⅱ : 原因不明不妊症に関する基礎的研究, メディカルクリエーションふくしま2007 (広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化事業), ビックパレットふくしま, 福島県郡山市, 2007.11.17
- ・ 片寄治男 : 体外胚発生に及ぼす精子核クロマチンの影響, 第12回鹿児島ART研究会, ブルーウエーブイン鹿児島, 鹿児島県鹿児島市, 2008.3.29

## 学会発表

- ・ 谷 禮夫 (座長) : 上腹部症状に対する新たな治療戦略, 日本ディスペプシア研究会, 乃木温泉ホテル, 栃木県那須塩原市, 2007.9
- ・ 谷 禮夫 (座長, 当番世話) : 早期大腸癌内視鏡診療の最前線, 栃木県消化器内視鏡研究会, NHO栃木病院地域医療センター, 栃木県宇都宮市, 2007.11
- ・ 橋本雅章 (座長) : 地域医療連携会議, 那須郡市医師会, いわいや, 大田原市, 2007.11.12
- ・ 橋本雅章 (座長) : がん化学療法とチーム医療, 栃木県北化学療法セミナー, 国際医療福祉大学病院, 那須塩原市, 2007.10.26
- ・ 橋本雅章 (座長) : 医療におけるヒューマンエラー, 医療安全講演会, 国際医療福祉大学病院, 那須塩原市, 2007.11.9
- ・ 橋本雅章 (座長) : 外来化学療法の現状, 栃木県北化学療法セミナー, 国際医療福祉大学病院, 那須塩原市, 2007.11.22
- ・ 寺井一隆, 山川克典, 吉池美紀, 吉田 薫, 藤目 真, 岩本晃明 : 精子のSPMI結合性は精子無力症診断の新規マーカーとして有用である, 第98回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.4.15
- ・ 岩本晃明, 吉池美紀, 中目真理子, 野澤資亜利, 並木幹夫, 松田公志 : 精索静脈瘤手術療法の有効性評価のための臨床研究—参加施設の精液検査Quality controlの成績, 第98回日本泌尿器科学会総会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.4.17



- Iwamoto T, Nozawa S, Yoshiike M, Kondo F, Ikai Y, Takatori S, Akutsu K, Nakazawa H : Phthalate exposure and human semen parameters, 4<sup>th</sup> Copenhagen workshop on endocrine disrupters, Rigshospitalet (Copenhagen University), Denmark (Copenhagen), 2007.5
- Toppari J, Iwamoto T (Chairpersons) : Possible effects of endocrine disruptors on human populations, 4<sup>th</sup> Copenhagen workshop on endocrine disrupters, Rigshospitalet (Copenhagen University), Denmark (Copenhagen), 2007.5
- 吉田 薫, 吉池美紀, 野澤資亜利, 岩本晃明 : ヒト精囊分泌たんぱく質Semenogelinがswim-up後の精子運動に及ぼす影響, 日本アンドロロジー学会第26回学術大会, ディズニーアンバサダーホテル, 千葉県浦安市, 2007.7.5
- 吉田 薫, 山川克典, 西川裕之, 加藤智啓, 岩本晃明 : 精囊タンパク質における無精子症マーカー検索, 日本ヒトプロテオーム機構第5回大会, 日本科学未来館, 東京都江東区, 2007.7.30
- 松下知彦, 長谷川太郎, 中野 勝, 寺井一隆, 山川克典, 鈴木正康, 河村寿宏, 岩本晃明 : MD-TESEにて精子を採取できたクラインフェルター症候群の1例, 第36回日本泌尿器科学会神奈川地方会, 横浜ビューホテル, 神奈川県横浜市港北区, 2007.9
- 田中利明, 吉田勝美, 岩本晃明 : 一般健康男性を対象とした下部尿路機能障害 (LUTS) の有病率の検討, 第66回日本公衆衛生学会, 愛媛県民文化会館, 愛媛県松山市, 2007.10.24
- 寺井一隆, 吉池美紀, 山川克典, 松下知彦, 河村寿宏, 有地あかね, 岩本晃明 : 無精子症患者に対するconventional TESEの臨床成績, 第52回日本生殖医学会, 秋田県民会館, 秋田県秋田市, 2007.10.25
- 吉池美紀, 野澤資亜利, 寺井一隆, 吉田 薫, 岩本晃明 : 精子無力症患者における精子へのSPMIの結合性一透過型ならびに走査型電顕を用いた局在の検討, 第52回日本生殖医学会, 秋田県民会館, 秋田県秋田市, 2007.10.25
- 松下知彦, 中野 勝, 寺井一隆, 吉池美紀, 山川克典, 岩本晃明 : 無精子症および精子濃度 $1 \times 10^6/\text{ml}$ 以下の高度乏精子症における精索静脈瘤手術後の治療成績について, 第52回日本生殖医学会, 秋田県民会館, 秋田県秋田市, 2007.10.25
- Amano T, Imao T, Takemae K, Iwamoto T, Yamakawa K, Baba K, Nakanome M, Sugimori H, Tanaka T, Yoshida K, Katabami T, Tanaka M : The clinical efficacy of testosterone ointment (GLOWMIN) to lower abdominal skin for Late-onset hypogonadism patients; Comparison with trans-scrotal skin application, Annual Meeting of the 7<sup>th</sup> Japanese Society for the study of Aging Male, 河鹿荘ロイヤルホテル, 石川県加賀市, 2007.11.17
- Yamakawa K, Nakanome M, Takahashi T, Iwamoto T, Tanaka T, Sugimori H, Yoshida K : Characteristics of medical seeking behavior among LOH and ED outpatient clinics in Japanese University Hospital, 6<sup>th</sup> Aging Male Annual Meeting, TAMPA CONVENTION CENTER, TAMPA, USA, 2008.2.23
- Iwamoto T, Yamakawa K, Nakanome M, Takahashi T, Tanaka T, Sugimori H, Yoshida K, Matushita T, Hasegawa T : Tamsulosin Research Group: Individual factors predicted to response of Tamsulosin treatment for LUTS among Japanese middle-aged males, 6<sup>th</sup> Aging Male Annual Meeting, TAMPA CONVENTION CENTER, TAMPA, USA, 2008.2.23
- 岩本晃明, 寺井一隆, 松下知彦, 片寄治男, 柳田 薫 : 国際医療福祉大学病院リプロダクションセンター 男性不妊部門開設後1年の臨床統計, 第59回日本泌尿器科学会栃木地方会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡, 2008.3.15
- 寺井一隆, 岩本晃明, 片寄治男, 柳田 薫 : 精路再建が行えなかった両側鼠経ヘルニア術後の閉塞性無精子症の1例 - 腹腔鏡検査の有用性について -, 第59回日本泌尿器科学会栃木地方会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡, 2008.3.15
- 川添夏衣, 山内 敦, 小島崇弘, 内田克紀, 岩本晃明, 斉藤 建 : ライディッヒ細胞腫の1例, 第59回日本泌尿器科学会栃木地方会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡, 2008.3.15
- Takeda T, Imai I, Maruyama K, Gomi Y, Shimoda N, Hiwatari M, Kato H : Transient hyperactivation in bilateral motor related areas during recovery from poststroke mild hemiparesis - a study with NIRS -, 23rd International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism & Function, Osaka, Japan, 2007.5.20-24

- Kaneko J, Takeda K, Shiomi T, Ogano M, Imai I, Maruyama H, Kato H : Measurement of cerebral activation during different motor tasks of a lower limb using near infrared spectroscopy, 23rd International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism & Function, Osaka, Japan, 2007.5.20-24
- Shimoda N, Takeda K, Kaneko J, Taniguchi T, Kato H : Comparison of local cerebral hemodynamic response in frontal and parietal cortices during a spatial cognitive task between normal left- and right-handed subjects: a near-infrared spectroscopy (NIRS) study, 4th Asia Pasific Occupational Therapy Congress, Hong Kong, 2007.6.23-24
- Kaneko J, Takeda K, Shiomi T, Shimoda N, Ogano M, Maruyama H, Kato H : Measurement of cerebral activation during a weight-bearing task of a lower limb using ear infrared spectroscopy, 15th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- Imai I, Shiomi T, Takeda K, Taniguchi T, Kato H : ensorimotor cortex activation during the mirror therapy in healthy right-handed subjects: a study of near-infrared spectroscopy (NIRS), 15th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, Vancouver, Canada, 2007.6.2-6
- Kaneko J, Takeda K, Shimoda N, Ogano M, Maruyama H, Kato H : Measurement of cerebral activation during a weight-bearing task of a lower limb using ear infrared spectroscopy, The Ho Chi Minh City Physical Therapy Conference, Ho Chi Minh, Vietnam, 2007.8.4
- Takeda K, Gomi Y, Imai I, Shimoda N, Hiwatari M, Kato H : Comparative study of motor related activation areas after hemiparetic stroke between well- and poorly recovered patients using near-infrared spectroscopy, Neuroscience 2007, San Diego, USA, 2007.11.3-7
- Shimoda N, Takeda K, Imai I, Kaneko J, Taniguchi T, Kato H : Local cerebral hemodynamic response in frontal and parietal cortices during mental rotation of hand: a near-infrared spectroscopy study, Neuroscience 2007, San Diego, USA, 2007.11.3-7
- 林 浩史, 小川朋子, 橋本律夫, 加藤宏之 : ミエロパチーにステロイドパルス療法が奏効したシェーグレン症候群の62歳女性例, 第181回日本神経学会関東地方会, 東京, 2007.6.2
- 北構由佳, 小賀野操, 藤田和美, 宮崎朋美, 加藤宏之 : 治したい・焦りの気持ちが社会参加に向かうまでーサルコイドーシス頸髄炎の症例を通してー, 第41回日本作業療法学会, 鹿児島, 2007.6.22-24
- 武田湖太郎, 今井 樹, 前田真治, 加藤宏之 : 脳卒中後の麻痺手運動時における一次感覚運動野の活動ーNIRSによる横断的検討ー, 第30回日本神経科学大会, 横浜, 2007.9.10
- 宮崎朋美, 武田湖太郎, 平野大輔, 加藤宏之, 橋本律夫 : RAVLTの即時再生課題中の脳活動の変化ーNIRSを用いた研究ー, 第31回日本神経心理学学会総会, 金沢, 2007.9.27-28
- Kato H (座長) : Brain Oral 4: Ischemic penumbra and glial response, 23rd International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism & Function, Osaka Japan, 2007.5.20-24
- 若佐谷敦, 村上厚文 : 腹部大動脈閉塞に対する血管内治療ーPTAにて右Common iliac arteryの血行再建をなし得たLeriche syndromeの1例ー, 第23回北関東血管外科学研究会, 宇都宮済生会病院グリーンホール, 宇都宮, 2007.9.13
- Atsubumi Murakami : Experience in treating severe chronic venous ulcers of lower limbs-oral presentation, World Congress of the International Union of Phlebology, The Westin MiyakoHotel Kyoto, Kyoto Japan, 2007.6.18
- 駒沢大吾, 村上厚文 : TASCII D病変に対するEVSの1例, 第23回北関東血管外科学研究会, 宇都宮済生会病院グリーンホール, 宇都宮, 2007.9.13
- 信賀幸太郎, 村上厚文 : 当院におけるPE/DVT予防対策の現状と問題点, 第4回栃木県肺塞栓症研究会, ホテル東日本宇都宮, 宇都宮, 2007.6.8
- 村上厚文 : 重症虚血肢に対する右腋窩ー両側大腿動脈バイパス閉塞後の救命例ー血管内治療の問題点と血行再建術の

- 応用例一、第15回日本血管外科学会関東甲信越地方会、パレスホテル大宮、埼玉県大宮市、2007.11.10
- ・ 村上厚文 (パネルディスカッション座長) : 下肢閉塞性動脈硬化症に対する低侵襲手術—外科医が行う血管内手術を中心に—, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2007.11.30
  - ・ 村上厚文 : 末梢血栓閉塞を伴った左膝窩動脈瘤の治療方針, 第135回血管外科症例検討会, 慈恵会医科大学, 東京, 2007.12.8
  - ・ 村上厚文 : 末梢急性動脈閉塞を伴った左膝窩動脈瘤に対する根治手術の1例, 北関東血管外科研究会, 宇都宮済生会病院グリーンホール, 宇都宮, 2008.3.6
  - ・ 片寄治男, 岩本晃明, 柳田 薫, 高山智子, 林章太郎, 菅沼亮太, 小宮ひろみ, 佐藤 章 : 胚発生における精子の関与 ICSI後胚発生における精子核クロマチンの関与, 第52回日本生殖医学会, 秋田キャッスルホテル, 秋田市, 2007.11.25
  - ・ 菅沼亮太, 伊藤明子, 熊耳敦子, 高山智子, 林章太郎, 小宮ひろみ, 片寄治男, 柳田 薫, 柳町隆造, 佐藤 章 : ヒトICSI卵における卵活性化の時期と胚発生への影響及び不活性化卵中でのヒト精子核の経時的変化に関する検討, 日本産科婦人科学会, 京都国際会議場, 京都, 2007.4
  - ・ 岩本晃明, 寺井一隆, 松下知彦, 柳田 薫, 片寄治男 : 国際医療福祉大学病院リプロダクションセンター男性不妊外来開設1年の臨床経験, 日本泌尿器科学会栃木地方会, 宇都宮グランドホテル, 宇都宮市, 2007.3.15
  - ・ 齊藤紀子, 山本達生, 村山史雄 : 1年後に胸水貯留で発見された外傷性横隔膜破裂の1例, 第143回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, つくば国際会議場エポカル, 茨城県つくば市, 2007.9.1
  - ・ 内藤浩美, 大橋一之, 野口忠秀, 神部芳則, 草間幹夫 : びらん型扁平苔癬の難治化に関する検討, 第20回日本口腔診断学会総会, 神奈川県歯科大学, 神奈川県横須賀市, 2007.4.20-21
  - ・ 山下雅子, 土屋欣之, 福島 聡, 中山竜司, 早坂純一, 伊藤弘人, 大橋一之, 神部芳則, 草間幹夫 : 当院における舌痛症の臨床統計的検討, 第43回日本赤十字医学会総会, 大分全日空ホテル, 大分県大分市, 2007.10.11-12
  - ・ 池田 薫, 野口忠秀, 内藤浩美, 上野泰宏, 大橋一之, 神部芳則, 草間幹夫 : 歯牙による慢性刺激により口蓋潰瘍および出血をきたした多発奇形児の1例, 第24回日本障害者歯科学会総会, 長崎ブリックホール, 長崎新聞社文化ホール, 長崎県長崎市, 2007.11.24-25
  - ・ 高山智子, 片寄治男, 伊藤明子, 熊耳敦子, 菅沼亮太, 小宮ひろみ, 佐藤 章 : ヒト精子核の質的評価と体外胚発生の関係, 第59回日本産科婦人科学会総会・学術講演会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2007.4.16
  - ・ 菅沼亮太, 伊藤明子, 熊耳敦子, 高山智子, 小宮ひろみ, 片寄治男, 佐藤 章, 柳町隆造 : ヒトICSI卵における卵活性化の時期と胚発生への影響および不活性化卵中でのヒト精子核の経時的変化に関する検討, 第59回日本産科婦人科学会総会・学術講演会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2007.4.16
  - ・ 熊耳敦子, 小宮ひろみ, 伊藤明子, 高山智子, 片寄治男, 佐藤 章 : 異所性子宮内膜におけるSteroid Receptor Coactivator-1 (SRC-1)の発現様式の検討, 第59回日本産科婦人科学会総会・学術講演会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2007.4.16
  - ・ Kazuto Morozumi, Haruo Katayose, Ito Akiko, Atsuko Kumagami, Hiromi Komiya, Akira Sato, Ryuzo Yanagimachi : Incorporation of the acrosome into the oocyte during ICSI could be potentially hazardous to embryo development, 59<sup>th</sup> Annual Meeting of Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2007.4.16
  - ・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 古川茂宣, 矢澤浩之, 佐藤 章, 柳田 薫 : ヒトPiezo-ICSIにおける卵活性化判定時期の検討および受精卵Quality判定とICSI後不活性化卵に対する人為的活性化法併用への応用, 第48回日本哺乳動物卵子学会総会・学術講演会, アピオ甲府, 山梨県甲府市, 2007.5.26
  - ・ 両角和人, 片寄治男, 小宮ひろみ, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳町隆造 : 卵細胞質内精子注入法における精子先体酵素の胚発生への影響, 第48回日本哺乳動物卵子学会総会・学術講演会, アピオ甲府, 山梨県甲府市,

2007.5.26

・ 片寄治男 (座長) : 胚培養士セッション 受精障害への対応, 第48回日本哺乳動物卵子学会総会・学術講演会, アピオ甲府, 山梨県甲府市, 2007.5.27

・ 伊藤明子, 熊耳敦子, 高山智子, 両角和人, 片寄治男, 小宮ひろみ, 佐藤 章 : インスリン抵抗性改善薬を内服し, 妊娠・分娩に至った一例, 第123回日本産科婦人科学会東北連合地方部会, 山形県文化センター, 山形県山形市, 2007.6.8

・ 大関健治, 添田 周, 三瓶 稔, 藤森敬也, 片寄治男, 山田秀和, 佐藤 章 : 帝王切開後, 子宮動脈に生じた仮性動脈瘤に対して子宮動脈塞栓術が奏功した一例, 第123回日本産科婦人科学会東北連合地方部会, 山形県文化センター, 山形県山形市, 2007.6.8

・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 両角和人, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 矢澤浩之, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造 : ヒトPiezo-ICSIにおける卵活性化判定時期の検討および受精卵Quality判定とICSI後不活性卵に対する人為的活性化法併用への応用, 第26回日本アンドロロジー学会総会・学術講演会, ディズニアンパサダーホテル, 千葉県浦安市, 2007.7.5

・ 伊藤明子, 熊耳敦子, 高山智子, 両角和人, 片寄治男, 小宮ひろみ, 佐藤 章, 緑川早苗, 橋本重厚 : インスリン抵抗性改善薬を内服し, 妊娠・分娩に至った一例, 福島ホルモンカンファレンス, 福島テルサ, 福島県福島市, 2007.8.4

・ 片寄治男 (座長) : 一般講演 ICSI, 第25回日本受精着床学会総会・学術講演会, 仙台国際会館, 宮城県仙台市, 2007.8.30

・ 榎木隆聡, 永瀬宗重, 平山 暁, 植田敦志, 井上真理子, 横山秀克, 吉村哲彦 : INOS由来のNOによるアドリアマイシン誘発性尿細管障害の保護効果, 第50回日本腎臓学会学術総会, アクトシティ浜松, オークラアクトシティホテル浜松, 静岡県浜松市, 2007.5.26

・ 榎木隆聡, 鈴木裕道, 永瀬宗重 : 透析患者におけるH.pylori除菌療法の経験例, 第52回日本透析学会学術集会・総会, 大阪国際会議場, リーガロイヤルホテル, 大阪府大阪市, 2007.6.15

・ 静間 徹, 福山直人, 重城志緒, 中澤博江, 長野正信 : 食餌性因子によるDSS誘発性大腸炎マウスに対する有効性, 第49回日本消化器病学会, 神戸国際展示場, 兵庫県神戸市, 2007.10.19

・ 静間 徹 : HHV-6の再活性化を伴った, EBVによる伝染性単核症の一例, 第56回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 東京ドームホテル, 東京, 2007.10.27

・ 静間 徹, 福山直人, 石渡一夫, 中澤博江, 長野正信 : DEN誘発性肝臓癌動物モデルを用いた, 黒酢もろみ末の癌抑制効果, 第23回日本静脈経腸栄養学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2008.2.21

・ 静間 徹, 福山直人, 石渡一夫 : 短期間に著明な体重増減を認め, refeeding edemaの関与が推測された摂食障害の1例, 第23回日本静脈経腸栄養学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2008.2.22

・ 静間 徹, 福山直人, 石渡一夫 : 経腸栄養剤の半固形化により, 下痢・栄養状態の改善を認めた1例, 第23回日本静脈経腸栄養学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2008.2.22

・ 福山直人, 静間 徹, 石渡一夫, 長野正信 : 炎症性腸疾患における黒酢の治療効果—その有効成分の追求—, 第23回日本静脈経腸栄養学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2008.2.22

#### 研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

・ 加藤宏之 (主たる研究参加) : 研究領域「脳の機能発達と学習メカニズムの解明」 「発達期および障害回復期における神経回路の再編成機構」 (研究代表者: 鍋倉淳一), 科学技術振興機構 (JST) 戦略的創造研究推進事業 チーム型研究CREST, 継続

- ・ 加藤宏之（研究代表者）：fMRIとトラクトグラフィーを用いた脳卒中後の大脳運動ネットワーク再構築の研究，科学研究費補助金，基盤研究(C)19500458，採択
- ・ 柳田 薫：超少子化時代のわが国における新たな不妊症原因の究明と社会に即した治療システムの開発，子宮内膜症を合併する不妊症患者の合理的な生殖補助医療の治療体系に関する研究，厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業），継
- ・ 柳田 薫：生殖補助医療の適応を決定する精子受精能評価法の確立に関する研究，科学研究費補助金基盤研究(C)研究，新
- ・ 山本達生：HER2導入マウスによる胆道発癌，癌進展因子の探索と新規イムノトキシン療法の開発，科学研究費補助金，萌芽研究，18659362，継続
- ・ 片寄治男（分担研究）：高齢不妊症の病因解明及び効果的治療法の開発に関する研究 精子老化による核断片化機構の解析に関する研究，平成17年度成育医療研究委託事業，17公，6，継続
- ・ 片寄治男：ヒト精子核酸-蛋白複合体の不均一性が受精・胚発生に及ぼす影響，平成19年度科学研究費補助金，基盤研究C，19591901，新規採用

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 小川朋子：医学博士（乙種），Charlevoix-Saguenay型癡性失調症の臨床分子遺伝学的検討，2007.5

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 谷 禮夫：日本内科学会（認定内科医，研修医指導医），日本消化器病学会（認定専門医，認定指導医），日本消化器内視鏡学会（認定専門医，認定指導医）（評議員，関東支部会運営委員），日本消化管学会（評議員），日本肝臓学会，日本神経消化器病学会，壁細胞研究会（消化器病関連学会）（代表幹事），栃木県消化器内視鏡研究会（世話人）
- ・ 橋本雅章：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳神経外科コンgres（評議員），栃木県勤務医会（理事）
- ・ 村山史雄：日本呼吸器外科学会（指導医，専門医）（評議員），日本外科学会（認定医），日本胸部外科学会（認定医），日本臨床細胞学会（指導医，専門医），日本呼吸器内視鏡学会（指導医，専門医）
- ・ 山田哲夫：日本産科婦人科学会（専門医），日本周産期・新生児医学会（暫定指導医）
- ・ 岩本晃明：日本泌尿器科学会（専門医）（評議員），日本泌尿器科学会（指導医），日本性機能学会（専門医）（理事），日本生殖医学会（生殖医療指導医）（評議員，幹事），日本アンドロロジー学会（理事），日本環境ホルモン学会（理事），日本Men's Health学会（理事）
- ・ 江口光興：日本小児科学会（認定専門医），日本血液学会（認定専門医，認定指導医），栃木県小児保健会（常任理事），日本小児科学会栃木県地方会（常任幹事），日本小児血液学会（名誉会員），乳幼児精神保健学会（第11回全国大会大会長）
- ・ 加藤宏之：日本神経学会（専門医）（評議員），日本脳卒中学会（専門医）（評議員），日本脳循環代謝学会（評議員），日本内科学会（認定内科医，指導医），日本神経治療学会，International Society of Cerebral Blood Flow and Metabolism (Editorial board)，Society for Neuroscience，東北脳卒中研究会（世話人），下野神経疾患研究会（世話人），栃木脳梗塞フォーラム（世話人），栃木県脳神経疾患研究会（世話人）
- ・ 村上厚文：日本胸部外科学会（指導医），日本循環器学会（専門医），日本外科学会（指導医），日本心臓血管外科学会（専門医），日本血管外科学会症例検討会（幹事），雑誌“血管外科”（依頼原稿選考委員），那須Aging Care研究会（世話人），栃木肺塞栓症研究会（世話人），日本血管外科学会（評議員），日本人工臓器学会（前評議員），日本静脈学会（評議員），日本脈管学会，日本小児外科学会，日本呼吸器外科学会，日本気胸学会，肺塞栓症

研究会，大動脈外科研究会，栃木末梢血管懇話会（世話人）

- ・ 柳田 薫：日本産科婦人科学会（専門医），日本生殖医学会（生殖医療指導医），日本受精着床学会（常務理事），日本哺乳動物卵子学会（常任理事），日本IVF学会（会長），日本生殖外科学会，日本アンドロロジー学会（評議員），日本生殖免疫学会，日本産科婦人科内視鏡学会，Journal of Mammalian Ova Research（Chief editor），European Society of Human Reproduction and Embryology
- ・ 山本達生：日本外科学会（指導医，認定医），日本胸部外科学会（専門医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本呼吸器内視鏡学会（指導医，専門医），日本臨床細胞学会（専門医）
- ・ 大橋一之：日本口腔診断学会（認定医，指導医），日本歯科医療福祉学会（評議員），日本小児口腔外科学会（評議員）
- ・ 小川朋子：日本内科学会（認定専門医），日本神経学会（認定専門医）
- ・ 片寄治男：日本産科婦人科学会（専門医），日本生殖医学会（指導医），日本産科婦人科内視鏡学会（技術認定），日本内視鏡外科学会，日本哺乳動物卵子学会（評議員），日本アンドロロジー学会（評議員），日本サイトメトリー学会，日本受精着床学会，日本生殖外科学会，Society for the Study of Reproduction，American Society For Reproductive Medicine
- ・ 樗木隆聡：日本内科学会（認定医，認定内科専門医），日本腎臓学会（専門医），日本透析学会（専門医）
- ・ 静間 徹：日本内科学会（専門医），日本消化器病学会（専門医），日本肝臓学会（専門医），日本消化器内視鏡学会，日本感染症学会，日本静脈経腸栄養学会，日本画像医学会

## 臨床医学研究センター

### 国際医療福祉リハビリテーションセンター

## 著書

- ・ 下泉秀夫：発達障害入門，発達障害のある子を支える家族への支援，32-40，68-69，72-75，78-81，84-85，家庭保健生活指導センター，2008
- ・ 下泉秀夫：こどものリハビリテーション医学，児童虐待，366-371，医学書院，2008

## 研究報告

- ・ 内藤浩美，大橋一之：ピラン型扁平苔癬の難治化に関する検討，日本口腔診断学会誌，20(2)，456，2007
- ・ 池田 薫，野口忠秀，内藤浩美，上野泰宏，大橋一之，神部芳則，草間幹夫：歯牙による慢性刺激により口蓋潰瘍および出血をきたした多発奇形児の1例，障害者歯科，28(3)，312，2007

## 講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 下泉秀夫：障害児医療と児童虐待，第27回日本医学会総会，リーガロイヤルホテル，大阪，2007.4.7
- ・ 下泉秀夫：ネグレクトの概要，第110回日本小児科学会，京都国際会議場，京都，2007.4.20
- ・ 下泉秀夫：保健室の窓から見えるもの，平成19年度全国養護教諭研究大会，栃木県総合文化センター，宇都宮市，2007.8.2
- ・ 下泉秀夫：絵からわかる「いじめ」，「虐待」を受けた子どもの心，第31回栃木県母性衛生学会・栃木県保健会合同研修会，宇都宮市医師会館，宇都宮市，2007.9.8

- ・ 内藤浩美：重症心身障害者施設における口腔ケア，口腔ケア研修会，自治医大，栃木県下野市，2007.9.20
- ・ 大橋一之，内藤浩美，牛山美江，石下透江：口腔ケア，栃木県看護協会研修会，コンセーレ，栃木県宇都宮市，2007.12.4

#### 学会発表

- ・ 下泉秀夫（座長）：第111回日本小児科学会栃木県地方会，足利赤十字病院，足利市，2007.7.22
- ・ 下泉秀夫：栃木県大田原市における発達障害児に対する早期総合支援事業（第1報），第98回日本小児精神神経学会，自治医科大学，下野市，2007.10.26
- ・ 下泉秀夫（座長）：シンポジウム 赤ちゃんと響きあう，第11回FOUR WINDS乳幼児精神保健学会全国大会，国際医療福祉大学，大田原市，2007.11.25
- ・ 内藤浩美，大橋一之，野口忠秀，神部芳則，草間幹夫：ビラン型扁平苔癬の難治化に関する検討，第20回日本口腔診断学会総会，神奈川県横須賀市，2007.4.21
- ・ 池田 薫，内藤浩美，大橋一之，上野泰宏，神部芳則，草間幹夫：歯牙による慢性刺激により口蓋潰瘍および出血をきたした多発奇形児の1例，第24回障害者歯科学会総会，長崎ブリックホール，長崎県長崎市，2007.11.24-25

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 下泉秀夫：日本小児神経学会（専門医）（評議員），日本小児科学会（専門医），日本子ども虐待防止学会（評議員，評議員会議長，ニュースレター編集委員長）
- ・ 内藤浩美：日本口腔診断学会（指導医，認定医），日本障害者歯科学会，日本口腔外科学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，International Association for Dental Research

#### 臨床医学研究センター

#### 健康管理センター

#### 著書

- ・ 松本和則（分担）：介護福祉士受験講座，医学一般 I，II，162-179，（株）医療福祉総合研究所，2007.5

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 松本和則：日本消化器病学会（指導医，専門医），日本肝臓学会（指導医，専門医），日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医），日本生活習慣病学会（評議員），日本内科学会（認定医），日本老年病学会，日本消化器病関東地方会
- ・ 三田村治郎：日本口腔外科学会，日本口腔科学会，日本歯科麻酔学会，東日本歯学会

## 臨床医学研究センター

### 言語聴覚センター

#### 学会発表

- ・ 田中裕美子, 遠藤重典 他 (主催者) : ワークショップ SLI (特異的言語発達障害) スペクトラム, 第33回日本コミュニケーション障害学会, 鶴見大学記念館, 横浜市, 2007.6.23
- ・ 遠藤重典 他4名 : fMRIからみた読み・音韻処理における子どもの脳機能, 第33回日本コミュニケーション障害学会, 鶴見大学記念館, 横浜市, 2007.6.24
- ・ 畦上恭彦, 遠藤重典 他2名 : 脳イメージングを用いた語彙習得における大脳半球の賦活の検討 (その1), 第33回日本コミュニケーション障害学会, 鶴見大学記念館, 横浜市, 2007.6.24
- ・ 浦由希子, 遠藤重典 他1名 : 読み書きに問題をもつ軽度発達障害児に対する読み指導の効果について, 日本LD学会第16回大会, 横浜市開港記念会館, 横浜市, 2007.11.23
- ・ 遠藤重典 他2名 : decoding (音-文字連合) に関与する脳機能-fMRIを用いて, 日本LD学会第16回大会, 横浜市開港記念会館, 横浜市, 2007.11.24

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 遠藤重典 : 日本言語聴覚学会, 日本コミュニケーション障害学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本聴覚医学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本教育心理学会, 日本LD学会

## 臨床医学研究センター

### 山王病院

#### 著書

- ・ 織田正也, 中村正彦 : YEAR NOTE SERIES, SELECTED ARTICLES 2008, 主要病態・主要疾患の論文集, 急性胃粘膜病変 (AGML), 49-68, メディックメディア, 2007.4
- ・ 織田正也, 中村正彦 : Self Assessment, A. 消化管・腹壁・腹膜疾患 : A-5急性胃粘膜病変 (AGML), 1-2, メディックメディア, 2007.4
- ・ 北島政樹, 織田正也 (編集) : Progress in Medicine, 28(3), 消化器疾患の病態生理-胃・十二指腸潰瘍を中心に-, 7-55, ライフ・サイエンス, 2008.3
- ・ 山沖和秀 (分担執筆) : 内科学 第9版 (総編集 : 杉本恒明, 矢崎義雄), 感染性心内膜炎, 554-558, 朝倉書店, 2007.9.4
- ・ 小松真理 (分担執筆) : 眼科プラクティス 前眼部アトラス, 急性眼内炎, 424-425, 文光堂, 2007
- ・ 小松真理 (分担執筆) : 眼科プラクティス 前眼部アトラス, 遅発性眼内炎, 426, 文光堂, 2007
- ・ 小松真理 (分担執筆) : 眼科プラクティス 前眼部アトラス, 瞳孔偏位, 427, 文光堂, 2007
- ・ 小松真理 (分担執筆) : 眼科プラクティス 前眼部アトラス, 眼内レンズへの付着, 449, 文光堂, 2007

#### 原著論文

- ・ Oda M., Yokomori H. : Extracellular matrix-mediated tube formation from isolated hepatic sinusoidal endothelial cells-



Involvement of Rho GTPases and Caveolae, In 8th World Congress for Microcirculation, Edited by J. H.Lombard, 127-133, 2007

- ・須藤英一, 永田真一, 奥澤 健, 奥仲哲弥, 北出弘昭, 北川恒実, 川口 実: 慢性呼吸器疾患患者を対象に行った呼吸教室開催後の変化—心理面の評価より—, Geriatric Medicine (老年医学), 45(4), 493-497, 2007
- ・須藤英一, 奥澤 健, 奥仲哲弥: 胸水貯留高齢者肺炎に経口抗菌薬—ファロペネムナトリウム (FRPM) —が奏効したと考えられる1症例, Geriatric Medicine (老年医学), 46(3), 279-283, 2008
- ・須藤英一, 奥澤 健, 佐藤佐由里, 三好 均, 木村鉄宣, 奥仲哲弥: 市中肺炎を考え抗菌薬を投与したが効果を認めず, ステロイドが著効し好酸球の関与が疑われた肺炎症例, Progress in Medicine, 28(3), 823-827, 2008
- ・須藤英一, 前島一郎: 当特別養護老人ホームにおける口腔ケア介入の効果—保湿ジェルの使用経験—, 日老医誌, 45(2), 196-201, 2008

## 総説

- ・杉本恒明, 矢崎義雄, 山沖和秀 他1名 (編集委員): 心不全関連の文献紹介を中心としたNewsletter, Excerpta Medica News-letter, エルゼビア・サイエンス株式会社, 57, 58, 59 (年3回発行), 2007
- ・岡崎 勲, 織田正也, 丸山勝也: 肝疾患の成因別非侵襲性肝線維化診断—国際的潮流とメタボリックシンドロームに関連したNAFLDへの適応, 日本医事新報, 4366, 59-66, 2007
- ・Inagaki Y, Higashiyama R, Okazaki I: Treatment strategy for liver fibrosis through recruitment and differentiation of bone marrow stem/progenitor cells, Hepatol Research, 37, 991-993, 2007
- ・小松真理: 近視矯正手術後の遠視治療, IOL&RS, 21, 457-462, 2007
- ・小松真理: 白内障手術後眼内炎, スウェーデン全国スタディ, IOL&RS, 21, 451-452, 2007
- ・五十嵐章史, 小松真理: 後房型有水晶体屈折矯正眼内レンズ (Visian ICL) の臨床成績, IOL&RS, 21, 190-194, 2007
- ・小松真理: LASIK術後眼の観察, IOL&RS, 21, 217-222, 2007
- ・小松真理: 特集にあたって, IOL&RS, 21, 476, 2007
- ・五十嵐章史, 小松真理: Q値を考慮したAspheric ablation, あたらしい眼科, 24, 1625-2626, 2007
- ・須藤英一, 奥仲哲弥: 臨床に活かす胸部のCT・MRIのみかた, 入門講座 画像のみかた, 理学療法ジャーナル, 41(6), 495-504, 2007
- ・高尾良彦, 辻塚一幸, 菊池 潔, 奥田 誠: 排便機能からみた直腸脱の診断と治療, 日本大腸肛門病会誌, 69, 911-916, 2007

## 研究報告

- ・須藤英一: 当院での睡眠時無呼吸症候群患者に対する口腔内装具の使用経験, 港区医師会報, 115, 101-104, 2008

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・奥田 誠: 大腸癌 過去 現在, 第81回浜松外科医会, 県西部浜松医療センター, 静岡県浜松市, 2007.7.17
- ・Oda M., Yokomori H.: Extracellular matrix-mediated tube formation from isolated hepatic sinusoidal endothelial cells—Involvement of Rho GTPases and Caveolae, Symposium “Capillary Morphogenesis—Recent Advances in Molecular Mechanisms”, 8th World Congress for Microcirculation, Milwaukee, Wisconsin, U.S.A., 2007.8.15-19
- ・岡崎 勲: メタボリックシンドロームの健康管理, 田園調布医師会産業医研修会, 池上会館, 東京都大田区, 2008.3.16

- ・ 小松真理：シンポジウム 世界からみた日本の屈折矯正手術－ESCRSからみたヨーロッパの状況－，日本眼科手術学会，パシフィコ横浜，横浜市，2008.2.1
- ・ 小松真理：教育セミナー 術後眼内炎，白内障手術後眼内炎の診断と治療，日本眼科手術学会，パシフィコ横浜，横浜市，2008.2.2
- ・ 須藤英一：高齢者の肺の病気予防～口腔ケアを中心に ミニレクチャー，伊豆高原ゆうゆうの里有料老人ホーム，伊豆高原ゆうゆうの里有料老人ホーム，伊東市，2007.10.6
- ・ 須藤英一：耳鼻咽喉科医にとって必要な呼吸障害の知識，第3回音声・嚥下・呼吸の談話会 城東ブロック耳鼻咽喉科医会主催，東武ホテルレバント東京，東京，2007.11.29
- ・ 須藤英一：肺の病気総論～冬へ向けてかぜをひかないために，山王病院第5回呼吸教室，山王病院山王ホール，東京，2007.12.7
- ・ 須藤英一：高齢者の肺の病気予防～口腔ケアを中心に ミニレクチャー，佐倉ゆうゆうの里有料老人ホーム，佐倉ゆうゆうの里有料老人ホーム，佐倉市，2008.2.8
- ・ Takao Y：Biofeedback and botulinum toxin for treatment of pelvic outlet obstruction， International Colorectal Disease Symposium， Harbor Beach Marriot， Ft. Lauderdale, FL, USA， 2008.2.16
- ・ Takao Y：Optimal evaluation of fecal incontinence， International Colorectal Disease Symposium， Harbor Beach Marriot， Ft. Lauderdale, FL, USA， 2008.2.16
- ・ Takao Y：Evaluation of bowel dysfunction， Meet the Professor, Early Birds Seminar for the Residents， Duchossois Center for Advanced Medicine, The University of Chicago Hospitals， Chicago, IL, USA， 2008.2.18

## 学会発表

- ・ 奥田 誠（座長）：一般演題ポスター 症例2，第62回日本大腸肛門病学会総会，グランドプリンス新高輪，東京，2007.11.3
- ・ Yokomori H., Hibi T., Oda M.：Src-mediated tyrosine phosphorylation of Caveolin-1 upregulates permeabilization in sinusoidal endothelial cells， AASLD Career Development Session I “Oral Session”， 108th Digestive Disease Week (DDW)， Washington, D.C., U.S.A., 2007.5.19-24
- ・ Yokomori H., Hibi T., Oda M.：Src-mediated tyrosine phosphorylation of Caveolin-1 upregulates permeabilization in sinusoidal endothelial cells， AASLD Poster Session “Cell Structure：Function Relationship”， 108th Digestive Disease Week (DDW)， Washington, D.C., U.S.A., 2007.5.19-24
- ・ Yokomori H., Hibi T., Oda M.：Alteration of Aquaporin-1 expression in rat and human cirrhotic liver sinusoids：Its relevance to portal hypertension， AASLD Poster Session “Experimental Portal Hypertension”， 108th Digestive Disease Week (DDW)， Washington, D.C., U.S.A., 2007.5.19-24
- ・ 織田正也（世話人）：第3回京都肝セルバイオロジー研究会，京都，2007.7.14
- ・ 織田正也（代表世話人）：第26回消化器病態生理勉強会，東京，2007.8.4-5
- ・ Han J.-Y., Fan, J.-Y., Horie Y., Cno L., Li D., Miura S., Oda M., Hibi T.：Multi-targeting potential of 3,4-dihydroxy-phenyl lactic acid (DLA) for improving ischemia-reperfusion-induced microvascular damage in rat mesentery， Poster Presentations “Vascular Regulation and Blood Flow Control”， 8th World Congress for Microcirculation， Milwaukee, Wisconsin, U.S.A., 2007.8.15-19
- ・ Yokomori H., Oda M., Hibi T.：Aquaporin-1 demonstrates arterial capillary proliferation and hepatic sinusoidal transformation in human cirrhotic liver-relevance to portal hypertension， AASLD Presidential Poster of Distinction， Poster Session “Portal Hypertension and Other Complications of Cirrhosis：Clinical”， 58th Annual Meeting of the American Association for the Study

- of Liver Diseases(AASLD), Boston, U.S.A., 2007.11.2-6
- Yokomori H., Oda M., Hibi T. : Caveolin-1 upregulates endothelial capillary-like tubular formation and fenestral contraction in association with Rho GTPases in Sinusoidal Endothelial Cells, Poster Session “Cell and Molecular Biology”, 58th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD), Boston, U.S.A., 2007.11.2-6
  - 横森弘昭, 織田正也, 日比紀文 : 一般演題 口演発表 セッション24 肝細胞・その他, マトリゲル培養下肝類洞内皮細胞の管腔形成に対する低分子量GTP結合蛋白質関与, 第43回日本肝臓学会総会, 東京, 2007.5.31-6.1
  - Oda M., Folkman J. (Chair) : Symposium “Capillary Morphogenesis-Recent Advances in Molecular Mechanisms”, 8th World Congress for Microcirculation, Milwaukee, Wisconsin, U.S.A., 2007.8.15-19
  - Oda M. (Organizer & Chair) : The liver sieve seen through the eyes of multidimensional correlative imaging techniques, Speaker : F. Braet, 1st IUHW International Seminar at Sanno Hospital, Tokyo, 2007.11.20
  - 織田正也 (座長) : ランチョンセミナー 血管新生阻害剤のバイオマーカー (演者 西尾和人), 第33回日本微小循環学会総会, 東京, 2008.2.21-22
  - 織田正也 (コメンテーター) : 一般演題 口演発表 セクションVIII NASHとKupffer細胞, 第21回肝類洞壁細胞研究会 学術集会, ホテル奥道後, 松山, 2007.12.22-23
  - 織田正也 (世話人) : 第21回肝類洞壁細胞研究会, ホテル奥道後, 松山, 2007.12.22-23
  - 岡崎 勲 (コメンテーター) : 肝線維化, 第21回肝類洞壁細胞研究会, ホテル奥道後, 愛媛, 2007.12.22
  - 五十嵐章史, 小松真理, 神谷和孝, 清水公也 : Aspheric ablation によるLASIKの早期術後成績, 日本眼科学会総会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2007.4.19
  - Igarashi A, Komatsu M., Shimizu K : Comparison of Higher Order Aberration and Contrast Sensitivity between Phakic ICL and Wavefront-guided LASIK, ASCRS, San Diego Convention Center, San Diego, 2007.4.29
  - 相澤大輔, 藤澤邦俊, 神谷和孝, 五十嵐章史, 清水公也, 小松真理 : 軽度・中等度近視における後房型有水晶体眼内レンズとAspheric LASIKの比較, 日本眼内レンズ屈折手術学会, 松山文化会館, 松山市, 2007.6.29
  - 小松真理 : 白内障術後眼内炎, Bay Ocular Club, 湘南国際村, 葉山町, 2007.7.21
  - Daisuke A, Shimizu K, Igarashi A, Komatsu M. : A performance comparison of ICL and WFG-LASIK in high myopia, APCRS, Hanoi Convention Center, Hanoi, 2007.9.27
  - 五十嵐章史, 小松真理, 神谷和孝, 清水公也 : 強度近視における後房型有水晶体眼内レンズとWavefront-guided LASIKの術後視機能の比較, 北里大学・神奈川県眼科医会合同レサーチカンファレンス, メディカルセンター, 相模原市, 2007.10.4
  - 相澤大輔, 藤澤邦俊, 神谷和孝, 五十嵐章史, 小松真理, 清水公也 : ICL (後房型Phakic IOL) 術後3年の臨床成績, 日本臨床眼科学会, 国際会議場, 京都市, 2007.10.11
  - 小松真理 : 後房型有水晶体眼内レンズ, 日本臨床眼科学会, 京都国際会議場, 京都市, 2007.10.12
  - 五十嵐章史, 小松真理, 清水公也 : Wavefront-guided LASIK vs. ICL, 東京眼科集談会, 東京医科大学, 東京都, 2008.2.14
  - 戸部正博, 水谷一裕, 津布久義人, 岡本光史, 柳原 泰 : 橈骨遠位端骨折に対する新しい掌側ロッキングプレートの開発と臨床応用, 第50回日本手の外科学会学術集会, 山形グランドホテルほか, 山形市, 2007.4.19
  - 戸部正博, 水谷一裕, 津布久義人, 岡本光史, 柳原 泰, 金子和夫, 井上幸雄 : 生体活性型骨ペーストの中期成績, 第80回日本整形外科学会学術集会, 神戸国際会議場ほか, 神戸市, 2007.5.24
  - 須藤英一 : 呼吸教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響～終了2年後までの評価～, 第49回日本老年医学会学術集会, ロイトン札幌, 札幌市, 2007.6.22
  - 須藤英一 : 当特別養護老人ホームにおける口腔ケア介入の効果, 第49回日本老年医学会学術集会, ロイトン札幌, 札

幌市, 2007.6.22

- ・佐野裕子, 黒澤 一, 奥仲哲弥, 須藤英一, 佐々木幸子, 金子博美, 松本恵一, 上月正博, 飛田 渉: ロスぼめ呼吸が精神面に及ぼす影響について, 第17回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, ホテルグランパシフィックメリディアン, 東京都, 2007.11.15
- ・高尾良彦(座長): ワークショップ Outlet Obstructionの診断と治療戦略, 第62回日本大腸肛門病学会総会, ホテルグランド高輪プリンス, 東京, 2007.11.3
- ・高尾良彦, 中島紳太郎, 諏訪勝仁, 藤田明彦, 穴澤貞夫: 便失禁に対する肛門括約筋前方形成術(パネルディスカッション), 第62回日本大腸肛門病学会総会, ホテルグランド高輪プリンス, 東京, 2007.11.3
- ・高尾良彦(座長): ワークショップ 骨盤臓器脱に対する最新の診断と治療, 第69回日本臨床外科学会総会, パシフィック横浜, 神奈川県横浜市, 2007.11.30

### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・奥田 誠: 日本大腸肛門病学会(指導医, 専門医)(評議員), 日本外科学会(指導医, 専門医, 認定医), 日本消化器外科学会(指導医, 専門医, 認定医), 日本大腸検査学会(評議員), 日本消化器内視鏡学会(指導医, 認定専門医), 日本消化器病学会(専門医), 日本臨床外科医学会, 日本癌治療学会, 日本内視鏡外科学会, 日本サイコロロジー学会, The American Society of Colon & Rectal Surgeons, 日本がん治療認定医機構(暫定教育医)
- ・織田正也: 日本内科学会(認定医), 日本自律神経学会(評議員), ヨーロッパ微小循環学会(ESM)(Executive Committee Member), 日本肝臓学会(専門医, 指導医), アメリカ微小循環学会, 日本臨床分子形態学会(評議員), 日本微小循環学会(理事), アメリカ肝臓病学会(AASLD), 国際肝臓病学会(IASL), 国際リンパ学会(ISL), 日本腹部救急医学会(評議員), アメリカ消化器病学会(AGA), 日本潰瘍学会(評議員), アメリカ消化器病学会(ACG), Asian Union of Microcirculation(AUM)(Active Member), Journal "Microvascular Research (Microvasc. Res.)" (Editorial Board Member), 日本脈管学会(評議員), 日本消化器病学会(専門医, 指導医)(功労会員)
- ・山沖和秀: 日本循環器学会(循環器専門医)(関東甲信越地方会評議員), 日本内科学会(内科認定医), 日本高血圧学会, 日本心臓病学会, 日本老年病学会, 日本脈管学会, Heart Journal(編集委員)
- ・岡崎 勲: 日本公衆衛生学会(監事), 日本衛生学会(評議員), 日本内科学会(認定医), 日本消化器病学会(専門医), 日本肝臓病学会(専門医)
- ・小松真理: 日本眼科学会(眼科専門医), 日本眼内レンズ屈折手術学会(編集委員), 日本眼科手術学会, 日本眼光学学会, American Academy of Ophthalmology, International Society of Refractive Surgery, American Society of Cataract and Refractive Surgery, European Society of Cataract and Refractive Surgery
- ・柳原 泰: 日本整形外科学会(専門医, 認定スポーツ医, 認定リウマチ医), 日本手の外科学会(専門医)(評議員, 広報委員会顧問), 日本リウマチ学会(専門医), 日本医師会(認定産業医), 日本リウマチ財団(リウマチ登録医)
- ・鷺崎一成: 日本神経学会(専門医)
- ・須藤英一: 日本内科学会(認定内科医), 日本呼吸器学会(専門医), 日本老年医学会(専門医, 指導医)(代議員), 日本リハビリテーション医学会, 日本温泉気候物理医学会, 日本抗加齢医学会(専門医), 日本睡眠学会, 日本医師会(認定産業医)
- ・高尾良彦: 日本外科学会(指導医, 専門医), 日本消化器外科学会(指導医, 専門医, 消化器癌治療認定医), 日本大腸肛門病学会(指導医, 専門医)(評議員, 国際委員会委員), 日本ストーマ排泄リハビリテーション学会(評議員)
- ・倉島一造: 日本耳鼻咽喉科学会(認定専門医), 日本耳科学会, 日本めまい平衡医学会, 日本顔面神経研究会

## 臨床医学研究センター

### 国際医療福祉大学東京ボイスセンター

#### 原著論文

- ・ H.Nakagawa, H.Fukuda et al. : A case of glossopharyngeal zoster diagnosed by detecting viral specific antigen in the pharyngeal mucous membrane, JLO, 121, 163-165, 2007
- ・ H.Nakagawa, H.Fukuda, T.Kusuyama et al. : Laryngeal carcinoma presenting as a large anterior neck abscess, Auris Nasus Larynx, 34(2), 249-251, 2007
- ・ 福田宏之 : 声帯注入術—その温故知新—, 音声言語医学, 48, 155-157, 2007
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 : 喉頭領域の内視鏡診断—超接近撮影による電子内視鏡を用いた喉頭観察, 日本気管食道科学会会報, 58(2), 151-158, 2007
- ・ 福田宏之 : 音声外科における術中・術後のトラブル, JOHNS, 23, 1132-1134, 2007
- ・ 岡田信也, 福田宏之 他 : 電動注入器を用いた声帯内脂肪注入術, 耳鼻臨床, 100, 207-210, 2007
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他 : 声帯結節の治療, JOHNS, 23, 1638-1640, 2007.11
- ・ 田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他 : 声帯内自家脂肪注入術に用いる脂肪組織に関する考察, 喉頭, 19(2), 115-119, 2007.12
- ・ Etsuyo Tamura, Hiroyuki Fukuda et al. : Adipose tissue formation in response to basic fibroblast growth factor, Acta Oto-Laryngologica, 127, 1327-1331, 2007
- ・ 田村悦代, 楠山敏行 他 : 頬部脂肪体を用いた声帯内脂肪注入術, 日耳鼻, 111(3), 91-95, 2008

#### 総説

- ・ 楠山敏行, 福田宏之 : 喉頭科診療における論点, 声帯結節の治療, 外科的治療の立場から, JOHNS, 11, 2007

#### 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 福田宏之 : <声とは?>・声と性, 第11回土浦日本大学学園理事長主催講演会, 土浦, 2007.6.9
- ・ 楠山敏行 : 喉頭内視鏡の最新技術—分光内視鏡 Fuji Intelligent Color Enhancement (FICE) を中心に—, 第28回佐野足利耳鼻咽喉科集談会, 栃木県足利市, 2007.5.25
- ・ 楠山敏行 : 音声障害の臨床—東京ボイスセンターにおける統計的観察と新しい内視鏡FICEを中心に—, 静岡県中部耳鼻咽喉科集談会, 静岡, 2007.7.28

#### 学会発表

- ・ 福田宏之 (司会, 座長) : 第3群 ビデオ 喉頭, 第107回日本耳鼻咽喉科学会, 東京, (2006.5.11-13)
- ・ 福田宏之 : シンポジウム 気管食道領域の内視鏡の進歩, 第58回日本気管食道科学会, 札幌, (2006.10.6)
- ・ 福田宏之 : 第14群 喉頭観察2, 第19回日本喉頭科学会総会, 神戸, (2007.3.9)
- ・ 福田宏之 (司会) : 特別講演 Professor Jonas T. Johnson “Contemporary Management of Laryngeal Cancer - Changing Trend -”, 第17回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会, 福島, 2007.4.21-22
- ・ 中川秀樹, 福田宏之, 楠山敏行 他 : 舌咽神経領域に見られた帯状疱疹の二症例, 第108回日本耳鼻咽喉科学会総会, 金沢, 2007.5.18
- ・ 福田宏之 (座長) : 第56群 ビデオ 喉頭・嚥下, 第108回日本耳鼻咽喉科学会総会, 石川, 2007.5.19
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他 : Day Surgery によるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術 (VELMS) の検討—手

術所見と創傷治癒の関係について, 第52回音声言語医学会, 所沢, 2007.10.26-27

- ・田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他: 喉頭微細手術後の癒痕声帯に対する音声改善手術, 第52回音声言語医学会, 所沢, 2007.10.26-27
- ・楠山敏行, 福田宏之, 森 有子 他: 声帯結節の治療指針, 第52回音声言語医学会, 所沢, 2007.10.26-27
- ・佐藤麻美, 福田宏之, 楠山敏行 他: 変声障害に対する音声治療-Kayser Gutzmann法抵抗症例に対する新たな手法, 第52回日本音声言語医学会, 所沢, 2007.10.26-27
- ・楠山敏行, 福田宏之, 森 有子 他: 喉頭観察における分光内視鏡 (FICE) の有用性, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1-2
- ・磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他: (ビデオ) 下咽頭スコープにおける持続送気法の工夫-耳鼻咽喉科 診療用ユニットの通気用装置の利用法-, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1-2
- ・磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他: (ビデオ) フードと持続送気を併用した下咽頭スコープの症例-下咽頭梨状陥凹瘻と憩室-, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1-2
- ・磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他: (ビデオ) 下咽頭スコープでは, なぜフード装着だけでは駄目で, 持続送気の併用が必要なのか?, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1-2
- ・森 有子, 福田宏之, 楠山敏行 他: (ポスター) 喉頭微細手術におけるラリンゴマイクロ用絞断器の有用性について, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1-2
- ・田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他: 声帯内自家脂肪注入後の残存脂肪に関する考察, 第59回日本気管食道科学会, 前橋, 2007.11.1-2
- ・森 有子, 福田宏之, 楠山敏行 他: 声帯のMucosal Pocket (仮称) の一症例, 第20回日本喉頭科学会, 佐賀, 2008.3.13
- ・楠山敏行, 福田宏之, 森 有子 他: 声門閉鎖不全に対する声帯内ヒアルロン酸注入術の経験, 第20回日本喉頭科学会, 佐賀, 2008.3.13
- ・田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他: 癒痕声帯に対する音声改善手術の効果, 第20回日本喉頭科学会, 佐賀, 2008.3.13
- ・福田宏之 (座長): 第3群 ラリンゴマイクロ, 第20回日本喉頭科学会総会, 佐賀, 2008.3.13
- ・楠山敏行, 森 有子 他: 喉頭内視鏡におけるFICE (Fuji Intelligent Color Enhancement) の有用性, 五大学頭頸部外科研究会, 東京, 2007.7.7
- ・Toshiyuki Kusuyama, Yuko Mori et al.: Strategies for Vocal Fold Nodules, American Academy of Otolaryngology - Head and Neck Surgery Foundation, Annual Meeting & OTO EXPO, Washington DC., 2007.9.16
- ・楠山敏行, 佐藤美知子 他: 声帯結節治療ガイドラインの提唱, 第178回日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会学術講演会, 東京, 2008.1.19
- ・Toshiyuki Kusuyama (Chairman): Oral Session: Phonosurgery, The 15th World Congress for Bronchoesophagology, Tokyo, Japan, 2008.3.30

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・福田宏之: 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医) (参与), 日本気管食道科学会 (認定専門医) (顧問), 日本喉頭科学会 (理事, 評議員), 日本音声言語医学会 (顧問), 日本頭頸部外科学会 (評議員), 東日本音声外科研究会 (顧問), 世界気管支学会 (評議員), 世界気管食道科学会 (評議員), 東アジア音声外科会議 (名誉会員), アジア頭頸部外科研究会 (代表世話人)
- ・楠山敏行: 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医), 日本気管食道科学会 (認定専門医), (評議員, 診療ガイドライン委員会委員, 定款改訂委員会委員, 専門医制度委員会委員), 日本音声言語医学会 (評議員, 幹事), 日本音声外科研究会 (世話人), 東日本音声外科研究会 (世話人, 総務担当)

臨床医学研究センター  
化学療法研究所附属病院

著書

- ・伊藤聡一郎, 四宮謙一 (分担執筆) : 手の外科の要点と盲点 整形外科Knack&Pitfalls, 神経損傷の診断と治療の基本方針, 126-131, 文光堂, 2007
- ・伊藤聡一郎 (分担執筆) : 末梢神経のすべて (整形・災害外科), 人工神経, 11-18, 金原出版, 2008
- ・馬島 徹 : 臨床アレルギー学, 物理アレルギー, 428-432, 南江堂, 2007
- ・馬島 徹 : 薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト, 気管支炎, 110-112, 薬事日報社, 2007
- ・馬島 徹 : 薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト, 肺炎, 112-117, 薬事日報社, 2007
- ・馬島 徹 : 薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト, 肺結核, 131-135, 薬事日報社, 2007
- ・馬島 徹 : 薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト, 非定型 (非結核性) 抗酸菌症, 135-137, 薬事日報社, 2007
- ・馬島 徹 : 薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト, かぜ症候群, 144-146, 薬事日報社, 2007

原著論文

- ・Yukisawa S, Okugawa H, Masuya Y, Okabe S, Fukuda H, Yoshikawa M, Ebara M, Saisho H : Multidetector helical CT plus superparamagnetic iron oxide-enhanced MR imaging for focal hepatic lesions in cirrhotic liver: A comparison with multi-phase CT during hepatic arteriography, Eur J Radiology, 61(2), 279-289, 2007
- ・Sudo K, Yamaguchi T, Ishihara T, Nakamura K, Shirai Y, Nakagawa A, Kawakami H, Uno T, Ito H, Saisho H : Phase I study of oral S-1 and concurrent radiotherapy in patients with unresectable locally advanced pancreatic cancer, Int J Radiation Oncology Biology Physics, 67(1), 219-224, 2007
- ・Yukisawa S, Ohto M, Masuya Y, Okabe S, Fukuda H, Yoshikawa M, Ebara M, Saisho H, Ohtsuka M, Miyazaki M, Kondo F : Contrast-enhanced three-dimensional fusion sonography of small liver metastases with pathologic correlation, J Clin Ultrasound, 35(1), 1-8, 2007
- ・Kanda T, Yokosuka O, Imazeki F, Hirasawa Y, Ikeuchi T, Mikata R, Zhang KY, Kurihara T, Arai M, Fukai K, Saisho H, Mikami S, Azemoto R, Ito Y : Body mass index in Japanese patients with autoimmune liver disease: overweight patients with primary biliary cirrhosis tend to be asymptomatic, Hepatogastroenterology, 54(78), 1758-1760, 2007
- ・Maruyama H, Kobayashi S, Yoshizumi H, Okugawa H, Akiie T, Yukisawa S, Fukuda H, Matsutani S, Ebara M, Saisho H : Application of percutaneous ultrasound-guided treatment for ultrasonically invisible hypervascular hepatocellular carcinoma using microbubble contrast agent, Clinical Radiology, 62(7), 668-675, 2007
- ・Sunaga M, Tomonaga T, Yoshikawa M, Ebara M, Shimada H, Saisho H, Nomura F : Gene expression of 5-fluorouracil metabolic enzymes in hepatocellular carcinoma and non-tumor tissue, J Chemother, 19(6), 709-715, 2007
- ・Chiba T, Zheng Y, Kita K, Yokosuka O, Saisho H, Onodera M, Miyoshi H, Nakano M, Zen Y, Nakanuma Y : Enhanced Self-Renewal Capability in Hepatic Stem/Progenitor Cells Drives Cancer Initiation, Gastroenterology, 133(3), 937-950, 2007
- ・Yonemoto N, Furuse J, Okusaka T, Yamao K, Funakoshi A, Ohkawa S, Boku N, Tanaka K, Nagase M, Saisho H, Sato T : A Multi-center Retrospective Analysis of Survival Benefits of Chemotherapy for Unresectable Biliary Tract Cancer, Jpn J Clin Oncol, 37(11), 843-851, 2007
- ・Sakai Y, Tsuyuguchi T, Tsuchiya S, Sugiyama H, Miyakawa K, Ebara M, Saisho H, Yokosuka O : Diagnostic value of MRCP and indications for ERCP, Hepatogastroenterology, 54(80), 2212-2215, 2007

- Kanda T, Yokosuka O, Mikata R, Zhang KY, Tanaka M, Tada M, Fukai K, Imazeki F, Saisho H : Inhibition of subgenomic hepatitis C virus RNA replication in HeLa cells, *Hepatogastroenterology*, 54(73), 32-35, 2007
- Tomizawa M, Saisho H : Insulin-like growth factor (IGF)-II regulates CCAAT/enhancer binding protein alpha expression via phosphatidylinositol 3 kinase in human hepatoblastoma cell lines, *J Cell Biochem*, 102(1), 161-170, 2007
- Imazeki F, Yokosuka O, Fukai K, Kanda T, Kojima H, Saisho H : Prevalence of diabetes mellitus and insulin resistance in patients with chronic hepatitis C: comparison with hepatitis B virus-infected and hepatitis C virus-cleared patients, *Liver International*, 28(3), 355-362, 2008
- 伊藤聡一郎 : 橈・尺骨遠位部骨密度と骨折型, 各種レントゲン計測値との関係, *整形外科*, 58, 482-487, 2007
- 伊藤聡一郎, 四宮謙一, 中村 聡, 小林孝之, 中村美保, 山下仁大 : 連通性ハイドロキシアパタイト多孔体のポーリング処理による骨成長促進, *日本生体電気・物理刺激研究会誌*, 21, 11-16, 2007
- Kobayashi T., Itoh S., Nakamura S., Nakamura M., Shinomiya K., Yamashita K. : Enhanced Bone Bonding of Hydroxyapatite-coated Titanium Implants by Electrical Polarization, *J. Biomed. Mater. Res.*, 82A, 145-151, 2007
- Nakayama K., Takakuda K., Koyama Y., Itoh S., Wang W., Shirahama N., Mukai T. : Regeneration of Peripheral Nerves by Bioabsorbable Polymer Tubes with Fibrin Gel, *J. Nanosci. Nanotechnol.*, 7, 730-733, 2007
- Nakayama K., Takakuda K., Koyama Y., Itoh S., Wang W., Mukai T., Shirahama N. : Enhancement of peripheral nerve regeneration by using bioabsorbable polymer tubes packed with fibrin gel, *Artif. Organs*, 31, 500-508, 2007
- Wang W., Itoh S., Matsuda A., Aizawa T., Demura M., Ichinose S., Shinomiya K., Tanaka J. : Enhanced nerve regeneration through a bilayered chitosan tube: The effect of introduction of glycine spacer into the CYIGSR sequence, *J. Biomed. Mater. Res.*, 85(4), 919-928, 2008
- Shimizu S., Asou Y., Itoh S., Chung U., Kawaguchi H., Shinomiya K., Muneta T. : Intra-articular Osteoclastogenesis Inhibitory Factor/Osteoprotegerin Prevents Cartilage Destruction in a Murine Model of Osteoarthritis, *Arthritis Rheum.*, 56, 3358-3365, 2007
- Wang W., Itoh S., Matsuda A., Ichinose S., Shinomiya K., Hata Y., Tanaka J. : Influences of Mechanical Properties and Permeability on Chitosan Nano/microfiber Mesh Tubes as a Scaffold for Nerve Regeneration, *J. Biomed. Mater. Res.*, 84A, 557-566, 2008
- 伊藤聡一郎, 佐谷隆洋 : 若年女性の多発性骨髄腫に起因するアミロイドーシスに合併した両側手根管症候群の一症例, *化学療法研究所紀要*, 37, 44-47, 2007
- 服部知洋, 馬島 徹 : 呼吸器疾患における気管切開, *日本気管食道科学会会報*, 58, 448-453, 2007

## 総説

- 馬島 徹 : 喘息死の病態と予防, *化学療法研究所紀要*, 37, 7-12, 2007
- 馬島 徹 : 喘息日常管理のコツ「喘息の日常管理に採血は必要か?」, *Q&Aでわかるアレルギー疾患*, 4, 74-75, 2008

## 講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- 税所宏光 : 睥がん診療の最近の動向, 日本医師会生涯教育講座, 市川医師会館, 市川市, 2007.8.29
- 税所宏光 : 胆石症の治療適応と選択, 第238回練馬区医師会学術部内科医会臨床研究会, ホテルメトロポリタン, 東京, 2007.9.11
- 税所宏光 : がん診療の進歩と課題, 市川シビックロータリークラブ, 市川グランドホテル, 千葉県市川市, 2007.11.12



- ・伊藤聡一郎：細胞機能活性型マリン・コラーゲン／キトサン・ゲル，多孔体の開発，第6回国際バイオEXPO&国際バイオフォーラム，東京ビックサイト，東京，2007.7.20-22
- ・伊藤聡一郎：マリン・コラーゲン／キトサン複合体を用いた細胞活性型生体再建材料の開発，第7回次世代医療システム産業化フォーラム2007，大阪商工会議所・国際会議ホール，大阪，2007.10.15
- ・太田 剛，伊藤聡一郎，志村晴彦，佐藤哲也，富岡秀樹，四宮謙一：骨電気刺激装置を併用したnon-bridging創外固定術，第21回日本創外固定・骨延長学会，パシフィコ横浜，横浜，2008.2.22
- ・伊藤聡一郎，王巍，福島和之，渡部和彦，榎本光裕，久保木芳徳，四宮謙一：足場材料の配向性が末梢神経および脊髄の再生に及ぼす効果，第7回日本再生医療学会，名古屋国際会議場，名古屋，2008.3.13-14
- ・馬島 徹：気管支喘息コントロールの現状と吸入ステロイド薬の使い方について，市川市喘息勉強会，千葉県市川市，2007.4.17
- ・馬島 徹：吸入ステロイド・気管支拡張薬の使用意義，GSK呼吸器セミナー，東京，2007.6.8
- ・馬島 徹：気管支喘息の治療－ガイドラインを中心に－，松戸医師会研修会，松戸市薬剤師会館，千葉県松戸市，2007.10.18
- ・馬島 徹：良い喘息治療を目指して－最適な喘息治療とは－，市川Asthma Symposium，千葉県市川市，2007.10.23
- ・馬島 徹：Asthma Control Testにおける患者評価と肺機能検査，東葛地区喘息懇話会，千葉県柏市，2007.11.16
- ・馬島 徹：結核症の基礎知識，平成19年度千葉県結核対策特別促進事業DOTS支援員育成研修会，千葉県市川市，2007.12.5
- ・馬島 徹：喘息の日常管理－ACTの評価－，第1回市川呼吸器研究会，千葉県市川市，2007.12.10
- ・馬島 徹：慢性閉塞性肺疾患患者の初期治療からHOT導入までの治療過程，テルモ研修会，東京，2008.2.13

## 学会発表

- ・税所宏光（座長）：Symposium “Management for common bile duct stones”，第1回アジア・パシフィック肝胆膵学会，福岡国際会議場，福岡市，（2007.3.23）
- ・税所宏光（座長）：パネルディスカッション IPMN/MCNの長期経過と予後，第93回日本消化器病学会総会，青森市文化会館，青森市，2007.4.21
- ・税所宏光（座長）：教育講演 CT/MRIによる消化管診断，第73回日本消化器内視鏡学会総会，新高輪プリンスホテル，東京，2007.5.11
- ・税所宏光（座長）：ランチョンセミナー 膵癌化学療法の現状と展望，第38回日本膵臓学会大会，福岡国際会議場，福岡市，2007.6.28
- ・税所宏光（座長）：教育講演 自己免疫性膵炎の最近のトピックス，第10回日本消化器病学会関東支部教育講演会，ホテル・ザ・マンハッタン幕張，千葉市，2007.7.14
- ・税所宏光：ワークショップ 胆道疾患へのIVR的アプローチ 特別発言，第43回日本胆道学会学術集会，東京ドームホテル，東京，2007.9.28
- ・税所宏光（座長）：パネルディスカッション 胆管結石症に対する内視鏡治療の功罪，第49回日本消化器病学会大会，神戸国際展示場，神戸市，2007.10.19
- ・税所宏光（座長）：特別企画 日本消化器病学会専門医制度－現状と今後の課題－，第49回日本消化器病学会大会，神戸ポートピアホテル，神戸市，2007.10.20
- ・税所宏光（座長）：教育講演 自己免疫性膵炎，JDDW 2007，神戸ポートピアホテル，神戸市，2007.10.21
- ・税所宏光（座長）：ポスター，第45回日本癌治療学会総会，京都国際会議場，京都市，2007.10.25
- ・税所宏光（座長）：教育講演 小腸内視鏡，第19回日本消化器内視鏡学会関東セミナー，都市センターホテル，東京，

2008.1.20

- ・ 伊藤聰一郎，四宮謙一：二重構造キトサン・チューブを用いた神経架橋実験，第50回日本手の外科学会学術集会，山形国際ホテル，山形，2007.4.19-20
- ・ 太田 剛，伊藤聰一郎，志村晴彦，佐藤哲也，富岡秀樹，四宮謙一：橈骨遠位端骨折治療における創外固定器を用いた電気刺激の効果，第50回日本手の外科学会学術集会，山形国際ホテル，山形，2007.4.19-20
- ・ 伊藤聰一郎，王 巍，大熊恒雄，四宮謙一：神経架橋用キトサン・メッシュ・チューブの力学強度と物質透過性が神経再生に及ぼす促進効果，第22回日本整形外科学会基礎学術集会，浜松アクトシティー，浜松，2007.10.25-26
- ・ 伊藤聰一郎（座長）：第22回日本整形外科学会基礎学術集会，浜松アクトシティー，浜松，2007.10.25-26
- ・ 福島和之，富澤将司，榎本光裕，若林良明，高橋 誠，伊藤聰一郎，久保木芳徳，四宮謙一：ハニカムカラーゲンスポンジを用いた損傷脊髄軸索の再生，第22回日本整形外科学会基礎学術集会，浜松アクトシティー，浜松，2007.10.25-26
- ・ 王 巍，伊藤聰一郎，大橋菜多里，中村美穂，岩崎 健，山下仁大：電気分極したハイドロキシアパタイト多孔体による骨再生の促進，第10回日本組織工学会，大手町サンケイプラザ，東京，2007.11.8-9
- ・ 王 巍，伊藤聰一郎，中村美穂，四宮謙一，山下仁大：Enhanced osteoconductivity of hydroxyapatite by electrical polarization，第9回日韓形成外科学会，万国津梁館，沖縄，2008.2.21-23
- ・ 山下仁大，中村美穂，岡林留美，田中優実，永井亜希子，伊藤聰一郎：生体骨の電気エネルギー蓄積特性，第35回日本生体電気・物理刺激研究会，有壬記念館，新潟県新潟市，2008.3.8
- ・ 伊藤聰一郎（座長）：磁場刺激・臨床応用，第35回日本生体電気・物理刺激研究会，有壬記念館，新潟県新潟市，2008.3.8
- ・ 山田英夫（座長）：大腸 悪性 治療成績2，第20回日本内視鏡外科学会総会，仙台エクセルホテル東急，宮城県仙台市，2007.11.20
- ・ 山田英夫（座長）：大腸・肛門 悪性，第68回日本臨床外科学会総会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜市，2007.11.30
- ・ 山田英夫（座長）：機器取り組み状況報告とアンケート回答，第10回千葉県消化器内視鏡懇談会，オークラ千葉ホテル，千葉県千葉市，2007.12.6
- ・ 今中景子（座長）：西部支部研修会，千葉県病院薬剤師会，フローラ西船，千葉県船橋市，2007.6.21

#### 研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 山下仁大，中村 聡，伊藤聰一郎，永井亜希子，田中優実，中村美穂：自己表面静電力をもつ分極バイオマテリアルを用いた高速骨再生材料の創製，平成19-20年度科学研究費補助金，基盤研究(B)，12602-05-1-1301-B-0002，一般

#### 学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 税所宏光：平成19年度内視鏡医学振興財団顕彰，肝・胆・膵癌の治療，特にパピロトミー小切開術を開発・発展させると共に後進の指導・育成への貢献，2008.1.26

#### 所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 税所宏光：日本内科学会（認定内科医），日本消化器病学会（消化器病専門医，指導医）（功労会員），日本消化器内視鏡学会（消化器内視鏡専門医，指導医）（監事，Digestive Endoscopy編集委員長），日本肝臓学会（肝臓専門医），日本高齢者消化器病学会（理事），日本膵臓学会（名誉会員），日本胆道学会（名誉会員），日本癌治療学会，日本超音波医学会（超音波専門医，指導医）（功労会員），日本画像医学会，日本成人病学会（評議員），日本消化

器関連学会機構（JDDW）（学術集会幹事），日本がん治療認定医機構（暫定教育医）

- 伊藤聰一郎：日本手の外科学会（専門医，評議員），日本整形外科学会（認定医），日本末梢神経学会（評議員），日本生体電気・物理刺激研究会（評議員，幹事），日本肘関節学会
- 馬島 徹：日本内科学会（認定医），日本呼吸器学会（専門医，指導医）（代議員，用語委員），日本アレルギー学会（専門医，指導医）（代議員），日本気管食道科学会（認定医）（理事，編集委員），日本結核病学会
- 増山英則：日本結核病学会（評議員），日本呼吸器病学会（指導医），ACCP（FCCP）
- 山田英夫：日本外科学会（指導医），日本消化器外科学会（認定医），日本内視鏡外科学会（評議員，教育委員，広報委員），日本消化器内視鏡学会（指導医）（評議員）